

第2回 市民福祉意識アンケート

# アンケート結果報告書

—平成24年度（2012年度）—



高崎市福祉部



# 《目次》

## 調査について

### 各質問の回答について

1. 性別	3
2. 年齢	4
3. 居住地域	5
4. 職業	6
5. 住宅	7
6. 家族構成	8
7. 在住期間	9
8. 近所との付き合いについて	10
9. 近所との付き合いについて2	15
10. 手助けについて	17
11. 近所との付き合いについて3	22
12. 福祉のまちづくりについて	28
13. 相談について	33
14. 相談について2	39
15. 地域での支え合いについて	43
16. 災害時の支え合いについて	46
17. 孤独死・孤立死について	52
18. 個人情報の共有について	56
19. ボランティアについて	59
20. ボランティアについて2	61
21. ボランティアについて3	63
22. ボランティアについて4	69
23. ボランティアについて5（記述）	73
24. 福祉に対する考え方	75
25. 福祉教育について	81
26. 民生委員・児童委員について	87
27. 福祉のまちづくりについて2（記述）	93

### 参考資料

各設問とのクロス集計について	95
----------------	----

## 自由記述一覧

問 23 に関する自由記述一覧 . . . . . 102

問 27 に関する自由記述一覧 . . . . . 126

## 添付資料

「高崎市市民福祉アンケート調査」調査票

# 《調査について》

## 1. 調査の目的

市民の福祉に対する意識調査や地域福祉推進のための課題の抽出と、市民の率直な考えを知り、ご意見やご要望をお聞きするために実施しました。本調査にお寄せいただいた市民の皆さまの声は、第2次計画策定に向けて、大切な資料として活用させていただきます。

## 2. 調査の項目

今回の調査は、前回（平成19年実施）の経緯を踏まえた継続質問と、現在の状況に即した新規質問で構成されています。継続質問は、①「ご近所との親密度（問8）」②「ご近所との付き合い・関わり（問9）」③「手助けが必要な方との関わり（問10）」④「ご近所付き合いで大切なこと（問11）」「地域住民として取り組むべきこと（問12）」「日常の困りごとの相談（問13・14）」「ボランティア・市民活動の情報収集（問22）」「福祉に対する考え方（問24）」です。このような継続的な質問項目の設定によって、市民の皆さまの福祉に関するご意見・ご要望を今日的な課題としてだけでなく、長期的な視点でとらえることができ、市の福祉施策に生かすことができると考えています。

新規質問は、「地域での支え合いの範囲（問15）」「災害時に地域で支え合うために必要なこと（問16）」「孤独死・孤立死について（問17・18）」「ボランティア・市民活動（問19・20・21・23）」「福祉教育の方法（問25）」「民生委員・児童委員（問26）」「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせる社会を創り出すための取り組み（問27）」です。

## 3. 調査の方法

調査の方法は以下の通りです。

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 調査地域 | 高崎市全域  |
| (2) 調査対象 | 満20歳以上の市民                                      |
| (3) 対象者数 | 6,000人   |
| (4) 抽出方法 | 平成25年2月1日現在、住民登録されている市民の中から無作為抽出               |
| (5) 調査方法 | 調査用紙を対象者に郵送、郵便での返送による回収                        |
| (6) 調査日程 | ①調査用紙の発送 2月14日（木）<br>②調査用紙の回収 2月15日（金）～3月1日（金） |

## 4. 調査の回収結果

調査の回収結果は以下のとおりです。

- (1) 調査対象者数 6,000 人
- (2) 回収数 2,945 人
- (3) 回収率 49.1%

## 5. 集計の方法と内容

集計と分析は、主に調査回答者の年代別、居住地域別（高崎地域、倉渕地域、箕郷地域、群馬地域、新町地域、榛名地域、吉井地域）、の2項目について行いました。

集計の内容は以下の通りです。

- (1) 単純集計 各質問に対する全体での集計
- (2) クロス集計 性別、年代別、居住地域別、家族構成別、職業別について、他の質問項目とクロス集計

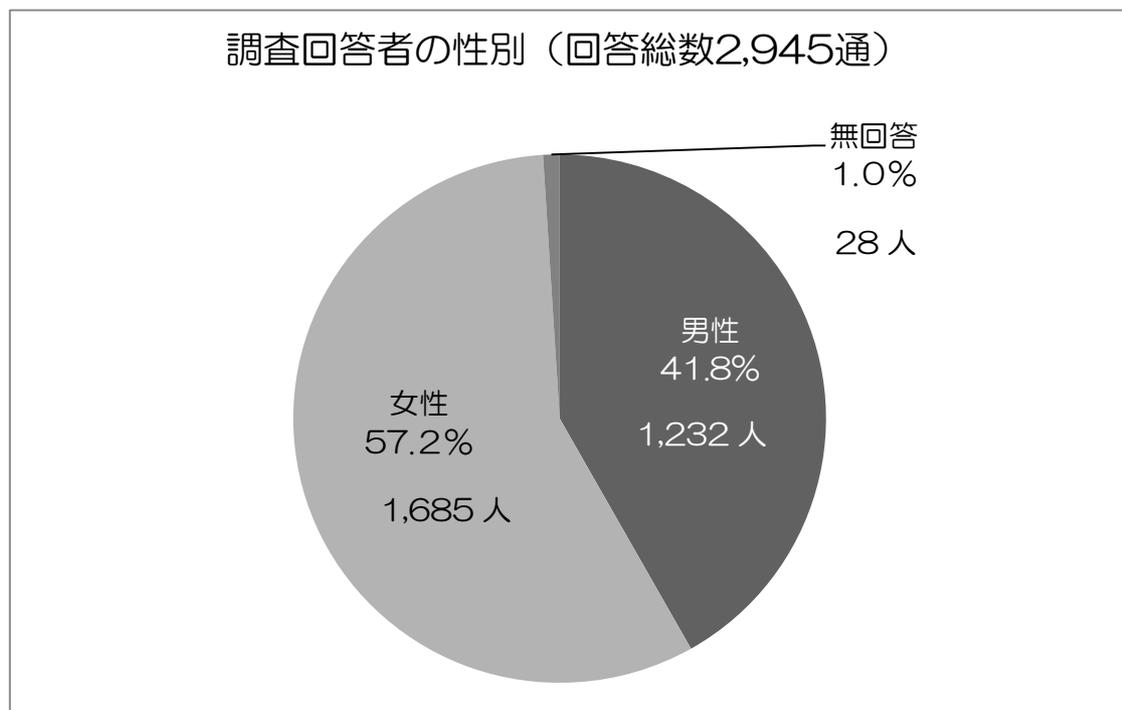
## 6. 集計結果の見方

今回の集計結果は、小数点第2位を四捨五入し、構成比率（パーセンテージ）で小数点第1位まで表示してあります。そのため、表示された構成比率の合計が 100.0%にならない場合があります。

## 《各質問の回答について》

### 問1 あなたの性別は？

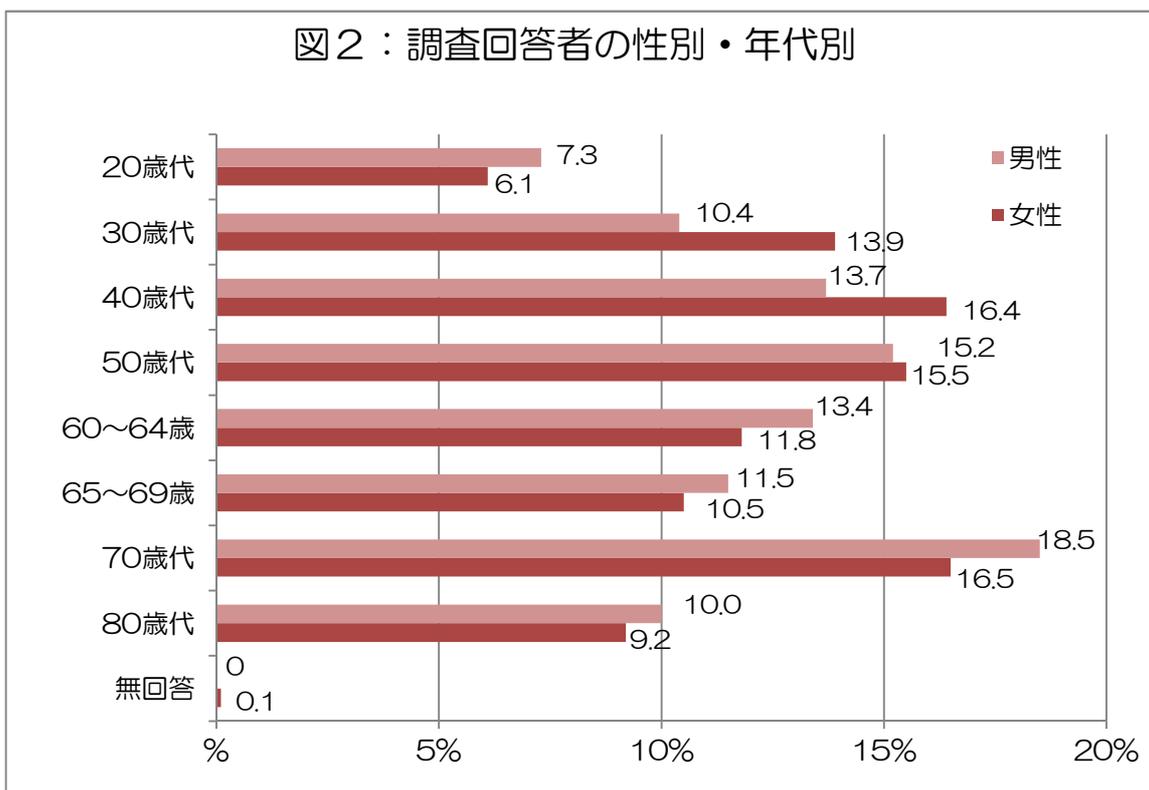
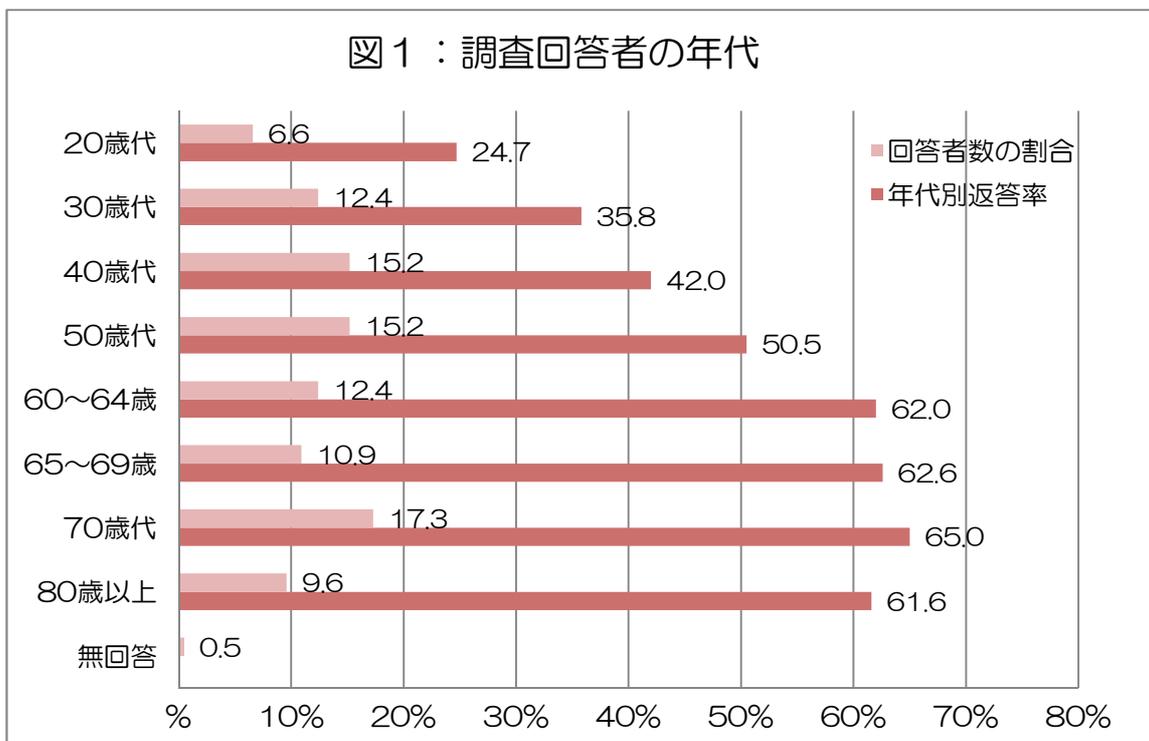
男性が41.8%、女性が57.2%でした。



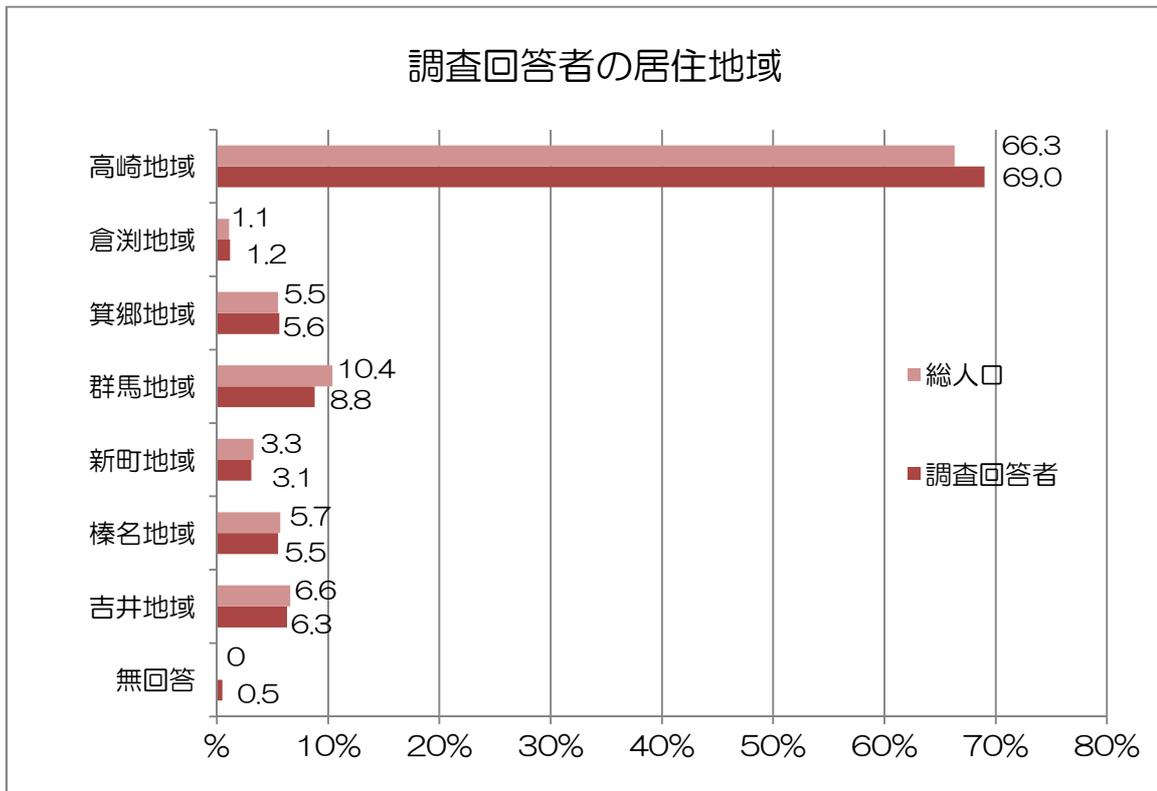
## 問2 あなたの年齢は？

回答者の年代は、図1のとおりです。70歳代（17.3%）と40歳代、50歳代（15.2%）が比較的多く、20歳代（6.6%）が少なくなっています。

性別・年代別は図2のとおりです。60歳～64歳・70歳代では男性が女性より多く、30歳代・40歳代では女性が男性より多いなど、若干の差が見られます。



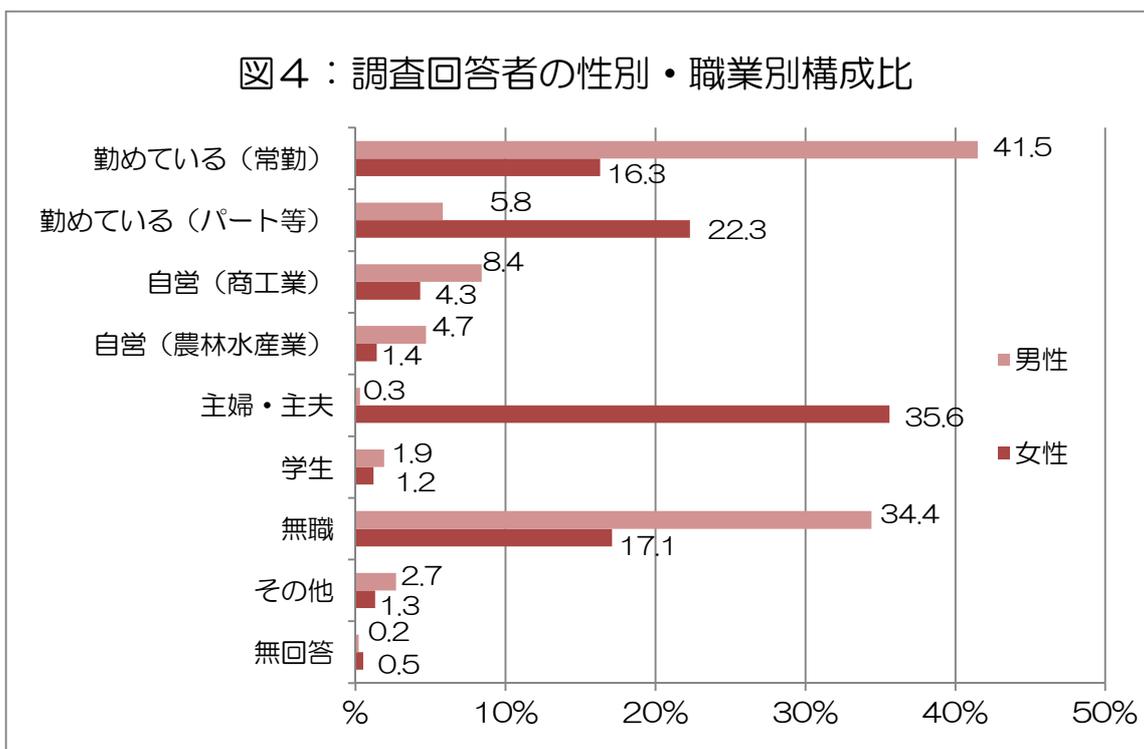
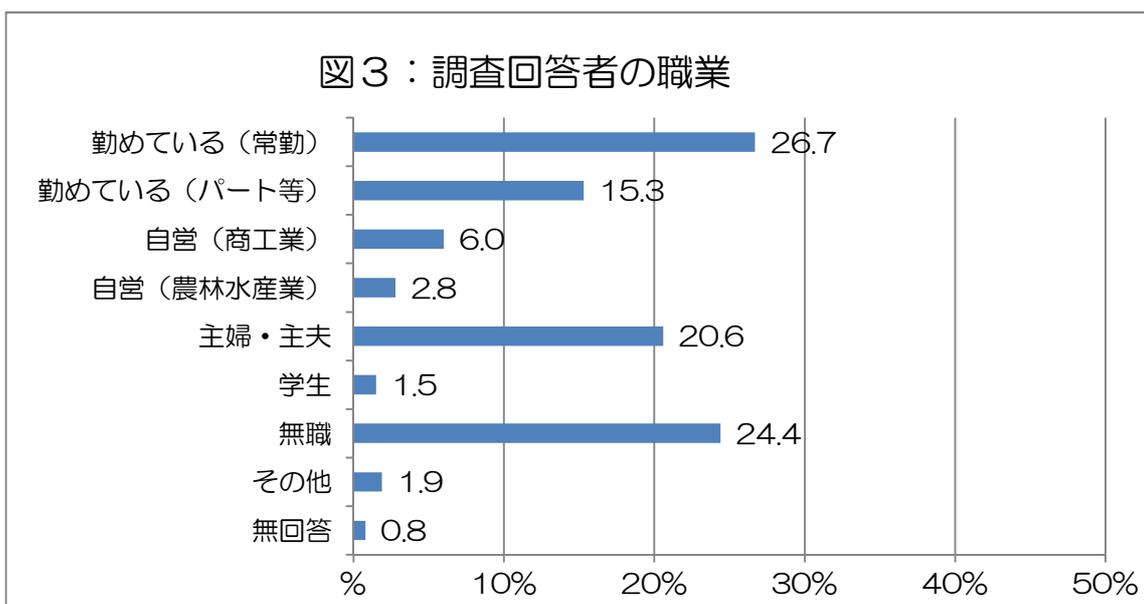
### 問3 あなたの住んでいる地域は？



#### 問4 あなたの職業は？

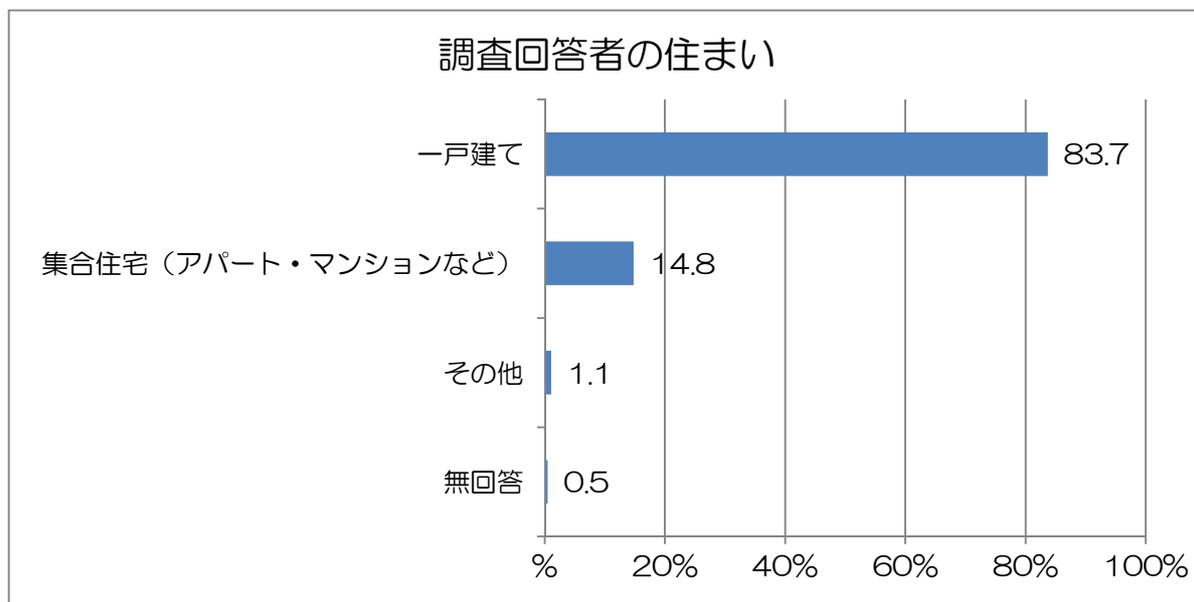
回答者の職業は、図3のとおりです。主婦／主夫が20.6%、学生が1.5%、無職が24.4%となっています。就業している回答者は50.8%で常勤（26.7%）が最も多く、就業者ではパート等（15.3%）、商工業（6.0%）がこれに続きます。農林水産業（2.8%）は比較的少なくなっています。

男女別構成比は図4のとおりです。男性は常勤（41.5%）が4割を超え、続いて無職（34.4%）が多くなっています。女性は主婦（35.6%）が最も多く、これにパート等（22.3%）、常勤（16.3%）が続きます。



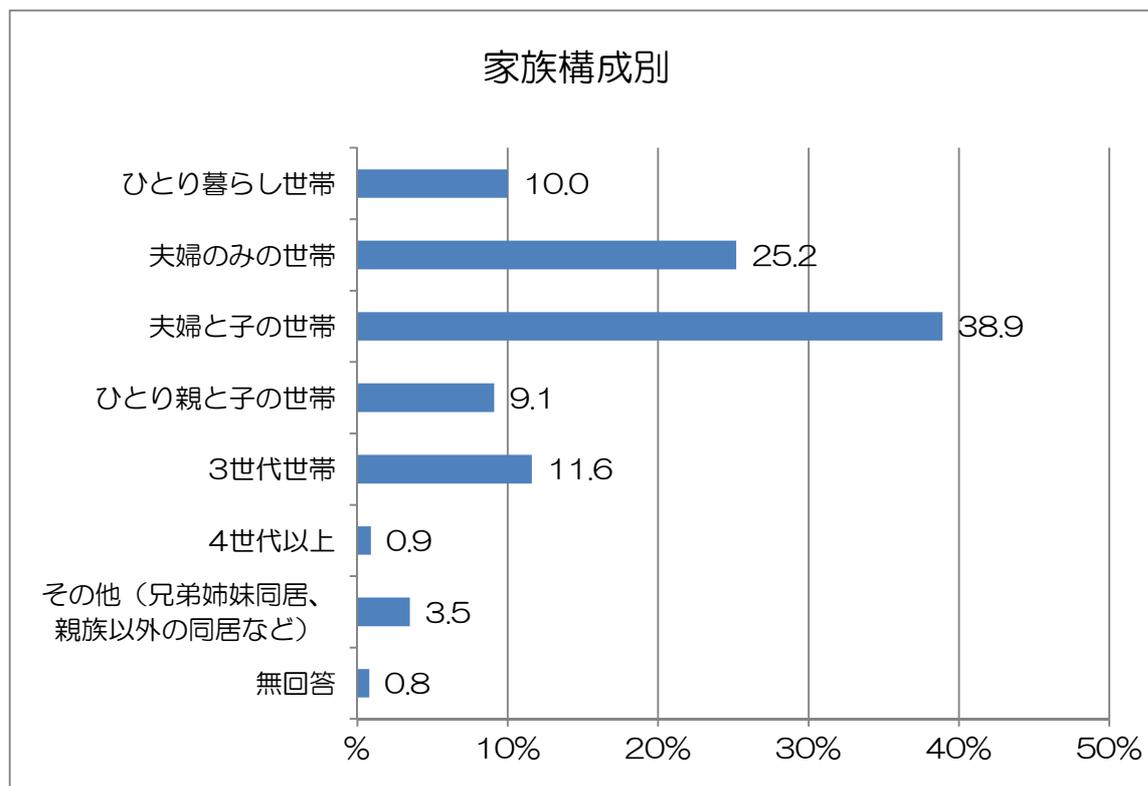
## 問5 あなたのお住まいは？

「一戸建て」が83.7%と最も多く、次いで「集合住宅（アパート・マンションなど）」が14.8%となっています。



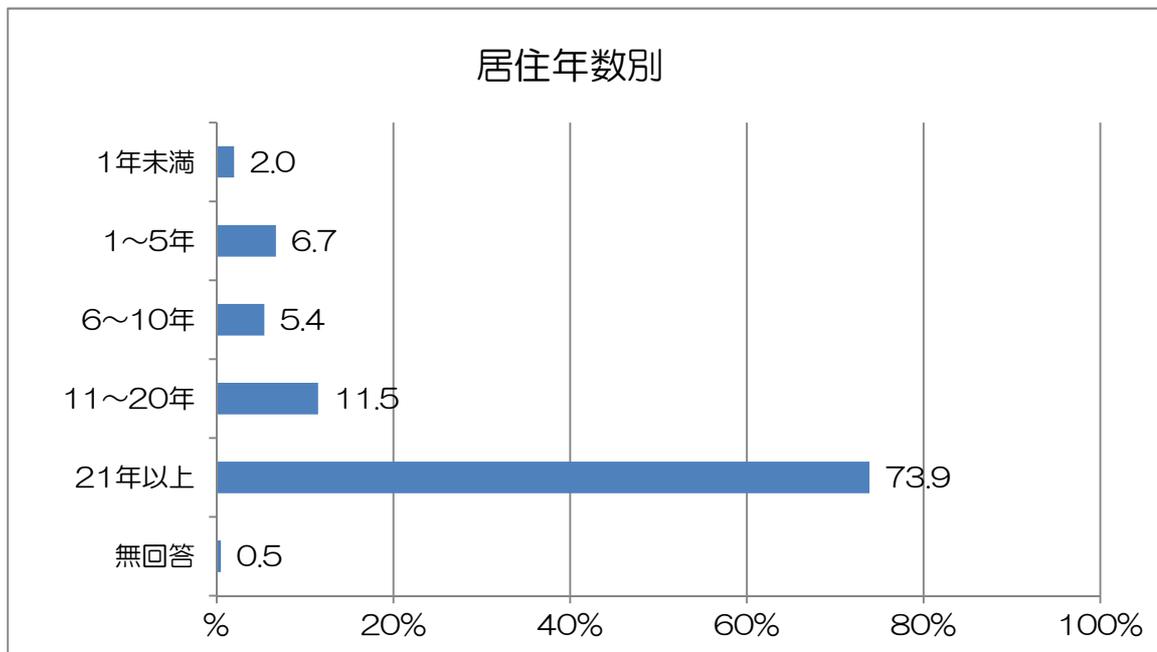
## 問6 あなたの家族構成は？

「夫婦と子の世帯」が38.9%と最も多くなっています。次に多いのは「夫婦のみの世帯」(25.2%)で、「3世代の世帯」(11.6%)、「ひとり暮らしの世帯」(10.0%)と続きます。また、「4世代以上の世帯」はほとんどみられません(0.9%)



問7 あなたは、高崎市（旧町村含む）に何年住んでいますか。

どの年代・地域でも、高崎市に長期間住んでいる割合が高く、総計では21年以上住んでいる割合は約74%となっています。

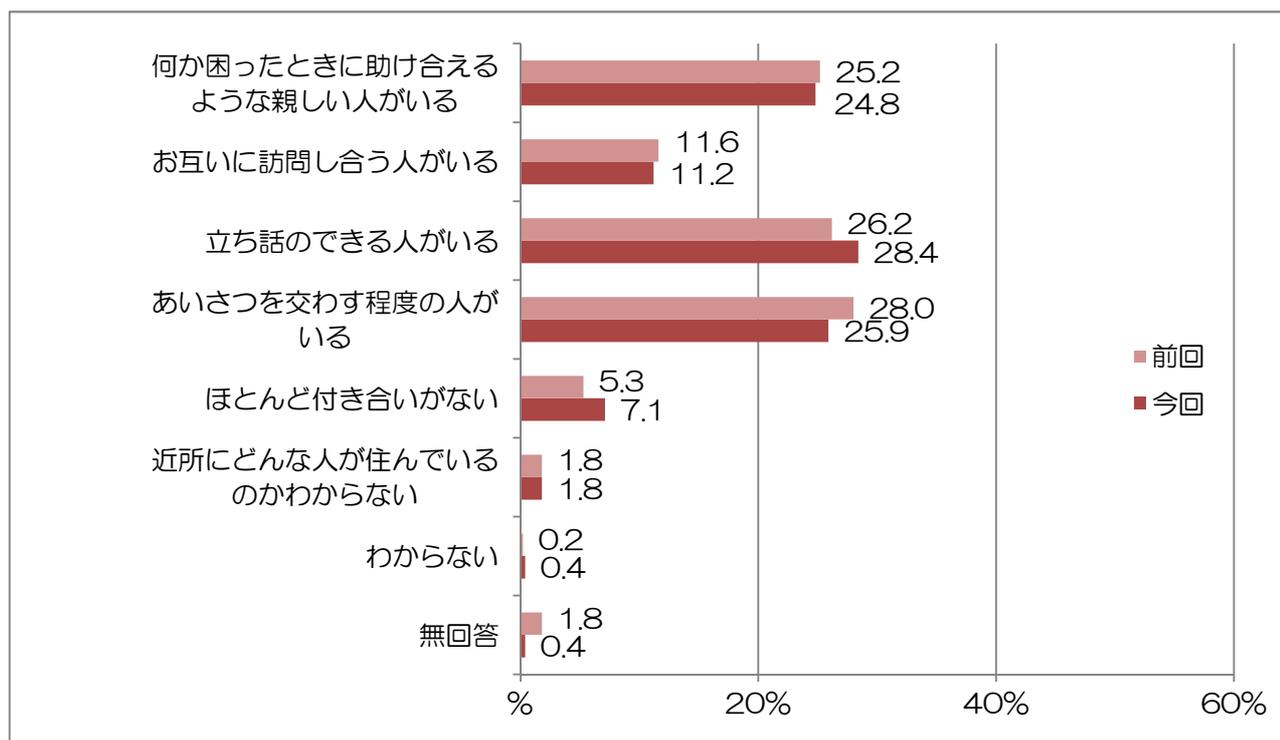


問8 あなたは、ご近所とどの程度の付き合いをしていますか。1つだけに○をつけてください。

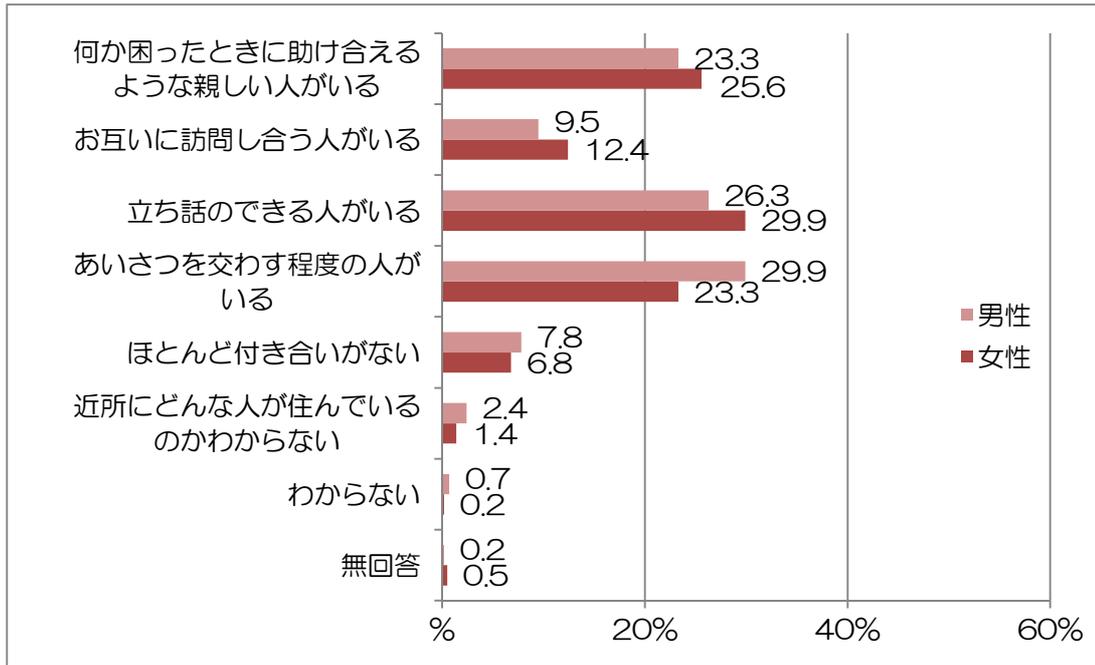
●「立ち話のできる人がいる」が多い

「立ち話のできる人がいる」(28.4%)「あいさつを交わす程度の人がある」(25.9%)など、ほとんどの人が近隣住民と顔見知り以上の付き合いをしていることがわかります。

前回調査と比較すると、結果に大きな差は見られません。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65~69歳	70歳代	80歳以上	無回答
何か困ったときに助け合えるような親しい人がいる	7.7	12.0	12.1	21.4	26.1	29.1	37.9	47.2	40.0
お互い訪問し合う人がいる	5.7	6.0	4.9	7.6	13.2	15.9	17.7	18.1	13.3
立ち話のできる人がいる	14.9	26.2	31.5	35.9	35.7	30.9	25.1	16.7	26.7
あいさつを交わす程度の人がある	42.8	37.7	38.5	25.7	21.2	20.3	15.3	12.4	0
ほとんど付き合いがない	22.7	11.5	10.1	7.4	3.3	3.8	2.4	3.2	6.7
近所にどんな人が住んでいるのかわからない	3.6	6.0	2.7	2.0	0.3	0	0.2	0.4	0
わからない	1.5	0	0.2	0	0	0	0.4	1.1	0
無回答	1.0	0	0	0	0.3	0	1.0	1.1	13.3

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
何か困ったときに 助け合えるような 親しい人がいる	23.2	32.4	28.3	22.0	23.9	36.2	31.0	31.3
お互い訪問し合う 人がいる	10.6	14.7	13.3	10.0	13.0	14.7	13.6	12.5
立ち話のできる人がいる	28.3	38.2	29.5	29.7	27.2	25.2	28.8	18.8
あいさつを交わす程度の 人がいる	27.2	11.8	21.7	28.2	28.3	19.0	22.3	0
ほとんど付き合いがない	8.1	0	5.4	8.1	4.3	2.5	2.2	18.8
近所にどんな人が住んで いるのかわからない	1.9	0	1.8	1.5	3.3	1.2	1.1	6.3
わからない	0.3	2.9	0	0	0	1.2	0.5	0
無回答	0.4	0	0	0.4	0	0	0.5	12.5

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
何か困ったときに助け合えるような親しい人がいる	32.9	27.2	20.1	25.4	24.0	42.3	30.1	33.3
お互い訪問し合う人がいる	12.2	14.0	9.6	11.2	10.9	7.7	9.7	8.3
立ち話のできる人がいる	18.0	27.3	32.1	23.5	32.3	34.6	22.3	29.2
あいさつを交わす程度の人がいる	18.0	23.1	30.2	28.7	25.5	11.5	22.3	8.3
ほとんど付き合いがない	11.5	6.3	6.5	8.6	5.3	3.8	10.7	8.3
近所にどんな人が住んでいるのかわからない	5.4	1.3	1.1	2.6	0.9	0	2.9	4.2
わからない	1.0	0	0.3	0	0.6	0	1.9	0
無回答	1.0	0.7	0.1	0	0.6	0	0	8.3

【職業別】

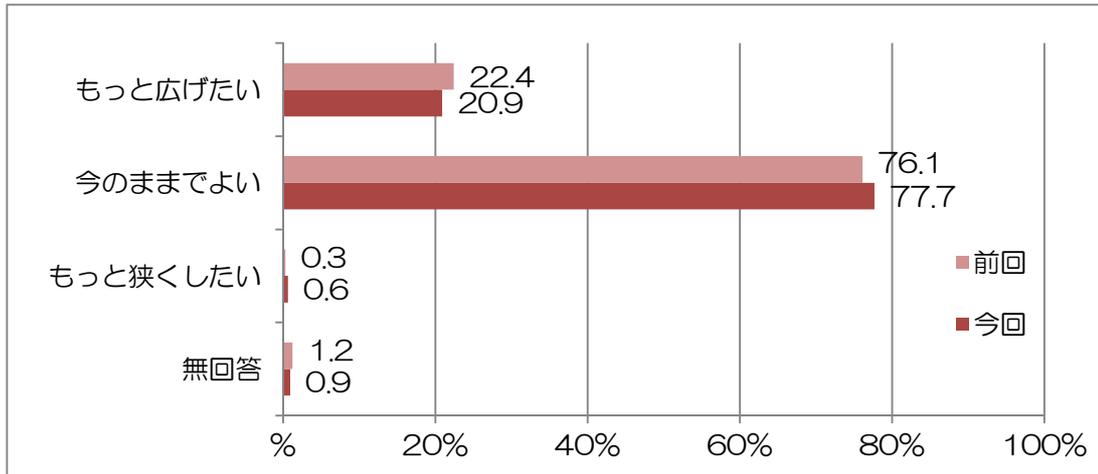
構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
何か困ったときに 助け合えるような 親しい人がいる	15.8	20.0	32.2	42.7	27.0	11.6	32.9	16.4	33.3
お互い訪問し合う 人がいる	6.9	8.6	10.2	23.2	15.7	2.3	13.5	7.3	16.7
立ち話のできる 人がいる	25.2	34.6	27.7	19.5	32.8	23.3	25.0	34.5	33.3
あいさつを交わす程度 の人がいる	35.2	29.3	27.1	12.2	18.9	39.5	20.6	27.3	4.2
ほとんど付き合いが ない	12.7	5.8	1.7	2.4	4.4	16.3	5.0	14.5	4.2
近所にどんな人が住ん でいるのかわからない	3.8	1.8	1.1	0	0.7	2.3	1.1	0	0
わからない	0.1	0	0	0	0	4.7	1.1	0	0
無回答	0.3	0	0	0	0.5	0	0.8	0	8.3

問9 あなたは、ご近所との付き合い・関わりを広げたいと思いますか。  
1つだけに○をつけてください。

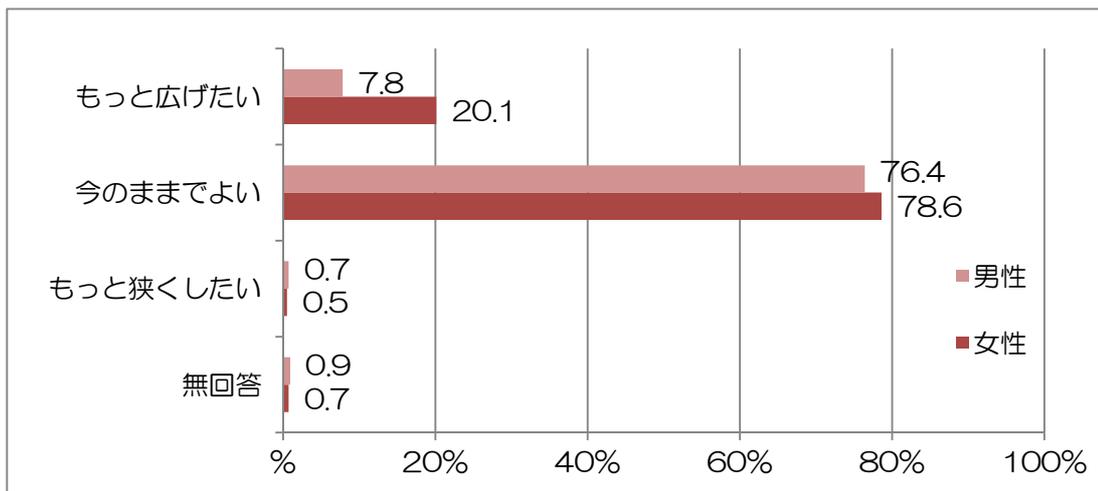
●「今のままでよい」が非常に多い

全体だけでなく、各分野別に見ても「今のままでよい」が非常に多いことがわかります。

前回調査と比較すると、大きな差は見られません。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳代	80歳以上	無回答
もっと広げたい	25.8	26.5	20.1	20.1	19.5	17.8	18.5	22.3	20.0
今のままでよい	73.2	71.9	78.5	78.1	79.1	81.3	80.2	76.2	66.7
もっと狭くしたい	0.5	1.1	0.9	0.7	0.8	0.3	0	0.4	0
無回答	0.5	0.5	0.4	1.1	0.5	0.6	1.4	1.1	13.3

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
もっと広げたい	21.7	11.8	19.3	20.5	20.7	19.0	17.9	12.5
今のままでよい	77.3	88.2	78.3	77.2	79.3	78.5	78.8	68.8
もっと狭くしたい	0.3	0	2.4	0.8	0	0.6	2.2	0
無回答	0.7	0	0	1.5	0	1.8	1.1	18.8

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
もっと広げたい	22.4	19.8	23.1	15.3	21.1	15.4	17.5	12.5
今のままでよい	74.9	79.1	75.8	82.8	78.0	84.6	78.6	79.2
もっと狭くしたい	0.7	0.3	0.6	0.7	0.3	0	2.9	0
無回答	2.0	0.8	0.5	1.1	0.6	0	1.0	8.3

【職業別】

構成比 (%)	勤めている (常勤)	勤めている (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水産業)	主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
もっと広げたい	24.9	17.1	18.6	19.5	21.3	25.6	18.9	23.6	16.7
今のままでよい	73.0	81.6	79.7	79.3	77.9	74.4	79.7	76.4	75.0
もっと狭くしたい	1.0	0.9	0	0	0.3	0	0.4	0	0
無回答	1.0	0.4	1.7	1.2	0.5	0	1.0	0	8.3

問10 あなたは、ご近所で高齢者や障害のある人、子育てなどで手助けが必要な人がいたら、どうしたいですか。1つだけに○をつけてください。

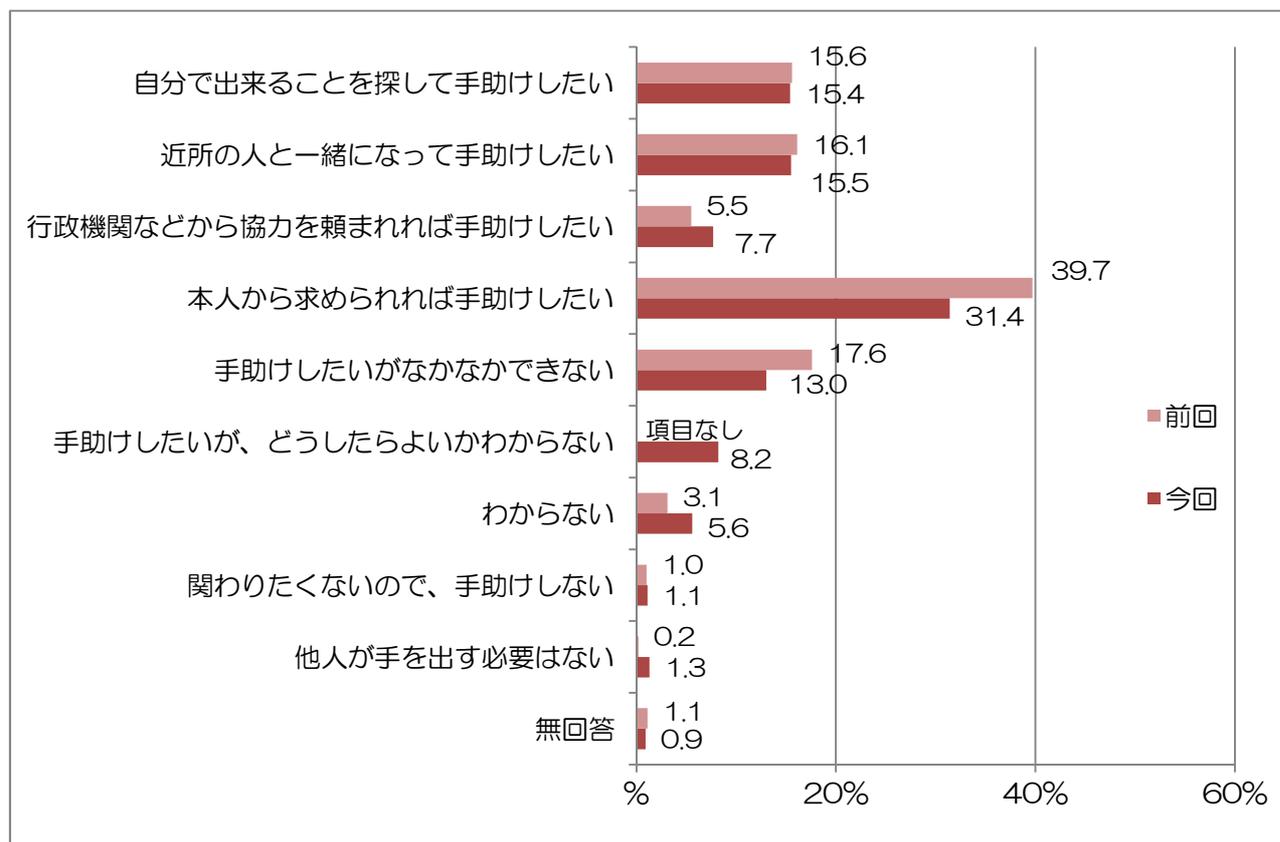
●「本人から求められれば手助けしたい」が多い

「本人から求められれば手助けしたい」(31.4%)が圧倒的に多くなっています。

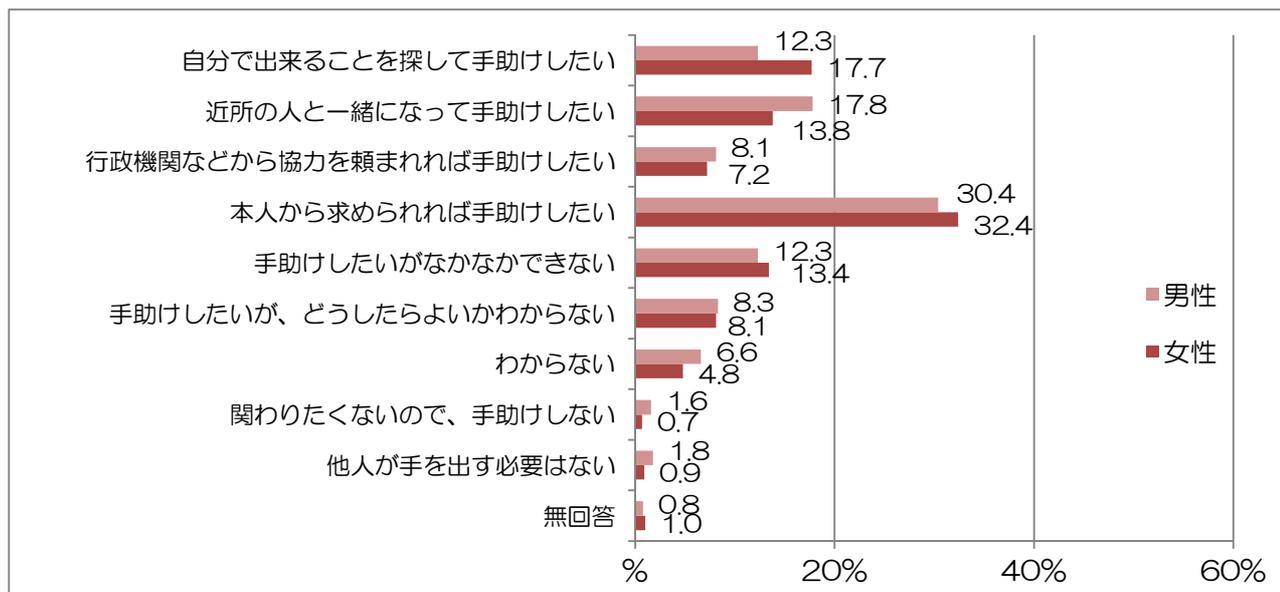
次いで「自分で出来る事を探して手助けしたい」(15.4%)「近所の人と一緒にになって手助けしたい」(15.5%)が多く、分野別によっては「手助けしたいがなかなかできない」が多いところもあります。

前回調査と比較すると、「本人から求められれば手助けしたい」が8.3%、「手助けしたいがなかなかできない」が4.6%下回っていることがわかります。

なお、「手助けしたいが、どうしたらよいかわからない」は今回調査で新たに加わった項目です。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65~69歳	70歳代	80歳以上	無回答
自分で出来ることを探して手助けしたい	15.5	13.1	8.5	13.6	15.1	17.5	20.0	20.9	26.7
近所の人と一緒にになって手助けしたい	10.3	6.6	6.3	12.7	14.0	20.0	27.1	26.2	0
行政機関などから協力を頼まれれば手助けしたい	5.2	4.9	7.2	11.8	11.0	10.6	5.7	2.5	20.0
本人から求められれば手助けしたい	30.4	36.6	35.8	31.7	37.1	27.2	29.5	20.2	6.7
手助けしたいがなかなかできない	8.8	12.6	20.8	13.6	9.9	11.3	8.8	15.6	26.7
手助けしたいが、どうしたらよいかわからない	19.6	12.8	10.3	8.3	6.9	5.3	3.5	4.3	6.7
わからない	5.7	10.7	7.4	5.8	4.1	3.8	2.8	5.0	0
関わりたくないので、手助けしない	1.0	1.4	2.5	0.9	0.5	2.2	0.4	0	0
他人が手を出す必要はない	3.1	1.4	0.9	1.3	1.1	1.9	0.8	0.7	6.7
無回答	0.5	0	0.4	0.2	0.3	0.3	1.4	4.6	6.7

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
自分でできることを探して手助けしたい	15.5	17.6	15.1	13.9	16.3	17.8	12.0	31.3
近所の人と一緒にになって手助けしたい	15.2	17.6	20.5	12.0	17.4	17.2	17.4	0
行政機関などから協力を頼まれれば手助けしたい	7.4	5.9	7.2	8.1	10.9	7.4	8.2	18.8
本人から求められれば手助けしたい	31.2	41.2	31.3	30.1	33.7	29.4	37.0	6.3
手助けしたいがなかなかできない	13.2	11.8	8.4	14.7	8.7	15.3	10.9	25.0
手助けしたいが、どうしたらよいかわからない	8.3	0	8.4	12.4	5.4	5.5	6.0	6.3
わからない	5.8	5.9	7.2	5.8	3.3	4.3	4.3	0
関わりたくないので、手助けしない	1.3	0	0.6	1.5	0	1.2	0	0
他人が手を出す必要はない	1.3	0	0.6	0.4	2.2	1.2	2.7	6.3
無回答	0.8	0	0.6	1.2	2.2	0.6	1.6	6.3

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
自分でできることを探して手助けしたい	21.0	17.1	13.2	12.7	16.1	26.9	11.7	20.8
近所の人と一緒にになって手助けしたい	18.3	16.3	13.6	18.7	16.1	7.7	14.6	12.5
行政機関などから協力を頼まれれば手助けしたい	5.8	10.0	7.2	4.5	8.2	0	9.7	8.3
本人から求められれば手助けしたい	22.7	31.2	33.5	28.0	35.5	26.9	31.1	29.2
手助けしたいがなかなかできない	13.9	11.4	14.1	16.8	10.0	15.4	7.8	16.7
手助けしたいが、どうしたらよいかわからない	6.4	7.1	10.7	6.0	6.7	3.8	5.8	4.2
わからない	5.4	4.0	5.5	9.0	4.1	11.5	13.6	0
関わりたくないので、手助けしない	2.0	0.8	1.1	1.5	0.6	3.8	1.0	0
他人が手を出す必要はない	0.7	1.5	0.8	1.9	1.5	3.8	3.9	1.2
無回答	3.7	0.5	0.3	1.1	1.2	0	1.0	4.2

【職業別】

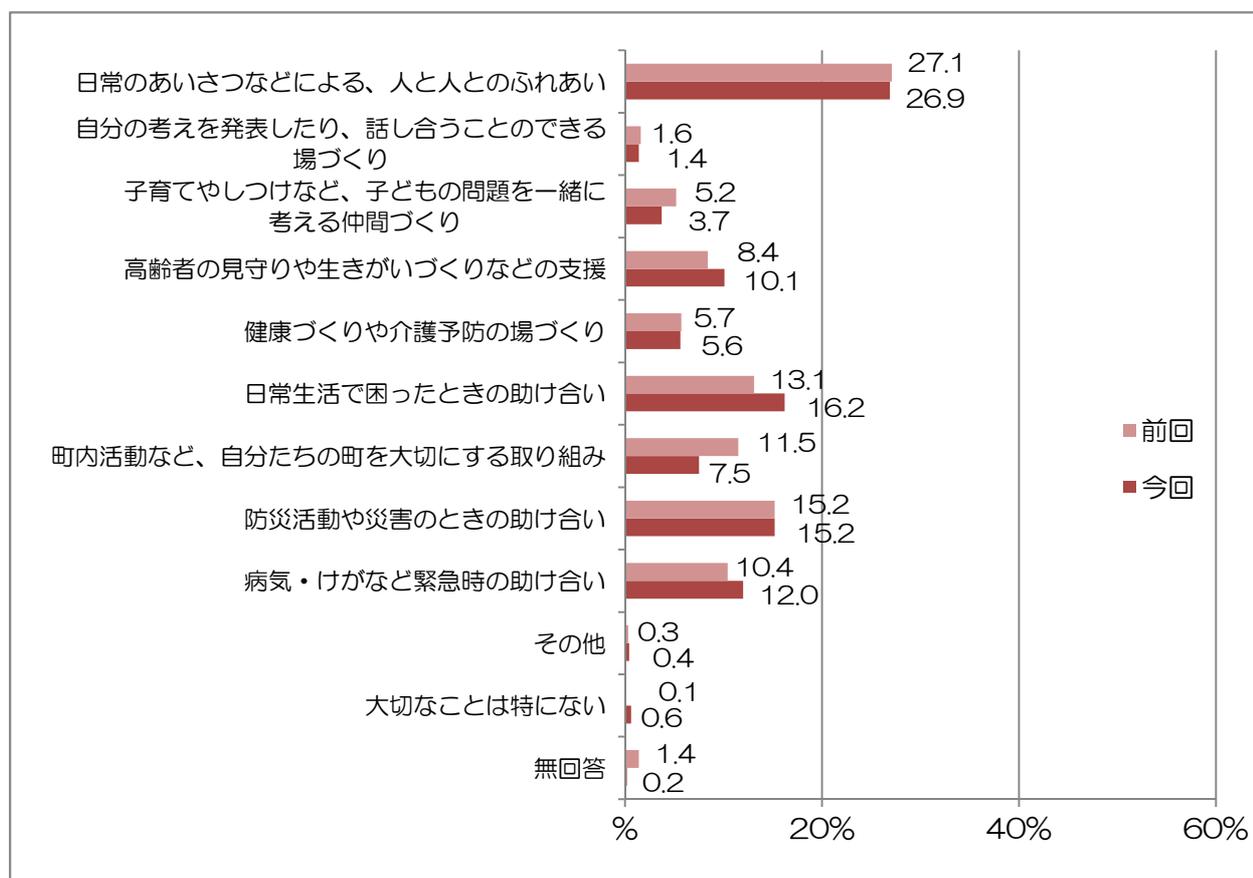
構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
自分でできることを 探して手助けしたい	10.4	14.9	15.8	22.0	19.1	20.9	15.7	25.5	25.0
近所の人と一緒になっ て手助けしたい	11.1	10.4	14.7	26.8	16.8	14.0	21.9	10.9	8.3
行政機関などから 協力を頼まれれば 手助けしたい	8.3	7.8	8.5	2.4	8.1	0	7.1	12.7	8.3
本人から求められれば 手助けしたい	31.4	38.1	32.8	35.4	33.9	30.2	25.3	23.6	20.8
手助けしたいが なかなかできない	16.7	10.4	10.2	4.9	12.2	7.0	12.9	12.7	20.8
手助けしたいが、 どうしたらよいか わからない	11.1	9.3	8.5	4.9	6.3	18.6	5.7	9.1	4.2
わからない	7.9	6.7	5.6	0	2.6	2.3	6.3	0	0
関わりたくないので、 手助けしない	1.4	0.9	1.7	2.4	0.3	4.7	1.1	0	4.2
他人が手を出す 必要はない	1.4	1.6	1.7	1.2	0.5	2.3	1.3	3.6	4.2
無回答	0.4	0	0.6	0	0.2	0	2.8	1.8	4.2

問11 あなたは、ご近所との付き合いで、これからどんなことが大切になると思いますか。  
あなたの気持ちに最も近いもの3つ以内に○をつけてください。

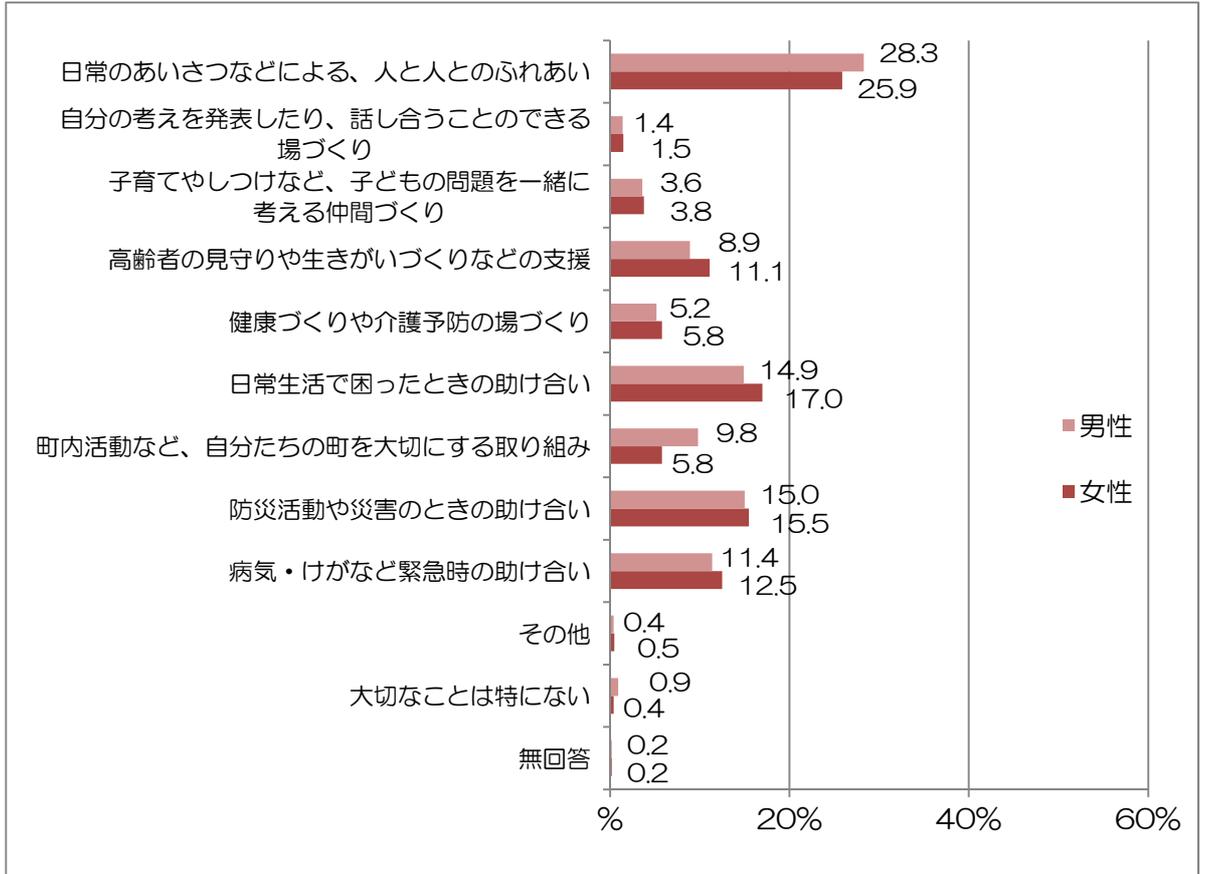
●「日常のあいさつなどによる、人と人とのふれあい」が多い

「日常のあいさつなどによる、人と人とのふれあい」(26.9%)が非常に多くなっています。  
次いで「日常生活で困ったときの助け合い」(16.2%)「防災活動や災害のときの助け合い」  
(15.2%)など、助け合いに関する項目が多いことがわかります。

前回調査と比較すると、大きな差は見られません。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~ 64歳	65~ 69歳	70 歳代	80歳 以上	無 回答
日常のあいさつなど による、人と人との ふれあい	30.0	26.8	25.6	24.6	25.9	25.4	29.7	28.7	22.2
自分の考えを発表 したり、話し合うこと のできる場づくり	1.5	1.0	0.7	0.7	1.0	0.9	2.7	3.3	2.8
子育てやしつけなど、子 どもの問題を一緒に考 える仲間づくり	6.1	11.0	5.6	2.5	1.8	1.1	1.3	1.2	2.8
高齢者の見守りや 生きがいづくりなどの 支援	10.1	6.7	9.2	11.7	11.1	11.5	9.9	11.3	11.1
健康づくりや介護予防の 場づくり	3.4	2.8	4.4	5.5	7.6	6.3	6.7	7.6	11.1
日常生活で困ったときの 助け合い	14.5	14.1	15.8	16.9	16.6	19.0	16.4	15.5	11.1
町内活動など、自分たち の町を大切にす る取り組み	5.3	7.1	5.8	7.7	7.0	8.9	9.2	7.7	11.1
防災活動や災害のときの 助け合い	17.6	18.6	19.2	17.3	15.7	13.5	10.7	9.8	0
病気・けがなど緊急時の 助け合い	10.1	10.9	12.0	12.7	12.5	12.0	12.2	12.8	19.4
その他	0.6	0.4	0.6	0.2	0.4	0.1	0.5	0.3	2.8
大切なことは特にない	0.6	0.8	0.9	0.3	0.3	0.9	0.5	0.9	2.8
無回答	0.2	0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.9	2.8

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉洺	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
日常のあいさつなどによる、人と人とのふれあい	27.1	25.0	28.8	25.7	25.1	26.7	25.7	24.3
自分の考えを發表したり、話し合うことのできる場づくり	1.3	0	0.7	2.0	1.3	2.8	1.9	0
子育てやしつけなど、子どもの問題を一緒に考える仲間づくり	3.6	3.4	3.2	4.7	2.7	3.8	3.8	5.4
高齢者の見守りや生きがいづくりなどの支援	10.3	19.3	11.7	8.1	10.3	7.3	10.8	8.1
健康づくりや介護予防の場づくり	5.4	8.0	5.2	6.1	7.6	6.3	6.3	8.1
日常生活で困ったときの助け合い	16.1	15.9	16.1	16.5	16.1	16.9	16.2	13.5
町内活動など、自分たちの町を大切にすることが取り組み	7.6	3.4	5.7	8.4	5.8	8.8	7.0	10.8
防災活動や災害のときの助け合い	15.4	12.5	15.4	15.2	16.6	14.6	15.0	2.7
病気・けがなど緊急時の助け合い	12.0	12.5	12.2	11.8	12.1	12.3	12.0	18.9
その他	0.5	0	0.2	0.5	0.4	0	0.4	2.7
大切なことは特にない	0.6	0	0.7	0.8	1.3	0.5	0.6	2.7
無回答	0.2	0	0	0.2	0.4	0	0.2	2.7

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
日常のあいさつなどによる、人と人のふれあい	27.1	27.7	26.9	26.6	25.9	27.3	26.6	18.3
自分の考えを発表したり、話し合うことのできる場づくり	2.4	1.7	1.0	1.5	1.5	3.0	0.8	1.7
子育てやしつけなど、子どもの問題を一緒に考える仲間づくり	2.1	1.6	5.7	2.6	3.7	4.5	2.8	5.0
高齢者の見守りや生きがいづくりなどの支援	10.7	10.0	9.3	11.6	11.2	13.6	10.5	11.7
健康づくりや介護予防の場づくり	5.5	6.2	5.2	5.9	4	7.6	3.2	6.7
日常生活で困ったときの助け合い	16.8	17.3	15.9	15.6	15.0	12.1	14.9	16.7
町内活動など、自分たちの町を大切にする取り組み	5.4	8.5	7.6	5.7	7.9	10.6	7.7	8.3
防災活動や災害のときの助け合い	13.1	14.3	16.6	14.4	15.3	13.6	15.7	8.3
病気・けがなど緊急時の助け合い	14.8	11.7	11.0	13.7	11.6	7.6	15.3	18.3
その他	0.7	0.2	0.2	0.9	0.7	0	1.2	1.7
大切なことは特にない	0.7	0.6	0.4	1.4	0.5	0	1.2	1.7
無回答	0.7	0.2	0.1	0.2	0.3	0	0	1.7

【職業別】

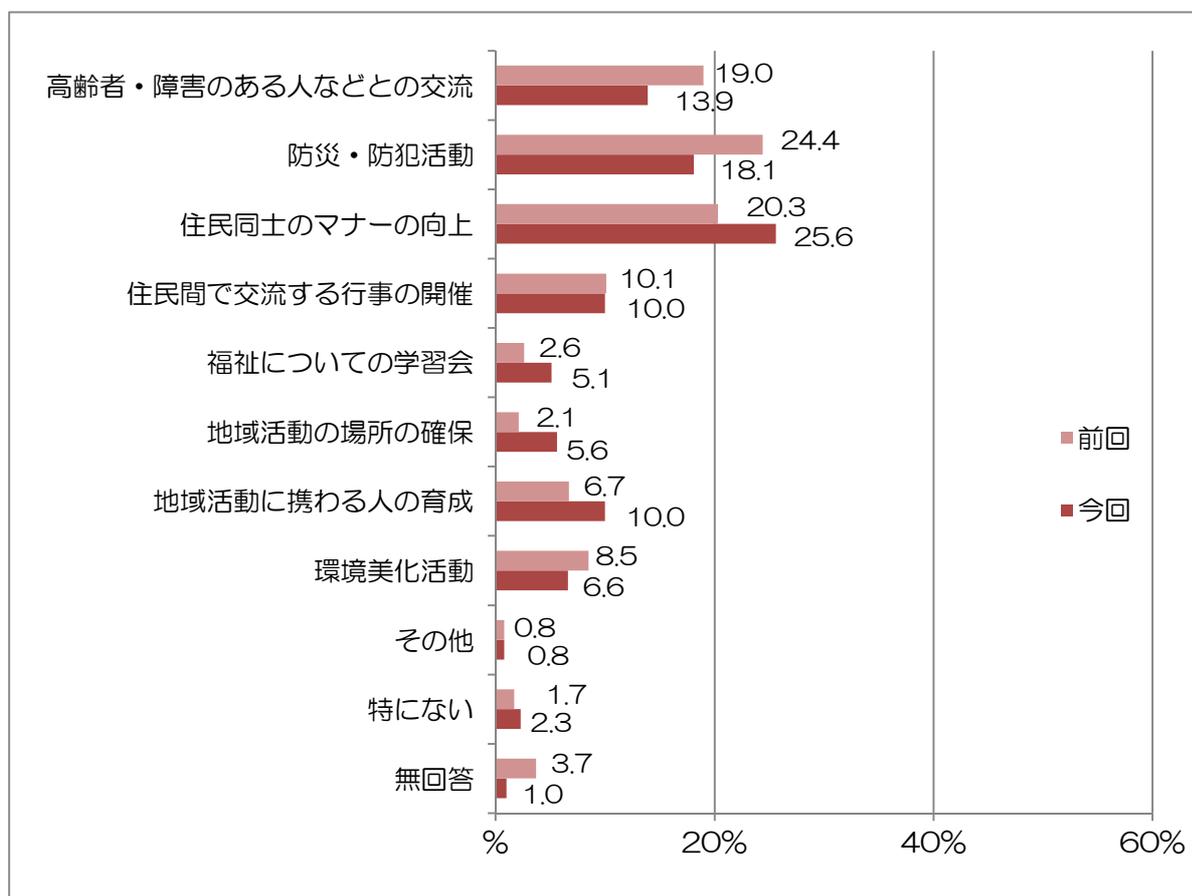
構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
日常のあいさつなどによる、人と人とのふれあい	25.9	25.1	28.1	28.3	26.2	35.6	28.5	30.9	25.9
自分の考えを発表したり、話し合うことのできる場づくり	0.9	0.5	1.6	2.4	1.5	1.0	2.5	0.8	1.9
子育てやしつけなど、子どもの問題を一緒に考える仲間づくり	6.2	4.3	2.6	1.9	3.4	5.8	1.2	3.3	3.7
高齢者の見守りや生きがいづくりなどの支援	9.6	9.8	7.9	11.3	11.3	14.4	10.3	7.3	9.3
健康づくりや介護予防の場づくり	4.3	5.4	7.0	7.5	6.7	2.9	6.1	4.1	5.6
日常生活で困ったときの助け合い	14.9	18.0	15.6	16.5	16.3	15.4	16.6	13.0	14.8
町内活動など、自分たちの町を大切にす る取り組み	8.7	5.6	7.0	11.3	7.3	2.9	7.8	4.1	7.4
防災活動や災害のときの助け合い	17.4	17.2	17.9	9.0	15.4	14.4	11.7	17.1	5.6
病気・けがなど緊急時の助け合い	11.1	13.0	10.5	11.3	11.2	7.7	13.4	16.3	18.5
その他	0.3	0.5	0.9	0	0.4	0	0.3	2.4	1.9
大切なことは特にな い	0.7	0.6	0.7	0.5	0.3	0	0.8	0.8	3.7
無回答	0.1	0	0.2	0	0	0	0.7	0	1.9

問12 誰もが暮らしやすい福祉のまちをつかっていくために、地域住民として取り組むべきことは何だと思えますか。次の中から2つ以上に○をつけてください。

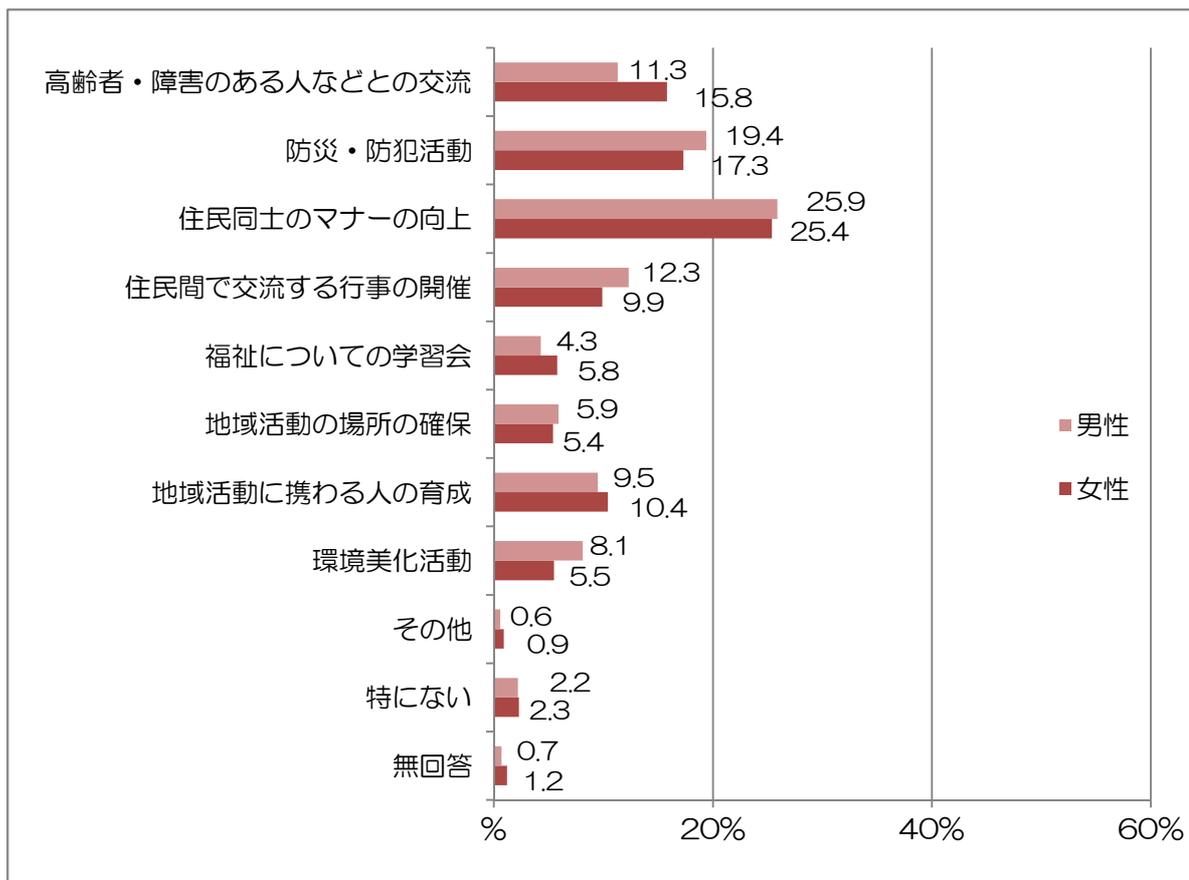
●「住民同士のマナーの向上」が多い

回答者の3割近くが「住民同士のマナーの向上」(25.6%)を意識していることがわかります。次いで「防災・防犯活動」(18.1%)「高齢者・障害のある人などとの交流」(13.9%)「住民間で交流する行事の開催」(10.9%)など、地域内の交流についても関心が高いことがわかります。

前回調査と比較すると、若干ではありますが、各項目が全体的に変動していることがわかります。差が大きいものとしては、「高齢者・障害のある人との交流」が5.1%、「防災・防犯活動」が6.3%低く、「住民同士のマナーの向上」が5.3%高くなっています。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~ 64歳	65~ 69歳	70 歳代	80歳 以上	無 回答
高齢者・障害のある人 などとの交流	16.4	9.5	11.9	14.0	12.6	11.3	15.2	23.1	24.0
防災・防犯活動	22.5	23.1	21.4	18.0	17.6	17.4	14.2	12.3	8.0
住民同士のマナーの向上	25.3	29.0	29.3	25.6	25.0	22.8	23.5	24.0	24.0
住民間で交流する 行事の開催	10.5	11.9	7.5	9.7	9.6	11.8	15.0	10.2	20.0
福祉についての学習会	2.8	3.5	6.0	6.4	5.1	5.7	4.6	5.6	0
地域活動の場所の確保	3.4	5.0	4.5	6.1	7.2	7.2	5.9	4.8	0
地域活動に携わる人 の育成	7.1	7.4	9.9	10.2	13.1	11.8	10.8	7.9	12.0
環境美化活動	7.1	6.3	6.1	7.1	7.0	7.4	6.3	6.3	4.0
その他	1.5	1.1	0.7	1.0	0.5	0.5	0.7	0.2	0
特にない	2.5	2.6	2.3	0.9	1.6	2.5	2.9	3.8	4.0
無回答	0.9	0.8	0.5	0.9	0.8	1.4	0.9	1.9	4.0

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
高齢者・障害のある人 などとの交流	13.3	15.0	16.3	13.4	22.6	14.3	13.5	25.0
防災・防犯活動	18.8	11.7	19.4	15.6	16.8	13.2	18.7	8.3
住民同士のマナーの向上	26.6	16.7	22.6	25.9	25.8	21.6	22.9	25.0
住民間で交流する行事の開催	10.3	11.7	10.8	15.2	6.5	13.6	11.9	12.5
福祉についての学習会	5.2	5.0	3.5	3.6	5.8	8.1	5.2	0
地域活動の場所の確保	5.2	5.0	5.6	7.5	4.5	6.2	8.0	0
地域活動に携わる人の育成	10.0	20.0	9.0	8.4	8.4	14.3	8.9	16.7
環境美化活動	6.5	11.7	9.7	5.9	3.9	4.8	8.0	4.2
その他	0.8	1.7	0.3	0.9	0.6	1.1	0.3	0
特にない	2.3	1.7	1.7	2.3	3.2	2.9	1.5	4.2
無回答	1.0	0	1.0	1.4	1.9	0	1.2	4.2

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり 暮らし 世帯	夫婦 のみの 世帯	夫婦と 子の 世帯	ひとり 親と子 の世帯	3世代 世帯	4世代 以上	その他 (兄弟姉妹 同居、親族以外 の同居など)	無 回答
高齢者・障害のある人 などとの交流	18.8	13.1	12.8	14.3	14.9	16.0	11.9	24.3
防災・防犯活動	17.2	16.8	20.5	15.6	16.9	14.0	16.1	8.1
住民同士のマナーの向上	21.9	26.9	26.8	28.7	21.0	28.0	20.8	27.0
住民間で交流する行事の開催	8.5	12.2	11.3	7.8	11.8	14.0	9.5	8.1
福祉についての学習会	5.7	4.4	4.5	5.3	7.5	4.0	7.7	0
地域活動の場所の確保	4.0	5.8	5.5	4.9	6.8	8.0	7.1	2.7
地域活動に携わる人の育成	10.3	9.9	9.1	11.6	11.5	8.0	11.3	16.2
環境美化活動	6.5	6.8	6.6	6.0	6.3	6.0	8.3	5.4
その他	1.4	0.6	0.6	1.3	0.5	0	1.2	0
特にない	3.6	2.5	1.6	3.6	1.4	2.0	4.8	5.4
無回答	2.0	0.9	0.7	0.9	1.4	0	1.2	2.7

【職業別】

構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
高齢者・障害のある人 などとの交流	10.9	14.5	10.4	16.2	14.8	20.8	16.0	14.1	25.6
防災・防犯活動	21.5	19.5	21.4	9.9	17.6	18.1	14.5	14.1	7.7
住民同士のマナーの 向上	25.6	27.9	26.9	26.1	24.9	31.9	23.8	30.4	25.6
住民間で交流する 行事の開催	11.8	8.4	12.0	16.9	10.6	8.3	11.2	8.7	12.8
福祉についての学習会	4.9	5.9	4.9	4.2	5.6	2.8	4.8	4.3	2.6
地域活動の場所の確保	5.4	5.1	4.9	4.2	6.2	4.2	6.1	4.3	5.1
地域活動に携わる人 の育成	10.2	8.4	9.7	12.7	10.4	8.3	10.3	12.0	7.7
環境美化活動	6.8	6.6	5.8	4.2	6.6	4.2	7.2	7.6	2.6
その他	0.7	1.0	0.3	1.4	0.6	1.4	0.7	1.1	0
特になし	1.4	1.6	2.6	3.5	2.1	0	3.7	3.3	5.1
無回答	0.7	1.0	1.3	0	0.7	0	1.6	0	5.1

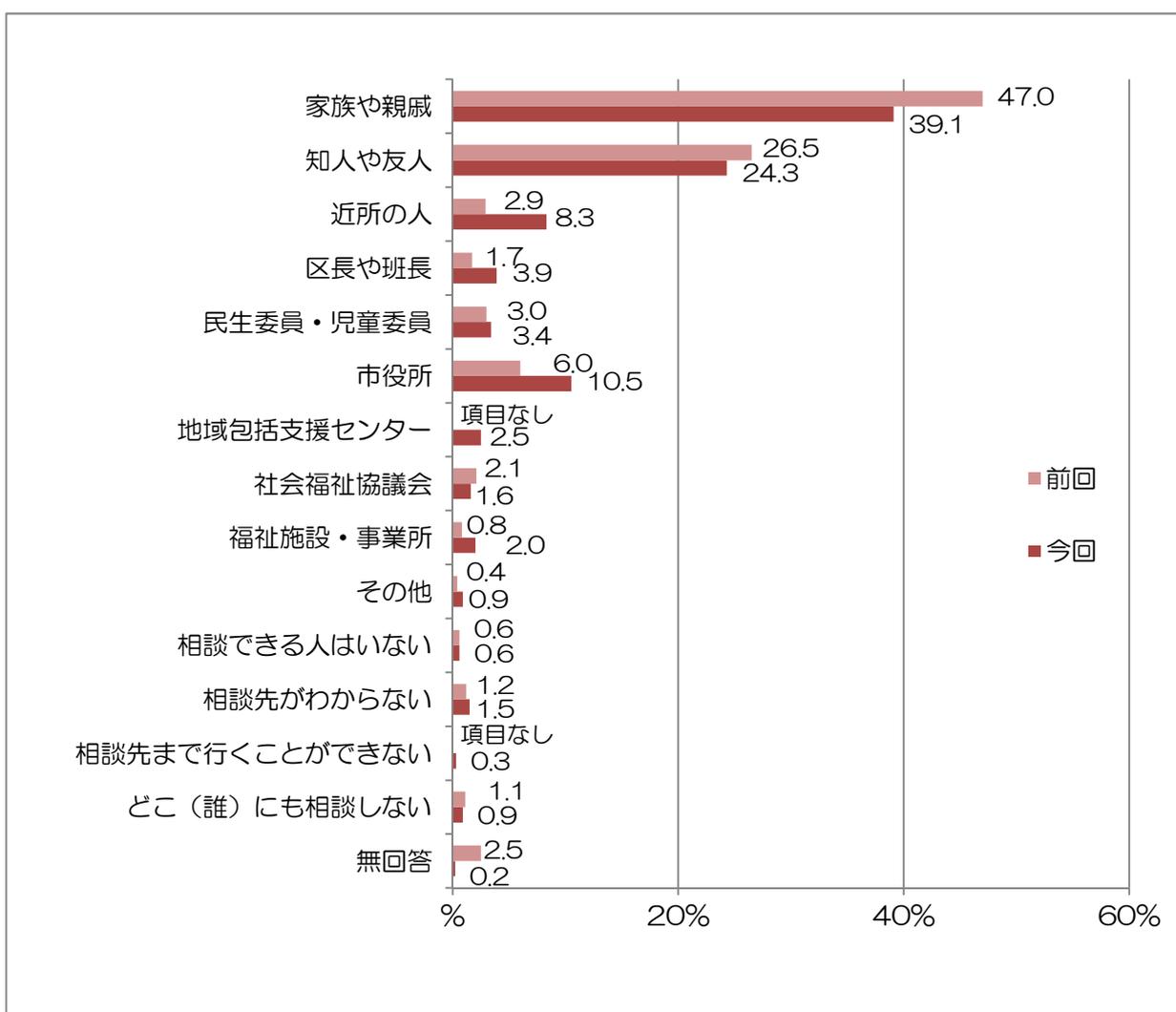
問13 あなたは、生活の中で困ったことが起こったら、どこ（誰）に相談しますか。  
次の中から3つ以内に○をつけてください。

●「家族や親戚」が非常に多い

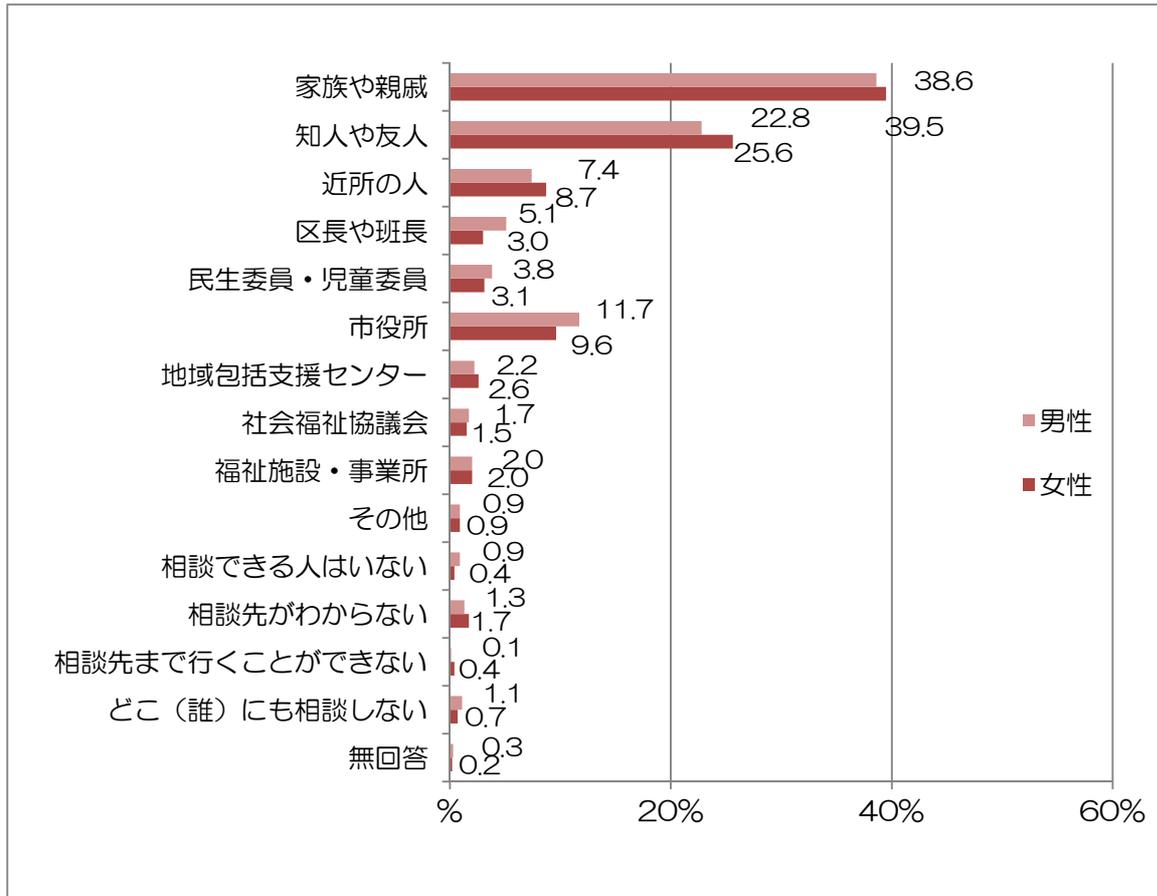
回答者の4割近くが「家族や親戚」（39.1%）に相談していることがわかります。

前回調査と比較すると、若干ではありますが、各項目が全体的に変動している事がわかります。また、「家族や親戚」が7.9%、「知人や友人」が2.2%と低くなっており、近しい人に相談する人が少なくなっていることがわかります。逆に高くなっているのは、「近所の人」が5.4%、「市役所」が4.5%となっています。

なお、「地域包括支援センター」「相談先まで行くことができない」は今回調査で新たに加わった項目です。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~ 64 歳	65~ 69 歳	70 歳代	80 歳 以上	無 回答
家族や親戚	42.7	42.8	42.5	39.1	37.3	36.3	36.2	38.5	37.8
知人や友人	37.0	33.9	32.1	26.6	22.6	20.2	17.2	11.4	10.8
近所の人	3.6	5.0	3.8	6.9	8.7	10.5	12.2	12.9	13.5
区長や班長	0.7	1.6	2.2	3.9	3.8	3.6	6.7	6.2	13.5
民生委員・児童委員	0.2	0.7	0.4	1.4	3.0	4.4	6.9	9.2	5.4
市役所	7.9	10.6	10.8	11.5	14.4	11.1	9.5	6.2	13.5
地域包括支援センター	0.5	0.6	1.3	2.2	3.4	3.7	3.1	4.5	2.7
社会福祉協議会	0.5	0.4	0.4	1.3	2.3	2.5	2.7	1.8	0
福祉施設・事業所	1.7	0.2	1.3	2.1	2.0	3.0	2.3	3.6	0
その他	1.4	1.1	1.6	0.9	0.5	0.5	0.6	1.0	0
相談できる人はいない	0.7	0.5	0.6	0.6	0.5	0.9	0.6	0.4	0
相談先がわからない	1.9	2.3	2.0	2.6	0.9	1.2	0.6	0.6	0
相談先まで行くことが できない	0	0	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	1.0	0
どこ（誰）にも 相談しない	1.0	0.2	0.8	0.6	0.6	1.6	0.8	2.2	0
無回答	0.2	0	0.1	0.2	0.1	0.4	0.2	0.3	2.7

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
家族や親戚	38.9	37.2	41.9	40.0	41.2	39.4	36.7	39.5
知人や友人	24.8	19.8	24.9	25.9	27.9	18.8	21.8	10.5
近所の人	7.8	12.8	10.2	5.9	8.3	12.5	9.8	10.5
区長や班長	3.7	4.7	3.9	4.7	1.5	5.0	4.7	13.2
民生委員・児童委員	3.4	5.8	2.9	3.4	2.9	4.2	3.8	5.3
市役所	11.3	5.8	8.9	9.2	8.8	8.1	8.9	13.2
地域包括支援センター	2.3	2.3	2.6	2.2	4.4	2.1	4.0	5.3
社会福祉協議会	1.3	4.7	1.6	2.0	2.0	1.8	2.9	0
福祉施設・事業所	1.9	2.3	1.6	2.4	0	2.6	3.3	0
その他	0.9	2.3	0.3	1.4	0	2.1	0	0
相談できる人はいない	0.7	0	0	0.3	0.5	1.0	0.2	0
相談先がわからない	1.6	1.2	0.3	0.8	1.0	2.1	2.4	0
相談先まで行くことができない	0.3	0	0.3	0	0.5	0	0.4	0
どこ（誰）にも相談しない	1.0	1.2	0.8	1.4	1.0	0	0.7	0
無回答	0.2	0	0	0.3	0	0.3	0.2	2.6

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
家族や親戚	35.8	37.3	41.1	39.2	39.8	38.5	37.7	37.9
知人や友人	22.9	20.9	27.8	20.6	24.7	24.6	25.4	20.7
近所の人	10.0	10.7	6.8	7.7	7.5	7.7	4.8	6.9
区長や班長	3.7	4.4	3.3	4.7	4.6	1.5	3.1	12.1
民生委員・児童委員	7.8	4.1	2.0	3.3	3.8	1.5	2.2	5.2
市役所	7.8	11.2	11.1	9.3	10.1	15.4	9.6	10.3
地域包括支援センター	1.9	2.9	2.1	3.9	2.4	3.1	2.6	1.7
社会福祉協議会	1.6	2.3	1.2	1.6	0.8	0	3.5	0
福祉施設・事業所	1.6	2.4	1.3	2.4	2.1	6.2	4.8	0
その他	1.8	0.6	0.6	1.3	1.5	0	1.8	0
相談できる人はいない	1.0	0.7	0.3	1.6	0.4	0	0.9	0
相談先がわからない	0.7	1.3	1.6	2.3	1.4	0	2.6	3.4
相談先まで行くことができない	0.6	0.2	0.2	0.7	0.1	0	0	0
どこ(誰)にも相談しない	1.9	0.9	0.7	1.3	0.8	1.5	0.4	0
無回答	0.6	0.2	0.1	0.2	0.1	0	0.4	1.7

【職業別】

構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート 等)	自営 (商工 業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
家族や親戚	41.1	39.6	40.9	37.3	38.7	46.7	36.9	36.2	32.1
知人や友人	30.6	28.2	26.7	16.0	23.6	43.3	15.6	28.4	17.9
近所の人	5.7	6.2	8.2	14.6	9.9	4.4	10.3	6.0	8.9
区長や班長	3.0	3.4	3.6	5.2	3.2	0	6.0	1.7	8.9
民生委員・児童委員	1.3	1.7	1.8	8.5	3.0	0	7.1	1.7	3.6
市役所	11.2	10.7	9.5	8.0	10.6	0	10.3	12.9	16.1
地域包括支援センター	1.4	2.3	0.8	4.2	3.5	0	3.1	1.7	3.6
社会福祉協議会	0.6	1.3	1.8	0.9	2.0	0	2.3	1.7	3.6
福祉施設・事業所	0.9	1.8	1.8	2.4	2.2	0	3.1	2.6	1.8
その他	1.0	1.1	1.3	0.5	0.4	2.2	0.9	2.6	0
相談できる人はいない	0.4	0.7	0.8	0.5	0.5	0	0.7	2.6	0
相談先がわからない	1.8	2.3	1.0	0.9	1.2	3.3	1.1	0.9	1.8
相談先まで行く ことができない	0.0	0.1	0	0	0.3	0	0.7	0	0
どこ(誰)にも 相談しない	0.7	0.7	1.5	0.9	0.7	0	1.4	0.9	0
無回答	0.1	0.1	0.3	0	0.1	0	0.5	0	1.8

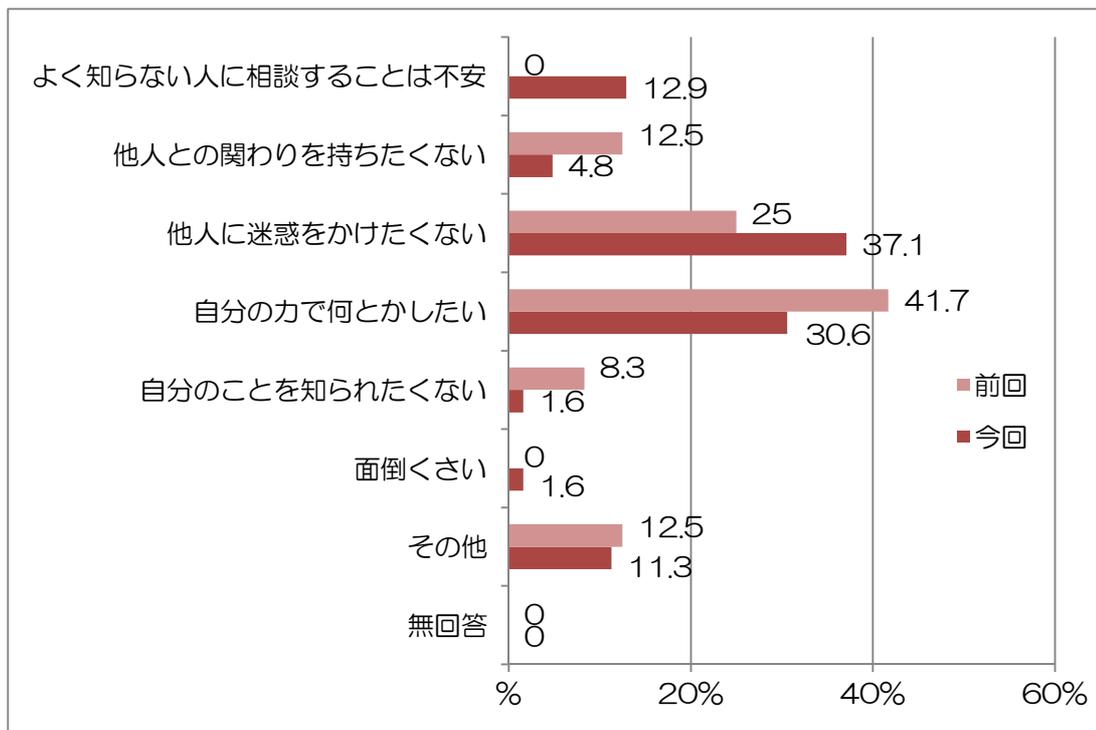
問14 問13で、「14. どこ（誰）にも相談しない」を選んだ人はお答えください。  
相談しない理由は何ですか。1つだけに○をつけてください。

●「他人に迷惑をかけたくない」「自分の力で何とかしたい」が多い

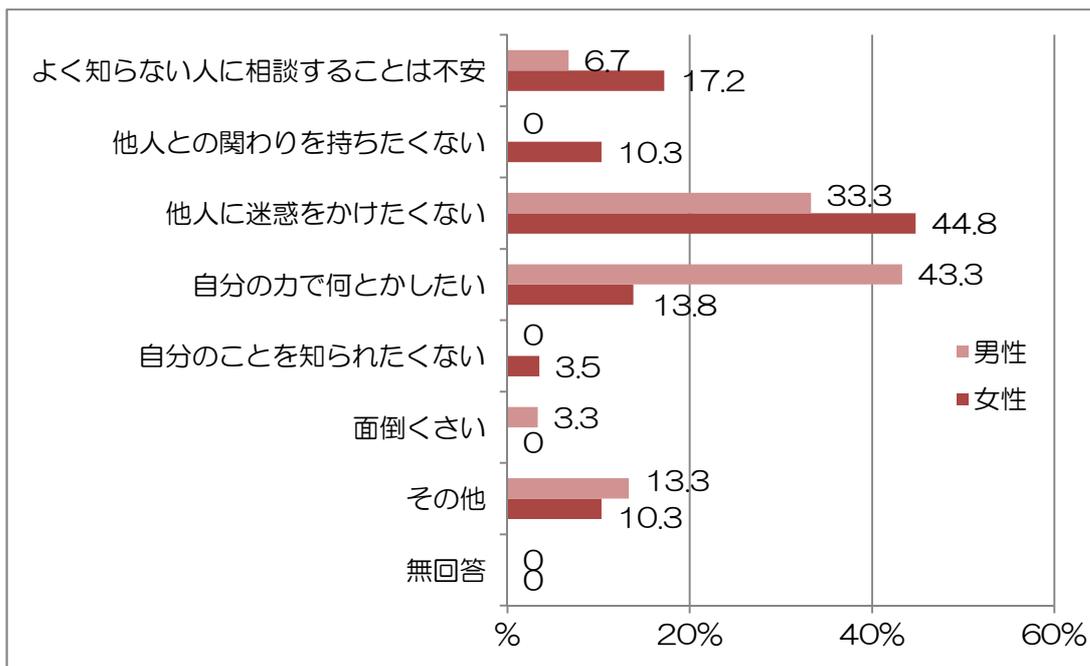
「他人に迷惑をかけたくない」(37.1%)、次いで「自分の力で何とかしたい」(30.6%)が非常に多いことがわかります。

前回調査と比較すると、全体的に大きく変動していることがわかります。

高くなっているのは「よく知らない人に相談することは不安」が12.9%、「他人に迷惑をかけたくない」が12.1%の2項目で、低くなっているのは「他人とのかかわりを持ちたくない」が7.7%、「自分の力で何とかしたい」が11.1%、「自分のことを知られたくない」が6.7%です。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65~69歳	70歳代	80歳以上	無回答
よく知らない人に相談することは不安	25.0	0	37.5	16.7	0	8.3	10.0	6.7	0
他人との関わりを持ちたくない	25.0	0	0	0	0	0	20.0	0	0
他人に迷惑をかけたくない	25.0	0	12.5	50.0	20.0	41.7	50.0	46.7	0
自分の力で何とかしたい	25.0	50.0	37.5	33.3	40.0	33.3	20.0	26.7	0
自分のことを知られたくない	0	0	0	0	0	0	0	6.7	0
面倒くさい	0	0	0	0	0	8.3	0	0	0
その他	0	50.0	12.5	0	40.0	8.3	0	13.3	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
よく知らない人に相談することは不安	11.1	0	0	25.0	0	0	33.3	0
他人との関わりを持ちたくない	6.7	0	0	0	0	0	0	0
他人に迷惑をかけたくない	42.2	0	66.7	12.5	0	0	33.3	0
自分の力で何とかしたい	22.2	100	33.3	62.5	50.0	0	33.3	0
自分のことを知られたくない	0	0	0	0	50.0	0	0	0
面倒くさい	2.2	0	0	0	0	0	0	0
その他	15.6	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
よく知らない人に相談することは不安	7.7	12.5	11.8	25.0	16.7	0	0	0
他人との関わりを持ちたくない	7.7	6.3	5.9	0	0	0	0	0
他人に迷惑をかけたくない	38.5	37.5	23.5	12.5	83.3	100	100	0
自分の力で何とかしたい	23.1	31.3	47.1	37.5	0	0	0	0
自分のことを知られたくない	7.7	0	0	0	0	0	0	0
面倒くさい	7.7	0	0	0	0	0	0	0
その他	7.7	12.5	11.8	25.0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

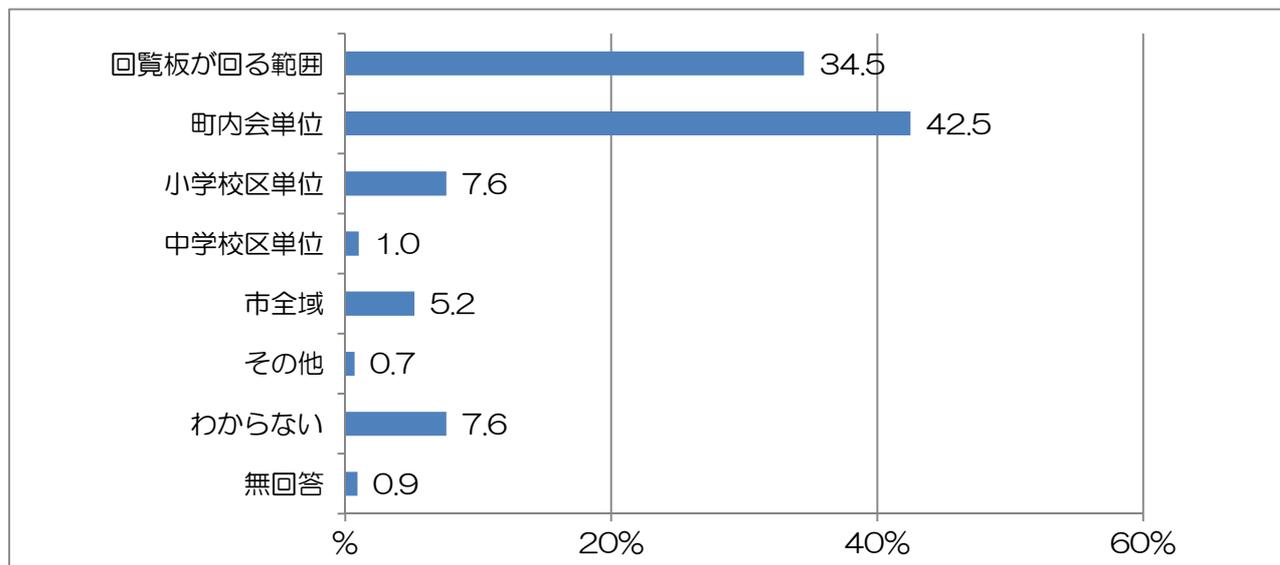
【職業別】

構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
よく知らない人に相談することは不安	33.3	14.3	0	50.0	0	0	8.3	0	0
他人との関わりを持ちたくない	8.3	0	0	0	10.0	0	4.2	0	0
他人に迷惑をかけたくない	8.3	42.9	66.7	0	50.0	0	37.5	100	0
自分の力で何とかしたい	41.7	42.9	33.3	50.0	30.0	0	20.8	0	0
自分のことを知られたくない	0	0	0	0	0	0	4.2	0	0
面倒くさい	0	0	0	0	0	0	4.2	0	0
その他	8.3	0	0	0	10.0	0	20.8	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

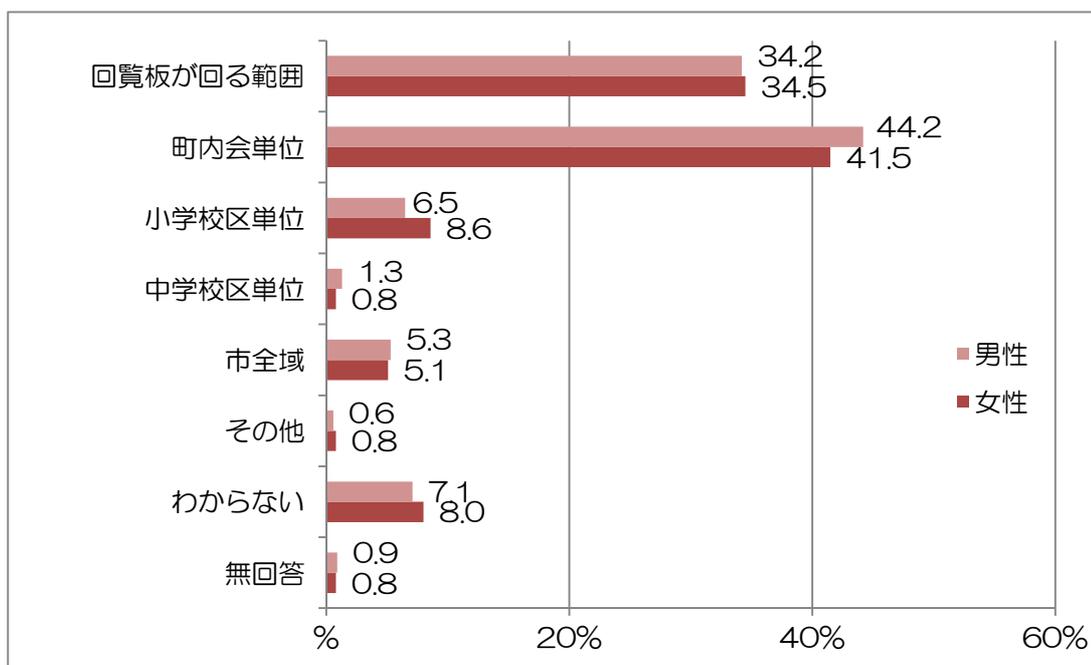
問15 あなたは、地域での支え合いにふさわしいのはどの範囲だと思いますか。  
1つだけに○をつけてください。

●比較的狭い範囲がふさわしいと考える人が7割以上を占める

「町内会単位」(42.5%)「回覧板が回る範囲」(34.5%)と、比較的狭い範囲を回答した人が非常に多く、上記2つの回答を合わせると、回答全体の7割以上を占めていることがわかります。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~ 64歳	65~ 69歳	70 歳代	80歳 以上	無 回答
回覧板が回る範囲	28.4	25.7	30.2	28.1	33.8	38.1	41.7	49.3	60.0
町内会単位	38.7	40.2	38.3	47.5	45.3	43.8	44.2	39.7	26.7
小学校区単位	8.8	16.1	11.0	8.7	6.0	5.3	3.9	0.7	0
中学校区単位	2.6	1.1	0.7	1.1	1.6	0.6	0.4	1.1	0
市全域	7.2	7.1	5.6	4.7	4.9	5.0	5.1	2.1	6.7
その他	0.5	0.5	0.9	1.1	0.8	0.9	0.2	0.7	0
わからない	13.4	8.2	12.5	8.3	6.6	5.9	3.7	4.3	0
無回答	0.5	1.1	0.9	0.4	0.8	0.3	0.8	2.1	6.7

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
回覧板が回る範囲	32.0	47.1	40.4	36.3	34.8	39.3	45.7	50.0
町内会単位	44.1	32.4	44.0	42.9	41.3	37.4	31.5	31.3
小学校区単位	8.3	2.9	4.8	4.6	5.4	9.8	7.6	0
中学校区単位	1.0	0	0	0.4	3.3	2.5	1.1	0
市全域	5.7	5.9	3.0	3.9	6.5	4.3	3.8	6.3
その他	0.5	5.9	1.2	0.8	1.1	0	1.6	0
わからない	7.3	5.9	6.6	10.0	7.6	6.7	8.7	6.3
無回答	1.1	0	0	1.2	0	0	0	6.3

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
回覧板が回る範囲	39.7	36.6	32.0	40.3	29.3	26.9	32.0	50.0
町内会単位	35.6	45.1	45.0	36.2	45.2	26.9	33.0	20.8
小学校区単位	3.4	5.0	10.4	3.0	10.9	15.4	7.8	8.3
中学校区単位	0.7	0.4	0.8	2.2	1.5	7.7	2.9	0
市全域	7.5	4.7	4.2	6.7	6.2	15.4	2.9	8.3
その他	0.3	0.7	0.6	0.7	1.5	0	1.0	0
わからない	10.5	6.3	6.7	10.4	4.7	7.7	19.4	8.3
無回答	2.4	1.2	0.3	0.4	0.9	0	1.0	4.2

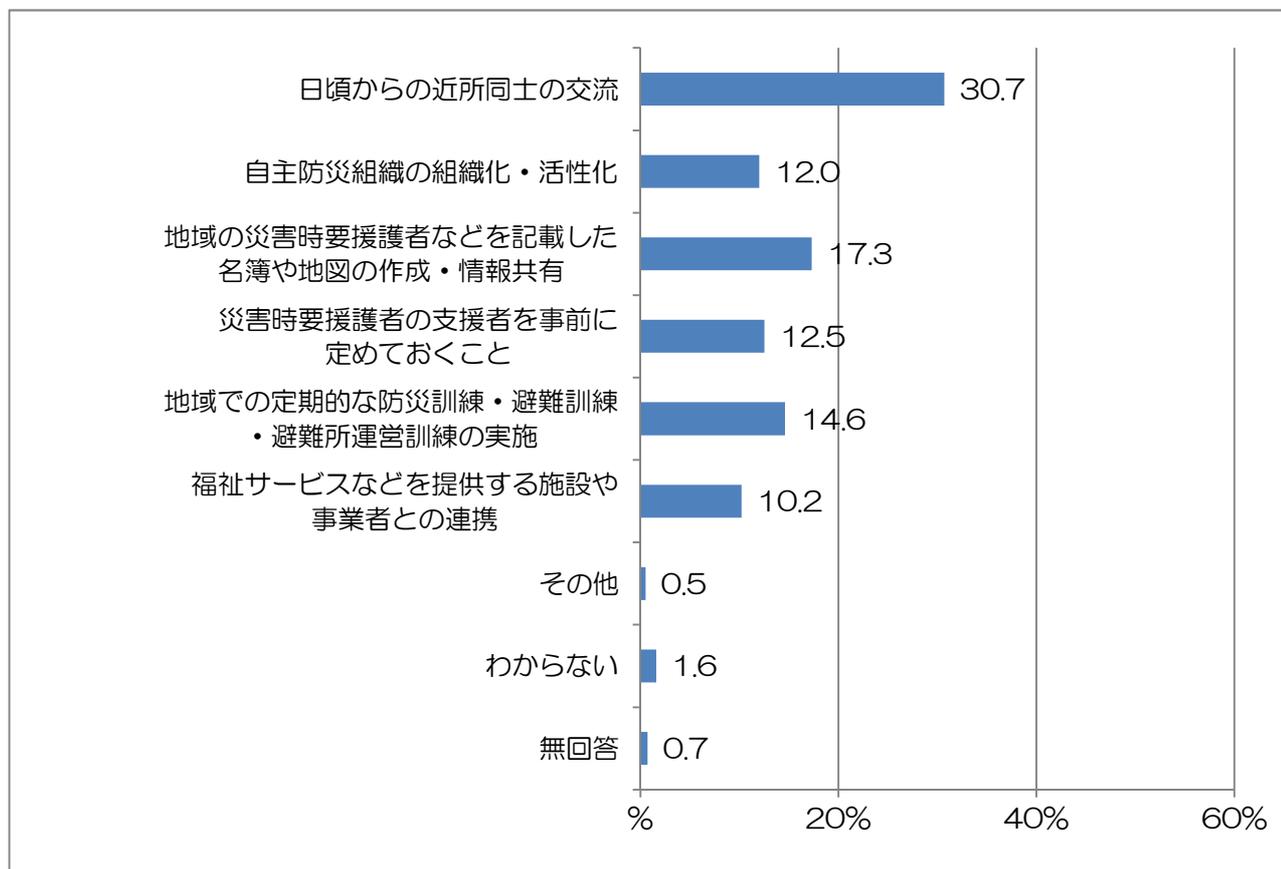
【職業別】

構成比 (%)	勤めている (常勤)	勤めている (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水産業)	主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
回覧板が回る範囲	31.0	30.8	27.1	45.1	35.1	34.9	40.0	38.2	41.7
町内会単位	42.2	39.2	49.7	30.5	45.5	46.5	43.1	30.9	29.2
小学校区単位	10.2	10.9	6.8	9.8	7.1	7.0	3.1	14.5	0
中学校区単位	1.0	0.9	1.1	1.2	0.8	7.0	0.8	1.8	0
市全域	5.9	5.3	7.9	4.9	3.6	2.3	5.4	1.8	8.3
その他	0.9	0.9	0	2.4	0.5	0	0.4	3.6	0
わからない	8.1	12.0	5.6	6.1	6.8	2.3	5.8	9.1	4.2
無回答	0.6	0	1.7	0	0.7	0	1.4	0	16.7

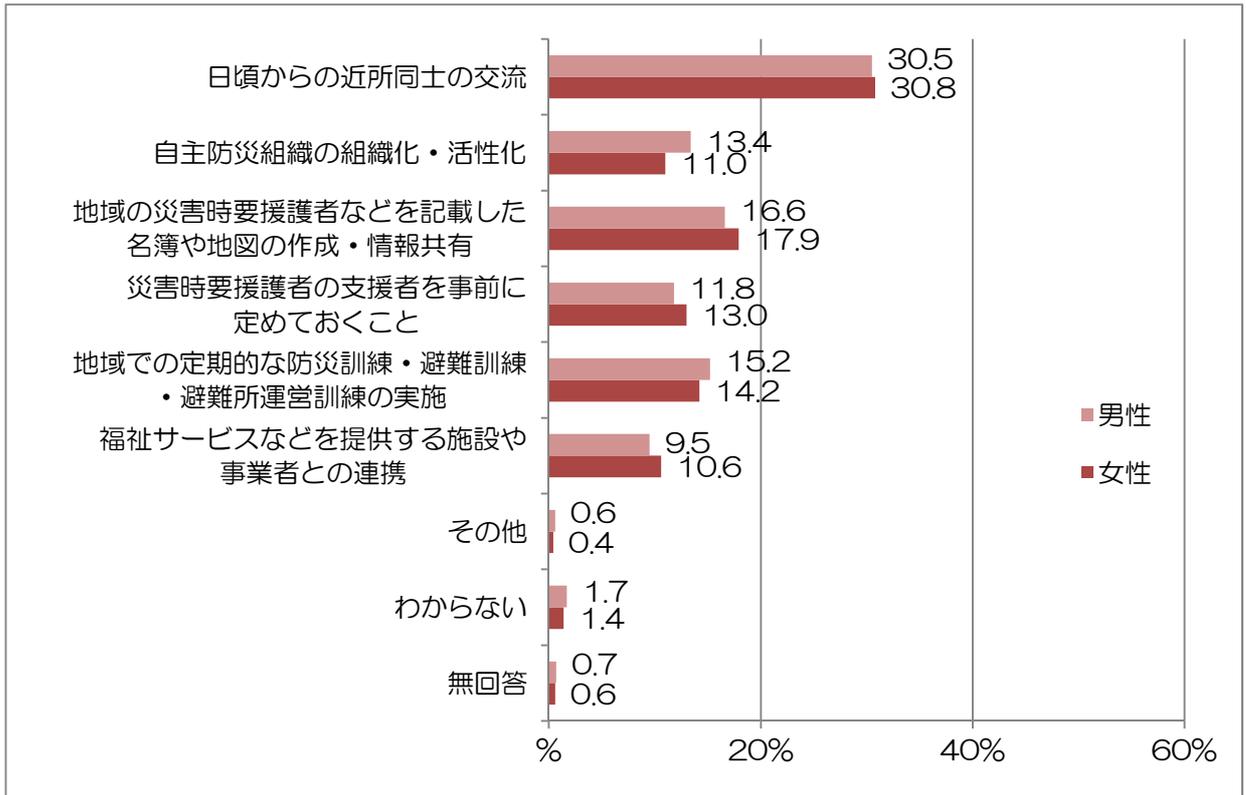
問16 災害時に地域で支え合うためには、地域住民としてどのようなことが必要だと思いますか。  
あてはまるものにすべて○をつけてください。

●「日頃からの近所同士の交流」が多い

「日頃からの近所同士の交流」(30.7%)が多いことがわかります。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60～ 64歳	65～ 69歳	70 歳代	80歳 以上	無 回答
日頃からの 近所同士の交流	28.9	29.9	28.4	29.0	29.9	30.5	32.7	37.4	25.0
自主防災組織の 組織化・活性化	15.5	12.7	11.6	12.0	11.7	11.6	12.0	9.5	16.7
知己の災害時要援護者 などを記載した名簿や 地図の作成・情報共有	18.6	18.6	18.7	18.6	18.6	17.7	15.2	12.5	12.5
災害時要援護者の支援者 を事前に定めておくこと	11.1	9.8	11.5	12.8	13.0	13.9	13.5	14.0	8.3
地域での定期的な 防災訓練・避難訓練 ・避難所運営訓練の実施	12.8	17.0	16.4	14.8	14.2	15.1	13.9	11.0	12.5
福祉サービスなどを 提供する施設や 事業者との連携	9.8	9.8	9.7	9.9	10.3	8.9	10.3	13.1	8.3
その他	0.6	0.6	0.5	0.9	0.3	0.1	0.3	0.3	0
わからない	1.9	1.3	2.9	1.2	1.5	1.3	1.1	1.7	4.2
無回答	0.8	0.2	0.4	0.7	0.4	0.9	1.0	0.8	12.5

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
日頃からの 近所同士の交流	30.3	34.2	33.3	30.8	30.2	31.4	32.2	30.4
自主防災組織の 組織化・活性化	12.4	10.5	11.7	11.0	10.1	10.7	10.7	8.7
知己の災害時要援護者 などを記載した名簿や 地図の作成・情報共有	17.4	13.2	16.9	18.0	16.1	19.1	15.5	13.0
災害時要援護者の支援者 を事前に定めておくこと	12.5	17.1	10.9	11.8	14.1	13.1	12.8	8.7
地域での定期的な 防災訓練・避難訓練 ・避難所運営訓練の実施	14.5	11.8	16.1	15.6	15.3	13.4	14.4	8.7
福祉サービスなどを 提供する施設や 事業者との連携	10.3	13.2	7.4	9.6	11.3	10.2	11.0	8.7
その他	0.4	0	0.8	0.8	0.8	0.3	0	0
わからない	1.5	0	1.4	1.6	0.4	1.6	2.7	4.3
無回答	0.6	0	1.4	0.8	1.6	0.3	0.7	17.4

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
日頃からの近所同士の交流	30.9	31.6	29.8	32.0	31.5	30.9	27.5	31.6
自主防災組織の組織化・活性化	11.3	11.9	12.8	10.1	11.6	13.2	10.5	7.9
知己の災害時要援護者などを記載した名簿や地図の作成・情報共有	14.6	17.7	17.7	17.5	16.8	13.2	19.4	21.1
災害時要援護者の支援者を事前に定めておくこと	14.3	13.4	11.7	13.4	12.1	11.8	10.1	10.5
地域での定期的な防災訓練・避難訓練・避難所運営訓練の実施	12.3	13.3	15.8	13.6	16.0	14.7	15.4	7.9
福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	11.1	9.6	10.0	10.1	10.3	13.2	12.6	7.9
その他	1.0	0.4	0.2	1.1	0.3	0	1.6	0
わからない	2.5	1.3	1.4	2.0	1.0	2.9	2.4	5.3
無回答	1.9	0.8	0.5	0.2	0.3	0	0.4	7.9

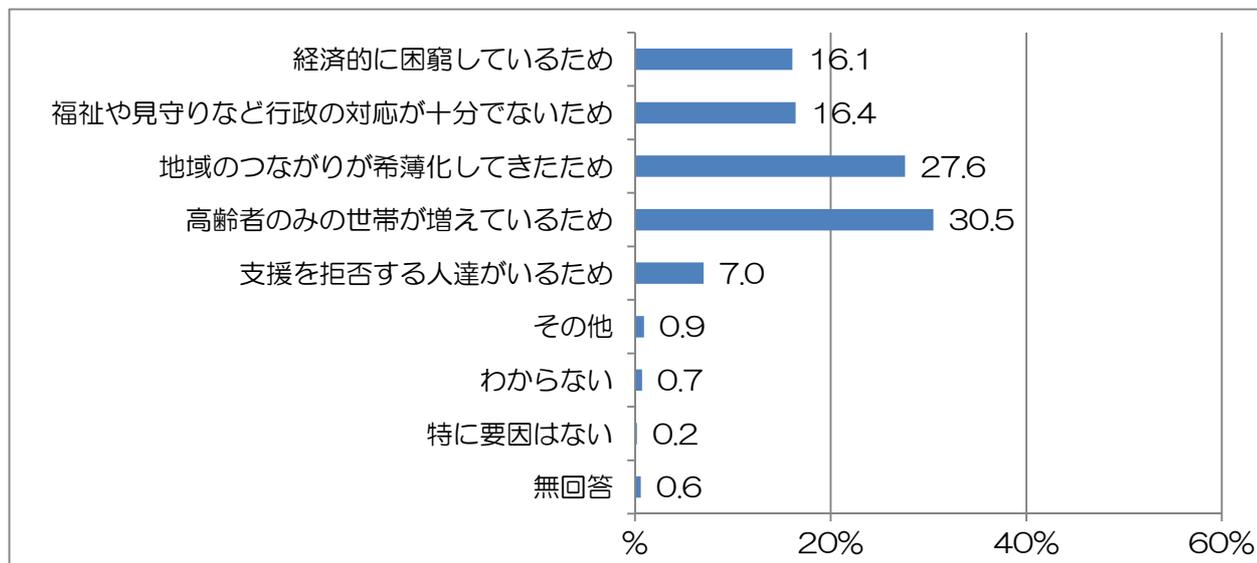
【職業別】

構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
日頃からの 近所同士の交流	28.8	29.3	31.0	35.4	31.0	31.4	32.9	27.6	32.6
自主防災組織の 組織化・活性化	12.7	11.1	12.9	11.3	11.6	12.7	11.5	17.1	4.7
知己の災害時要援護者 などを記載した名簿や 地図の作成・情報共有	17.8	17.7	19.0	14.4	17.6	22.0	15.8	19.5	14.0
災害時要援護者の支援 者を事前に定めておく こと	12.2	12.2	13.1	13.3	12.9	15.3	12.7	8.1	11.6
地域での定期的な防災 訓練・避難訓練・避難 所運営訓練の実施	15.5	16.7	13.1	13.3	14.5	11.9	13.6	9.8	9.3
福祉サービスなどを 提供する施設や 事業者との連携	10.5	9.7	8.3	10.8	10.7	6.8	10.0	11.4	14.0
その他	0.6	0.4	1.0	0.5	0.2	0	0.3	3.3	0
わからない	1.2	2.4	1.0	1.0	0.9	0	2.3	2.4	2.3
無回答	0.6	0.5	0.7	0	0.6	0	0.8	0.8	11.6

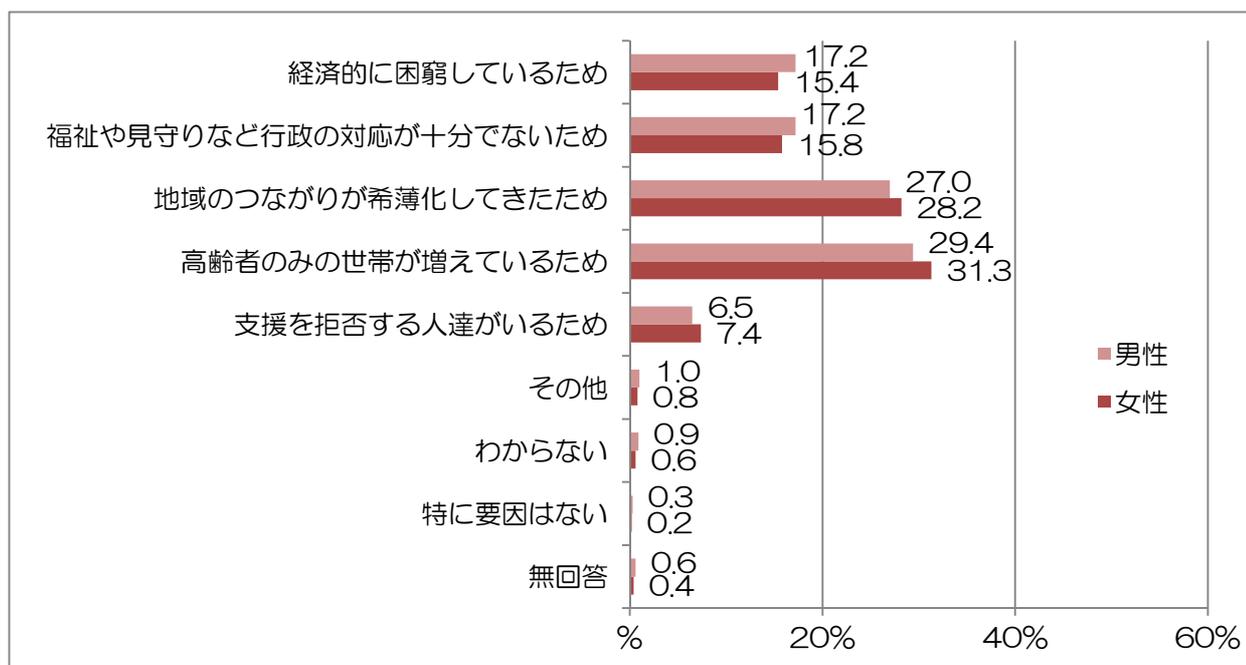
問17 最近、孤独死・孤立死に関する報道が相次いでいます。あなたは、なぜ孤独死・孤立死が起ってしまうと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

●「高齢者のみの世帯が増えているため」「地域のつながりが希薄化してきたため」が多い

「高齢者のみの世帯が増えているため」(30.5%)が多く、次いで「地域のつながりが希薄化してきたため」(26.7%)が多くなっていることがわかります。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳代	80歳以上	無回答
経済的に困窮しているため	14.7	14.8	15.6	15.4	17.3	16.3	17.6	16.4	15.4
福祉や見守りなど行政の対応が十分でないため	17.7	16.0	15.0	16.9	16.2	17.1	16.8	15.6	11.5
地域のつながりが希薄化してきたため	28.1	28.4	27.6	27.7	27.5	29.1	26.6	26.7	19.2
高齢者のみの世帯が増えているため	31.1	33.0	33.0	30.1	28.7	28.7	29.3	30.7	34.6
支援を拒否する人達がいるため	4.7	6.1	6.4	8.2	8.2	7.7	6.8	6.5	3.8
その他	2.3	1.0	1.0	0.8	0.9	0.3	0.6	0.6	0
わからない	1.1	0.2	1.1	0.4	0.5	0.5	1.0	1.3	0
特に要因はない	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.4	0.6	3.8
無回答	0.2	0.3	0.2	0.3	0.5	0.2	0.8	1.6	11.5

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
経済的に困窮しているため	16.4	16.9	16.8	14.7	16.0	16.4	14.9	14.8
福祉や見守りなど行政の対応が十分でないため	16.5	11.7	15.9	15.7	17.7	17.4	16.0	7.4
地域のつながりが希薄化してきたため	27.4	26.0	28.0	29.3	27.6	28.4	27.6	25.9
高齢者のみの世帯が増えているため	30.3	36.4	31.5	31.6	30.0	29.3	30.5	29.6
支援を拒否する人達がいるため	7.1	7.8	6.6	6.9	4.9	6.4	8.2	7.4
その他	1.0	0	0.2	0.5	1.6	0.5	0.6	0
わからない	0.8	0	0.5	0.6	0.8	1.0	0.6	0
特に要因はない	0.2	0	0.2	0.3	0	0.7	0.4	3.7
無回答	0.5	1.3	0.2	0.5	1.2	0	1.1	11.1

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
経済的に困窮しているため	17.9	15.6	15.8	17.4	16.1	15.6	14.4	19.1
福祉や見守りなど行政の対応が十分でないため	15.1	16.8	16.3	16.3	17.4	15.6	14.8	14.9
地域のつながりが希薄化してきたため	26.0	28.1	28.2	26.1	27.6	29.7	26.6	23.4
高齢者のみの世帯が増えているため	28.9	30.6	31.4	29.3	30.2	31.3	29.3	29.8
支援を拒否する人達がいるため	7.8	6.8	6.5	7.4	7.2	6.3	10.6	2.1
その他	1.2	0.9	0.7	1.2	0.8	1.6	1.1	0
わからない	1.1	0.4	0.6	1.9	0.4	0	1.9	0
特に要因はない	0.4	0.2	0.1	0.3	0.2	0	1.1	4.3
無回答	1.5	0.7	0.4	0.1	0.1	0	0	6.4

【職業別】

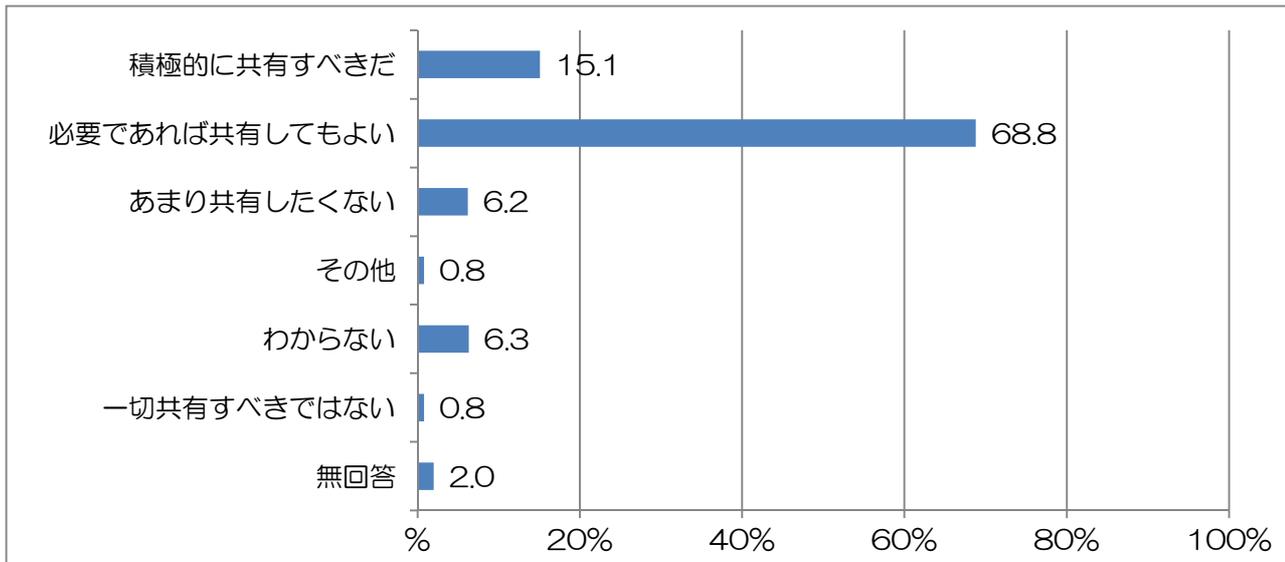
構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
経済的に困窮 しているため	15.3	16.6	16.9	15.7	15.2	11.9	17.7	16.9	15.2
福祉や見守りなど 行政の対応が 十分でないため	16.7	14.8	14.6	15.7	16.8	20.8	17.1	14.4	10.9
地域のつながりが 希薄化してきたため	28.4	27.7	27.8	28.8	27.7	30.7	26.4	28.8	19.6
高齢者のみの世帯が 増えているため	31.3	31.7	30.8	31.9	30.4	30.7	28.8	29.7	32.6
支援を拒否する人達が いるため	6.5	7.8	7.4	4.7	7.9	2.0	6.8	4.2	8.7
その他	1.0	0.5	0.5	1.6	0.9	2.0	0.7	3.4	0
わからない	0.4	0.7	0.7	0.5	0.6	2.0	1.2	0	2.2
特に要因はない	0.1	0.1	0.2	0.5	0.2	0	0.3	2.5	2.2
無回答	0.3	0.2	1.2	0.5	0.4	0	1.0	0	8.7

問18 あなたは、災害時の地域での支え合いや孤独死・孤立死の防止などのために、町内会等を単位とした支援者が必要な個人情報を共有することについて、どのように思いますか。1つだけに○をつけてください。

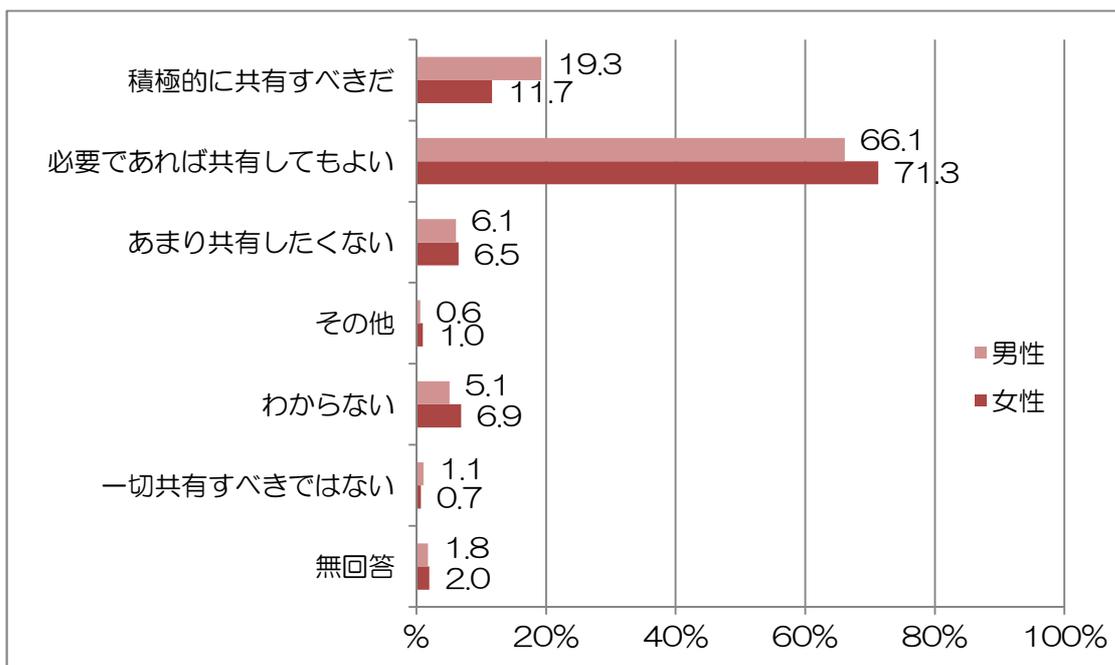
●「必要であれば共有してもよい」が全体の7割近くを占める

「必要であれば共有してもよい」(68.8%)が非常に多くなっています。

次いで多かった「積極的に共有すべきだ」(15.1%)も含めると、必要に応じた情報共有に賛成する回答者が8割を超えていることがわかります。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~ 64歳	65~ 69歳	70 歳代	80歳 以上	無 回答
積極的に共有すべきだ	11.9	11.2	9.8	10.9	12.1	13.4	21.4	31.2	26.7
必要であれば共有 してもよい	67.5	71.9	71.8	75.2	71.7	71.9	64.0	53.2	40.0
あまり共有したくない	11.9	6.6	6.9	4.7	8.0	6.9	4.5	3.9	0
その他	1.5	0.5	0.9	1.3	0.5	0.6	0.6	0.4	0
わからない	5.2	7.9	8.7	5.1	5.2	4.7	5.9	6.4	13.3
一切共有すべきではない	1.0	0.8	0.7	1.6	0.8	0.9	0.2	0.7	0
無回答	1.0	1.1	1.1	1.1	1.6	1.6	3.3	4.3	20.0

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉洺	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
積極的に共有すべきだ	14.2	11.8	15.1	16.2	19.6	22.7	14.7	25.0
必要であれば共有 してもよい	69.9	73.5	68.7	69.5	66.3	61.3	64.7	37.5
あまり共有したくない	6.3	8.8	7.8	6.6	2.2	4.9	7.1	0
その他	0.8	0	1.8	0	1.1	0	1.1	0
わからない	6.3	2.9	5.4	4.2	6.5	7.4	8.7	18.8
一切共有すべきではない	0.7	2.9	0	1.9	0	0.6	1.1	0
無回答	1.8	0	1.2	1.5	4.3	3.1	2.7	18.8

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
積極的に共有すべきだ	19.3	15.6	13.9	14.9	17.0	19.2	5.8	16.7
必要であれば共有してもよい	62.0	68.9	72.3	60.1	69.5	65.4	73.8	45.8
あまり共有したくない	7.1	5.2	6.0	10.4	5.0	7.7	6.8	4.2
その他	1.0	0.3	0.8	1.5	1.2	0	1.0	0
わからない	6.8	6.1	5.5	9.7	4.4	7.7	9.7	16.7
一切共有すべきではない	0.7	0.7	0.3	1.1	1.8	0	2.9	4.2
無回答	3.1	3.2	1.1	2.2	1.2	0	0	12.5

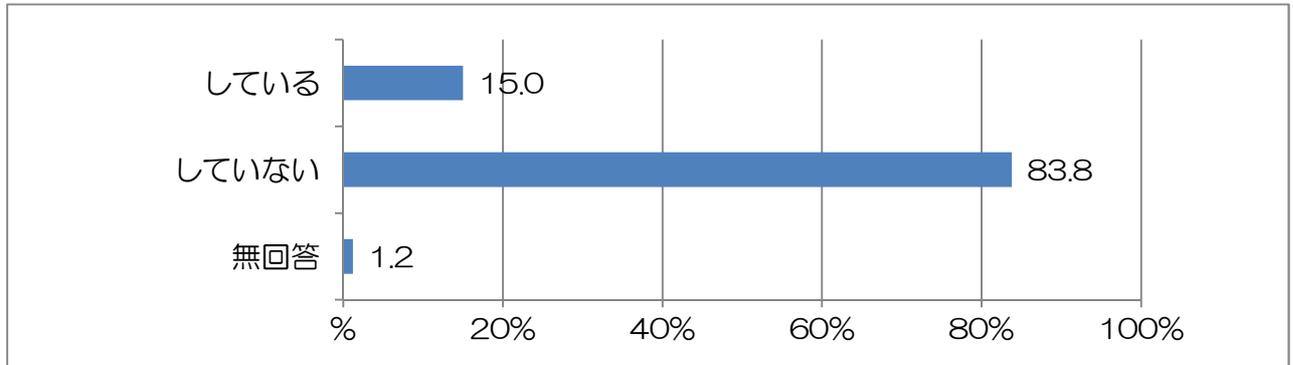
【職業別】

構成比 (%)	勤めている (常勤)	勤めている (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水産業)	主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
積極的に共有すべきだ	12.8	10.0	11.9	30.5	11.0	16.3	22.6	18.2	25.0
必要であれば共有してもよい	73.0	71.6	73.4	57.3	73.1	60.5	61.0	61.8	33.3
あまり共有したくない	6.2	6.9	3.4	9.8	5.8	11.6	6.3	5.5	8.3
その他	0.8	1.3	0.6	0	0.5	2.3	0.7	1.8	0
わからない	5.3	7.8	5.6	1.2	6.4	7.0	6.4	9.1	16.7
一切共有すべきではない	0.8	0.7	2.3	0	0.7	0	0.7	3.6	0
無回答	1.0	1.8	2.8	1.2	2.5	2.3	2.4	0	16.7

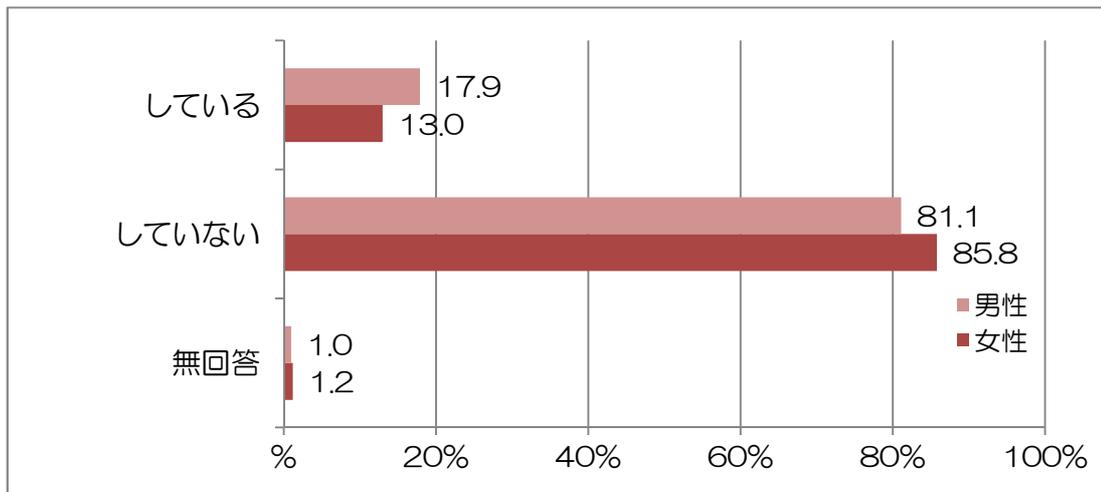
問19 あなたは、現在、ボランティア・市民活動をしていますか。

●「していない」(83.8%) が非常に多い

ボランティア・市民活動を「していない」(83.8%) の回答が非常に多いことがわかります。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65~69歳	70歳代	80歳以上	無回答
している	5.7	4.9	8.7	15.4	20.1	25.0	21.4	15.2	6.7
していない	94.3	94.5	90.8	83.7	79.7	74.1	76.8	80.9	73.3
無回答	1.2	0.5	0.4	0.9	0.3	0.9	1.8	3.9	20.0

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
している	14.2	17.6	17.5	16.2	22.8	15.3	15.8	12.5
していない	84.5	82.4	82.5	82.2	75.0	84.0	84.2	68.8
無回答	1.2	0	0	1.5	2.2	0.6	0	18.8

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
している	12.9	20.1	12.8	14.9	15.5	19.2	10.7	4.2
していない	85.1	78.6	86.6	84.3	83.0	80.8	88.3	83.3
無回答	2.0	1.3	0.7	0.7	1.5	0	1.0	12.5

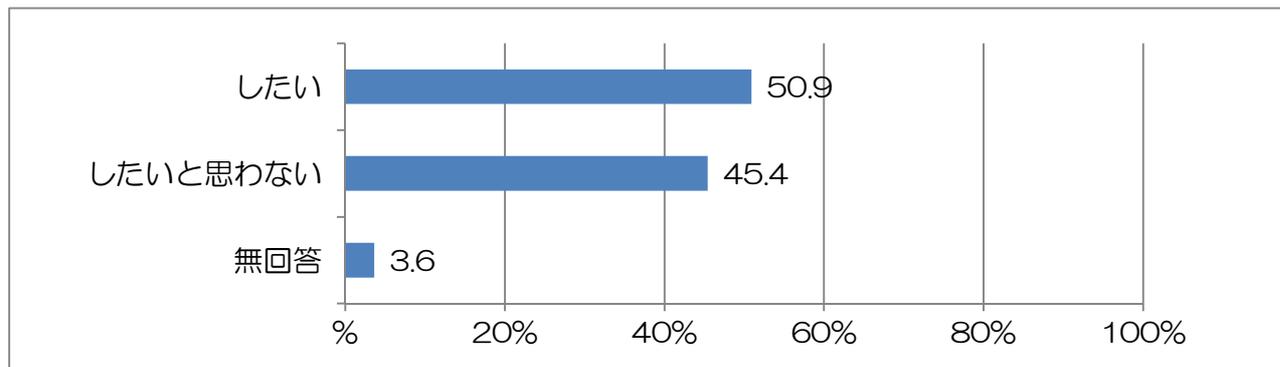
【職業別】

構成比 (%)	勤めている (常勤)	勤めている (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水産業)	主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
している	9.9	12.9	14.7	31.7	17.5	4.7	18.3	25.5	4.2
していない	89.6	86.7	83.1	67.1	81.4	95.3	80.0	72.7	79.2
無回答	0.5	0.4	2.3	1.2	1.2	0	1.7	1.8	16.7

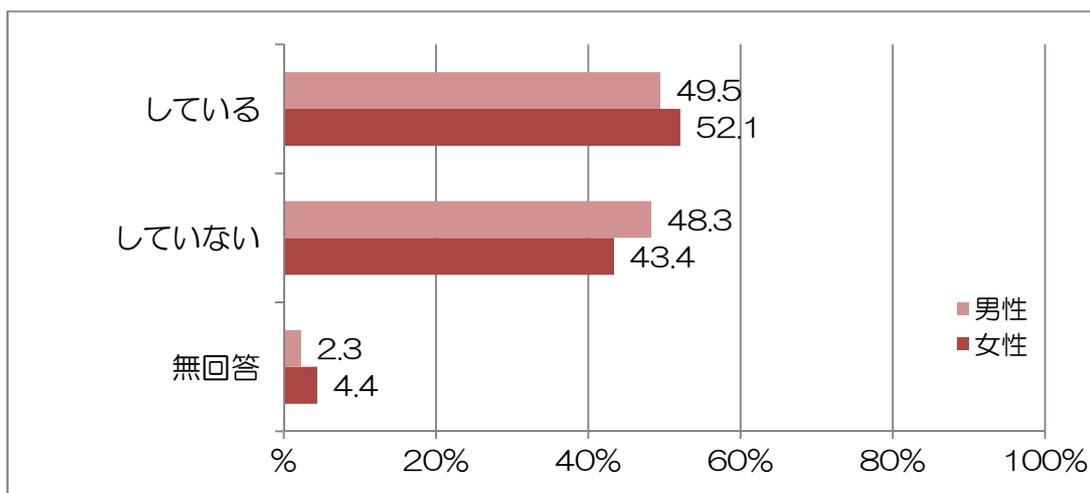
問20 問19で「2. していない」を選んだ人にお答えください。  
あなたは、ボランティア・市民活動をしたいですか。

●「したい」「したいと思わない」がほぼ同じ

ボランティア・市民活動を「したい」(50.9%)「したいと思わない」(45.4%)の多さがほぼ同じであることがわかります。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65~69歳	70歳代	80歳以上	無回答
したい	54.6	53.8	47.3	64.8	56.6	51.9	41.4	35.1	54.5
したいと思わない	44.3	45.7	52.0	32.5	41.4	46.0	50.6	51.8	36.4
無回答	1.1	0.6	0.7	2.7	2.1	2.1	7.9	13.2	9.1

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
したい	51.3	67.9	43.8	53.5	58.0	46.7	47.7	45.5
したいと思わない	45.3	32.1	51.8	44.1	37.7	45.3	49.0	45.5
無回答	3.4	0	4.4	2.3	4.3	8.0	3.2	9.1

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
したい	50.2	49.8	52.2	45.6	54.1	61.9	48.4	45.0
したいと思わない	44.2	45.5	45.5	48.2	42.8	28.6	51.6	50.0
無回答	5.6	4.6	2.3	6.2	3.2	9.5	0	5.0

【職業別】

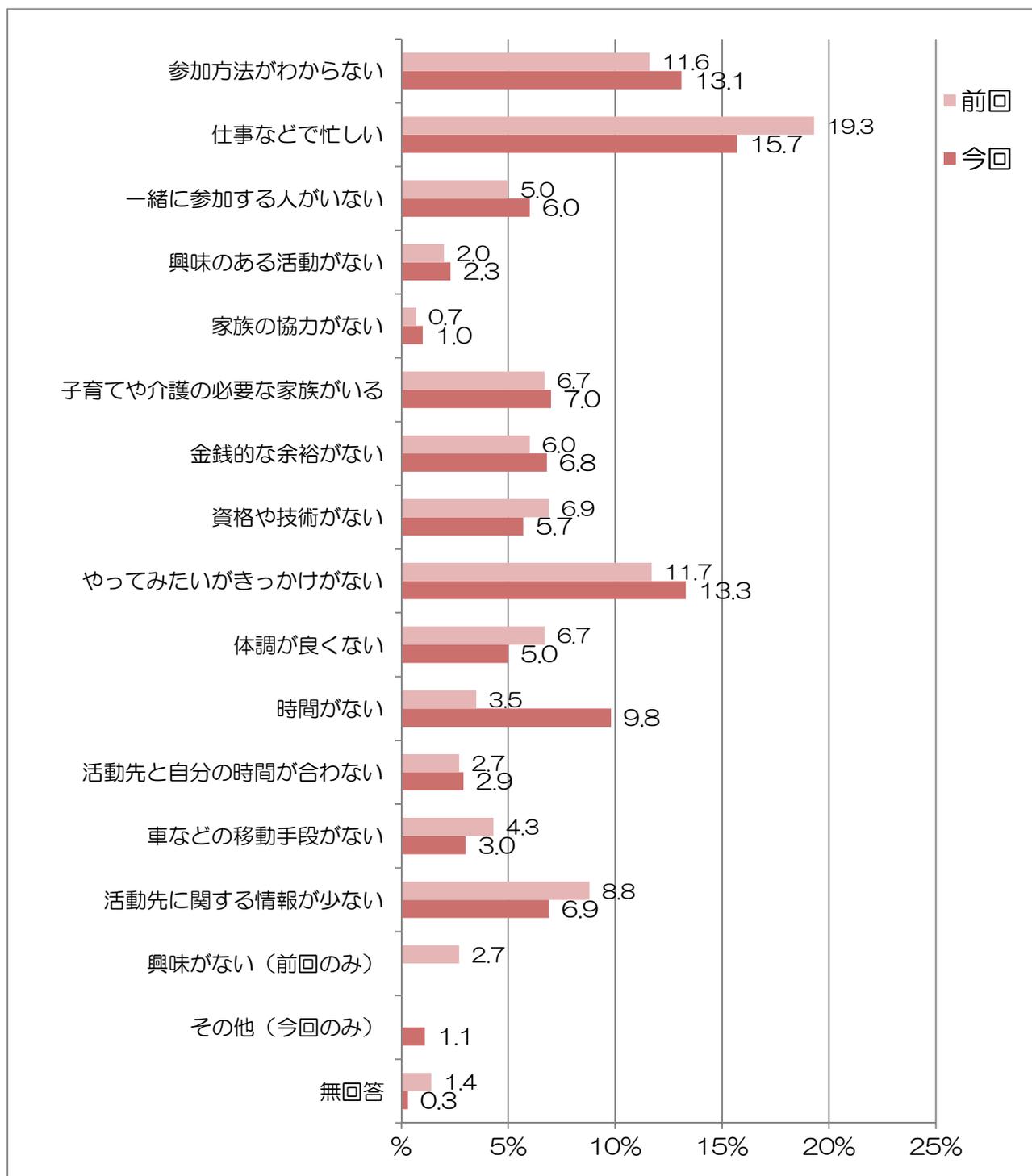
構成比 (%)	勤めている (常勤)	勤めている (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水産業)	主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
したい	57.0	55.0	59.2	43.6	48.0	53.7	42.0	52.5	36.8
したいと思わない	42.3	44.0	38.1	49.1	46.6	41.5	51.0	45.0	47.4
無回答	0.7	1.0	2.7	7.3	5.5	4.9	6.9	2.5	15.8

問21 問20で「1. したい」を選んだ人はお答えください。活動をしていない（できない）理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

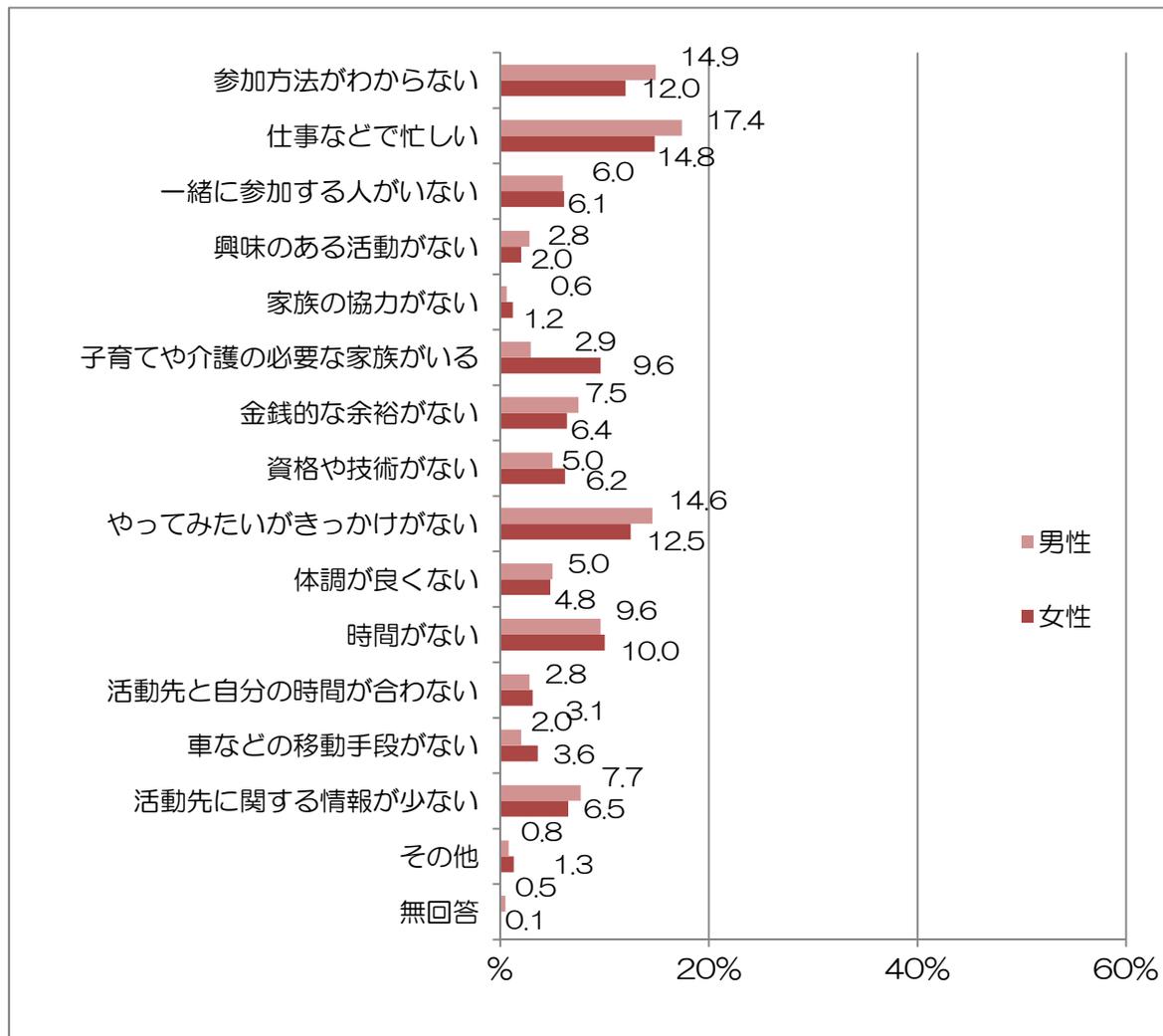
●「仕事などで忙しい」が多い

「仕事などで忙しい」（15.7%）、次いで「やってみたいがきっかけがない」（13.3%）「参加方法がわからない」（13.1%）が多くなっています。

興味はあるが第一歩を踏み出しにくい人が多いことがわかります。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~ 64歳	65~ 69歳	70 歳代	80歳 以上	無 回答
参加方法がわからない	14.2	11.5	13.0	13.2	13.9	12.4	13.9	14.0	7.7
仕事などで忙しい	17.4	17.2	20.9	20.1	14.8	10.8	5.1	4.4	0
一緒に参加する人が いない	10.7	4.6	5.0	5.4	5.0	6.2	7.7	8.8	0
興味のある活動がない	4.6	1.5	0.9	1.5	4.1	2.9	2.3	2.9	7.7
家族の協力が ない	0.7	1.4	1.2	1.0	0.2	1.3	0.3	2.2	0
子育てや介護の 必要な家族が いる	3.9	14.8	9.0	5.4	4.6	2.9	4.5	4.4	7.7
金銭的な余裕が ない	5.7	8.6	7.5	7.0	5.7	5.9	7.1	2.2	7.7
資格や技術が ない	1.1	4.1	5.4	5.5	9.4	8.8	7.1	2.2	7.7
やってみたく はありますが きっかけが ない	15.3	12.4	11.5	12.1	15.0	16.0	14.5	11.0	23.1
体調が良く ない	0.7	1.4	1.4	4.0	3.9	8.5	13.1	22.8	23.1
時間が ない	11.7	13.2	12.5	10.9	8.7	5.9	4.5	1.5	0
活動先と自 分の時間 が合わない	4.3	2.4	3.0	3.6	3.3	2.6	2.6	0	0
車などの 移動手段 がない	2.5	1.0	1.0	1.9	3.1	5.6	7.7	6.6	15.4
活動先に関 する情報 が少ない	6.0	5.2	7.0	7.6	7.6	8.8	7.4	5.1	0
その他	0.4	0.7	0.5	0.6	0.4	1.0	1.7	10.3	0
無回答	0.7	0	0.2	0.1	0.2	0.3	0.6	1.5	0

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
参加方法がわからない	13.6	6.4	12.1	13.3	8.3	13.8	10.2	10.0
仕事などで忙しい	15.6	17.0	18.6	15.2	18.8	14.9	16.6	0
一緒に参加する人がいない	6.4	6.4	5.0	4.9	5.2	2.9	7.3	0
興味のある活動がない	2.2	4.3	0	2.6	4.2	2.3	2.9	0
家族の協力がいない	0.9	2.1	0.7	1.0	0.0	1.7	1.5	0
子育てや介護の必要な家族がいる	7.2	6.4	7.1	5.2	5.2	8.6	6.8	10.0
金銭的な余裕がない	6.5	6.4	5.7	7.4	5.2	11.5	6.3	10.0
資格や技術がない	5.8	8.5	3.6	6.1	5.2	6.9	4.9	10.0
やってみたいがきっかけがない	13.1	8.5	15.7	15.9	12.5	10.9	13.7	10.0
体調が良くない	4.7	6.4	5.0	5.2	5.2	5.7	5.4	30.0
時間がない	9.8	14.9	11.4	9.4	8.3	9.2	10.2	0
活動先と自分の時間が合わない	2.9	2.1	5.0	2.3	2.1	2.9	3.4	0
車などの移動手段がない	3.0	4.3	2.1	2.9	6.3	1.7	2.4	10.0
活動先に関する情報が少ない	6.8	2.1	5.0	8.4	10.4	6.3	7.8	0
その他	1.0	4.3	2.9	0.3	3.1	0	0.5	10.0
無回答	0.4	0	0	0	0	0.6	0	0

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
参加方法がわからない	14.2	14.3	13.2	11.6	12.0	9.4	10.5	12.5
仕事などで忙しい	14.8	12.0	16.9	16.2	17.9	6.3	21.1	8.3
一緒に参加する人がいない	7.2	6.6	6.2	5.8	4.0	9.4	3.5	4.2
興味のある活動がない	1.5	3.2	1.9	3.2	2.4	3.1	1.8	0
家族の協力がいない	0.0	0.6	1.3	1.1	1.4	0	0.9	0
子育てや介護の必要な家族がいる	1.2	3.5	9.4	6.1	8.7	21.9	6.1	8.3
金銭的な余裕がない	10.5	4.8	6.9	9.0	5.6	3.1	6.1	8.3
資格や技術がない	5.4	7.3	5.2	5.8	4.7	6.3	6.1	12.5
やってみたいがきっかけがない	9.6	16.4	12.8	10.5	14.8	12.5	14.0	8.3
体調が良くない	6.3	7.7	3.8	7.2	1.9	0	5.3	16.7
時間がない	7.5	7.6	10.7	8.3	13.9	6.3	9.6	4.2
活動先と自分の時間が合わない	2.4	2.8	2.6	4.0	3.5	6.3	4.4	0
車などの移動手段がない	6.3	4.3	1.6	4.7	1.4	3.1	3.5	8.3
活動先に関する情報が少ない	9.9	7.0	6.8	4.7	6.6	9.4	6.1	4.2
その他	2.7	1.3	0.5	1.8	0.7	3.1	0.9	4.2
無回答	0.3	0.7	0.1	0	0.5	0	0	0

【職業別】

構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
参加方法が わからない	12.6	11.3	13.6	9.8	13.2	20.6	15.5	12.5	13.3
仕事などで忙しい	26.3	19.5	23.2	17.6	2.5	5.9	2.0	12.5	6.7
一緒に参加する人が いない	5.2	5.1	2.3	5.9	7.2	13.2	8.3	3.6	6.7
興味のある 活動がない	1.6	1.3	1.4	2.0	2.6	4.4	4.5	5.4	0
家族の協力が ない	0.3	1.6	0.9	2.0	1.3	1.5	1.1	1.8	0
子育てや介護の 必要な家族が いる	4.6	8.4	5.5	3.9	15.5	1.5	3.2	3.6	6.7
金銭的な余裕が ない	6.5	9.3	6.8	5.9	4.4	4.4	7.6	5.4	6.7
資格や技術が ない	3.7	5.4	5.5	5.9	9.2	2.9	7.4	1.8	13.3
やってみたく はありますが きっかけが ない	13.2	12.2	12.3	7.8	13.8	16.2	15.2	10.7	13.3
体調が良く ない	1.0	2.6	2.7	17.6	7.4	0	13.0	10.7	20.0
時間がない	13.8	10.7	13.6	9.8	6.6	8.8	2.5	10.7	6.7
活動先と自 分の時間が 合わない	3.4	4.0	3.6	3.9	1.8	4.4	1.1	7.1	0
車などの 移動手段が ない	0.7	1.9	1.4	3.9	5.4	5.9	6.0	8.9	6.7
活動先に関 する情報が 少ない	7.0	6.0	5.5	0	7.6	8.8	8.5	5.4	0
その他	0.2	0.6	0.9	3.9	1.2	0	3.6	0	0
無回答	0.3	0	0.9	0	0.2	1.5	0.5	0	0

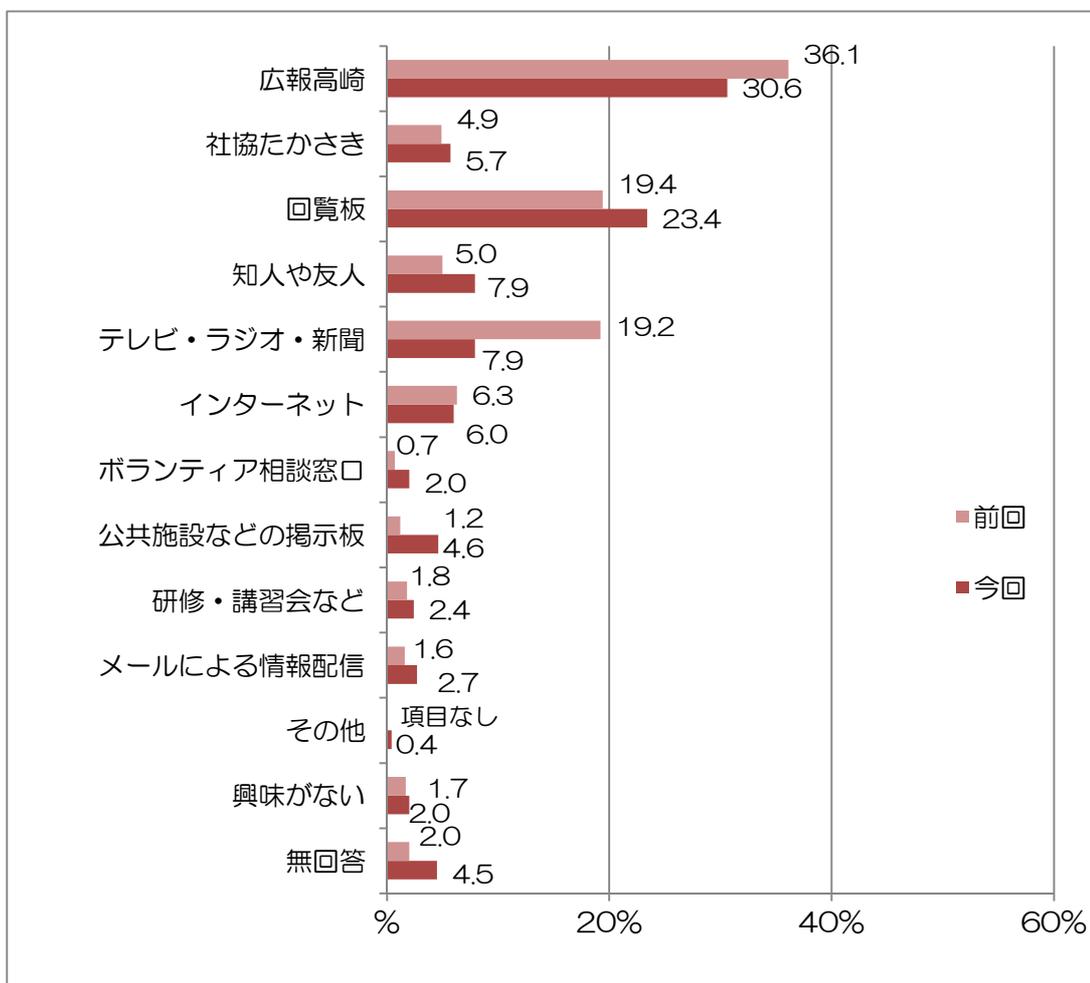
問22 あなたは、ボランティア・市民活動の情報をどこから得たいと思いますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

●「広報高崎」「回覧板」が多い

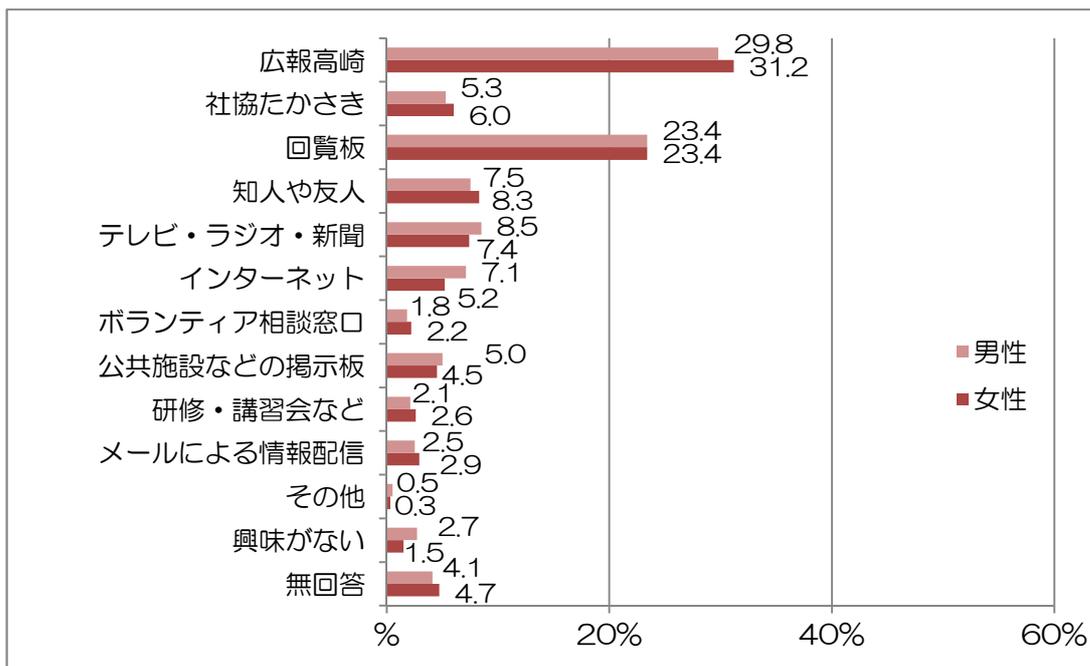
「広報高崎」(30.6%)、次いで「回覧板」(23.4%)が多いことがわかります。

前回調査と比較すると、「テレビ・ラジオ・新聞」が11.3%、「広報高崎」が5.5%低くなっており、他項目が全体的に高くなっていることから、情報収集の手段が多様化していることがわかります。

なお、「その他」は今回調査で新たに加わった項目です。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65~69歳	70歳代	80歳以上	無回答
広報高崎	26.4	32.0	32.7	32.6	30.0	29.6	29.7	28.4	29.6
社協たかさき	3.1	3.4	3.8	5.3	7.0	7.8	7.8	5.9	11.1
回覧板	19.5	23.4	20.2	22.8	23.7	25.8	25.0	26.6	18.5
知人や友人	9.0	5.8	5.9	5.8	8.2	9.8	10.2	10.3	7.4
テレビ・ラジオ・新聞	7.8	8.0	8.3	8.1	7.0	7.5	7.8	8.4	14.8
インターネット	15.2	10.2	9.8	8.0	3.8	1.3	1.7	0.4	3.7
ボランティア相談窓口	2.4	1.4	1.9%	2.2	2.6	2.7	1.6	1.5	0
公共施設などの掲示板	4.8	4.7	5.2	5.4	5.0	4.7	3.8	3.5	0
研修・講習会など	1.0	0.9	1.7	2.0	4.2	2.7	3.2	2.6	3.7
メールによる情報配信	5.2	5.2	4.1	3.7	2.7	0.7	0.4	0.2	0
その他	0.5	0.1	0.3	0.3	0.2	0.7	0.4	0.4	0
興味がない	4.3	2.1	2.8	1.2	1.5	2.6	1.1	1.8	0
無回答	1.0	2.8	3.3	2.5	4.3	4.1	7.2	10.1	11.1

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
広報高崎	31.3	27.4	28.5	30.5	25.4	30.8	28.3	28.6
社協たかさき	4.3	16.4	9.0	10.7	6.3	9.4	5.3	3.6
回覧板	22.3	27.4	25.9	25.7	24.4	27.0	26.7	25.0
知人や友人	8.0	9.6	6.4	7.3	8.8	5.3	11.2	7.1
テレビ・ラジオ・新聞	8.3	6.8	7.8	5.7	7.8	6.5	7.5	14.3
インターネット	6.4	4.1	5.8	5.9	6.3	4.1	3.7	3.6
ボランティア相談窓口	2.2	0	2.3	1.4	1.0	1.5	1.9	0
公共施設などの掲示板	4.9	2.7	3.8	4.3	5.9	3.2	4.3	0
研修・講習会など	2.6	0	0.6	1.4	3.9	2.9	1.6	3.6
メールによる情報配信	3.0	0	3.2	1.4	2.4	2.3	1.6	0
その他	0.3	0	0	0.7	1.0	0.6	0.3	0
興味がない	2.0	4.1	2.6	0.9	2.4	1.5	2.9	0
無回答	4.5	1.4	4.1	3.9	4.4	5.0	4.8	14.3

【家族構成別】

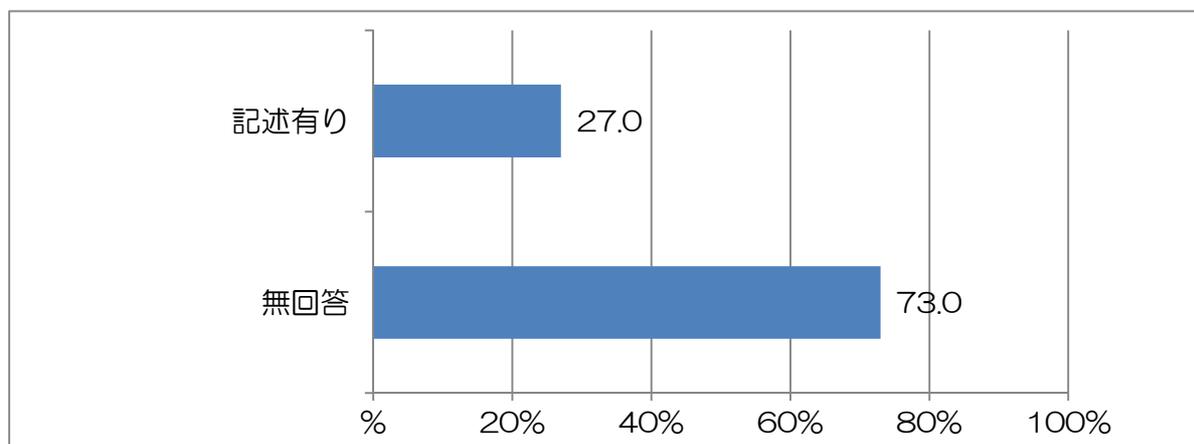
構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
広報高崎	28.1	30.9	31.3	28.9	31.6	30.6	27.1	28.6
社協たかさき	4.4	7.2	5.4	5.8	5.3	2.0	3.3	2.4
回覧板	23.2	24.0	24.0	23.8	21.3	24.5	20.5	16.7
知人や友人	8.8	9.7	6.8	7.2	7.9	8.2	7.6	9.5
テレビ・ラジオ・新聞	7.2	7.7	7.4	9.8	8.5	12.2	7.6	14.3
インターネット	5.3	3.5	6.8	5.8	8.3	6.1	8.6	7.1
ボランティア相談窓口	1.9	1.8	2.2	2.7	1.5	2.0	1.4	0
公共施設などの掲示板	3.7	4.6	5.1	3.3	4.5	4.1	7.6	0
研修・講習会など	4.6	2.5	2.0	1.7	2.4	0.0	2.4	2.4
メールによる情報配信	2.3	1.7	3.1	3.3	3.1	0.0	4.3	2.4
その他	0.7	0.3	0.3	0.2	0.4	2.0	0	0
興味がない	3.2	1.6	1.6	3.6	1.2	2.0	4.8	2.4
無回答	6.7	4.6	3.9	3.9	3.9	6.1	4.8	14.3

【職業別】

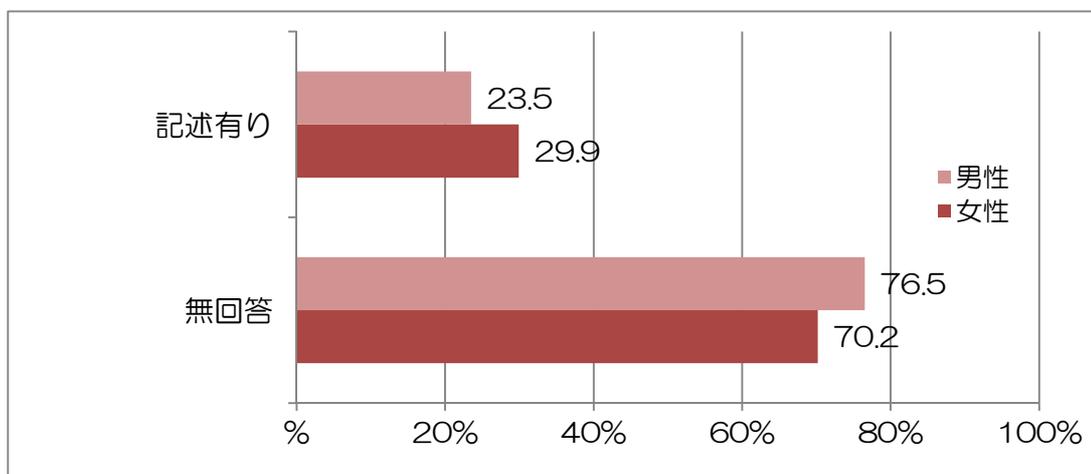
構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
広報高崎	30.2	32.5	33.3	29.6	30.7	25.0	29.7	28.2	26.2
社協たかさき	3.9	5.7	7.0	10.5	6.6	3.4	6.4	2.7	4.8
回覧板	21.3	24.8	23.8	24.3	24.2	20.5	24.8	19.1	16.7
知人や友人	7.1	6.6	8.7	7.2	9.0	9.1	8.6	8.2	9.5
テレビ・ラジオ・新聞	7.7	8.0	6.7	6.6	7.6	8.0	8.5	7.3	14.3
インターネット	10.9	6.5	4.5	1.3	3.2	19.3	2.7	5.5	2.4
ボランティア相談窓口	2.1	2.0	2.0	2.6	2.2	3.4	1.6	0.9	2.4
公共施設などの掲示板	4.9	4.9	4.2	2.0	5.2	2.3	3.9	10.0	0
研修・講習会など	2.1	1.4	1.1	2.0	3.2	0	3.0	1.8	4.8
メールによる情報配信	4.5	3.2	2.0	0	1.9	4.5	1.2	5.5	0
その他	0.1	0.2	0	0	0.4	1.1	0.6	2.7	0
興味がない	2.2	1.5	0.8	2.6	1.4	2.3	2.6	3.6	2.4
無回答	2.8	2.7	5.9	11.2	4.6	1.1	6.3	4.5	16.7

問23 あなたがボランティア・市民活動をするとしたら、どのようなことがしたいですか。  
ご自由にお書きください。

※ 記述の内容は102～126ページに集計して掲載しています。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳代	80歳以上	無回答
記述有り	26.8	29.0	27.1	29.9	31.0	30.0	23.2	18.8	6.7
無回答	73.2	71.0	72.9	70.1	69.0	70.0	76.8	81.2	93.3

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
記述有り	27.6	23.5	24.7	29.3	31.5	20.9	23.4	18.8
無回答	72.4	76.5	75.3	70.7	68.5	79.1	76.6	81.3

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
記述有り	25.1	25.2	28.3	26.9	27.0	30.8	32.0	16.7
無回答	74.9	74.8	71.7	73.1	73.0	69.2	68.0	83.3

【職業別】

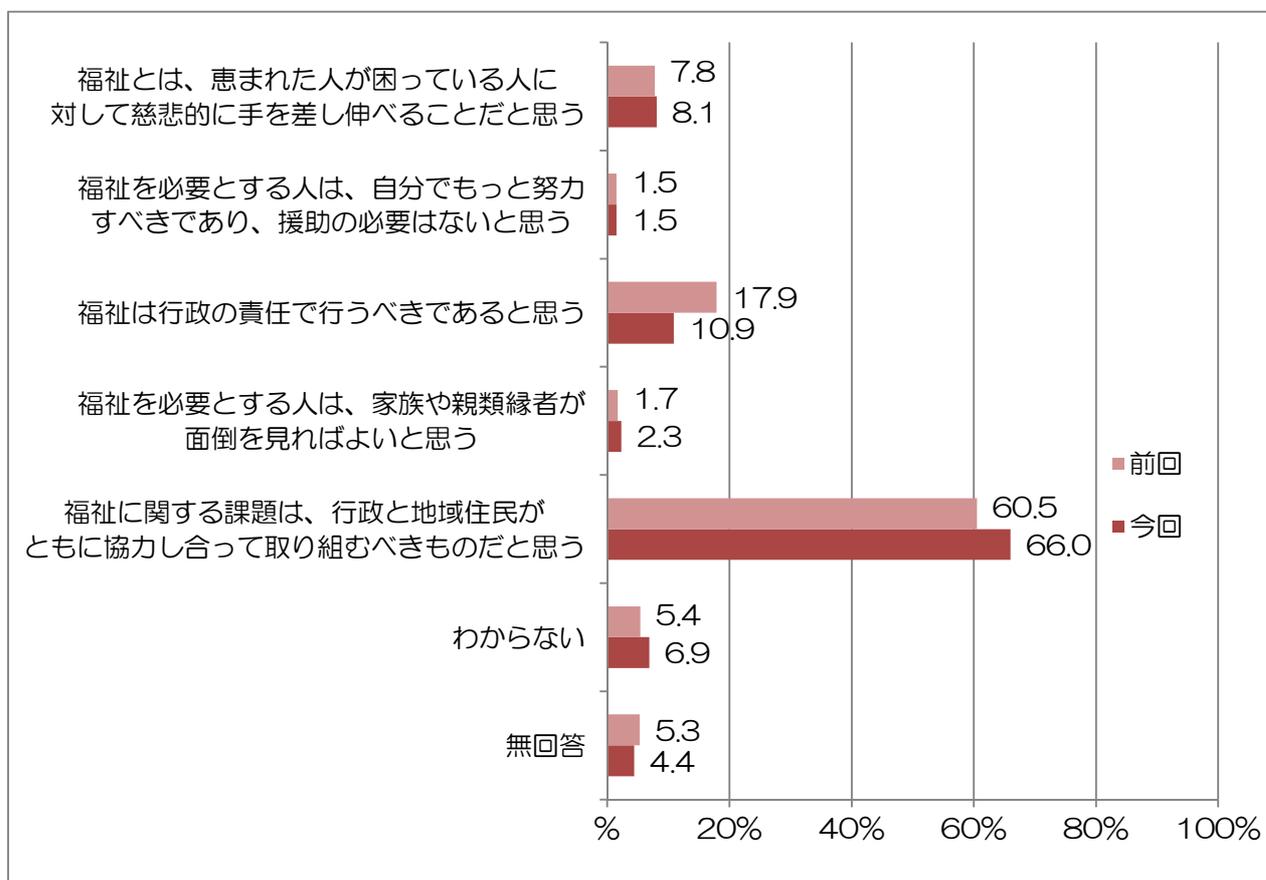
構成比 (%)	勤めている (常勤)	勤めている (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水産業)	主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
記述有り	25.8	31.0	26.6	20.7	31.8	39.5	22.5	25.5	4.2
無回答	74.2	69.0	73.4	79.3	68.2	60.5	77.5	74.5	95.8

問24 あなたの福祉に対する考え方はどれに近いですか。1つだけに○をつけてください。

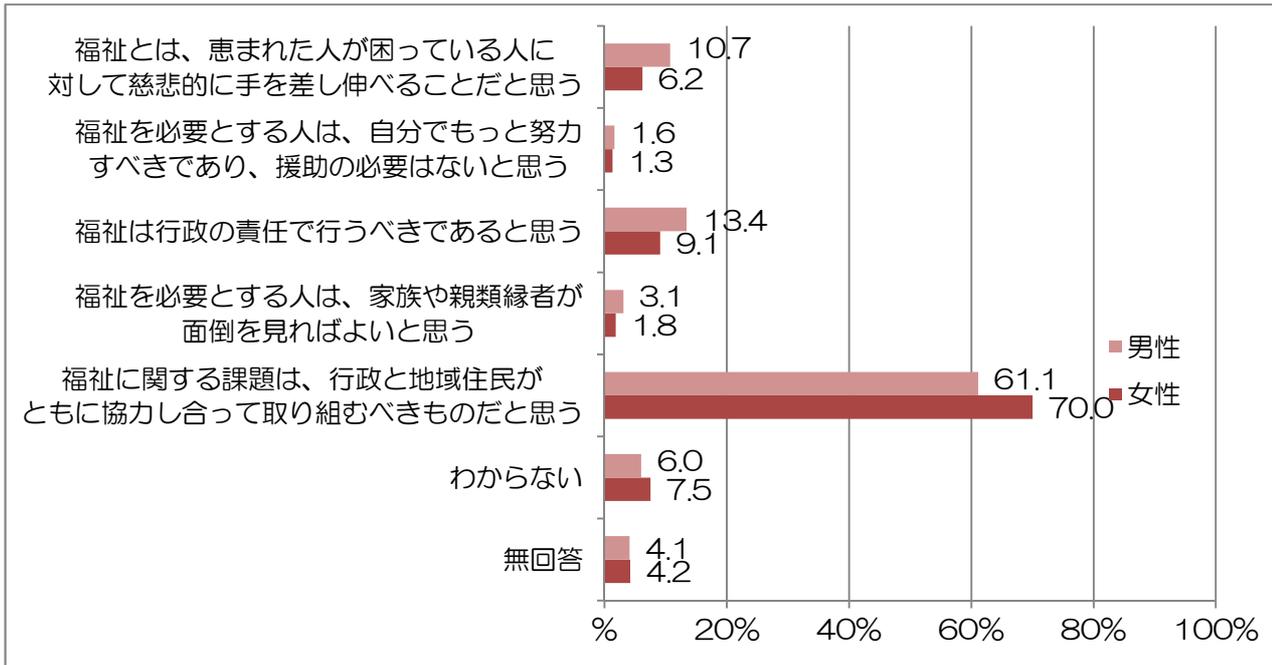
●「福祉に関する課題は、行政と地域住民がともに協力し合って取り組むべきものだと思う」が非常に多い

「福祉に関する課題は、行政と地域住民がともに協力し合って取り組むべきものだと思う」(66%) が非常に多いことがわかります。

前回調査と比較すると、「福祉は行政の責任で行うべきであると思う」が7%低くなっており、「福祉に関する課題は、行政と地域住民がともに協力し合って取り組むべきものだと思う」が5.5%高くなっていることから、福祉に対する意識が変化していることがわかります。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~ 64歳	65~ 69歳	70 歳代	80歳 以上	無 回答
福祉とは、恵まれた人が 困っている人に対して 慈悲的に手を差し伸べる ことだと思う	10.3	9.0	6.3	6.3	7.1	5.6	9.0	13.5	6.7
福祉を必要とする人は、 自分でもっと努力すべき であり、援助の必要は ないと思う	2.1	1.6	1.3	0.2	0.8	3.4	1.4	1.8	0
福祉は行政の責任で行う べきであると思う	13.9	7.4	15.0	12.5	8.0	8.4	10.4	11.7	6.7
福祉を必要とする人は、 家族や親類縁者が面倒を 見ればよいと思う	4.6	3.3	2.2	1.1	1.9	3.1	2.0	2.1	0
福祉に関する課題は、 行政と地域住民がともに 協力し合って取り組む べきものだと思う	59.8	66.4	65.1	72.3	72.0	69.1	65.6	50.7	60.0
わからない	8.2	11.2	7.6	4.7	7.4	5.0	5.7	6.4	6.7
無回答	1.0	1.1	2.5	2.9	2.7	5.3	5.9	13.8	20.0

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
福祉とは、恵まれた人が困っている人に対して慈悲的に手を差し伸べることだと思う	8.7	11.8	7.8	9.3	3.3	6.1	3.8	6.3
福祉を必要とする人は、自分でもっと努力すべきであり、援助の必要はないと思う	1.3	2.9	1.2	1.2	1.1	1.8	3.3	6.3
福祉は行政の責任で行うべきであると思う	10.8	8.8	10.8	11.2	13.0	9.8	11.4	6.3
福祉を必要とする人は、家族や親類縁者が面倒を見ればよいと思う	2.3	2.9	0.6	3.9	1.1	2.5	3.3	0
福祉に関する課題は、行政と地域住民がともに協力し合って取り組むべきものだと思う	64.9	64.7	68.7	66.8	72.8	69.9	67.9	56.3
わからない	7.1	5.9	6.6	5.4	4.3	8.0	7.1	6.3
無回答	4.9	2.9	4.2	2.3	4.3	1.8	3.3	18.8

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
福祉とは、恵まれた人が困っている人に対して慈悲的に手を差し伸べることだと思う	10.2	7.4	8.0	10.8	5.6	11.5	6.8	12.5
福祉を必要とする人は、自分でもっと努力すべきであり、援助の必要はないと思う	2.0	1.9	1.0	1.9	1.2	0	1.9	0
福祉は行政の責任で行うべきであると思う	14.9	7.9	11.0	13.8	11.1	15.4	9.7	8.3
福祉を必要とする人は、家族や親類縁者が面倒を見ればよいと思う	2.0	3.0	2.2	1.1	2.3	0	4.9	0
福祉に関する課題は、行政と地域住民がともに協力し合って取り組むべきものだと思う	55.9	68.6	68.0	58.6	68.0	73.1	65.0	58.3
わからない	7.1	6.3	6.6	10.1	6.5	0	8.7	8.3
無回答	7.8	4.8	3.1	3.7	5.3	0	2.9	12.5

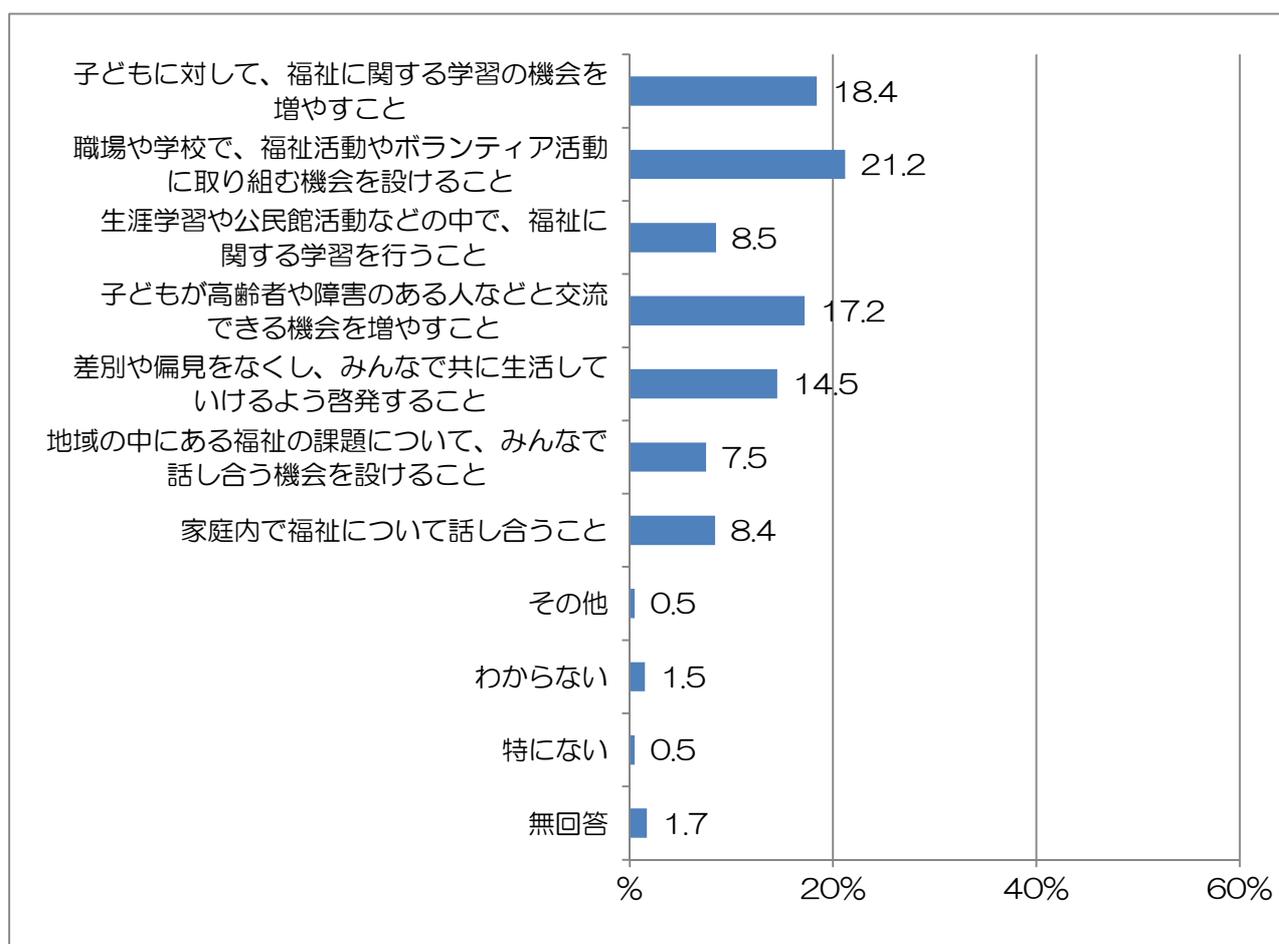
【職業別】

構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
福祉とは、恵まれた人が困っている人に対して慈悲的に手を差し伸べることだと思う	7.3	6.9	10.2	13.4	5.3	4.7	11.3	9.1	4.2
福祉を必要とする人は、自分でもっと努力すべきであり、援助の必要はないと思う	1.1	1.8	0.6	2.4	1.2	2.3	2.1	0	0
福祉は行政の責任で行うべきであると思う	12.2	10.6	7.9	15.9	7.4	20.9	12.1	7.3	16.7
福祉を必要とする人は、家族や親類縁者が面倒を見ればよいと思う	3.1	1.8	2.8	6.1	1.3	2.3	2.2	3.6	0
福祉に関する課題は、行政と地域住民がともに協力し合って取り組むべきものだと思う	68.8	66.5	68.9	47.6	73.8	65.1	58.2	61.8	50.0
わからない	5.5	9.5	5.6	9.8	7.1	2.3	6.3	14.5	8.3
無回答	2.0	2.9	4.0	4.9	4.0	2.3	7.9	3.6	20.8

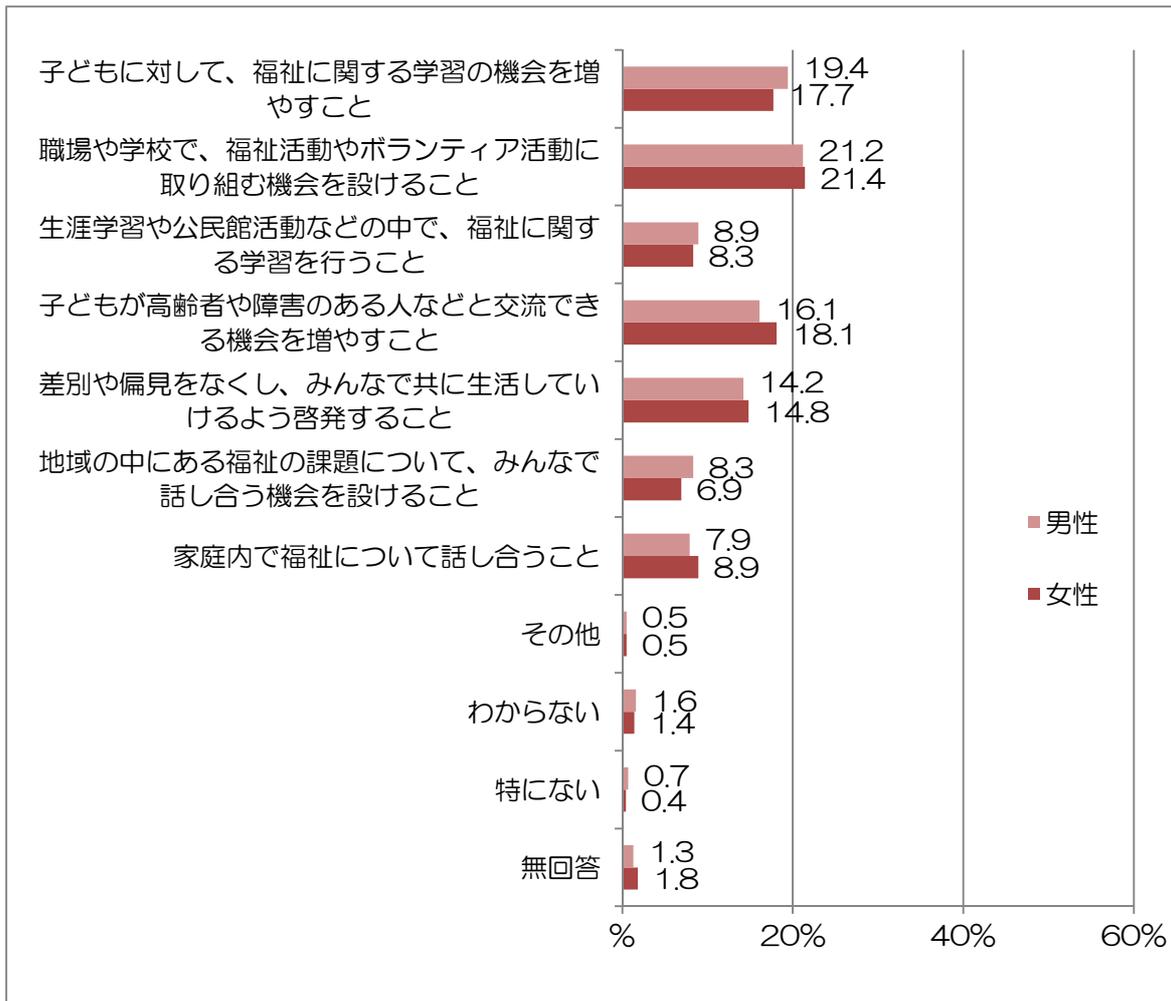
問25 福祉への理解を深めたり、助け合いや思いやりの心を育んだりするための福祉教育の方法として、どのようなことが必要だと思いますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

●「職場や学校で、福祉活動やボランティア活動に取り組む機会を設けること」が多い

最も多いのは「職場や学校で、福祉活動やボランティア活動に取り組む機会を設けること」(21.2%)ですが、次いで多い「子どもに対して福祉に関する学習の機会を増やすこと」(18.4%)、「子どもが高齢者や障害のある人などと交流できる機会を増やすこと」(17.2%)なども比較的回答率が近いことから、回答者が関心を示す分野が多岐にわたっていることがわかります。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~ 64 歳	65~ 69 歳	70 歳代	80 歳 以上	無 回答
子どもに対して、福祉に関する学習に機会を増やすこと	21.1	20.1	20.6	20.5	15.6	17.0	16.5	16.5	12.1
職場や学校で、福祉活動やボランティア活動に取り組む機会を設けること	23.2	24.8	25.6	22.7	22.5	20.1	16.8	14.0	12.1
生涯学習や公民館活動などの中で、福祉に関する学習を行うこと	6.1	4.4	6.0	8.2	9.6	11.1	10.8	11.4	12.1
子どもが高齢者や障害のある人などと交流できる機会を増やすこと	19.1	19.0	16.7	17.5	17.7	16.6	16.3	15.7	21.2
差別や偏見をなくし、みんなできに生活していけるよう啓発すること	15.0	14.6	13.3	13.7	14.6	14.8	15.8	14.7	12.1
地域の中にある福祉の課題について、みんなで話し合う機会を設けること	4.7	5.2	5.8	6.2	8.3	7.9	9.5	11.8	9.1
家庭内で福祉について話し合うこと	7.0	9.6	8.7	8.4	8.1	8.3	8.4	8.5	6.1
その他	1.0	0.6	0.6	0.6	0.4	0.3	0.4	0.3	0
わからない	0.6	1.6	1.6	1.0	1.3	1.8	2.1	1.2	0
特にない	1.4	0.1	0.5	0.2	0.5	0.5	0.8	0.7	0
無回答	0.8	0.1	0.7	0.9	1.2	1.6	2.7	5.3	15.2

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
こどもに対して、福祉に関する学習に機会を増やすこと	18.8	17.9	17.8	17.0	16.3	18.6	17.5	16.7
職場や学校で、福祉活動やボランティア活動に取り組む機会を設けること	21.2	22.6	20.9	22.0	20.4	20.6	21.8	16.7
生涯学習や公民館活動などの中で、福祉に関する学習を行うこと	8.4	9.5	9.0	9.0	9.0	7.6	8.9	13.9
子どもが高齢者や障害のある人などと交流できる機会を増やすこと	17.1	21.4	16.6	18.3	18.4	17.6	16.1	19.4
差別や偏見をなくし、みんなですぐに生活していけるよう啓発すること	14.7	13.1	13.8	14.1	13.9	15.7	14.0	8.3
地域の中にある福祉の課題について、みんなで話し合う機会を設けること	7.2	4.8	7.6	7.7	9.4	9.1	8.7	5.6
家庭内で福祉について話し合うこと	8.6	6.0	9.0	8.6	8.2	6.6	8.5	8.3
その他	0.5	1.	0.5	0.3	0.8	0.7	0.2	0
わからない	1.5	1.2	1.0	1.3	0.8	1.7	1.7	0
特になし	0.5	1.2	1.4	0.3	0	0.2	0.6	0
無回答	1.5	1.2	2.4	1.6	2.9	1.5	2.1	11.1

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
こどもに対して、福祉に関する学習に機会を増やすこと	16.5	17.6	19.6	17.4	19.0	15.6	16.8	14.3
職場や学校で、福祉活動やボランティア活動に取り組む機会を設けること	18.5	19.3	23.2	20.0	22.0	20.3	20.6	21.4
生涯学習や公民館活動などの中で、福祉に関する学習を行うこと	8.8	10.6	6.9	8.9	8.8	9.4	7.6	16.1
子どもが高齢者や障害のある人などと交流できる機会を増やすこと	16.8	16.7	17.4	17.5	16.6	23.4	19.5	17.9
差別や偏見をなくし、みんなで共に生活していけるよう啓発すること	15.1	14.3	14.7	15.2	13.8	10.9	15.3	7.1
地域の中にある福祉の課題について、みんなで話し合う機会を設けること	8.6	8.5	6.8	7.2	7.4	3.1	7.3	8.9
家庭内で福祉について話し合うこと	6.9	8.3	8.4	9.2	9.3	9.4	9.5	5.4
その他	0.7	0.5	0.5	0.6	0.3	1.6	0	1.8
わからない	2.4	1.7	1.1	2.0	1.2	0	1.1	0
特になし	0.8	0.6	0.3	0.6	0.7	1.6	1.1	0
無回答	4.7	1.9	1.1	1.4	0.8	4.7	1.1	7.1

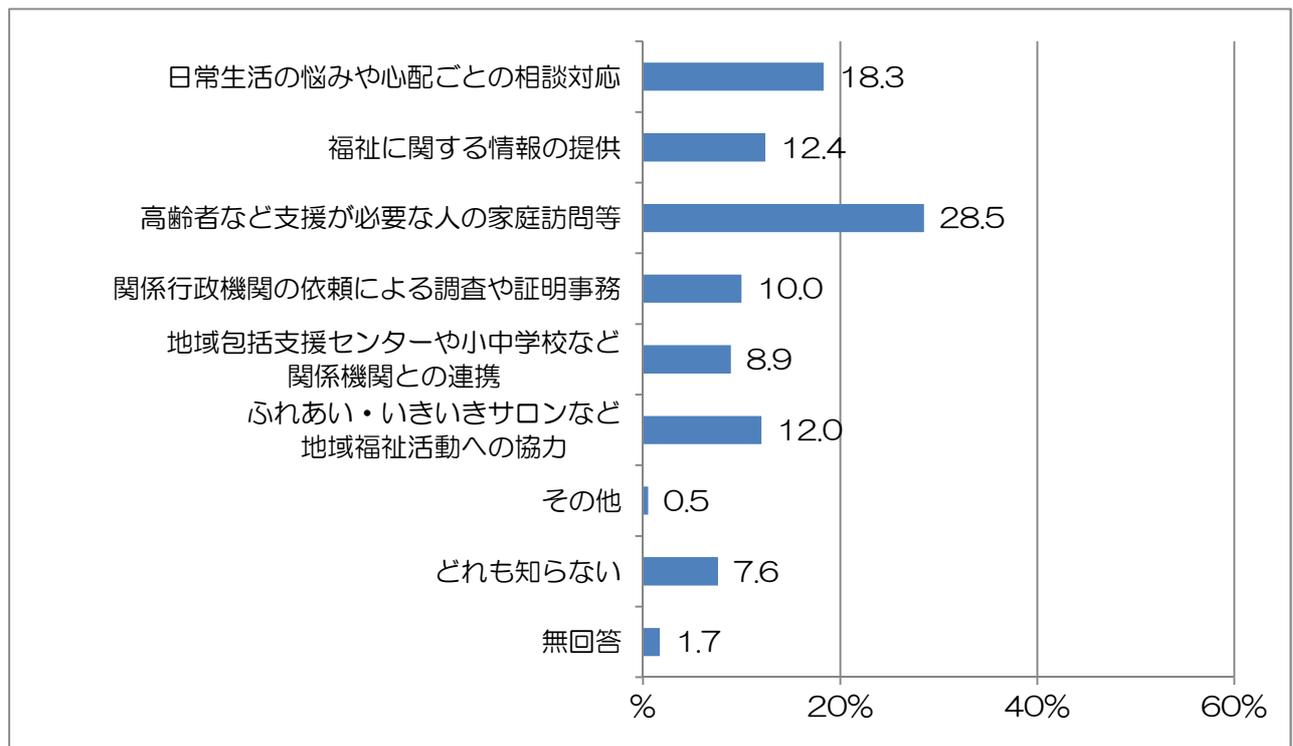
【職業別】

構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
こどもに対して、福祉に関する学習に機会を増やすこと	20.9	18.2	18.1	18.6	17.1	21.4	16.7	19.5	16.7
職場や学校で、福祉活動やボランティア活動に取り組む機会を設けること	25.1	22.7	22.1	18.6	20.5	22.3	17.2	17.3	13.0
生涯学習や公民館活動などの中で、福祉に関する学習を行うこと	6.8	6.9	8.8	10.3	9.5	6.3	10.5	6.8	11.1
子どもが高齢者や障害のある人などと交流できる機会を増やすこと	17.5	18.0	17.7	15.2	17.9	20.5	15.6	18.0	16.7
差別や偏見をなくし、みんなで共に生活していけるよう啓発すること	13.1	14.7	14.6	15.7	14.7	14.3	15.6	15.8	13.0
地域の中にある福祉の課題について、みんなで話し合う機会を設けること	6.3	6.3	6.9	6.9	7.5	4.5	10.1	6.8	5.6
家庭内で福祉について話し合うこと	8.3	8.9	7.1	9.3	9.5	6.3	7.6	9.0	7.4
その他	0.5	0.8	0.2	0	0.4	0	0.5	1.5	0
わからない	0.8	1.8	1.3	1.5	1.3	0.9	2.2	2.3	1.9
特にない	0.3	0.5	0.4	1.0	0.3	0.9	0.9	0.8	0
無回答	0.5	1.0	2.7	2.9	1.2	2.7	3.0	2.3	14.8

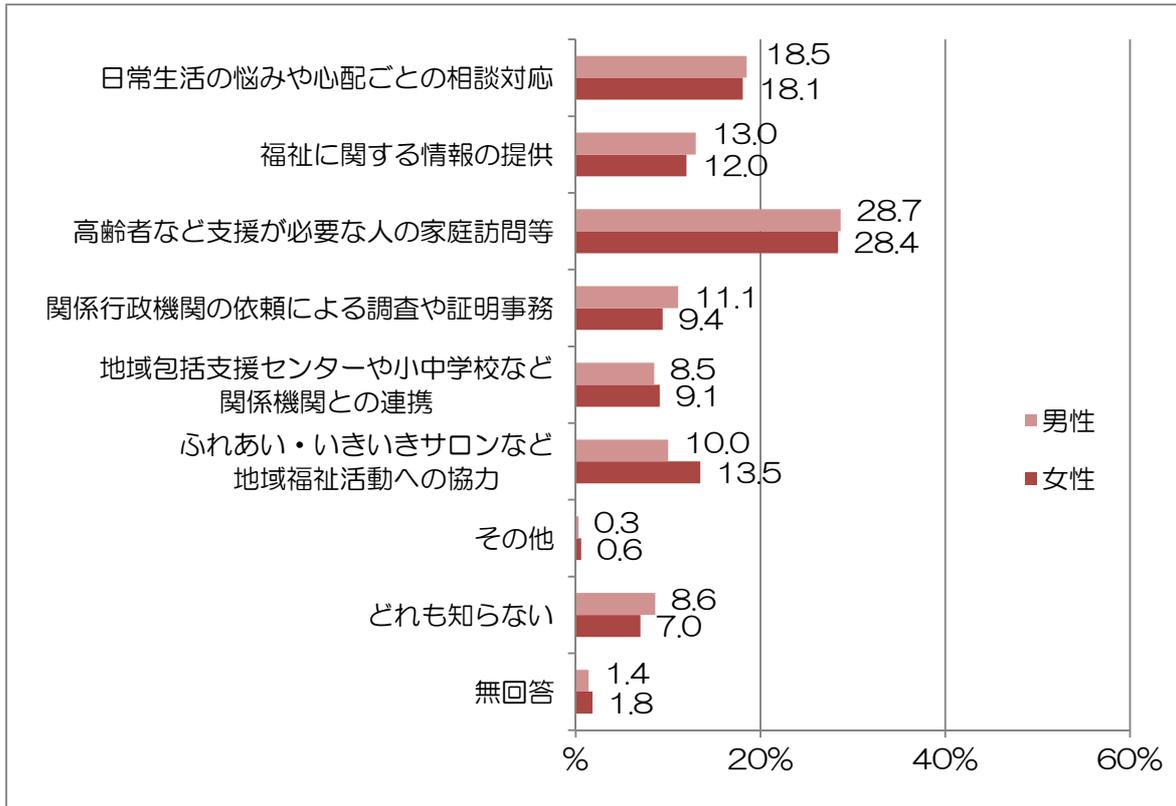
問26 民生委員・児童委員は、地域福祉の担い手として、住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行うなど、様々な活動を行っています。民生委員・児童委員が行う活動として、ご存知の内容はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

●「高齢者など支援が必要な人の家庭訪問等」が多い

「高齢者など支援が必要な人の家庭訪問等」(28.5%)、次いで「日常生活の悩みや心配ごとの相談対応」(18.3%)が多いことがわかります。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~ 64歳	65~ 69歳	70 歳代	80歳 以上	無 回答
日常生活の悩みや 心配ごとの相談対応	16.9	17.0	18.8	17.3	18.6	19.0	18.3	19.7	26.9
福祉に関する情報の提供	13.0	9.6	10.7	13.4	12.2	13.3	13.1	13.5	11.5
高齢者など支援が 必要な人の家庭訪問等	22.9	27.0	29.6	30.2	29.4	29.9	27.8	27.5	34.6
関係行政機関の依頼 による調査や証明事務	8.2	7.6	10.2	11.2	11.0	10.8	9.7	10.2	3.8
地域包括支援センターや 小中学校など関係機関 との連携	11.6	11.6	9.2	9.7	8.2	7.5	7.7	8.0	3.8
ふれあい・いきいき サロンなど地域福祉活動 への協力	7.3	8.9	8.0	9.9	13.3	14.2	16.3	14.1	7.7
その他	0.3	0.4	0.7	0.4	0.3	0.7	0.5	0.3	0
どれも知らない	18.4	17.6	11.5	7.0	5.8	3.0	4.1	3.1	0
無回答	1.4	0.3	1.3	1.0	1.3	1.5	2.6	3.6	11.5

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
日常生活の悩みや 心配ごとの相談対応	17.8	24.5	18.0	20.3	18.7	18.8	19.0	25.0
福祉に関する情報の提供	12.5	12.2	12.4	12.2	10.4	14.0	11.9	12.5
高齢者など支援が 必要な人の家庭訪問等	28.8	27.6	26.7	26.4	27.8	30.9	28.6	31.3
関係行政機関の依頼 による調査や証明事務	9.9	11.2	10.6	9.6	7.4	11.0	12.1	9.4
地域包括支援センターや 小中学校など関係機関 との連携	8.9	7.1	10.1	9.1	8.7	7.8	8.6	3.1
ふれあい・いきいき サロンなど地域福祉活動 への協力	11.6	15.3	12.7	13.5	17.8	10.8	11.0	9.4
その他	0.6	0	0	0.5	0.9	0	0.2	0
どれも知らない	8.4	1.0	7.7	6.4	5.2	5.9	6.7	0
無回答	1.6	1.0	1.9	2.0	3.0	0.8	1.9	9.4

【家族構成別】

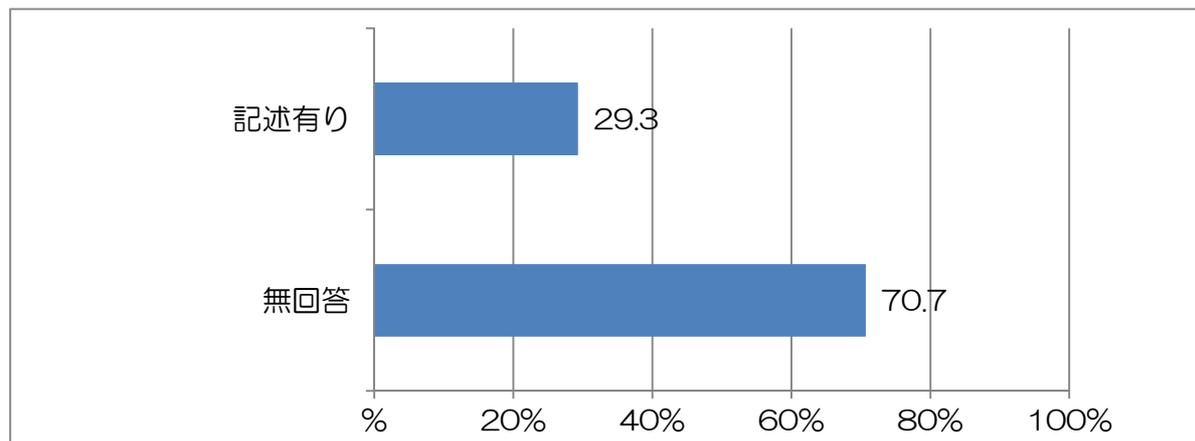
構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
日常生活の悩みや心配ごとの相談対応	19.0	18.8	18.8	16.5	17.4	14.8	16.1	19.5
福祉に関する情報の提供	12.6	12.9	11.9	12.8	11.6	13.0	14.7	12.2
高齢者など支援が必要な人の家庭訪問等	30.0	28.1	28.2	29.3	27.7	35.2	28.4	39.0
関係行政機関の依頼による調査や証明事務	7.8	9.9	10.3	10.0	10.9	11.1	12.4	7.3
地域包括支援センターや小中学校など関係機関との連携	6.8	8.7	9.3	8.2	10.5	11.1	7.8	4.9
ふれあい・いきいきサロンなど地域福祉活動への協力	14.2	13.3	10.4	12.9	12.6	11.1	10.6	4.9
その他	0.2	0.7	0.5	0.7	0.3	0	0	0
どれも知らない	6.5	5.5	9.5	8.2	7.7	1.9	7.8	4.9
無回答	3.0	2.0	1.2	1.5	1.3	1.9	2.3	7.3

【職業別】

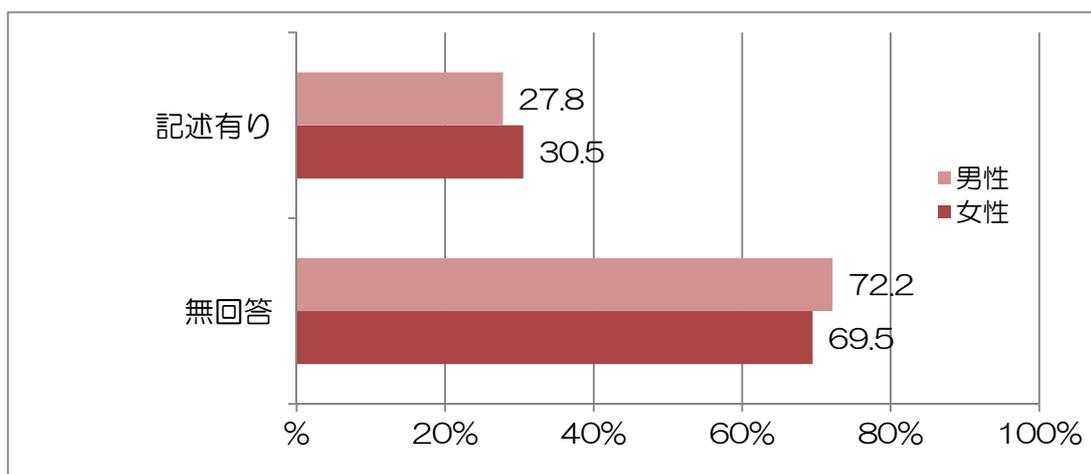
構成比 (%)	勤めて いる (常勤)	勤めて いる (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水 産業)	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答
日常生活の悩みや 心配ごとの相談対応	17.0	18.9	19.2	20.3	18.2	19.0	18.7	18.3	23.3
福祉に関する情報の 提供	12.7	10.7	12.6	14.2	11.8	8.9	13.6	13.5	9.3
高齢者など支援が 必要な人の家庭訪問等	28.7	28.3	27.2	30.2	28.7	22.8	28.8	25.4	27.9
関係行政機関の依頼 による調査や証明事務	10.9	10.3	10.3	10.8	8.8	6.3	10.2	10.3	9.3
地域包括支援センター や小中学校など 関係機関との連携	10.2	9.9	7.4	9.0	9.1	12.7	7.1	7.1	7.0
ふれあい・いきいき サロンなど地域福祉活 動への協力	7.8	11.4	12.3	11.8	15.5	8.9	13.5	13.5	9.3
その他	0.4	0.4	0.3	0	0.8	0	0.4	0.8	0
どれも知らない	11.6	8.8	7.9	2.8	5.7	16.5	5.0	9.5	2.3
無回答	0.7	1.2	2.8	0.9	1.4	5.1	2.6	1.6	11.6

問27 「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせる社会」を創り出すための取り組みについて、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

※ 記述の内容は 127～196 ページに集計して掲載しています。



【性別】



【年代別】

構成比 (%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳代	80歳以上	無回答
記述有り	35.6	25.7	28.2	32.6	32.1	33.1	25.7	24.1	40.0
無回答	64.4	74.3	71.8	67.4	67.9	66.9	74.3	75.9	60.0

【地域別】

構成比 (%)	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	無回答
記述有り	29.8	11.8	23.5	30.1	31.5	25.8	31.5	43.8
無回答	70.2	88.2	76.5	69.9	68.5	74.2	68.5	56.3

【家族構成別】

構成比 (%)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子の世帯	ひとり親と子の世帯	3世代世帯	4世代以上	その他 (兄弟姉妹同居、親族以外の同居など)	無回答
記述有り	32.9	29.1	28.5	27.2	29.6	34.6	32.0	33.3
無回答	67.1	70.9	71.5	72.8	70.4	65.4	68.0	66.7

【職業別】

構成比 (%)	勤めている (常勤)	勤めている (パート等)	自営 (商工業)	自営 (農林水産業)	主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
記述有り	27.1	31.7	27.7	23.2	31.6	37.2	27.1	49.1	37.5
無回答	72.9	68.3	72.3	76.8	68.4	62.8	72.9	50.9	62.5

## 《参考資料》

問7 あなたは、高崎市（旧町村含む）に何年住んでいますか。

問8 あなたは、ご近所とどの程度の付き合いをしていますか。とのクロス集計

※居住年数が長いほど、ご近所との付き合いの程度は深くなっていることが分かります。

構成比 (%)	1年未満	1～5年	6～10年	11～20年	21年以上	無回答
何か困ったときに 助け合えるような 親しい人がいる	10.2	12.2	13.9	15.0	28.5	40.0
お互い訪問し合う 人がいる	3.4	7.7	6.3	8.5	12.5	13.3
立ち話のできる人がい る	11.9	21.4	25.3	37.1	28.3	20.0
あいさつを交わす程度 の人がいる	35.6	35.7	40.5	30.6	23.1	6.7
ほとんど付き合いがな い	25.4	17.9	8.9	7.4	5.5	6.7
近所にどんな人が住ん でいるのかわからない	11.9	5.1	5.1	0.9	1.1	0
わからない	1.7	0	0	0.6	0.4	0
無回答	0	0	0	0	0.5	13.3

問8 あなたは、ご近所とどの程度の付き合いをしていますか。

問11 あなたはご近所との付き合いで、これからどんなことが大切になると思いますか？とのクロス集計

※ご近所との付き合いが少ない人は、災害時や緊急時のご近所との助け合いがこれから大切と考えていることが分かります。

構成比 (%)	何か困った時に助け合えるような親しい人がいる	お互いに訪問し合う人がいる	立ち話のできる人がいる	あいさつを交わす程度の人がある	ほとんど付き合いがない	近所にどんな人が住んでいるかわからない	わからない	無回答
日常のあいさつなどによる、人と人とのふれあい	27.4	26.3	26.1	27.9	26.2	25.6	25.0	28.0
自分の考えを発表したり、話し合うことのできる場づくり	1.9	2.6	1.1	0.6	2.0	1.6	4.2	0
子育てやしつけなど、子どもの問題を一緒に考える仲間づくり	2.9	3.4	3.5	4.0	6.5	4.8	4.2	0
高齢者の見守りや生きがいづくりなどの支援	10.7	11.0	10.5	9.0	10.0	6.4	12.5	8.0
健康づくりや介護予防の場づくり	5.8	7.4	5.6	5.4	4.1	1.6	4.2	8.0
日常生活で困ったときの助け合い	17.1	17.3	16.7	14.7	13.9	16.0	20.8	8.0
町内活動など、自分たちの町を大切にす取り組み	9.0	8.5	7.8	6.0	5.5	4.8	0	4.0
防災活動や災害のときの助け合い	12.4	11.4	16.4	17.9	16.8	19.2	12.5	12.0
病気・けがなど緊急時の助け合い	11.7	11.4	11.7	12.5	12.7	17.6	12.5	8.0
その他	0.5	0.1	0.2	0.6	0.6	0	0	4.0
大切なことは特にない	0.3	0.5	0.3	0.9	1.6	2.4	4.2	4.0
無回答	0.1	0.2	0	0.4	0	0	0	16.0

問8 あなたは、ご近所とどの程度の付き合いをしていますか。

問12 誰もが暮らしやすい福祉のまちをつかっていくために、地域住民として取り組むべきことは何だと思いますか？とのクロス集計

構成比 (%)	何か困った時に助け合えるような親しい人がいる	お互いに訪問し合う人がいる	立ち話のできる人がいる	あいさつを交わす程度の人がある	ほとんど付き合いがない	近所にどんな人が住んでいるかわからない	わからない	無回答
高齢者・障害のある人などとの交流	17.8	15.3	11.6	12.8	12.6	9.4	25.0	6.3
防災・防犯活動	16.7	15.8	18.9	19.3	18.1	23.5	6.3	12.5
住民同士のマナーの向上	22.7	25.6	25.8	28.5	24.9	28.2	31.3	18.8
住民間で交流する行事の開催	12.4	12.9	12.7	7.9	7.3	7.1	12.5	0
福祉についての学習会	5.1	4.3	4.8	5.5	7.0	2.4	0	6.3
地域活動の場所の確保	5.7	5.9	5.6	4.9	8.5	1.2	0	6.3
地域活動に携わる人の育成	9.9	12.3	11.5	7.8	8.2	11.8	12.5	6.3
環境美化活動	5.7	5.6	6.9	7.6	6.4	10.6	0	6.3
その他	0.9	0.2	0.6	1.0	0.6	2.4	0	0
特になし	1.9	1.4	1.0	3.6	5.6	3.5	6.3	6.3
無回答	1.2	0.7	0.5	1.1	0.9	0	6.3	31.3

問8 あなたは、ご近所とどの程度の付き合いをしていますか。

問13 あなたは、生活の中で困ったことが起こったら、どこ（誰）に相談しますか？とのクロス集計

※ ご近所に地域に親しい人がいる場合は近所の人や民生委員・児童委員へ相談する場合が高いようです。

構成比 (%)	何か困った時に助け合えるような親しい人がいる	お互いに訪問し合う人がいる	立ち話のできる人がいる	あいさつを交わす程度の人がある	ほとんど付き合いがない	近所にどんな人が住んでいるかわからない	わからない	無回答
家族や親戚	37.4	38.0	39.8	40.0	40.8	41.1	47.6	30.4
知人や友人	23.2	21.1	24.9	26.3	24.8	29.0	14.3	13.0
近所の人	14.0	11.2	7.7	3.5	1.4	0.9	4.8	13.0
区長や班長	4.8	4.5	4.6	2.9	1.6	0.9	0	4.3
民生委員・児童委員	5.6	3.4	2.7	2.8	1.4	0	0	4.3
市役所	6.9	11.3	11.8	11.6	14.1	10.3	14.3	4.3
地域包括支援センター	2.8	2.8	2.2	2.5	2.7	0.9	0	0
社会福祉協議会	1.7	2.5	1.3	1.3	1.1	0.9	4.8	4.3
福祉施設・事業所	1.8	2.5	1.8	2.3	1.4	1.9	9.5	0
その他	0.7	0.6	0.6	1.4	0.9	3.7	4.8	4.3
相談できる人はいない	0.2	0.4	0.2	0.7	3.4	3.7	0	0
相談先がわからない	0.4	0.1	1.4	2.7	3.4	4.7	0	0
相談先まで行くことができない	0.1	0.3	0.2	0.4	1.1	0	0	0
どこ（誰）にも相談しない	0.5	0.9	0.7	1.3	1.8	1.9	0	4.3
無回答	0.1	0.3	0.2	0.2	0	0	0	17.4

問9 あなたは、ご近所との付き合い・関わりを広げたいと思いますか。

問11 あなたはご近所との付き合いで、これからどんなことが大切になると思いますか？とのクロス集計

構成比 (%)	もっと広げたい	今のままでよい	もっと狭くしたい	無回答
日常のあいさつなどによる、人と人のふれあい	24.0	27.8	18.2	25.9
自分の考えを发表或したり、話し合うことのできる場づくり	2.2	1.2	0	3.4
子育てやしつけなど、子どもの問題を一緒に考える仲間づくり	6.1	3.0	0	5.2
高齢者の見守りや生きがいづくりなどの支援	13.0	9.4	6.1	5.2
健康づくりや介護予防の場づくり	5.8	5.6	6.1	3.4
日常生活で困ったときの助け合い	15.8	16.4	6.1	8.6
町内活動など、自分たちの町を大切にすることの取り組み	10.1	6.8	3.0	8.6
防災活動や災害のときの助け合い	11.9	16.2	21.2	17.2
病気・けがなど緊急時の助け合い	10.5	12.5	18.2	6.9
その他	0.5	0.4	3.0	3.4
大切なことは特にない	0.1	0.7	18.2	3.4
無回答	0.1	0.2	0	8.6

問18 あなたは、災害時の地域での支え合いや孤独死・孤立死の防止などのために、町内会等を単位とした支援者が必要な個人情報を共有することについて、どのように思いますか。

問6 あなたの家族構成は？（高齢者一人暮らしのみ選択） とのクロス集計

構成比 (%)	ひとり暮らしの 高齢者
積極的に共有すべきだ	28.4
必要であれば共有 してもよい	56.2
あまり共有したくない	4.7
その他	1.2
わからない	5.9
一切共有すべきではない	0.6
無回答	3.0

問19 あなたは、現在、ボランティア・市民活動をしていますか。

問22 あなたはボランティア・市民活動の情報をどこから得たいと思いますか？とのクロス集計

構成比 (%)	ボランティア している	ボランティア していない	無回答
広報高崎	29.1	31.1	15.8
社協たかさき	8.1	5.2	5.3
回覧板	22.3	23.7	15.8
知人や友人	11.4	7.2	10.5
テレビ・ラジオ・新聞	7.7	7.8	14.0
インターネット	4.1	6.4	0
ボランティア相談窓口	2.1	2.0	1.8
公共施設などの掲示板	5.1	4.6	1.8
研修・講習会など	4.8	1.9	0
メールによる情報配信	2.2	2.8	1.8
その他	0.7	0.3	1.8
興味がない	0.4	2.4	0
無回答	2.0	4.7	31.6

# 「高崎市民福祉意識アンケート調査」記述集計表

調査期間：  
平成25年2月14日～3月1

## 問23 あなたがボランティア・市民活動をするとしたら、どのようなことがしたいですか。 ご自由にお書きください。

- ゴミ拾い (30歳代、男性)
- 現在福祉施設2ヶ所で活動している（ベッドメイク・清拭のための古布切り）活動をいつ止めようかと思っている。 (80歳代以上、女性)
- あいさつ訪問です。会話、ことばを交わすことが第一ではないでしょうか。 (50歳代、女性)
- 箕輪城の案内、他 (70歳代、男性)
- 体を動かすこと。 (50歳代、男性)
- 町内の役員 (70歳代、男性)
- 心地良い汗をかいてみたい。 (60歳～64歳、男性)
- 英会話を少し必要とするボランティア。滋賀県大津市に住んでいた時、したことがある。 (40歳代、女性)
- 地域ぐるみで子育て支援。 (80歳代以上、女性)
- 私は調理をする事が好きで病院の調理場で働いていました。出来れば食事を作る様な所があれば良いと思います。 (65歳～69歳、女性)
- 近所の人（隣組）と雑談したい。3人以上。 (65歳～69歳、男性)
- 地震災害時に市・県がバスをチャーターしてボランティア活動をしやすくしてもらえれば参加しやすくなると思います。 (50歳代、男性)
- 老人になって、自分がボケてなかったら同年輩の人のサポート。 (60歳～64歳、男性)
- 近所のゴミ拾い (20歳代、男性)
- 健康づくり、介護予防教室の協力、23年度は自主的にいきいき教室を実施したが、リーダーを交代してくれる人がいない。在宅高齢者の話し相手（公民館等に行けない人が多い）24年度、自主的に数件行う。車の送迎等してあげたいが、自分も80才以上のため、それはできない。 (80歳代以上、女性)
- 80才をすぎているから人々の世話にならないように生活したい。 (80歳代以上、女性)
- 高齢者同士のいこいの場で受付、案内係がしたい。いこいの場とは、高崎競馬場あと等、自然環境のある場所。音楽、花、読書、体操、昼寝etc.  
“友に興味を持って暮らそうよ！困ったことは助けあおう！”市内にそんな場所ができないかな。 (65歳～69歳、男性)
- ボランティア活動は、生活に余裕やゆとりのある人がするべき事で、生活保護受給者より生活困難な人間は参加しなくても良いと思います。 (40歳代、女性)
- 食料品、日用雑貨などの買い物の手伝いなど（自由に買い物に行けない方への援助） (40歳代、女性)
- 体調が良くないので自分に出来る事なら少しでもやりたいが無理。 (65歳～69歳、女性)
- 保育園等のお手伝い。病院に行けない人の為、車を出し手伝う。 (60歳～64歳、男性)
- 時間に余裕がないためボランティア、市民活動に興味を持ってない。 (40歳代、女性)
- 店をやりながら親、姉妹の介護をやっているのと同じ立場の人の相談やアドバイスが出来る様な気がする。 (70歳代、女性)
- 高齢者の独居生活者への支援、介護または看護的業務（ex:入浴介助、食事介助）コミュニケーションを取り、楽しく会話や歌など一緒に歌うなど。 (50歳代、女性)
- 視覚障害の人に本を読んであげたいです。 (80歳代以上、女性)
- 自分もいろいろな事でこまっているがそのけいけんをいかし、しんせつにしんみになって体身をうごかしたいと思います。 (65歳～69歳、男性)

- 乳幼児の子育てをしているママさんたちが、日頃のストレスや不安を話したりできる場所や、ママさん同士で集まってたのしくおしゃべりをしたりできる会みたいなのをやりたい。そして、子育てを楽しもうという気持ちを高めていければいいと思う。 (30歳代、女性)
- 申し訳ないのですが自分が生活するのが精一杯なのでボランティア等の考えも思いつきません。 (40歳代、男性)
- 中国残留引揚孤児のお相手 (会話多少可) (無回答)
- 近所の高齢者や移動に困る方の通院の送迎。現在行っております。 (70歳代、女性)
- 道のみぞに落ちている空ビン・カン拾い (70歳代、女性)
- 笑顔で仲間達と接する事。 (70歳代、女性)
- 労働提供 (家の片付けなど) (50歳代、男性)
- ボランティア等多数の人々が行政の協力者として応援する事は大変有り難い事です。今後とも一層の支援を行政にお願いします。 (65歳~69歳、男性)
- 環境調査 (60歳~64歳、男性)
- 高齢者に対してのボランティアは必要だとは思いますが、わずらわしいと思う方もいるので、ナイーブなところだと思う。 (40歳代、女性)
- 高齢者の送迎や付き添い。 (50歳代、女性)
- 気楽に集うことのできる場所を確保し、歌ったり手遊びをしたり簡単な物作りができればいい。 (60歳~64歳、女性)
- 行政との関わり (60歳~64歳、女性)
- 華道、卓球、英語 (中学1級、高校2級の免許あり) をしているので、若い人に教えたい。 (70歳代、女性)
- 花壇の花植え、お祭りなど (20歳代、女性)
- 高齢でできない。 (80歳代以上、男性)
- 私は星に興味がありますが、少年科学館での天文教室や観察会で個人でもハイレベルな機材を持っている方が多いのでそちらのボランティアを募集すればもっと充実した活動になると思います。私はNPO法人での活動に参加しております。 (50歳代、男性)
- 民生委員さんの活動のように、近くに住む単世帯 (高齢者) の見回り等は積極的にやりたいが、民生委員としてはその他の活動もあるので、それ以上は参加協力しにくい。 (40歳代、女性)
- 今のボランティアを続けたい。 (65歳~69歳、女性)
- 高齢者の支援、地域の安全・防災活動、環境改善、美化運動 (60歳~64歳、男性)
- 公共施設の美化活動 (公園・道路) 催場のあとかたづけ (60歳~64歳、女性)
- 釣りが好きなので、川をきれいにしたい。工場排水の取り締まり (60歳~64歳、男性)
- 身近な人 (近所、町内) 声かけなどのできる事から始めてみたい。 (65歳~69歳、女性)
- 町内の見回りなど (40歳代、女性)
- 積極的にしたいとは思っていません。自分のことで精一杯です。 (20歳代、女性)
- 子どもに携わる事。自分に出来る事 (資格を生かせれば…) (20歳代、女性)
- お一人暮らしの方のお世話 (お話し相手) をしたい。地域の草むしり、ゴミ収集など。 (40歳代、女性)
- 災害を想定した地域作りをしたい。 (60歳~64歳、男性)
- 高齢者、障害者の話し相手や買い物支援。 (40歳代、女性)
- あまり積極的にしたいとは思わないがボランティアの仕方を教えてもらえればそれに参加するのも良いと思う。 (40歳代、女性)
- 緑化運動、植林、ごみ拾い (20歳代、女性)
- 文芸を通じた活動 (70歳代、男性)
- 高齢者の話相手、聞き役。子供に本の読み聞かせ、折り紙、小物作りを一緒のする。 (60歳~64歳、女性)
- 車の運転が出来ないので活動も制限されます。出来る範囲内ということになります。 (70歳代、女性)

- 現在公民館活動としてハーモニカ教室に通っています。高崎市内の通所サービスにつき二回8箇所仲間と一緒に訪問して大きな声でハーモニカに合わせて歌をうたってもらっています。(70歳代、女性)
- 自分の出来る事で、道路の清掃や草むしりなど(30歳代、女性)
- 町内そうじ(たばこやお菓子袋のゴミがたくさんおちているので)あき缶・ペットボトルいくつ捨てたことか！(65歳～69歳、女性)
- 寄付(金、衣類など)(40歳代、女性)
- 町内清掃関係(80歳代以上、女性)
- スポーツ・レクリエーションで交流。高齢者との交流、見守り(60歳～64歳、男性)
- 年齢が年齢なものですので、ボランティアは無理。自分の事は自分で特に主人が病弱なのでいっぱい입니다(78才です)(70歳代、女性)
- 現在行っています。(65歳～69歳、男性)
- 介護(20歳代、男性)
- 話し相手(独居老人)(65歳～69歳、男性)
- 自分はホームヘルパー2級の資格を持っているので、近所に助けが必要な人がいれば力になりたいと思っている。(60歳～64歳、男性)
- 一人暮らしのお年寄りや障害者の話し相手(65歳～69歳、男性)
- なんでも良い。(50歳代、男性)
- 一人暮らしの人がいて、困った事があったり生活の中で買い物とかかんたんな事を手助けしたい。(60歳～64歳、女性)
- 体調が悪いためボランティア活動をする事ができない余裕がない。(80歳代以上、男性)
- 地域での声かけ(70歳代、女性)
- 地域の安全・安心(65歳～69歳、男性)
- 老人や子供さんお世話。(50歳代、女性)
- 清掃活動、子供とともに高齢者宅を訪問する(日常生活を援助、見守り)(40歳代、女性)
- 悪い人をなくしたい。(50歳代、男性)
- 環境関係(70歳代、男性)
- 年齢との相談(自分でも出来ることをしたい。)(70歳代、男性)
- 余裕がないので考えた事はありません。(50歳代、女性)
- 道路、公園等の清掃。一人暮らしのお年寄り宅への訪問、家事手伝い。(50歳代、女性)
- 具体的には良く分らないが、何かはしたいと思う。(60歳～64歳、男性)
- 幼児教育保育活動。私は保育園の保母、園長兼務を約60年間実施してきました。(80歳代以上、女性)
- 最近、乗り物で席をゆずられることが多くなりました。「どうもありがとう」と言い座ります。目の前で困っている人がいれば、手を出し支えて寄り添います。肩に力を入れないで自然体で接していきたい。心の病の人も多いと思います。同じ方向を向いて座ることしか出来ないけれど、だまっでそばに居てあげたい。(60歳～64歳、女性)
- 具体的には何をどうと云うことが解りませんが70代と云えまだまだ若いつもり。必要があれば何か困っている方々の相談相手になればと思います。(80歳代以上、女性)
- もし時間に余裕があれば日曜大工的な事がしたい。(60歳～64歳、男性)
- 町内会のつながりを通して小さなグループから始めたい。高齢者、弱者援助。(65歳～69歳、男性)
- 自主的に活動するものと思っているので市民活動としてのボランティアは全く考えていない。(65歳～69歳、男性)
- 保育関係(20歳代、男性)
- 美化運動(65歳～69歳、男性)
- 少し前から、定年退職後年を取ったら小学生の登校、帰宅途中のガードをしたいと思っています。地域の治安が悪くなっている気がする。(50歳代、男性)
- 清掃、美化(50歳代、男性)
- 現在している事。(65歳～69歳、男性)
- 子育て支援。防犯活動(登下校時間等)(30歳代、女性)
- 子供達への支援をしたい。(40歳代、女性)

- 自分もあまり体調が良くないので一緒に散歩したり体操することくらいしかできないがみんなでやれば楽しいと思う。公民館で料理教室。(40歳代、女性)
- 私も体調が良ければ自分で出来る事はどんな事でも手伝いたいと思っていますが、なかなか家の中にあげると云うことを、しませんね。あいさつ、立ち話でいどでは、深い所までは分かりませんから。(65歳～69歳、女性)
- 個人情報保護法が一部問題になっていると思うが、守るべき物や方向をもっとしっかり伝える事も大切であります。今までの民生委員の方は、何を各地域で実施していたのか。各地域の民生委員の肩との協力が出来れば市民活動全てに協力したい。(65歳～69歳、女性)
- 公民館や博物館での読み聞かせ、展示案内。(50歳代、女性)
- 子供に関係すること。(30歳代、女性)
- 公園の花植え、除草等の整備(65歳～69歳、男性)
- 具体的に思い浮かばない。現状、日々勤めに行き休みには用事等していれば、ボランティアなどには参加する余裕は無い。(50歳代、女性)
- 自分も年寄りなので困っている人の話を聞いて少しでも助けられたら良いと思います。生きる希望を与えられたら良い。(70歳代、女性)
- 犯罪のない市、町内の防犯に力を入れたい。(70歳代、男性)
- 小さな子供を持つ親子の交流の場での、体操やマッサージ(30歳代、男性)
- 環境保護(60歳～64歳、男性)
- 中国人へ日本語教育。子供達へ登山私道。高齢者へパソコン教育。(60歳～64歳、男性)
- 話し相手。手紙のやり取り。広報にお年寄りの住所でも載って出しますが…今の時代では無理ですよね。多くの人が、何かやりたいけど、わからないと思います。(30歳代、女性)
- 必要とされることであれば協力したい。(子供、自分の子が関係していること)行きすぎたボランティアは必要ない。また、ボランティア活動がかたよった人間、いつも同じ人同士などで主に行っていると、やきもちをやかれて悪口を言われる対象となった経験がある。年配の方の発言力も強すぎる。理解力=地位の活性化なのでは？(40歳代、女性)
- 福祉イベントなどの手伝い。研修や講習会を受けて、必要とされるボランティアなどしたいが、チャンスが無い。(65歳～69歳、女性)
- まず市役所の人々が積極的にボランティアをすれば市民が見習ってボランティアに参加するようになると思う。役所の人と一緒になら、ボランティアしてもいいと思う。(30歳代、女性)
- 困っている老人がいる時は見守ったり手助けしたい。長年老人の介護をしていましたが、ただ話を聞いてくれてだけでも少し心のゆとりが持てた時がありました。話を聞いてあげるだけでもボランティアになりと思います。(30歳代、女性)
- 環境美化活動など(70歳代、女性)
- 環境美化(20歳代、女性)
- 自然保護活動(50歳代、男性)
- 道路をきれいにしたいです。(80歳代以上、女性)
- 環境美化活動(40歳代、男性)
- 地域のためになるボランティア(70歳代、男性)
- 自分に何が出来るのかがわかりません。(50歳代、女性)
- 近所の清掃。近所に住む高齢者の名簿作り、あいさつをして助けを求めても良いことを告げる。(20歳代、女性)
- 肢体不自由者の介助と、手話を習って聾者の手助けをしたい。(40歳代、女性)
- 地域の福祉活動(60歳～64歳、男性)
- 体を動かすことが好きなんですけど家の片づけ事、清掃、料理の手伝い、家の周りの事が好きです。車に乗れなくとも、近くであればやりたいと思います。(65歳～69歳、女性)
- NPO(60歳～64歳、男性)
- 高齢者の世話、障害のある人などと交流(50歳代、男性)
- 美術・工芸・ものづくりなど具体的な活動を通じた人間関係作りの充実。(60歳～64歳、男性)

- 自分自身の仕事で協力できればしたいと思います。(65歳～69歳、女性)
- もう年だから、だめと思います。(80歳代以上、女性)
- 一人暮らしの方の家に行き困っている事や自分で出来ないのでもやっ  
てもらいたい事等を聞いて、自分が出来ることがあればやる出来なければ行政に  
相談してやってあげたい。たとえば、家の周りのかたづけ草むしりとか…(60歳～64歳、男性)
- 自分で出来ることは手を差していけるような町にしたい(いつでも)(65歳～69歳、女性)
- 定年退職前に勤務した会社で得た専門的知識をいかしたい。その為には、  
市がシルバー人材のようにリストアップをしてもよいと了承する人をつの  
ること。(60歳～64歳、男性)
- 傾聴ボランティア(60歳～64歳、女性)
- かみつけの里のボランティア(20歳代、女性)
- 今、友人づくりに誠実な心でしんせつ、声かえにもっとうしております。  
あいてのなやみを聞いてやり足をはこんでおります。(70歳代、女性)
- 悩みを聞いてあげる。(65歳～69歳、女性)
- 現在、自分自身が生きるのに精一杯のため考える余裕はない。(30歳代、女性)
- もう年令が73才になるのでなるべく他人様にめいわくをかけないように人  
生を送れたらと日頃散歩などしていてゴミなどお捨ったり(70歳代、女性)
- 町内清掃、子供の保護活動、高齢者の生活補助。(65歳～69歳、男性)
- 防犯ボランティア、高齢者、障害者支援(60歳～64歳、男性)
- 誰でも出来ることから、少しずつステップアップできるようなシステムが  
良いと思います。(50歳代、男性)
- 高齢者のお宅を定期的に訪問し、30分位話をする。産後ママの上の子(通  
園していない子供)を預かる(3～4時間位)。公園の掃除。(40歳代、女性)
- 自分で出来ること。(20歳代、男性)
- 高齢者の方々に何か役に立てればと思う。(50歳代、男性)
- 私はもう78才になりますが、色々な事がしたいと思いますが自分には時間  
と暇がないので出来ないのです。(70歳代、女性)
- 自分が無理なくできる範囲で、楽しく長続きできる活動をしてみたい。(30歳代、男性)
- 共通の趣味の集まりのグループを作り支え合う。(65歳～69歳、男性)
- 公道、公共施設等のゴミ拾い。(40歳代、男性)
- 子育て中の親子へのサークル活動!(30歳代、女性)
- 特にはわからないがしてみたい。(70歳代、女性)
- 環境美化活動(掃除、花を植える)など。(30歳代、女性)
- 交通安全(60歳～64歳、男性)
- 福祉関係のボランティア(50歳代、女性)
- 交通弱者や不便な地域の方の買い物支援、通院の送迎。(50歳代、女性)
- 防犯、防災の促進(30歳代、男性)
- 具体的にどのようなことがしたいというのではなく、自分でもお役に立て  
ることがあればしたいと考えています。(60歳～64歳、女性)
- どのような活動があるのか良くわからない。現職時代は働く場所が高崎市  
内ではなかった(神奈川県、東京、アメリカだった。従って定年後近所  
の人達と話が出来る様になった!!)上記の間21のNo.9 or No.14になっ  
ている。情報が少なすぎると思う。(70歳代、男性)
- 個人情報ネックになっている昨今ではあるが、未婚者が多く、これからの  
年金確保がますます難しくなる。なんとか“婚活”に行政も力を入れ  
て、子育て支援につなげたい。この2つ。(60歳～64歳、女性)
- 自分の能力では活動できない。(70歳代、男性)
- 買い物に行けない人の代わりに買物をする(卵1パックでも)。大手スー  
パー等での取り組みが、ネット等を使えない人には十分に利用されていな  
いと思うので。(50歳代、女性)
- 有料ボランティアやポイント制にする事でボランティアを受ける側も気軽  
になりする側にもやりがいが出ると思います。(50歳代、女性)

- 市内清掃や文化財を守る為の活動。市民が力を合わせ美しい日本を高崎市からつくっていきたい。(20歳代、男性)
- 時間があればやりたいとは思いますが、何をどのようにやっていいのかわかりません。(40歳代、女性)
- わからない。(70歳代、女性)
- 今まで一度もしたことがないので全くわかりません。(65歳~69歳、女性)
- 送迎、修理(70歳代、男性)
- 高齢者のみの世帯に定期的に人を介入させる。年金制度の不公平をきちんと見直し、老後の安心を得られる様活動(40歳代、女性)
- 広域災害発生時の救護・支援活動(50歳代、男性)
- 何でも可(30歳代、女性)
- 体力、能力に応じた環境美化活動など。(65歳~69歳、男性)
- 腰などが痛くて十分な活動はできませんが、お花をうえると、ホームに入っているお年寄りのお話し相手など…(60歳~64歳、女性)
- 買物手伝い、病院手伝い(60歳~64歳、女性)
- お年よりもあまりお茶のみしなくなりました。気軽に家に来てお茶会したいです。(50歳代、無回答)
- 現時点では具体的な案がない。(40歳代、男性)
- 地域課題の解決ができるもの(40歳代、男性)
- 子供たちと一緒に絵を書いてみたい。本も一緒に読みたい。(60歳~64歳、男性)
- 自分で出来ることであれば協力をしたい(どんな事でも)。町内でも市でも何でも良いので呼びかけあい協力しあう事です。(65歳~69歳、男性)
- 子育ての経験や、資格(幼稚園教諭・保育士)があるので、子育て支援や若いお母さんとの交流でお手伝いしたい。お年寄りとの交流(デイサービス)などのお手伝いにも参加してみたい。(40歳代、女性)
- 子供会(70歳代、男性)
- 今障害のある娘と生活をしているのでとても大変です。介護をする事の大変さはこれからも続くのでボランティア、市民活動をしたいと思いましたがまずは精神障害者に対する活動が出来たら良いと思います。(65歳~69歳、女性)
- 体の不自由あ方がいたら訪問しておそうじ等をする。自分が得意なことを出来ればよいと思います。(40歳代、女性)
- したいと思っていないので…時間的に無理(60歳~64歳、女性)
- 個人的な話し合え、相談の上、必要とあらば行政に連絡する。※私、自身が体調不良で行動に制限が伴うため上記の範囲がせいぜいです。(80歳代以上、男性)
- 一人暮らしの高齢者を訪問し話をしたり、ちょっとした生活援助(30歳代、女性)
- 高齢者との交流(50歳代、女性)
- 話相手。家のまわりの整理(60歳~64歳、女性)
- ゴミ拾い(50歳代、男性)
- 高齢者の支援(現在も近所の人を対象に行っている)(60歳~64歳、女性)
- 高齢者の見守り、買物。自分で出来る範囲。(60歳~64歳、女性)
- 環境美化活動(掃除、花を植える)など(60歳~64歳、女性)
- 現在精神保健福祉ボランティア(やよい会)に入っています。(70歳代、女性)
- 介護施設に行って、音楽(合唱)を聞いてもらったり、一緒に歌ってもらったりして交流を持つ。(60歳~64歳、女性)
- 現在有贈のボランティアをしています(家事手伝い、買物等)傾聴、家事支援等、出来るならなんなりと行いたいと思っています。(65歳~69歳、女性)
- ペットボトルのフタの回収。清掃活動。(30歳代、女性)
- 子育て支援、学校支援、他できるボランティア(50歳代、女性)
- 特に思いつくものはない。何かしたいという気分だけ先行してしまっている。(30歳代、女性)
- 今は、仕事があるので定年になってまだ自分が元気でしたら、小学校の集団登下校の見守りたいなどしてみたいですね。子どもが好きなので。(60歳~64歳、女性)

- 通訳 (40歳代、女性)
- 自分も考いているが話し相手になりたい。趣味の会に入って頂き一緒に会話すれば楽しく元気で過ごせると思うのでよろしく。 (70歳代、女性)
- 一人暮らしのお年寄りの出来ないことのボランティア (60歳～64歳、女性)
- 介護施設を訪問し、コーラス活動を行っています。 (60歳～64歳、女性)
- 清掃活動 (50歳代、女性)
- 今は特に余裕がない。 (70歳代、男性)
- 公民活動やお茶飲み会など常時集合出来る場所が多く欲しい。 (80歳代以上、男性)
- 札幌出身の転勤族であったので、高崎市の活性化、観光・環境関連に興味があります。 (65歳～69歳、男性)
- 子育てや介護で困っている方のお手伝いや気持ちに寄り添うかわりを持つ時間を有効にしたい。 (30歳代、女性)
- 高齢者施設で役立てることがあれば。 (70歳代、女性)
- 道路掃除、あき缶拾い、公園等の草取り (60歳～64歳、男性)
- 時間があるときに、気軽に参加できるようなことから始めてみたい。 (40歳代、男性)
- 環境美化活動。全市を挙げて取り組むべき課題である。 (50歳代、男性)
- 障害のある人のお手伝い。 (40歳代、女性)
- 掃除 (30歳代、女性)
- 近所の助け合いが一番良い。まず足元の助け合いが災害時、病気等に一番必要かつ、早く、まとを得る。最近では、法律をたてに実際必要とされることに順応していない。町内単位で行動できることはもっといといとできる。これから、ますます、独居老人が増すなか、勉強する事があるのでは。 (80歳代以上、女性)
- 環境改善活動 (40歳代、男性)
- 本当に困っている人が、少しでも助かるのであれば、食事やそうじなど出来る範囲内でしたい。 (30歳代、女性)
- 買物の手伝い。 (50歳代、女性)
- 仕事をしていますので出来る範囲でします。今は地域の子どものパトロールをしています。 (65歳～69歳、女性)
- 週3日程パートに出ている者です。その他の日は時間に多少の余裕があるので短い時間で簡単なボランティアが出来ればと思っています。 (65歳～69歳、女性)
- 清掃活動 (50歳代、男性)
- 町内で口うるさい人がいるため参加できない。(引っ越してきた為仲間はすれにされる) (70歳代、女性)
- 自然と手が差し出せるお手伝いがしたい。おしつけのボランティアでなく。 (65歳～69歳、女性)
- 地域支援。東日本大震災に対してのボランティア。 (40歳代、女性)
- 人の喜ぶ顔が直接見られる活動。 (70歳代、女性)
- 通訳、翻訳 (30歳代、女性)
- 他の地域から来た人達の手助けや相談(自分もわからないことが多くて、大変だった為) (40歳代、女性)
- どのようなボランティアがあるのか?どんな事が必要とされているのか?知りたい——。広報等で積極的かつ具体的に必要なボランティア内容を知らせて欲しい。アピール不足では・・・? (65歳～69歳、女性)
- 自分の子どもの手がかからなくなったら、子育てで困っている人の手伝い出来ればと思います。(家族や親類などにあずけられないときなど) (40歳代、女性)
- 高齢者や障害者に対する手助け。 (80歳代以上、男性)
- ボランティア市民活動に協力はしたいと思っても現在の生活が精一杯で、年金生活一本になったらどう生活していいかわからないのでなにをしたらいいかわからない。 (60歳～64歳、女性)
- 住民誰もが共通に活用できる活動 (70歳代、女性)

- 70才近くですが、身体には自信あり（今のところ）。方法がわからない。ボランティアと言っても他人ばかりではなく家族、親族がたくさんいるのでそのなかで結構役に立っていると思います。自分の身近な人達に接することも必要と思います。 (65歳~69歳、女性)
- 学童の交通安全 (70歳代、女性)
- 町内の清掃 (20歳代、男性)
- 学生ですから今のところ地域の状態がわからないので（東京）これから知った上で必要と思われることを探していただけたらと思います。 (20歳代、男性)
- 高齢者が生活に困っている手助け (60歳~64歳、女性)
- お年寄り救援隊 (30歳代、男性)
- 井戸端会議ができる場。きちんとした場では話せないことを話したり聞いたりできる場は作れないか？ (60歳~64歳、女性)
- 自分の技術や知識を生かして楽しく無理のない奉仕をしたい。 (60歳~64歳、女性)
- 老人ホームや施設等の慰問 (50歳代、男性)
- 現在、地域の児童生徒に対するボランティア活動を実施している。できる限り継続したい。 (70歳代、女性)
- 町内役員など (50歳代、男性)
- 環境美化活動（そうじ、植林、花壇作り） (50歳代、女性)
- 花が好きなので庭の手入れ (65歳~69歳、女性)
- 小・中学生に対し、学校で教えきれないこと（e.g.海外交流）。高齢者の勉強会、趣味活動。 (70歳代、男性)
- ボランティアと言っても何をしたら良いかわからない。 (70歳代、女性)
- 以前子供達に“読み聞かせ”のボランティアをしていたが自分の子ども達が成長してかわりがなくなり、参加できないでいる。参加方法もわからないし町でしている読み聞かせボランティアは団体が確立していて敷居が高く参加がためらわれている。 (50歳代、女性)
- やはり自分も年を取ってきているので、高齢者だと思っています。みんなで笑ってという顔を見るのが幸せだと思います。 (60歳~64歳、女性)
- 年齢関係なくかかわれる事 (70歳代、女性)
- 資格（保育士・調理師）や技術（パソコン・音楽関係）を生かせ、自分自身をも満足させられ、生きがいを感じられる様な内容。 (60歳~64歳、女性)
- 学童通学誘導。不要物危険物などの業務回収。地域の祭り事業等の支援。 (65歳~69歳、男性)
- お年寄りとの交流 (30歳代、女性)
- 傾聴ボランティアや高齢者・障害者の外出支援、授産施設商品の販売会のお手伝い。 (40歳代、男性)
- 現状、休日も仕事のことが多く、する時間がとれないので考えられない。 (40歳代、男性)
- 自分の事で精一杯です。 (70歳代、女性)
- 小・中学校の緑化、美化。 (30歳代、女性)
- 赤ちゃんの世話と高齢者の話し相手。清掃。 (65歳~69歳、女性)
- 高齢のため意欲がわからない。 (70歳代、女性)
- やりたい気持ちはあるが、何に対して支援が必要なのかイメージが無いので回答できません。 (30歳代、男性)
- 一人暮らしの方の話し相手 (50歳代、女性)
- 福祉のバスが通っているがバス停まで行けない。 (80歳代以上、女性)
- 現在、オレンジボランティアに入っています。必要があれば、どこでも（見守り、話し相手等）協力します。 (65歳~69歳、女性)
- 傾聴ボランティア (60歳~64歳、女性)
- 若ければ体を使って出来ることがあったかも知れないが、今現在身体が自己管理で精一杯。だが家でできる「絵手紙」でも描いて施設に生活されている方に送る事位かな…。 (70歳代、女性)
- いろんな世代の人が集まっておしゃべりを楽しんだり、相談しあったり出来る場を作って参加すること。 (40歳代、女性)

- 自分自身が持つ技能を人に伝えることで、人が楽しい時間だったと思ってもらえるようなボランティア活動 (60歳~64歳、女性)
- 高齢者や弱者等の買物、通院や家の周りのゴミ片付けや除草等。 (60歳~64歳、男性)
- 高齢者や障害のある人との交流。共働き家庭の子供たちとの交流。 (40歳代、女性)
- 市民活動・ボランティア何をやっているのか?がわからないから書けない。そこから、はじめないと・・・と思う。 (40歳代、女性)
- 自分の体の調子があまりよくないので気持ちはあるができない。 (65歳~69歳、男性)
- 年をとる毎に外出が減り、体が思うように動かないが自分の今まで得た趣味、技術を何とかして生かしたい。例えば、書道歴(30余年)子育てや教育相談(教師歴40年)人の役には立ちたいし、知恵が埋もれるのはたまらなく惜しい気がする。 (80歳代以上、女性)
- 育児ボランティア (65歳~69歳、女性)
- まずは町内から(公園の掃除、トイレを含む)道路の空き缶・ゴミ拾いなど・・・その他は町内でそれぞれの役員がありますのでその方々の情報で市民活動に参加したいと思います。 (70歳代、女性)
- 近所の小学校生徒の登下校時の見守り(家の近くで)公共施設等の草花の植え付け、草むしり等。いきいきサロン等のボランティア。 (65歳~69歳、女性)
- 無資格の人でもできる単純労作 (80歳代以上、男性)
- 一人暮らしの方への傾聴。子供たちにストーリーテリング。 (50歳代、女性)
- 施設への慰問 (80歳代以上、男性)
- やった事がないので出来る事はなんでもやってみたい。 (50歳代、女性)
- 独居世帯などの高齢者の訪問や話し相手など。 (30歳代、女性)
- ニーズ(ヒント)がないので具体的にわかりませんが、夕方から365日三世代が通える場所作りをすればいろいろな使われ方が出てくると思うし、ニーズを語る場所になり、解決方法を実践する場所にもなる。人が気軽に集まれる場所作り(公民館などを利用) (60歳~64歳、女性)
- 手助け (40歳代、男性)
- 一般的に現在は高齢者障害者を対象に考えるボランティアが考えられるが、別に何かあるのではと思う。NPOという方法もあるが、あまり気張らないで出来ること。自分の生活に無理が行かない何か???後年を過ぎた60~70才位の人達にも何かして頂ける事もあるのではないだろうか・・・身近にいる両親の回りには一日中カラオケ、暇をもてあましている人沢山います。その人達の生きがいをボランティアに生かせたらいいかが (30歳代、男性)
- 語学教室、何かの調査活動、広報活動、通訳 (40歳代、女性)
- 体の不自由なご年配の手伝いなど。話し相手など。 (60歳~64歳、男性)
- 自分が今まで生きてきた間に得た、技術、能力などを必要としてくれる人がいるなら。 (65歳~69歳、女性)
- 高齢者などの見守り、車での送迎、付き添い、乳幼児の預かり、清掃 (50歳代、女性)
- 環境美化活動 (50歳代、女性)
- 空き缶・ゴミ拾い (50歳代、男性)
- 具体的に言葉にて表現できない (70歳代、男性)
- 人が能力に応じてよりよい生活が共有できる環境づくりの市民活動。 (65歳~69歳、男性)
- 同年代の老人と共に働き、助けたい。若い人の人生アドバイスをしたい。我家から両隣間の道路の清掃。幼児虐待に気がつきたい。 (70歳代、男性)
- 掃除、食事の手伝い。 (70歳代、女性)
- 独居老人の方や、障害のある方に絵手紙や季節の手紙を書いて送る、など。 (20歳代、女性)
- 傾聴ボランティア。広報等を読むボランティアお年寄りだけの家のゴミ出しなど、ちょっとしたお手伝い。 (40歳代、女性)
- 若いお母さんの子育てのお手伝い (65歳~69歳、女性)
- さりげなくでもしんに (50歳代、女性)
- ゴミ拾い(清掃)介護施設や障害者の方のいる施設に行って、クリスマス会として寸劇や料理をふるまう。 (50歳代、男性)
- 高齢者の話し相手。子ども連れでも可能なゴミ拾い。など (30歳代、女性)

- 不燃ゴミの仕分け。生ゴミの猫・カラス対策と片付け。道路に落ちているゴミ、空き缶拾い。夏場の草むしり。町内公園のゴミ片付けと夏の草むしり。微力ながら現在取り組んでいる事です。(70歳代、女性)
- 美化運動(40歳代、男性)
- ボランティアの考えはあるが、具体的には思いつかない。年金から考えると皆さんに迷惑をかけないようにするのがまず第一だと思っている。(70歳代、男性)
- 食事サービス(お弁当作り)(70歳代、女性)
- スポーツイベントをもっと開催したい。(40歳代、女性)
- 高齢のため出来ない。(80歳代以上、男性)
- 施設などを訪問してお話し相手をしてあげたい。(65歳~69歳、女性)
- 難病患者への支援。シングルマザーへの子育て支援。(40歳代、男性)
- 自身の体調と共に高齢に近い70才で市民活動は出来ない。(65歳~69歳、女性)
- 子供と一緒に参加できる、ゴミ拾いや植林活動(30歳代、女性)
- 回覧板や、広報たかさきなどで、どんどん情報は流した方がいいと思う。今できなくても、目にとめていれば自分もいつか出来る時がいたら協力してゆきたいと思っている。(50歳代、女性)
- 子育て関係(30歳代、女性)
- 時間に余裕を持っての物作り等。(60歳~64歳、女性)
- 職業が看護師なので、役に立つとすれば自分の出来る事=在宅看護で地域に貢献したいです。(30歳代、女性)
- もっと市民が自分の生きがいを感じられるような地域づくりや、高崎市民としてのほこりを持てるように、個人個人の意識レベルを高められる活動が必要だと思います。(40歳代、女性)
- 環境整備(50歳代、男性)
- 緑花活動。道路の整備や通学路(小中学生)についての安全性。(特に高砂町の東小への通学路は狭く、朝の時間帯はあぶないように思います。)(50歳代、女性)
- 日常生活で困っている人の手伝い(40歳代、女性)
- 市役所の職員の対応を直してもらいたい。とくに若い人(男性)腹が立つほど悪い。職員が良くなればもっと参加したい。市民の前に市職員からではないか?(40歳代、男性)
- 趣味を生かしたボランティアをするとよいと思う。仲間作りが出来、楽しいです。(70歳代、女性)
- 消防団を長くやってきたが、一部にかたよらないで全体でささえていく様にしたい。(50歳代、男性)
- 軽トラがあるので活用できること。複数名で行う活動。体力には自信がある。(65歳~69歳、男性)
- 子育て支援のボランティア(40歳代、女性)
- 家の近くの草ぼうぼうの小さな神社を近所の年配の女性が寝に利に草むしりしてくださるようになって3年ほどたちます。草ぼうぼうの頃は、遊びたくても蚊がいたり、荒れた感じで遊べなかった子供たちが、きれいになった神社で遊べるようになりました。年配の人が、ベンチで休んでいく様子も見られます。本当にありがたく、私も地域の人の集まる場所をきれいに集まりやすくする活動がしたいです。(30歳代、女性)
- 地震、火災の訓練。ボランティア→季節柄の行事(20歳代、女性)
- 特養のリネン交換をしています。(行事のお手伝い、デイサービスの方の)自分もだんだんと年を重ねて大変なこともあります。健康に気をつけてお手伝いが出来れば良いと思います。(70歳代、女性)
- 私は手先が器用で細かいことをするのが好きです。サークル活動等で皆と話をしながら過ごすことが出来たらいいなと思っています。今は公民館でハガキ絵を月に1回通っています。(80歳代以上、女性)
- 詩吟、歌謡曲等の活動ができれば良いと思います。(70歳代、女性)
- 子育て中の母親の手伝い。(はじめての子供の母親にゆったりとする時間があれば子供に対してもとても良い事だと思えます)(65歳~69歳、女性)
- 子供たちに本を読み聞かせる活動(30歳代、男性)
- 在宅でできる事が何かあれば・・・と思います。(40歳代、女性)

- 手話、点字を習いたい。 (40歳代、女性)
- 災害時の手伝い、町の美化等 (50歳代、男性)
- 元気な高齢者が数人で孤独な人宅に訪問する。地域（狭い単位）で集う場所作り。 (60歳～64歳、男性)
- 環境美化活動。 (50歳代、男性)
- 私にできることならなんでも (50歳代、男性)
- 高齢者との会話等 (60歳～64歳、女性)
- 月2回高齢者との交流をしているが、集会場へくるのがだんだん困難になってくる。暑い時、真冬には車で迎えに行くが、私自身、事故の心配で不安になる。今来てる人が来られなくなるとすぐに自分のことが出来なくなると思う。新しく引っ越してきた人がなかなか参加してくれないので年に何度かでも地域の集会場（歩いてこられる距離）で、社協主催の行事をしていただきたい。気軽に遊べる会等。 (70歳代、女性)
- 話し相手、料理の作り方、必要な材料の用意、着物の着付け。 (65歳～69歳、女性)
- 去年まで近くのエスポワールで5年間お弁当を作るボランティアをしてましたが主人の介護のためやめました。 (70歳代、女性)
- 高齢者の方に対する、介護予防運動教室の補助やふれあいサロン等のボランティア。 (30歳代、女性)
- 体力的な限界や仕事による時間の制約もあるので、時に参加できずとも、陰口や人間関係が悪くなるようなケースもあります。参加していて、無理なく、集まることが楽しくなるグループであれば、どんなことでも良いと思っています。 (50歳代、男性)
- 子供がいるので、急に参加できなくなってしまうたりすると思うと活動に参加できずにいるが、まずは学校のボランティアなど身近な事から始めてみたいと思う。 (30歳代、女性)
- ミニ集会場を作り、お茶。コーヒー等安値で話し合う所 (70歳代、男性)
- なにげなく思いやりのある、生活の中でできること、気持ちを大切にしたい。 (60歳～64歳、男性)
- じぶんにできることがあるならなんでも。 (40歳代、女性)
- どんな内容があるのか、わからないので内容を知りたいです。その上で現在の自分にできる事があるか検討したい。 (50歳代、女性)
- ひとりですんでいらっしゃるご高齢世帯へ宅配やお買物のお手伝い。“ファミリーサポート”というものに参加してみたい。まだ子どもはいないが、子どもが好きなので子育てのお手伝いが出来ればいい。 (20歳代、女性)
- 高齢者等の移動の手伝い。車の運転等。 (60歳～64歳、男性)
- 私は出来ません。体の調子が悪いので。 (60歳～64歳、女性)
- ゴミ拾い (30歳代、女性)
- 環境美化活動。 (50歳代、男性)
- 自主防災等の活動をしてみたい。 (40歳代、男性)
- 一人暮らしの方の話し相手になってやる。 (65歳～69歳、女性)
- 何度も引っ越してきたが、それぞれの地域で教会に関わってきた。これからもキリスト教関係の活動をするつもり。 (70歳代、男性)
- 地域での防災活動 (30歳代、男性)
- 行政サービスのなもの (40歳代、女性)
- 実生活で役に立てる事を地域住民と協力し、交流をふやしやれる事と、これからの世代の見本、手本になれる見せられる事を行いたいと思います。 (20歳代、男性)
- 以前は手話サークルを通して聴覚障害者との交流をしていました。12年間、活動していましたが家庭の事情でできなくなり、現在では介護施設で行っています。どちらも人を通して自分が豊かになります。これからも事情が許す限り続けたいと思います。 (70歳代、女性)
- 私にできる事、必要とされる事。身体障害者の施設と病院に看護助手として12年働いてました。 (70歳代、女性)
- 年齢的（後期高齢者）で無理である。 (80歳代以上、男性)
- 困っている人の手助け。お年寄りの話し相手。 (50歳代、女性)

- 高齢者の話し相手 (40歳代、男性)
- 人の活動は実に望ましい。欲を言えば個人の確立が明るく続いていける経済の運営が社会に平等に長く、深く浸透していつてもらいたい。 (70歳代、女性)
- 障害児の遊び相手。養護学校とかに行き、勉強を教える(無理かもしれませんが) (20歳代、女性)
- 高齢者や障害のある人と歌をうたったり楽器を使って簡単な演奏をしてみたい。 (40歳代、女性)
- 時間的余裕がなく、したくてもできない。 (60歳~64歳、男性)
- 今一人暮らしですが元気で車の運転もしています。私の時間との折り合いが会えば近くの人々の見守りや買物、病院への送り迎えでしたら出来ると思います。 (70歳代、女性)
- ボランティアへの参加方法を知りたい。 (60歳~64歳、男性)
- 街中の活性化。慈光通りを昔のようにしたい。 (30歳代、女性)
- 学習ボランティア、読み聞かせ。 (20歳代、女性)
- 近所に暮らす、一人暮らしのお年寄りの手助け等ができれば… (40歳代、女性)
- 一人暮らしの家訪問し見守りたい。でも今現在は自分の親、主人の親(92才~93才)時々自分の親は毎日TELしたり泊まりに行ったりしてますので責任持ってボランティアできない。又、孫も時々面倒見るため今現在は無理です。 (65歳~69歳、女性)
- 介護施設等への手芸、本読み等、一緒に共有できる事があればお手伝いしたい。 (60歳~64歳、女性)
- 悩んでいる方のお話を聞くこと。体などで病気や気になることの相談を受ける→未病を防ぐ、治療を拒否している方など。ゴミ拾い(川をきれいにしたい) (30歳代、女性)
- 高齢者独居世帯の訪問、見守り。産後すぐから1才までの世帯の家事手伝い。 (40歳代、女性)
- ゴミ拾いなど環境美化活動 (30歳代、女性)
- 近所を一軒一軒まわって流行している病気などの情報を伝えたり、その家の状況を把握するなど。 (20歳代、男性)
- 草むしり、地域の清掃 (20歳代、女性)
- 子育てのボランティア (40歳代、男性)
- カラオケなら協力できるが、他に自分に出来ることがない。 (50歳代、女性)
- 近所の人や散歩して行き合う人に、笑顔であいさつ、話しかけを心掛けています。されが、私に今出来るボランティアだと思います。 (60歳~64歳、女性)
- 地域の清掃 (70歳代、男性)
- 独居老人の見守りや見回り、又、孤独死のヒゲキを防ぐため、病人の居る一人家庭を毎日見回りたと思う。 (70歳代、男性)
- 一人暮らしの老人の介護。清掃などがしたいです。 (60歳~64歳、女性)
- 逆に提案していただければ参加、活動のきっかけになると思います。 (70歳代、女性)
- 高齢の為、参加できない。 (70歳代、男性)
- 福祉施設のボランティア、地域行事への参加など。 (20歳代、女性)
- 小学生のための、楽しく学べたり、キーボードを弾いたり、ヘルシーなおやつを作ったりする。本当の家族のような暖かい居場所作り。学童保育とは違う少人数のものを作りたい。 (50歳代、女性)
- ゴミ拾いなどの清掃活動 (40歳代、男性)
- 年齢90才ですので、体を動かすのに手間がかかるので、手先を使う事、話し合いをする事などがあればさせてもらいたい。 (80歳代以上、女性)
- 仕事を通じた知識を活かし、高齢化対策はある程度進んでいるので障害者(特に知的発達障害や精神的疾患のある方)の支援を行いたい。 (50歳代、男性)
- 動物愛護 (50歳代、男性)
- 小学校・中学校補習授業の非常勤講師(無給で可)。小中学生の塾の講師(無料)場所は集会所や公民館。 (70歳代、男性)
- 身近なことからやるべき (50歳代、男性)

- 防犯パトロール (20歳代、男性)
- 安否確認 (30歳代、女性)
- 子どもの虐待を防げるような手助け (30歳代、女性)
- 本の読み聞かせ、車での送迎など。 (65歳～69歳、女性)
- 花のゆりかご実施施設を増やして欲しい（農業大学はちょっと遠い） (20歳代、女性)
- 障害者なのでできない。 (20歳代、男性)
- 大災害をご経験されてしまった方が身近にいる地域内に住民としては、個人の発信から広まっていく奉仕活動は、その大小や、支援者がどのように受け止めるかに関わらず、大切な事柄だと思います。まず、ご指導の方との交流からでしょうか。具体的に「できる」ことから始める必要があるのでは。（ふるさと納税の）納税者になるとか。 (40歳代、女性)
- 住民のマナーの向上に役立つこと。 (20歳代、女性)
- 特に何もしたくない。 (30歳代、女性)
- ボランティア活動としては今のサークル活動からの依頼などで協力している。自分に負担がかからない程度の内容で。 (50歳代、女性)
- 福祉のボランティア。老人ホームでの仕事の手伝い。 (30歳代、女性)
- 一人暮らしのお年寄りへの声掛け（見守り）。小さな子どもがいても、出るので・・・。 (30歳代、女性)
- 施設訪問と手伝い (60歳～64歳、女性)
- 去年は、広報高崎の配布で町内を歩きました。現在、市の防災委員を勧められており、今年より引継ぎをする事になっています。 (50歳代、女性)
- 子育て支援 (30歳代、女性)
- 正しくて楽しい事。仮装してゴミ拾いとか、人も良くて自分も良く。人だけが良い事は続かない。 (30歳代、男性)
- ゆるす時間内の事。外でやる事。 (60歳～64歳、女性)
- 今、歌を習っています。どこかでうたいたいと思います。今のところ毎日がちょっと忙しくしていますので、いつかと思いますが、そのうち年をとってしまいますね！！時間を作って、うたいたいと思います。 (65歳～69歳、女性)
- 必要とされる事。 (80歳代以上、女性)
- 趣味を地域に広めたい。 (60歳～64歳、男性)
- 資源回収物資の積極的区分の実施（ゴミ出し日） (60歳～64歳、男性)
- 今は両親の介護でいっぱい仕事との両立で大変でよゆうもひまもありません。 (80歳代以上、女性)
- 今はわからないが、なにかしてみたい、うごいてみたい気がします。 (50歳代、男性)
- 災害時の救援または文化遺産の発掘・保護など。 (40歳代、男性)
- 老人介護施設での私が出来る事。 (50歳代、女性)
- ①高齢者のアッシー君②障害児施設の事務ボラ (65歳～69歳、男性)
- 少しの時間で、少しでも人様のお役に立てたら嬉しいです（ささやかでも） (40歳代、女性)
- 特別な資格が無くても参加できるもの。 (40歳代、女性)
- 踊りなどを見せてあげる。 (65歳～69歳、女性)
- 子どもと関わること。 (30歳代、女性)
- “市民活動”の意味を御説明ください。 (70歳代、男性)
- 外国人との交流 (40歳代、女性)
- 最初は無理なくできる事から始めたいと思う。 (60歳～64歳、男性)
- 一人で参加する活動は自信がないのでみんな（近所の人）でできることならなんでもしてみたいです。 (40歳代、女性)
- カーブミラー清掃やタバコの吸殻等、道の清掃 (50歳代、男性)
- 災害時シミュレーションDIG (20歳代、男性)
- 身体を動かすこと。 (70歳代、男性)

- 話し相手等、高齢者でも出来ると思います。やる気のある人には参加してもらい、ボランティアとしての心構え等の勉強会を公民館を使い年齢を問わず参加してもらい、その人達の受け入れ場所をオープンしてもらいた (70歳代、男性)
- 孤独な方と心の通い合える話し相手 (70歳代、女性)
- 今まで地域の先輩方がしてくれてきた事と同じようにしたい。今まで色々とお世話になっているので同じようにしていきたいです。 (40歳代、男性)
- 世代間の交流 (80歳代以上、女性)
- 災害時、緊急時、その時自分に出来ることをしたいと思っています。 (50歳代、女性)
- 介護予防サポーター講習に参加しましたが、現在、高齢の親の見守り等で活動していません。できる範囲でお手伝いをしたいと思っています。講習にて、まず介護される立場にならないように、日々、頭・体を使って老化せぬよう努力し、他の人の手助けをしたいと思っています。 (60歳～64歳、女性)
- 経済的・肉体的に他人にたすけをもらわないような努力中。ボランティア活動にまで手が回らない。 (65歳～69歳、男性)
- クリーン作戦(清掃)募金など (50歳代、女性)
- 話し相手をする(電話など)→困っていることがあれば窓口を紹介する。また、話だけでも気分が変わるかも(一日誰とも話さない人もいると思うので) (40歳代、女性)
- 高齢者の方のお宅訪問、おそうじなどの手伝い (65歳～69歳、男性)
- 高齢者の送迎や、病院へ連れて行く等 (60歳～64歳、男性)
- 地域のゴミ拾い(缶・ペットボトル等) (50歳代、男性)
- 清掃活動 (20歳代、男性)
- やってみたいが今は特に考えていない (30歳代、男性)
- 身体が健康ならボランティアに協力したいのですが・・・資格としては①大型特殊免許②危険物取扱免許を所持しておりますが不健康と高齢の為無理でしょう。 (70歳代、男性)
- 民話を語る会、絵本の読み語り、ボランティア観光ガイド (65歳～69歳、女性)
- 傾聴ボランティア (80歳代以上、女性)
- 一人暮らしの買物 (60歳～64歳、女性)
- 群馬をもっと好きになれるような活動(ex:群馬県内の観光地を一日通してツアーをしながら美化活動) (20歳代、男性)
- ゴミ拾い、廃品回収、防災訓練 (30歳代、女性)
- ボランティア活動は、70才台となり皆様の足手まといになるので遠慮する。もっと若かったらやりたかったと思う。 (70歳代、女性)
- 出来る事をしたい。 (80歳代以上、男性)
- お話し相手やお世話 (70歳代、女性)
- 地域の子どもたちとふれあえるような活動 (20歳代、女性)
- 動物愛護に関係のあるようなこと (40歳代、女性)
- ボランティアをしたいと〇を付けましたが、これというものがありません。ちょっとした手伝いかな。 (70歳代、男性)
- 80才になりますと自分の事で精一杯です。 (70歳代、女性)
- ゴミ拾い、復興支援等 (30歳代、男性)
- シニアになってからも、ボランティアに参加して多くの人達と生きがいのある人達と交流したい。 (70歳代、男性)
- 高齢の為自分で積極的に活動出来ない。指示があれば協力はできる。 (80歳代以上、男性)
- どんなことがあるかわからないので書けない。 (80歳代以上、女性)
- 一人住まいの高齢の方が必要とする事をお手伝いすることが出来ればと思っています。 (65歳～69歳、女性)
- スポーツを通して子供たちのふれあい (70歳代、男性)
- 身体障害者に対する車による送迎(但し車はありません) (65歳～69歳、男性)
- 子どもとふれ合えるような活動 (20歳代、女性)
- 居住地域の清掃 (60歳～64歳、男性)

- 現在のところなにをするか思いつかない。(70歳代、男性)
- 公園などの掃除や草むしり(80歳代以上、男性)
- 花植え、小さい子どもと関わること、お年寄りとの交流等(20歳代、女性)
- 時間・体力には余裕があるが、だれに、何を提供できるのか、活動内容の情報が足りない。(65歳～69歳、男性)
- TVで見るようなゴミ拾いや花植え、買物や病院への送迎など。(30歳代、女性)
- 今、社会福祉協議会いきいきサロンボランティア、母子推進のボランティアをしています。お年寄りは自分のこれからの道。赤ちゃんは通った道と思い、一つの歯車になればと思い過ごしています。(50歳代、女性)
- 一人暮らしの高齢者との交流。子育ての支援(50歳代、女性)
- ①地域の美化・清掃活動②買物困難者の支援(60歳～64歳、男性)
- 高齢者の困っていることの手助け(60歳～64歳、女性)
- 市民交流イベントなどの運営スタッフ。環境美化活動。地域防犯パトロール。(20歳代、男性)
- 資格や特技もありませんので、草むしり、掃除、洗濯の手助けくらいです。(60歳～64歳、女性)
- 自分自身が高年齢のため、他人の世話は体力的にできない。今現在週一回体操教室に行っている。なるべく他人に世話にならないように自分の体は自分で守っています。(80歳代以上、男性)
- ゴミ拾い(50歳代、女性)
- ゴミ拾い(30歳代、女性)
- 自分が指導する吹奏楽部員による施設での演奏(40歳代、男性)
- 孤独な人も生きる希望が持てる様な活動ができれば幸いです。(50歳代、男性)
- 給食サービス(40歳代、女性)
- 物資の宅配、訪問など(40歳代、男性)
- ボランティアとか市民活動とかということではなく（ことばが好きではありません）自然にお手伝いや手助けができることが理想です。困っている方に、いつでもどこでも自分のできる範囲で手をさしのべられるよう心掛けたいと思います。(50歳代、女性)
- 環境美化活動。シルバー派遣。(50歳代、男性)
- 私自身が高齢者なので一人暮らしの人を助けたいと思います。(50歳代、女性)
- 環境美化活動(40歳代、女性)
- 自分自身も勉強になり、相手にも喜ばれるような活動(50歳代、女性)
- 現在高齢者の多い病院で管理栄養士として常勤で働いているため、地域社会に対するボランティアの活動には具体的に組み組めていない。食生活のアドバイス、福祉のかかり方など、世間話の中でヒントになるようなアドバイスができたらと思っている。(50歳代、女性)
- 障害者とのフレンドシップ。休日の旅行ボランティアを利用したディスプレイ・ケア(30歳代、男性)
- 保育士資格があるのでそれが役立つようなことが良いと思います。(30歳代、女性)
- できる人は参加したほうが良い。(70歳代、男性)
- 高齢ですので、書類の整理、発送等机上の仕事。(80歳代以上、男性)
- 一人住まいの人とかの話し相手。(60歳～64歳、女性)
- 町内美化活動(80歳代以上、男性)
- バリアフリー化やユニバーサルに！！(65歳～69歳、女性)
- 地域イベントに参加する。(30歳代、女性)
- 県外の市町村にて行っているボランティア・市民活動を体験または見たい！また、5～6カ所を同様に回って勉強したい。(50歳代、男性)
- 親の面倒を見ているので、まったく別の活動をしてみたいと思うことがあります。1ヶ月に2・3回くらいなら空いている日があるので。(60歳～64歳、女性)
- まずは簡単にできる清掃活動など。介護施設などのお手伝いもしてみたい。(30歳代、女性)
- 災害復旧、高齢者介護(50歳代、男性)
- 各種行事等の支援（例：マラソン大会、祭り等）(60歳～64歳、男性)

- 私も高齢者の一人です。デイサービスなどでお茶の時間等に話し相手くらいでしたら出来ると思います。(70歳代、女性)
- 障害者に対する、一般人の態度の改善化。また、障害で電車や歩行など困っている人への適切な対応の知識の一般化。(50歳代、男性)
- 私は高齢者で何かできるということはありませんが、ご近所のことはどんなことでもやりたいと思っております。そして自分の健康に心から感謝しております。(80歳代以上、女性)
- 体の不自由な人の手伝い。(65歳~69歳、女性)
- 実行していることは、①友人の買物や通院等に車を出してサポートしている→ぐるりんがカバーできない時間帯やルートがあるので。②お年寄りの庭の除草作業ならやったことがある。でもそれをボランティアとか市民活動とは思っていない。(60歳~64歳、男性)
- 健康な体でないから、そして高齢者だから援助できないのです。(80歳代以上、女性)
- 障害を持つ“子ども”とふれ合えるボランティア。車いすで生活する人達が利用できる店や施設、一人でも散歩がスムーズにできる場所はどこなのかなどの町の地図のようなものを作る(車いすで生活する友人がいますが、一緒に食事に行ったりするのめげっこう大変です。店の入り口が入りづらかったり、駐車場から目的地までの道のりが車いすでは通れなかったり)。(30歳代、女性)
- 一人暮らしの老人宅、要望等。(80歳代以上、女性)
- 健康体操のインストラクターをしているので、周囲のお年寄りを集めて軽いハピリやお茶会をしたい。傾聴ボランティアのセミナーを受講しておきたい。(50歳代、女性)
- 緑化活動。買物援助。(50歳代、女性)
- お年寄りの食事作りなど。(30歳代、女性)
- 最近は親子が別々に生活するようになってきている。できれば一緒に生活することが良いが、そうでなければ少しでも親子緊密に連絡を取り合い常に親しい付き合いしていくように子どもに教育をする必要があると思う。(80歳代以上、男性)
- 自分にどんな事が出来るか情報が欲しい。(65歳~69歳、女性)
- 一人暮らしの高齢者の身の回りの世話(掃除や洗濯)や話し相手になること。(60歳~64歳、女性)
- 看護師の資格があるので活かしたい。(50歳代、女性)
- 動物等のボランティア(70歳代、女性)
- 障害者・高齢者支援を考えていたのですが、自分も聴力低下があるので難しいのではないかと思います。(60歳~64歳、女性)
- 子育て支援：乳児や幼児のいる親同士の交流の場作り。また、そのような場での活動の支援。3才未満の子どものいる親は、孤立しやすいのではないかと考えました。(30歳代、女性)
- 子育て支援、自閉症者等の支援(50歳代、女性)
- お話のお相手(60歳~64歳、女性)
- 一人暮らしの高齢者世帯の支援(40歳代、女性)
- 現在老人ホーム等へ訪問して歌や踊りをしている2団体に加入して実行しています。(70歳代、女性)
- 自分の生活の負担にならない範囲で、手助けを必要とする方の援助や活動があればと思う。しかし、仕事や子どものことを考えると継続して行うような活動は難しいのかとも思う。(30歳代、女性)
- ゴミ拾い(30歳代、女性)
- 話し相手など見守り(相手がこちらを知らなくても、常に家の中に外に暮らしている人の動きがあるかなど)一緒に散歩など。(60歳~64歳、女性)
- 町内会の範囲で自宅訪問程度(置物や話し相手になる)(60歳~64歳、女性)
- 地域清掃。四季に合った活動(お花見、どんど焼き等)(20歳代、女性)
- できる範囲で、町の清掃活動・被災地の支援・介護活動など。(50歳代、女性)
- 現在、子育て支援勉強会を行っています。(70歳代、女性)
- 移動の少ない範囲で、話し相手や読み聞かせ等をしたい。(60歳~64歳、女性)

- ボランティアも市民活動をしたい気持ちは大いにあるけど自分の体が思うようにいかず残念な思いです。 (70歳代、女性)
- 挨拶運動の奨励 (例：一部道路が地区での挨拶を必ず実行するように) (70歳代、男性)
- 小さいことからする事です。まったく関係ありませんが最近の小中高生大学生までがマナーが悪いです！と同時に大人も！ (30歳代、男性)
- 自分の生活の身近なところから。 (65歳～69歳、男性)
- 特別な資格がなくても出来ること。具体的にはわかりませんが、協力できることがあれば少しは始めたいと思います。 (50歳代、女性)
- 傾聴ボランティアならできるかと思っていますが、車の運転が出来ません。 (80歳代以上、女性)
- 活動していても公にしたくない。 (40歳代、男性)
- すでに多くのボランティアをしています。 (50歳代、女性)
- 花いっぱい運動 (どんな形でかわかれるか解かりませんが…) (65歳～69歳、女性)
- 学童保育など、子どもに携わる事がしてみたいです。ただ、資格がないので資格がなくてもできる事。また、必要とされていることはあるのでしょうか (読み聞かせのほかに) (40歳代、女性)
- 高齢者への弁当宅配。病院への付き添い等 (50歳代、女性)
- 子育てサークル (毎日楽しく参加している) や絵本の読み聞かせなど、子どもがいてもできる時間や回数のものなど、子育ての経験を生かして一人目ママなどの相談を聞いてあげる会などがあるといいかも。 (30歳代、女性)
- 子連れでも大丈夫なところ。 (20歳代、女性)
- 何でもOK (70歳代、女性)
- すでに69才と年齢的に参加できることが少ない。新規に参加するには、ある意味「出しゃばって」出て行くぐらいでないとは出来ないように思う。(資格や知人友人のネットワークが少ない場合) (65歳～69歳、女性)
- 広報活動 (70歳代、女性)
- 防犯 (40歳代、男性)
- 高齢者の在宅訪問。食事等を届ける (一人暮らしの人においしい食事を作って届けたい)。特に一人暮らしの病人に話し合いの場 (会話が必要かな?) を設けてあげる事。 (60歳～64歳、女性)
- ご自由と言っても書けるものではない。種類もあるし、自分の生活があつての事だから… (30歳代、男性)
- 高齢者や障害者の手助け (40歳代、女性)
- 福祉の仕組みを良く知りませんし、最早、カモフットワークも良くないので人様の役に立つとは思えないのですが、援助を必要とする人と手助けできる人をもっと詳細に結びつけるネットワークを作れたらよいと思います。必要な人が選べるように、できる人を登録する方法で、それをこまめに更新できれば便利だと思います。 (70歳代、男性)
- 現在は仕事が忙しく時間がなかなかないので、少しでも時間があつたときに参加できるような活動の情報をHPなどで見つけられたら良いかと思 (50歳代、女性)
- デイサービスで手伝っています。週1回。音訳：月1～3回、20年やってきましたのでそろそろ止める気になってきましたが若い人が入ってこない) (50歳代、女性)
- 草むしり、ゴミ拾い (20歳代、女性)
- 小中学生の教育のお手伝い。 (50歳代、女性)
- 高齢者世帯の買物代行などにより、定期的な見守りができたらいいと思います。 (40歳代、女性)
- 子ども (幼児・児童) への読み聞かせ。お年寄りと子どもの交流支援。 (40歳代、女性)
- 趣味 (手芸) などで作品を提供したい。話し相手になったら…と思う。買物代行。 (65歳～69歳、女性)
- 一人で暮らしている高齢者など、そうじをしたり話をしたりしてコミュニケーションがとれたらいいと思います。子どもと高齢者のいこいの場や昔のよさを伝える場が保育園などを通して作っていただけるといいと思います。 (30歳代、男性)
- 無料で仕事上役立つ場を作り教える (パソコン操作etc…) (30歳代、女性)

- 今は子どもが小さいので活動はできません。けれど、私も将来的には何かできたらと思います。しかし、どのようなことが具体的に必要なかわかりません。特別なことはできません。(30歳代、女性)
- 今までではできたかも、今後は無理。年齢的に。(70歳代、女性)
- 高齢でボランティア・市民活動はできません。病気になり、まわりに迷惑をかけない様に自分自身気をつける様に心掛けております。(70歳代、女性)
- 子どもや老人に書道でつながりを作れたらよい。一緒にすることで双方の絆ができた。介護の必要な母をかかえています。施設の利用をいやがります。無理強いほしくないし、人とのかわりが認知症を遅らせることもよくわかっているので何か方法を考えたいと、それがボランティアになる方法があればと思います。(50歳代、女性)
- 地域内の庭木の剪定等や高齢者の病院への送迎等。(70歳代、男性)
- 高齢者の方の生活の支援。(20歳代、女性)
- 老人のつきそいのボランティア。介護。読み聞かせ。(50歳代、男性)
- 高齢者や障害のある人などの外出時のお手伝い。(60歳～64歳、女性)
- ボランティア活動をするとしたら、町内会の高齢者の話し相手として参加する。(65歳～69歳、男性)
- みなさんとお茶のみしたりそして少しずつでも歩いたりみなさんと一日に2時間くらい会うこと。(65歳～69歳、女性)
- お年寄りの話し相手。海外交流。(30歳代、女性)
- 弱者を対象としたもの。子ども(これからの人)を対象としたもの。(40歳代、男性)
- 一人暮らしのお年寄りの手伝いなど。(40歳代、女性)
- 今現在子育て中なので、自分の事だけで手一杯だが、育児が仕上がったら自分の経験を子育てで悩む人達の為にいかしたいと思う。(40歳代、女性)
- 一人暮らしの高齢者や障害のある人のお宅へ定期的に声かけをして、不自由な点があれば市へ(区長でも可)伝達する等、小さな見回りなどはやってみたいと思う。(40歳代、男性)
- 地域住民としての清掃活動。(80歳代以上、男性)
- 本の読み聞かせ。手話。(40歳代、女性)
- 街の活性化につながるようなこと…?かな。(60歳～64歳、女性)
- 清掃活動。地域保育園。(30歳代、女性)
- 集会所や老人介護施設への日本舞踊の慰問。大変喜ばれているので続けたい。(65歳～69歳、女性)
- 高齢の為活動に参加は出来ませんが自分で出来ることは気力が続く限り他人の力を借りずにやってゆきたい。(80歳代以上、女性)
- 草刈(70歳代、男性)
- 高齢者に限らず、孤独に生活されている方でさびしい思いをされていたり不安に思われている方々の心の支えになれるような訪問や会話をしたいと思います。(50歳代、女性)
- 地域の子どもたちとのふれあい。老人ホームへの訪問。(50歳代、男性)
- 図書館司書の資格があるので図書館でボランティアをしたいです。(30歳代、女性)
- ゴミ拾いなど参加しやすいものがあればしたい。(40歳代、男性)
- 子どもが色々体験できるようなこと。(30歳代、女性)
- 地域の少年野球チームのサポート等、若い・近い世代間での交流。そこから地域、町全体の一体感が生まれると思う。特に、20代が学生と社会人をつなぐ重要なポジションだと思う。また、そういったオファーを市側から積極的に出していくべきと考える。(20歳代、男性)
- 町内パトロールとか。(60歳～64歳、男性)
- 話し相手ならなんとかできるのではと思います。(60歳～64歳、女性)
- 野菜作りや花作り。(70歳代、男性)
- 区内に於いて年寄りに唄・踊り・お話・軽い食事等でお楽しみ会を計画すると多数の人達が参加し2時間くらいを過ごしていますが現在のままで充分だと思います。(70歳代、女性)

- 平成元年頃はしていました。今でも名前だけは入っています。腰痛と膝痛の為休んでいます。(70歳代、女性)
- 美容の仕事をしているので、女性は口紅くらいはつけてあげたいと思います。笑顔になるはず!!ヘルパーの資格を持っていますので、ボランティアで何か出来ると思っています。(60歳~64歳、女性)
- 休眠衣料の提供。高齢者訪問。(40歳代、女性)
- 市民活動という言葉に嫌悪感を持つようになってしまいました。偏った考えの集団が動員により、市民を装い活動していることを知ってしまったからです。高崎市民という定義をあいまいにせず、日本国籍を持ち、きちんと義務を果たしている者、又は、日本に帰化をし、日本という国を愛しているものに対しての、福祉その他のサービスである事が本来の平等だと思います。公務員の方は、特に区別と差別の意味を良く理解し、業務にあたって頂かないと安心して暮らせる高崎が脅かされてしまいます。(20歳代、女性)
- 子育て家族の応援。(40歳代、女性)
- 地域活性化。(30歳代、男性)
- 年中無休の仕事なので丸一日ボランティア等に携わる時間はありません。一日の中で自由に使える時間があるので、老人世帯の買物等をお手伝いできると思います。(50歳代、女性)
- 特に何が出来るかわからないから何がしたいかわからない。(40歳代、女性)
- 具体的にどのようなものがあるのかわからない。(50歳代、男性)
- 高齢者の世帯の手助けをしたい。例えば、草や植木の剪定や草むしり等。買物ができない人にはその手伝い等したいと思います。(60歳~64歳、男性)
- 短い時間で簡単な仕事(高齢者の話し相手、ゴミ出し等)(70歳代、女性)
- 現在は防犯活動実施中。施設の訪問等。(65歳~69歳、男性)
- ファミリーサポート(幼い子どもを持つ親同士で協力しあいたい。一時的に子どもを預かる等)(30歳代、女性)
- 調理師をしていたので(病院の食事、日本料理の仕事)無理のない少しならば手伝いたい。(30歳代、女性)
- 子どもが小さいので、現段階ではしたくてもなかなかできない。(65歳~69歳、女性)
- 介護、ゴミ拾いなど。(20歳代、男性)
- 今現在行っているボランティアとちがうもの。保護されたペットの命を大切に考えてあげたい。(60歳~64歳、女性)
- 青少年の健全育成に関すること。(70歳代、女性)
- 家事、庭園の草むしり、主に身体を動かすことです。(70歳代、女性)
- 高齢や病気になると新しい事をするのは大変なのですが、自分の出来る範囲の事を出来る時期に恩返しのつもりでやりたいとはいつも思っております。(60歳~64歳、女性)
- 外国語は何もできませんが市内に在住の外国人の方を家に招いて普通の家庭の生活をみてもらい、ちょっとしたお茶会などして交流をしたり少人数で毎月決まった日にそういう事が出来れば面白いと思っています。こんな事はボランティアにならないと思いますけど…問21の質問と矛盾しているかと思っはいますが。(70歳代、女性)
- 今は母子世帯のため、なかなか参加することが出来ないのですが、将来、自分に時間が出来たときに何か出来ることあるのでしょうか?私的に「ボランティア=若い世代」のイメージがあるので、自分が年をとった時でも参加できるような活動は何かあるのかを教えて欲しいです。(40歳代、女性)
- 身体障害者とのコミュニケーションがしたい。(50歳代、男性)
- ボランティアに参加したい気持ちはあっても自分の体の具合もあるし思うだけでどうにも出来ない。(70歳代、女性)
- 食事作り(60歳~64歳、女性)
- 時間が許す限り、日常生活でさりげなくサポートしたい(ボランティアという定義に捉われないで。(20歳代、男性)
- まず自分が健康であって屋外に気持ちよく出られるよう心掛けること、そして、朝は時間にきちんと起きられるようにし、各町内でも良いからラジオ体操したらメリハリが出来、しかも皆の交流が出来て楽しいと思いま

- 高齢者を集めてレクリエーション（歌：童謡、演歌、昔の歌など）など人と人の交わりをしたい。活動している人の中には人の悪口をいっている人もいる。こういう人には役員などしてもらいたくない。 (70歳代、女性)
- 現在身体不自由の為できない。 (80歳代以上、女性)
- 子育てのお手伝い。 (65歳～69歳、女性)
- 自分でも出来ること。今子育て中なので子どもに関わること。また、障害のある方や高齢者の方へも。 (30歳代、女性)
- 清掃活動及び地域住民主体の行事（例：綿貫町ふれあい祭り） (80歳代以上、男性)
- 地域の公園の掃除。 (60歳～64歳、男性)
- 日本では外国と異なり、中学校・高校などでボランティア活動を行っている。小さな頃からボランティアとは何かを教えることが必要かと。 (60歳～64歳、男性)
- 社協（赤い羽根）チャリティゴルフは数回参加させていただいております。 (70歳代、男性)
- 施設などでの生活。地域活動など。 (60歳～64歳、女性)
- 現在、子育て・介護等でボランティアする余裕がありません。傾聴ボランティア等をしてみたいと思いますが、気持ちにゆとりができれば考えてみたいと思います。 (40歳代、女性)
- 町内会ごとのいきいきサロン等がありますが、その場に出席できない方の悩み等聞く傾聴等をしたいと思います。公共の場に出てこられる方は活動に参加できる方だと思うからです。 (65歳～69歳、女性)
- 地域の方々と接するようなボランティアをしたいです。 (30歳代、男性)
- 子どもたちにスポーツの楽しさを教える活動。 (20歳代、男性)
- ゴミ拾いやあいさつをしたい。 (50歳代、男性)
- 買物、掃除、傾聴など。 (65歳～69歳、女性)
- 幼稚園、保育園、小中高などの授業の一つとして、子どもたちを通じて保護者も地域の高齢化と接する場面を作って欲しい。 (40歳代、女性)
- 悩みを聞いたりする相談員をしてみたい。 (30歳代、女性)
- どこで何が必要かわからないので参加できない。自分に出来る事がわからない…。 (50歳代、女性)
- 自分の出来ることを無理のないように参加したい。 (50歳代、女性)
- 特養施設への支援活動。 (70歳代、男性)
- どのレベルにより活動するかが問題です。 (70歳代、男性)
- 外国からの留学生や家庭へのボランティア活動で日本語を教えたり文化についても知らせる。 (65歳～69歳、女性)
- 公園などで早朝子どもも参加する環境活動があれば参加したいと思います。他の地域にあるような、地域全体に屋外にいる子供に帰宅時間だと知らせる“退（たい）の鐘”的なシステムがあれば、道路などでその時間子どもたちを見守りたいです。 (40歳代、女性)
- 自分の生活が精一杯で今は余裕がない。 (40歳代、女性)
- 職場での残業による忙しい両親の為に、保育園の迎えとその後1時間程度の預かり。 (30歳代、女性)
- お年寄りとの交流の場をつくりたい。 (65歳～69歳、女性)
- 趣味と両立できれば。 (60歳～64歳、女性)
- 高齢者の方々が孤立しないように、社会参加できるものを作るお手伝い等に協力したい。 (50歳代、女性)
- 取り柄もないので具体的には何も思いつかないのですが自分にもできそうだなと思うものであるなら考えると思います。 (50歳代、女性)
- 環境美化活動 (40歳代、女性)
- 託児ボランティアをしたいが生活と仕事に追われてなかなかできないのと情報が入ってこない。 (40歳代、女性)
- 高齢者、障害のある人などの買物のお手伝い。話し相手。 (60歳～64歳、女性)
- 老若男女問わずに参加できるもの（子どもからお年寄りまで）。ゴミ拾い、子供会、防犯パトロール、交流できるものならなんでも可。 (40歳代、女性)

- ゴミ拾い等 (50歳代、女性)
- どのようなボランティアがあるかわからない。 (50歳代、女性)
- 施設などの掃除。 (50歳代、女性)
- 絵本の読み聞かせ。朗読ボランティア。 (40歳代、女性)
- 具体的には決まっていますが、自分に出来ることでしたら何でも。 (50歳代、女性)
- 障害のある人や高齢者と関われるようなボランティアや市民活動をしたいです。 (30歳代、女性)
- 自分で出来る限り他の人達と協力し合って色々なことを話し合いし、積極的に行動し何か一つでも人の役に立ってみたいと思います（外で何かできる仕事など） (60歳～64歳、女性)
- 話し相手、買物などの手助け。 (70歳代、女性)
- 子供支援 (60歳～64歳、女性)
- 介護の手伝いをしてみたいと思う。 (60歳～64歳、女性)
- オレンジボランティアの講習を受けましたが、今年の3月まで仕事をします。3月末で退職になるので4月からはお手伝いできると思います。が、4月以降どのようにしたら良いのか分かりません。出来る事としたら、一人暮らしのご老人の方の話し相手からはじめられたらと思っています。 (50歳代、女性)
- 自分の特技や経験が活かせる事。困っている人の手伝い。 (20歳代、男性)
- 囲碁会。音楽（歌、楽器演奏）。ハイキング・山行・登山。 (70歳代、男性)
- 育児に関する集い。 (30歳代、女性)
- 子育てに奮闘しているママたちが少しでもリラックスできる場があれば、そのお手伝い。 (30歳代、女性)
- メール、インターネットの使い方を無料で老人に教える。そして、買い物・配達ができる環境にしてあげる活動をしてみたい。 (50歳代、女性)
- 現在、企業の社会貢献の一環で訪問演奏をしています。老人ホーム、障害者施設他に出向きます。ボランティアはいろんな形が合っていると違います。その人の得意なことや趣味などを兼ねてでも、活性化につながる可能性は有ると思います。 (40歳代、男性)
- 災害などがあったときには手助けできることは協力したい。 (30歳代、女性)
- 健康づくりの会、趣味の会、お茶会等その他「お手伝い」程度の事なら出来ます。 (70歳代、女性)
- 市民活動といった、大きな組織ではなく、町内単位での動きができればいいかなと思っています。狭い中での動きのほうを知り合いであったり同じ町内という事で受け入れていただけるのではないかと思います。ボランティアと言える大げさな行動ではありませんが、80才前後の一人住まいの方たちと買い物に行ったりランチに連れて行ったり、私も一緒に楽しんでいます。 (65歳～69歳、女性)
- 認知症サポーター養成講座を受けて協力したい。 (65歳～69歳、女性)
- 本当に必要な事を聞き取り調査してみたい。そして、それをまとめて活動したい。 (65歳～69歳、女性)
- 読み聞かせ等、子どもとふれあう活動。 (30歳代、女性)
- だいぶ以前のことでありますが、点字を習得し役に立てたらと思い、参加したことがありますが、ずっと昔から参加されている方たちが楽しそうにしていてその中には入りきれず、新参者の私は場違いのところに来てしまったのでは…と感じ、続けることができませんでした。私の考えすぎだったかもしれませんが、初めてその中に飛び込むことは、結構勇気の要る事でした。意を決して参加したにもかかわらず、疎外感を感じてしまうようではやはり活動をするのに躊躇してしまいます。ボランティアや市民活動に興味がある人が、気軽に参加し学べる環境づくりが大切かと思っています。問の答えになっていないかもしれませんが、書かせていただきました。 (60歳～64歳、女性)
- 12、3年ボランティアに参加しましたが、加齢により中止しました。車に乗れなくても、小さな情報でも発信できる場所、集える場所があればと思います。 (70歳代、女性)
- 生活してできないところを助ける。 (40歳代、男性)

- 個人の生活の為の必要支援と趣味等、ゆとりの活動支援などに個人の情報が集約されにくく、本当の希望する支援が何か、実体が見えにくい気がする。(近年、孤独死、孤立死に遭遇が2回程あり) (70歳代、男性)
- ゴミ拾い等の美化活動(子どもと一緒に参加できる活動がなお良い)。清掃工場でのボランティア(体験) (30歳代、女性)
- 何がボランティアで何が市民活動かわからない。 (50歳代、女性)
- このようなアンケート用紙を作成する経費をどこかのボランティア団体に寄付したいです。 (30歳代、男性)
- 過去にはやっていた事もありますが、今の暮らしの中で助けたり助けられたりはやっています。 (80歳代以上、女性)
- 清掃、環境美化、学童保育のようなものがあればやってみたい。 (30歳代、男性)
- 一人暮らしの方や体の不自由な方の話し相手や買い物、お世話など。 (50歳代、女性)
- 傾聴ボランティアをしたいと思います。 (60歳~64歳、女性)
- 自然や農地の保護。 (20歳代、男性)
- 具体的には若くない。何かあれば協力もしたい。 (65歳~69歳、男性)
- とにかく体調が良くないので、活動をしたいのは山々だが身体が言うことを聞かないので残念です。 (65歳~69歳、女性)
- 気軽に出来ることから始めたいが「何を」が思い当たらない。 (50歳代、女性)
- 困っている人が「助かった」と行ってもらえる少しのことでいいです。 (30歳代、男性)
- 参加した事がないので活動をするにしても具体的に浮かびません。 (50歳代、女性)
- 高崎市が開催しているイベントの手伝い。 (20歳代、女性)
- 高齢者の為、自分の体調管理でなにもできない。 (80歳代以上、女性)
- 清掃等あまり精神的負担が重くない事柄? (60歳~64歳、女性)
- 人の役に立つ事。 (40歳代、女性)
- イベントのお手伝い。 (30歳代、女性)
- 地域の子どもたちと関わる活動。 (50歳代、女性)
- グランドゴルフを毎週1回がんばっております。健康の賜物です。 (80歳代以上、女性)
- 環境美化活動。 (30歳代、女性)
- 町内の清掃。公園等の清掃・美化。 (40歳代、男性)
- 支援を受けたい方々が何を希望されているのか、困っているのかをしっかりと把握した上で自分が身近にそれに答えられる事が出来るとしたらやりたいです。それが、何なのか、知りたいです。 (65歳~69歳、女性)
- 仕事で得た知識や経験を生かした活動。 (30歳代、男性)
- 障害者を受け入れる団体組織の構築。 (40歳代、男性)
- 私にできる事であれば、どのようなことでも時間が許すのであれば実施したいと思います…。今はスキルアップの為に認知症キャラバン・メイトになりたいと思っています。 (30歳代、女性)
- 清掃。車の運転。 (40歳代、男性)
- 独居老人との交流。簡単なお世話など。 (50歳代、女性)
- 高齢者のみの世帯への状況確認など。何人かで分担し、一日一回は見回りが出来ると良いと思う。 (40歳代、女性)
- 以前老人ホームで働いていた事。両親を最後まで看取ったりしました。母親は大腸がん、父親はボケで二人とも大変手がかかりました。 (60歳~64歳、男性)
- 周辺地域の美化活動。 (50歳代、男性)
- 高齢者の話し相手になる。 (20歳代、女性)
- ちょっとした手伝いくらい。責任が伴うと何かあったときお互いイヤな思いをすることになると思います。 (40歳代、女性)
- 障がいを持つ子どもやその家族の支援。経済的に塾へ通えない子どもに勉強を教える。子育てに困っている乳幼児ママの支援など。 (30歳代、女性)
- 高齢者支援。 (60歳~64歳、女性)
- 美化活動。 (50歳代、女性)
- お年寄り話し相手のいない方へ電話でお相手が出来ればとお思います。 (70歳代、男性)

- 高齢の為、自分を守り、他人に迷惑をかけない様に心掛けたい。(80歳代以上、女性)
- 復興支援的なこと。(30歳代、男性)
- 何でも！(50歳代、女性)
- もう年なのでできませんがなるべく迷惑をかけない様がんばりたいと思います。(80歳代以上、女性)
- お年寄りの相談相手。(50歳代、女性)
- 環境美化でゴミ拾いなど町の様子できれいな町にたいです。(40歳代、女性)
- 体力はあるので、ゴミ出しとか家の周りの片付けとか。(40歳代、男性)
- お年寄りの話を聞く(話し相手になる)。洋裁(ボタン付けやほつれ直し etc...) (50歳代、女性)
- どのようなボランティアや市民活動があるのか分からないので、何が出来るのか、したいのかが今ひとつわからない。(20歳代、女性)
- 今現在どういうものがあるか良く分からない。(65歳~69歳、女性)
- 「ボランティア」の時代は終わったと思う。それが職業として成り立つ仕組みをつくるべきだと思う。(50歳代、女性)
- 地域の清掃・公園の整備清掃、一人暮らしの高齢者の見回り、困り事の支
- 高齢者のみの世帯への手助け。(30歳代、女性)
- 老人とふれあい、歌などを一緒に歌いたい。(60歳~64歳、女性)
- 困っている人へのちょっとした手伝い。(50歳代、女性)
- 介護のお手伝い。(70歳代、女性)
- 老人ホーム等のお手伝い。町内行事(祭りなど)のお手伝い。日々、朝晩にウォーキングをしているので町内のパトロールを兼ねた歩き。(40歳代、女性)
- 一人暮らしや高齢者のみで暮らしている方の話し相手や買い物などの手伝い。(50歳代、女性)
- 施設訪問、読み聞かせ、各種イベントの手伝い、話し相手。(65歳~69歳、女性)
- 特別な事ではなく一般家庭で日常しているようなあまり負担にならない
- 簡単な事でも高齢者に出来ない事があると思います。そのような時に手伝いなどしたいと思います。(60歳~64歳、女性)
- 地域(公園&川)の美化活動。(40歳代、女性)
- 子育て中でも、子どもと一緒にできるボランティアがあれば積極的に参加したい。(30歳代、女性)
- 勉強を教える。農作業など体を動かす。外国人の支援など。(20歳代、女性)
- ゴミ拾い。(30歳代、女性)
- お互いに助け合うことです。(80歳代以上、男性)
- 拘束時間にとらわれず、空き時間に行けばいつでもできるような活動。(40歳代、女性)
- 自分の住んでいる地域周辺の緑化、美化活動のボランティアなど。(60歳~64歳、女性)
- 私は調理人あがりですので、どちらかという料理関係のボランティアをしたいと思っています。(70歳代、男性)
- 子育て中の若いお母さん達に何か話をする事。年をとっていてもいいものを持っている人が沢山いるという事を分かってほしいと思っています。(70歳代、女性)
- 高齢者に対する何か！(60歳~64歳、女性)
- 料理教室、フラワーアレンジメント、手芸、等(40歳代、女性)
- 人のためになっていると実感できること。(30歳代、男性)
- 子どもとの関わりのあるボランティア(読み聞かせなど)(50歳代、女性)
- 安否確認、家事支援、など。(50歳代、女性)
- 動物の保護活動。(30歳代、男性)
- 町内清掃(70歳代、女性)
- 今言っている事を出来るだけ続けたい。(80歳代以上、男性)
- 介護を受けている方々と話をしたい。(65歳~69歳、女性)
- 親子で参加できるような、誰でも簡単に出来ること。(40歳代、男性)
- 資格、技術が無いので環境美化活動、防災・防犯活動等に参加したい。(60歳~64歳、女性)
- 川をきれいにしたい。朗読。(50歳代、女性)

- まずは誰にでもできることから始めたいと思います。たとえば清掃活動などから。 (50歳代、女性)
- 地域住民の絵画展、手芸作品展、写真展などには少し役立つと思います。 (70歳代、男性)
- 清掃 (30歳代、男性)
- ゴミ拾い (30歳代、男性)
- 自分の興味・関心のある分野で主体的に関われること。 (40歳代、女性)
- 不登校の子どもたちの相談相手、かな。 (50歳代、女性)
- 自分自身でも親の介護をしているが、一人暮らしの高齢者の方たちへのお弁当等の宅配、掃除ができれば良いかと。 (50歳代、女性)
- 公民館に大勢の人と一緒に歌う会をいろいろな地区でやりたいです。現在も進行中ですが、担当の主事にあまり理解されず困っています。良い主事さんもいます。 (65歳～69歳、女性)
- 老人と幼児の係り合うような手助け。 (60歳～64歳、男性)
- ボランティア・市民活動にどんな種類があるのかあまりよくわからないのですが、責任を強く求められるような事は遠慮したいです。 (40歳代、女性)
- 高齢者との対話、手芸。 (60歳～64歳、女性)
- 介護の手伝い、学校応援団 (50歳代、女性)
- 保育のお手伝い（資格はありません）、お年寄りへお弁当を届けたり（車はありますので）、環境整備（草むしり等のお手伝い、公園などの…） (50歳代、女性)
- 知らない子どもたちとの交流！ (65歳～69歳、男性)
- 散歩、買い物の手伝い（お年寄りの）、道路・公園の清掃 (50歳代、男性)
- 我家にも高齢者・障害者がおりますので、自分の家の周りで自分の出来る事を見つけて行動に移すことから始めたいと思います。 (50歳代、女性)
- 環境美化活動 (50歳代、男性)
- 自分の自由になる時間帯で簡単なことから始めてみたい。 (50歳代、女性)
- 人と人との声掛け、手助けなど。 (80歳代以上、男性)
- お年寄り、子どもと接する事ができ、楽しいもののできる活動。 (20歳代、男性)
- 年寄り同士の語り合い。 (80歳代以上、女性)
- こうでなくてはならないという結果を求めた事は荷物になると思う。前向きな指導の本で向上（その事の良い方向性に近づく）していく事が子どもたちに残していければ何でも良いと思う。 (50歳代、女性)
- 高齢者支援 (20歳代、男性)
- 公民館で行っている事業に協力してゆきたい。公民館の活動を全区民に知ってもらい、活動の輪を広げてゆきたい。 (40歳代、男性)
- 地域の美化活動やお年寄りの援助など。 (60歳～64歳、女性)
- 人の役に立てること。専門的なもののお手伝い程度なら出来ると思います。 (60歳～64歳、女性)
- ボランティアは分かりますが、市民活動とは何ですか？どんなことを対象にしているのですか？ (30歳代、男性)
- 近くに頼る人がいない。話す人がいない。人々の為の話し相手になればいいなと思います。 (40歳代、女性)
- 核家族の子育て中の家や独老人家の訪問など。大きい事は出来ないけど・・・“気にかけてくれる誰かがいる”だけで、福祉環境は大きく変化すると思う。 (30歳代、女性)

## 「高崎市民福祉意識アンケート調査」記述集計表

問27 「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせる社会」を創り出すための取り組みについて、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

### ○生活課題のニーズ把握に関連する記述

回答内容	年齢、性別
情報の一元化の強化が必要。情報を正しく（提供や更新）管理する為に、市民の意識改革が必要。	20歳代 女性
地域住民がどのような困り事があるのか。相談できる人と相談された人が悩み事を解決できる行政。うまく連携できるような取り組み。	40歳代 女性
それぞれの方々の個別的なニーズは何なのか、行政が音頭をとって地区の代表者に話して、その事について地域住民で話し合う機会を作るのはどうか？そこから具体案が出てくるのではないのでしょうか。	40歳代 男性
最近、市からのメール情報配信等で不審者や詐欺行為の情報が届きます。「誰もが安心して暮らせる」為には、段階を踏んで安心な町づくりも大切かと思えます。生活にハンディキャップが有る無いに関わらず、そこに暮らす人々の心の豊かさを増加させる必要もあるのでは・・・とも思います。	40歳代 男性
生活の中での困り事や希望を、気軽に相談できる場所を地域・行政・インターネット等、沢山の場所にすること。	50歳代 女性
近所で一人暮らし、子どもさんが近くにいない、親類がいないなどの情報は地域、区などでなるべく知っておくべきである。他人が入ることを嫌う老人がいるので市の福祉の人が積極的に入るべきである。	50歳代 女性
ニーズがわかれば小さい活動から大きく広げていく。小さいニーズに対応していくための小さい組織づくりの段階で行政に関わっていただき、成功、失敗を繰り返し真の支援の制度をあげてゆく。ますますニーズは多様化するので、小さくこまわりの効く支援を早く試みる。歩きながら考え、多少の行き違いをおそれず声をかけてみるのが良いと思います。	60歳～64歳 女性
ボランティア難しく考えなくても良いとは思いますが個人でするのはなかなか出来ないと思いますので広報やらで募集の告知をどんどんしたら良いと思います。	60歳～64歳 女性
個人情報管理が厳しくなります。困り事の情報などが共有できない環境を是正していかないと、問題が発見・協力できないのでは・・・。	65歳～69歳 女性
なんでも福祉というけど年金で生活している人でも困っている人いっぱいいると思います。色々世の中の人見てみな同じにしてみたいと思う。	65歳～69歳 女性
プライバシーの保護等個人を尊重する事に配慮しつつ個人の生活状態を確認し支援する事は担当の方々の苦勞が推察できます。しかし、多数の人々が安全、安心の生活を希望しています。行政の仕事は大変なことと思います。	65歳～69歳 男性
地域での支え合いを強固にする為に、助けを必要としている人達の現状把握がなされるべきと思う。現実には個人情報保護が足かせとなり情報の共有が不可能。	80歳以上 女性

○ご近所の連携に関連する記述

回答内容	年齢、性別
新たに地域に引っ越してきた人などは自分の町内会すらわからないと思う。例えば小学校のように、わかりやすい拠点を中心に地域コミュニティを形成し、様々な問題解決に向けた活動や交流（地域運動会など）を広げていくべきだと思う。	20歳代 女性
誰もが安心して暮らせるよう防犯の強化	20歳代 女性
地域住民の関係づくり。気軽に頼みごとができる関係づくり。	20歳代 女性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を身近に設置してもらいたい。	20歳代 女性
困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。応援しています！頑張りましょう一緒に！ちなみに、広報の紙質は良いほうだと思うので、少しでも落とすと費用が少なく済むのでは？	20歳代 女性
昔からある集落に新たに入った場合、そのどのような習慣があるかわからず、どんどん孤立していく気がする。年間でどのような行事があるか、近所の冠婚葬祭にはどのように参加するのかがわかる資料があるとありがたい。	20歳代 女性
高齢買物難民が増える傾向にありボランティアの必要性を強く感じる。また、老人ホーム等の入居に関する情報が希薄であり身近に（町内会等に）豊富な情報を持った人がいたらありがたい。	20歳代 男性
生活のなかの困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。⇒場所を設置しても、そこに出かける人は少ないでしょう。大変でも、身近な人がひと声かける。一軒一軒様子をチェックするなど、待っているのではなく「足を運ぶ」ことがもれのない福祉になるのではないのでしょうか。	20歳代 男性
他県出身者に冷たい。	20歳代 男性
①住民同士の助け合いが重要だと思います。その為に何が出来るか、皆で考えていければよいです ②行政だけでは限度があります。（高齢化社会に関して）一人の力で足りない事も皆で力を合わせればできるはず！ ③小さい時からまわりに障がい者、高齢者がいれば、差別・偏見等もなくなるのでは？（家庭の躰もありますが…）難しいです！	20歳代 男性
隣人に関心を持ち、各々が自分の出来ることで助け合い協力し合える体制。そして、その輪を広げていき、行政とのパイプ役の方々にも気楽に気軽に相談できる環境をつくる。	20歳代 男性
地域交流を深める取り組みが必要。	30歳代 女性
もっと気軽にお手伝いができるような仕組みづくりとそれを広くみんなに知らせるような取り組みが必要。	30歳代 女性

回答内容	年齢、性別
よくわかりません。家族がいても、友人がいても、“うわべ”だけの付き合いで、本当に心がつながっている人は少ないかもしれません。「自分さえ良ければ…」と言う、わがままな人が増えたと思います。経済の成長とは逆に、日本人は心は貧しくなりました。残念です。	30歳代 女性
なにか手伝いたいと思っても、どのような流れで行えばいいのかわからないと思うので、相談所を作るなどしたらよい。	30歳代 女性
未来の大人（子供達）に、困っている方がいてどうしていくべきかなどを伝えていくこと。回覧板や広報などに今どのように困っている方たちがいるのかを伝えていく記事があるとわかり易い。手を差し伸べたくてもなかなか見えない部分があるから一番近い所で見たり聞いたり読んだりして知識を知っていきたい。	30歳代 女性
こういったことの前段階として、難しい問題だと思うのでなかなか答えにくいのですが、こういった資料の内容を理解できない人も沢山いらっしゃると思います。回覧板等に、簡潔にかつ誰もが理解できる言葉でサインを発して行く事も必要だと思います。例えば「困りごと受けます！！」等々・・・	30歳代 女性
私は結婚して高崎に住んでいるのですが、市内に同じくらいの子どもがいる友達がいないのでいつも実家のある富岡市の児童館や保育園に行っています。富岡市には友達もいるので、自分も行きやすいし楽しいからです。高崎市の児童館にも何回か行ったことはあるのですが、知り合いもないのでなかなかしめず、あまり行っていません。4月から、子どもは保育園に行くのですが、そこでママ友ができるか心配です。近所に住んでいる人ともあまり交流していないので、小さい子どもがいるのかいないのかもわかりません。そういう人のための何かあるのかもわからないので結局実家のある方に行ってしまいます。	30歳代 女性
自分が子どもの頃、お隣に回覧板を持っていくとお菓子をもらったりしました。「地域」を考える時、こういった子どもたちが世代を超えた交流を助けてくれると思うので、子どもを含めた活動が有効と思います。	30歳代 女性
援助が必要な人or家族が自分の住んでいる地域にどのくらいいるのか実際分かりません。援助が必要な人or家族の方が必要としている援助内容を地域の人々に周知できたらもう少し手助けができるのではないのでしょうか。	30歳代 女性
根本的に思いやりに欠けていることが、“安心して暮らせる社会”を作れない原因になっているのでは？一人一人が自分以外、自分の家族以外、友人以外、そんな他の人々のことを認め、少しでも思いやれば（自分ならどう思うか、どうしてもらいたいかな等）地域の暮らしは自然とよくなるんじゃないかと、常々思っています。	30歳代 男性
地域住民との助け合いが必要。行政にばっか頼らない。行政のせいにしない。自分たちからはたらきかける。なかなかむずかしいけれど…。	30歳代 男性
小学校区で高齢者と子どものいこいの場やイベント。誰だかわかるような近所の付き合い方。安心して通学できるようにして欲しい。	30歳代 男性
住民同士が顔を付きあわせられる機会を設けられる仕組みづくりとそれを周知してもらえ活動が必要。	30歳代 男性
価値観が多様化する中で「誰もが」その人らしく暮らすのは難しいことだと思うが、近隣住民で協力せざるを得ないような行事や催しがあれば、もう少し近所の人を知ることが出来るかもしれない（具体的には思いつきませんが…）	30歳代 男性
近所の住民の家に行って、一緒にご飯が食べられる位の絆をつくる必要がある。	30歳代 男性

回答内容	年齢、性別
近所で気楽に集まれる場所が必要。若い母親とお年寄りが集まり自由に話したり相談したりするお茶のみ友達風の場所が必要。	40歳代 女性
まず、ご近所での助け合いが必要。	40歳代 女性
自己努力によって日頃から助けあったりする生活を送る事。必要以上に相手の生活に立ち入らない最低限のマナーを持って行動すること。家族を大切にすること。	40歳代 女性
ご近所付き合いが本当に大切だと思います。又、民生委員さんはお仕事が多すぎるように感じます。もっと数を増やし、負担を少なくしないとやっていただけの方がいなくなってしまう気がします。職業として、民生委員さんをしていただくようにしたらどうかと思います。	40歳代 女性
今は社会全体が人との交流を避ける傾向にあるように思います。他人を信用できないと思う人も多いかもしれません。深入りしたくないという思いや、放っておいてほしいと思う人も多いと思います。やはり、自分の地域で、人の輪を広げていくことから始めるしかないと思います。	40歳代 女性
高崎は（私の住んでいる場所）気軽に出かけられる公園が少ないので近所の人と会話をするのにも道路で話すので車を気にしながらなので、交流の最初の段階すら進めず、情報のやり取りが意識しないと出来ない。かしまらず出かけられる場所があると良いと思う。	40歳代 女性
まずは個人個人が周囲に気を配り、声を掛け合い、問題提起していけると良いと思う。	40歳代 女性
住民の声を理解して行動して欲しい。	40歳代 女性
高齢者のみの世帯が増え続けるので地域住民が見ていく必要はあると思うが、思うだけで行動に移す方法がわからない。広域の広告媒体ではまったくピンとこないの、回覧等を使って区長の呼びかけがあって、皆が集まって話し合う。そこに行政がからんでくる、これがベストだと思う。でも、今後ささえられる人があつという間に少なくなると、ボランティアでは限界がくるので、ビジネスとして成り立たせるように行政が動くべきだと思う。	40歳代 男性
まずは地域住民同士の交流の場（機会）が必要。近所付き合いも無く活動はできないのでは？	40歳代 男性
地域のつながりが少なくなっているの、行政がどんどんかかわってほしいと思います。	50歳代 女性
出来たら高齢者のひとり暮らし世帯にしないようにする。何かあった時だけでなく、ふだんからお互いに話をする。	50歳代 女性
地域で班長をやる1年間を利用して、関係を深め信頼できるような近所の人と話を出来る機会を作る。以前から住んでいる人々に色々教わる機会を作る。	50歳代 女性
回覧板で「悩み相談、心配事、その他」というコーナーを設けてみるのもいいと思います。	50歳代 女性
生活のなかでの困りごとを解決するために住民同士が支えあえる地域づくり。一部だけど（長く住んでいる人）連携するのではなく、若い世代も交えて町内を活性化させる事が必要であると思う。	50歳代 女性

回答内容	年齢、性別
あまりこだわる事なく自然に手を差し伸べられるのがベストだと思います。それには、やはり子どもの頃から学校や家庭での育成が必要なのではないでしょうか。今は、時間に追われすぎて隣近所の付き合いが希薄の様な気がします。	50歳代 女性
あまり広くない地域（班など）の人々と普段から気軽に自分のことを話したりして自分を知ってもらっておく。時々（年に数回）班の方との寄り合いが必要（お茶会など）	50歳代 女性
個人情報保護などもあり、お互いがある一線以上入り込まないような付き合いをしているのが現状である。町内会の行事などを通して、気軽にあいさつや声かけができる関係性を築き、いざという時に助け合えるような仕組みが必要。	50歳代 女性
近所で何でも話し、相談できる友人・知人をつくっておく事。そうするため、自分から友人がいない人（高齢者）にも行政で何かかわりの機会をつくったりしていつ閉じこもりを防止していくことを期待したい。	50歳代 女性
車が運転できなくなったときの買物や病院への交通手段が困る。	50歳代 女性
情報が入らない、もしくは、尋ねるところが分からない高齢者や閉鎖的な人に安心できる場所や人の提供を伝えたり知らせることが必要。	50歳代 女性
民生委員が一人で訪問するのは限度があるので、曜日を決め、数人（例：隣保班の人達）が交代で訪問し、様子を伺う。あち、以前TVで見たのですが、無料で何かしてあげるのではなく、回数券を1枚300～500円でお手伝いをすればお互いに気兼ねなくて頼みやすいのでは。買物とか電球の交換とかなど。	50歳代 女性
20年以上住んでいますが、地域の役員さんがどのように決まっているのかさえわかりません。新しい年度になって、回覧でわかります。こんな中で、生活に困り事ができても相談するところを作ったとしても行く気にはなれません。もう少し開かれた地域活動が必要かと思います。いつまでたってもよそ者扱いですので。ちょっと質問の答えにはなっていないようでごめんなさい。	50歳代 女性
保育施設の充実（働くお母さんが増えている）、給食等を近くのお年寄りにも提供が出来れば！買い物をするのも困難だったり、経済的にも大変な方も多い。病院等の送迎等にも困っている。	50歳代 女性
道路のゴミ拾いや草刈り、公園の掃除等の取り組みである程度の知り合いはできました。スポーツは不得意のため参加できません。土日に参加可能な行事あれば今後も参加していきたい。	50歳代 男性
日常生活において近所付き合いや地域に根ざした（各地域に合った）行政のバックアップが必要と思う。	50歳代 男性
公園の設置（小さいもの）。交流の場として公園は最適である。情報交換の場として、もっともっと設置すべきである。	50歳代 男性
ボランティアとか組織とか、というのではなく、昔のように気軽に近所の家に行き来して、お互い様ということで手伝ったり手伝ってもらったりの関係で交流できればいいと思います。	50歳代 男性

回答内容	年齢、性別
<p>アパートに住んでいるのですが、回覧板や広報高崎が一度も回ってきたことがなく、この地区（箕郷町上芝）の区長さんにTelで問い合わせてもちゃんとした答えが返ってこなくいつも困惑しています…特にゴミだしのルールもいい加減でもっと行政だけでなく例えばアパートの管理会社なども住民に契約時にきちんと説明したり、区長と連絡を取り合い協力し合うことが必要だと思います。</p>	50歳代 男性
<p>ちょっとした手伝い、外出に声を掛け合う、途中（一人では）仲間入りは出来ない。近くに歩いていける場所！地域での福祉活動を活性化させることが必要と思う。</p>	50歳代 男性
<p>身近な近所づきあいからだんだんと広げて地域で何かできれば！</p>	50歳代 男性
<p>福祉バス、タクシーなどの買物弱者に対する対応があるといい。</p>	60歳～64歳 女性
<p>老人の一人暮らしになると買い物が一番大変だと思います。何か良い方法を考えていただくと助かりますのでよろしくお願い致します。</p>	60歳～64歳 女性
<p>ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。 ⇒一人暮らしになると毎日でちょっとした事で困ることが多くなります。そんな時、誰かにお願いできる人がいれば心強いと思う。</p>	60歳～64歳 女性
<p>認知症になられた方が地域で過ごすには、ご近所の方々の協力がとても大切だと思います。地域で福祉を支えるというお互いの一致した考えも必要であり、家族の方々の協力も大事だと思います。</p>	60歳～64歳 女性
<p>高齢者でなくとも、買物にいけない、急に病院へ行けない等の時、安心してたのめて安い料金で組織他していただくと大変安心して暮らせる社会になるのではないのでしょうか。</p>	60歳～64歳 女性
<p>近所同士の助け合い</p>	60歳～64歳 女性
<p>町内班長による、広報高崎を配る時、高齢者宅に声をかけて見るのもよいと思います。</p>	60歳～64歳 女性
<p>手助けを必要としている人が気軽に周囲に声を掛けられるような近所の付き合い方がこれからは大事になってくると思います。</p>	60歳～64歳 女性
<p>高齢者になると運転が出来なくなるため、車での移動スーパーが週一度二度あればと思う。身近で感じています。</p>	60歳～64歳 女性
<p>やはり、まわりは誰が住んでいるかわからない社会です。先日も、ご近所に空き巣が入ったのも知らないようです。困りますね。</p>	60歳～64歳 女性
<p>例をとってみたいいい案があり大変うれしく思っています。今は人間関係があまり良くないので少しでも人の役に立って人生を歩んで行きたいと思えます。まずは近所の人達から仲間を作って一緒に活動していきたいですね。</p>	60歳～64歳 女性
<p>日頃から、近隣同士の交流が出来る仕組みづくりが必要（あまり広い範囲でなく）</p>	60歳～64歳 女性
<p>自分自身の問題として、まわりの人とのかかわり、ふれあいを受け入れられる心の柔軟性、広さを日頃作っていくことの大切さを感じております。</p>	60歳～64歳 女性

回答内容	年齢、性別
近所の方たちと話し合える場をもうける。	60歳～64歳 女性
最小単位の隣組のふれあいの中で困っている方がいたら、時間があれば定期的あるいは不定期でも良いから話し相手になってあげて、地域で情報交換しあいながらお互いに成長していけると理想かと思う。	60歳～64歳 女性
高齢化が進む中で、ちょっとした手伝いが出来る住民間相互の支援活動が福祉の基本ではないでしょうか！！	60歳～64歳 女性
ちょっと手伝いが出来る時に町内公園等の掲示板に今ここでお手伝いしてほしいとか知らせてほしい。	60歳～64歳 男性
近所とのコミュニケーションをとり支えあい。地域で福祉活動の交流を図る。	60歳～64歳 男性
普段から近所付き合いをして自分という人間を知ってもらおう。	60歳～64歳 男性
近年は、他人との会話が（付き合い）できているので、対話ができる仕組みづくりが必要かと。昔は他人の子どもでも注意できたが、今は注意すること自体が余計なお世話で片付けられる。この状況が解決出来る方法を探す。	60歳～64歳 男性
おたがいに仲良く暮せる人間関係が最近ない。心配事があつたら、その人の身になって考え、みんなで協力して明るい高崎市の住民になり生きなければと思います。現在はことなかれ主義みたいの様だ。	65歳～69歳 女性
安心して、手伝いをたのめる人が必要だと思います。	65歳～69歳 女性
年齢を重ねるにしたがって女性はとくに言いたいことを言うので（近所でのこと）あまり外に出たくないことがあります。	65歳～69歳 女性
まずは近所の人達が声を掛け合うことが大事です。風通しの良い町であれば困ったときや大変なときに気軽に頼む事が出来ると思うので、なるべく普段からコミュニケーションを心掛けたいし、親しくしていきたいと思っています。	65歳～69歳 女性
昔の様に隣り、近所の交流が必要。（今は通路愛護の時だけ）	65歳～69歳 女性
まずはご近所とのコミュニケーションを心掛けていくことから、プライバシーを気にして遠慮がちになっているところを見直すなど。ボランティア活動は奉仕活動、慈善的なものと考えられがちですが、そうではなく、携わらせていただくもの、自分にとっても共に高めていける大切なものと思っています。「してあげている～」という気持ちでは長続きできないと思っています。学ぶことが多いです。	65歳～69歳 女性
最低でも隣保班の人達の事は連絡取り合っ困った事、一人暮らしの人には特に注意して守りたいと思います。	65歳～69歳 女性
困りごとなどが起きた場合、適切なアドバイス・助言ができる人を町内もしくは隣保班ぐらいの小さい単位で選ばれる人がいれば安心して暮らせるかも知れません。今の社会は他人にはなかなか言えないこともありますので。	65歳～69歳 女性

回答内容	年齢、性別
年寄りが若い人達の間はどこまで近寄って言ったらいいか迷います。あまり出すぎてもよくないですし、まして新しい住宅の間には若い人ばかりなので近所には年寄りが少ない。	65歳～69歳 女性
同じ地域に住んでいても知らずに過ごしているのが現状です。何かせめて、地域の方々を知る方法、そして、独居高齢者の方々には接する機会を作っていたら、又は、知ることができる方法があれば気にかけてたり、話しかけたりすることもできるような気がします。	65歳～69歳 女性
一人で暮らしている高齢者などの情報を地域で共有できる仕組み作り。	65歳～69歳 男性
地域住民の連帯意識が希薄化している。市の広報を活用し、問題意識を提起してはどうか。	65歳～69歳 男性
ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。近所の人達と常に声を掛け合う様なシステム、それが町内会や市の方より住民に働きかけるシステム、仕組みを作る必要がある。特に一人で暮らしている高齢者などは必要です。市の方より電話で毎日お元気ですかコールを！！一日5分の会話でも良いのです。藤岡市では毎日電話しておりました。高崎も実行したらどうですか？	65歳～69歳 男性
家族、親族の交流を常日頃から心掛け、非常時にはすぐ対応できる様にしておく。又、近所とも同様である。	65歳～69歳 男性
困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。無視かと違い隣組の力が低下しています。日頃より隣組の活動がうまくいくようなシカケが必要と思われれます。	65歳～69歳 男性
以前は行っていた町内の清掃活動のような奉仕作業による人とのつながり	65歳～69歳 男性
困りごとは心の許せる近所の方にお手伝いをして頂くことが安心感があるが、第三者機関に対応して頂くことも大切。いつの世も善意あるおせっかいが有効です。	70歳代 女性
アンケートの調査の機会を与えられ嬉しく思います。現代はとなりですら交流する機会もなく、どんな方が住んでいる状態かも解らず昔あった隣保班との交わりを年に何回か持っていけたら良いと思います。葬式すらお手伝いの必要がなくなったのですから――。	70歳代 女性
ご近所の方が、住居はあってもお住まいにならない・なれない事情で空き家になっている時間が長く、もう何年にもなってます。時々、片付けに人がみえてますのできれいになってますが、先のことがわからないので…近頃気をもんでいます。	70歳代 女性
となり近所の方の声かけ、たとえば買物に行くときに高齢者の方に、なにか買って来るものがありますかと声をかけてあればたのまれてる様な場所にしたいです。	70歳代 女性
これからは高齢者の方が多くなり一人暮らしの方も増すと思ひ、近所の人達と常に気配りをしてお互いに助け合って連絡をとりあっていけたらと思ひます。	70歳代 女性
御近所同士節度のある付き合い、助け合いが必要だと思ひます。	70歳代 女性

回答内容	年齢、性別
車の運転が出来なくなった高齢者は、買物など外出の機会がなくなるので週一度ぐらい車利用があると理想的。	70歳代 女性
まず身近な人々とのつながり	70歳代 女性
小さな町でも商店街が少なく買物に困っている人がいます。近くスーパーも閉店するということです。その人を支える組織が欲しいです。	70歳代 女性
マンションやアパートに回覧が回ってこない話を聞きます。留守がちな家や無関心な人もいるので滞るのでしょうか。	70歳代 女性
団地が出来て40数年が経過し、当初は住民が若かったので団地内での行事が多く、団地内の交流も出来、まとまっていたが現在は高齢化で団地としての行事も無くなり、人との交流がほとんどないので個々の世代も変わり若い人の状況もつかめないうち孤立化している現状です。	70歳代 女性
隣組の人達との親しい付き合い。	70歳代 男性
日常のあいさつ人と人とのふれあい、日頃から近所同士で立ち話のできる人がいる事、お互いに訪問し合う人がいること。	70歳代 男性
町内の住民のふれあいが必要だと思う。	70歳代 男性
高齢化が進み移動手段がない方々への足となる方法が必要と思う。	70歳代 男性
自分のまわりの人達に関心を常に持つ。	70歳代 男性
①地域の核家族の構成に関する情報を共有できる仕組み ②子ども達が高齢者宅や施設を自由に訪問できる仕組み ③道での挨拶を元気にすることの義務づけ ④個人情報…うるさく云うと、地域活動はできなくなり隣近所のおつきあいがなくなり隣の人のことが分からない、よくない。	70歳代 男性
高齢者が買物とか病院等に出かけるのに小型バス等がどこでも停車できるようなシステムを考えていただきたい。	70歳代 男性
問23で述べました。地区単位、地区間単位でネットワーク化し、荘が活用できればと思います。	70歳代 男性
子供に頼る社会が薄くなってきている。また、高齢化社会も加速し地域社会がもっと身近に助け合うニーズが強くなっている現状踏まえると、隣組・町内会が相互に協力する仕組みが急がれる。また、健康維持は生きがいも重要です。年を経てもやる事が多い人は元気です。これも重点と考えます。	70歳代 男性
個人情報の保護も大事ですが、いかに必要な情報を得たり、必要な情報交換が出来るかで地域の安心、時に高齢者の支援が出来る気がする。	70歳代 男性
地域住民が情報を共有する。	80歳以上 女性

回答内容	年齢、性別
<p>組織的な行政や福祉の関係だけでなく、人としての個人的な知識や技能を掘り起こし、利用し、活用する、そんな人々のつながりや相互助け合いが出来たら、どんなに社会全体が豊かになるなあ、そう、いつも考えているのです。私は。</p>	80歳以上 女性
<p>私は、幸い近くに子供達の世帯がありますが、それぞれ仕事を持っていて、急な出来事の時対応できないのではという不安があります。その時のため、両隣、前後のお宅にお世話になるかとも思います。顔を合わせれば言葉を交わしている付き合いですが、「何かありましたらよろしく」の一言が出ません。又、相手の方も「近くに娘さんがいるのだから」余分なおせっかいはと思っているのかもしれませんが。そこで、民生委員の方からお願いしていただくのはどうでしょう。</p>	80歳以上 女性
<p>公民館活動など参加したいが、マンションなので外部の事が分からない。地域で活動している案内などいただきたい。</p>	80歳以上 女性
<p>年寄りには食料の買出しが大変です。業者に手数料を払ってでも届けてくれる制度があれば良いと思います。</p>	80歳以上 女性
<p>地域での福祉活動を活性化することが必要。私は前橋から区画整理のためこちらのシルバーマンションに越してきました。いろいろの事情があって取り敢えず知っている人を頼ってきましたが、地域の方とのふれあいもなく、ほんとうに淋しく過ごしております。85才の老婆です。</p>	80歳以上 女性
<p>近所との交流が希薄にならない様つとめる。</p>	80歳以上 男性
<p>隣組の人達との親しい付き合い。近所の人達が、ごく親しく挨拶できることが根底になれば成り立たないことと考えます。</p>	80歳以上 男性
<p>あまりにも個人のプライバシーにこだわり過ぎて暮らしにくい社会になっている。</p>	80歳以上 男性
<p>近所付き合いがもう少し深くできると良いと思う。</p>	80歳以上 男性
<p>近所で一人暮らし、子どもさんが近くにいない、親類がいないなどの情報は地域、区などでなるべく知っておくべきである。他人が入ることを嫌う老人がいるので市の福祉の人が積極的に入るべきである。（再掲）</p>	50歳代 女性
<p>ニーズがわかれば小さい活動から大きく広げていく。小さいニーズに対応していくための小さい組織づくりの段階で行政に関わっていただき、成功、失敗を繰り返し真の支援の制度をあげてゆく。ますますニーズは多様化するので、小さくこまわりの効く支援を早く試みる。歩きながら考え、多少の行き違いをおそれず声をかけてみるのが良いと思います。（再掲）</p>	60歳～64歳 女性

## ○地域の見守りに関する記述

回答内容	年齢、性別
生活の中での困りごとを相談できる機関がほしい。社会に出てから必要となる一般常識は、学校で学ぶ機会が意外に少ないため。	20歳代 女性
高齢者のみの世帯への状況確認など。何人かで分担し、一日一回は見回りが出来ると良いと思う。	20歳代 男性
各町の班長が各家をまわるなどの活動。	20歳代 男性
個性を尊重しつつ、それが他人の迷惑にならないよう、地域パトロールと行政機関が連携して問題発見から解決までを早くするようなシステムが必要だと思います。	20歳代 男性
近所の住民などによる福祉活動の組織かも必要だが、それ以上に行政がしっかりと地域福祉活動に対応していくことが大事だと思う。（孤独死などの問題に対してなど）	20歳代 男性
①安全に生活を送れるよう、通学路や不審者の出た場所など見回る活動がもっと必要。 ②災害時や緊急時に手助けが必要な方の情報共有のシステム作りが必要。 ③地域単位での防災訓練や災害時の対応マニュアル作りが必要。	30歳代 女性
夜中の警察官のパトロールその他多々。あとは国です！	30歳代 男性
小学校低学年がもっと安全に下校できるよう取り組んでもらいたい。	40歳代 女性
民生委員さんなどが一人家庭や高齢者家庭を地域で見守る活動が必要だと思います。	40歳代 女性
防犯活動の充実。物騒な世の中なので。	40歳代 男性
退職者の活用（地域の巡回、単身老人宅訪問等）し活動報酬やボランティアを積極的に雇用する。	40歳代 男性
一人暮らし世帯の把握	40歳代 男性
治安維持がまず先だと思います。電灯が切れたままにされず、人が活動していることが地域の安全につながると思います。	40歳代 男性
見守り隊を企業と取り組むしくみ。毎日必要とする<食物、飲み物>をお届けしながら会話というケアが大切だと思います。年長者を尊ぶ当たり前の子育てが欠如していることで、今々問題になったことではありませんよね。	50歳代 女性
声を聞いてくださる地域の窓口がはっきりしている事。見廻りの回数を増やす事（一人暮らし、高齢者、障害者）	50歳代 女性
自分の班の上下・左右の班の交流。高齢になり買物難民が増加していることへの対応。	50歳代 女性

回答内容	年齢、性別
普段からの近所同士のお付き合いが大事だと思います。	50歳代 女性
困りごとを相談できる場所。地域での、福祉・防災・防犯活動。	50歳代 男性
孤立・孤独を防止するために、市は積極的に実態を把握し、チームを作成するなどして取り組む必要があるのでは！	50歳代 男性
困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。安心して暮らしていくためには食事と健康と趣味、プライバシーに配慮された生活の中で心穏やかに楽しい人生を過ごすには何が必要か。一人暮らしの高齢者になったら1日1回以上の食事サービス（有料）月1～2回の往診（歯、内科、薬…）ネットでの情報交換、いろいろな趣味の紹介	60歳～64歳 女性
独居高齢者には継続支援が大切であると考えます。時々訪問するのではなく、他市で行っている、ヤクルト配達で毎日の安否確認は素晴らしいです。	60歳～64歳 女性
孤立させないこと。	60歳～64歳 女性
見守り（相手が負担に感じる事があるとかえって困るので、遠くからや近くでの見守りもとても大切だと思います。	60歳～64歳 女性
定期的に住民が地域での見回りとか、数人で交代制で町内の住民生活の場をパトロールなり訪問したり声あけなどしていただければいいと思います。	60歳～64歳 女性
今後一人暮らしが増え、更に近所との付き合いを嫌う傾向があると思うので、町内の組織より市行政に気軽に電話をすれば答えてくれるホットラインがあると安心です。難しい専門用語は使わず、ゆっくりとした口調もモットーにこれから基本にしていだけたらと思う。	60歳～64歳 女性
今後高齢化が進み、地域の助け合いや見守り等が必須になってくると思います。その為の今から取り組みができるといいと思います。	60歳～64歳 女性
買物や医療等地域に生活する高齢者が行動困難な状況にある時に行政の対応方が求められている。民生委員の現況では充分とは思われない。	65歳～69歳 女性
新聞やテレビで孤立死や子供のぎゃくたいなどをよく耳にしますが、もう少し行政のほうで手をうったらふせげたと思います。	65歳～69歳 女性
市営住宅に住み、民間の交通機関を利用できなく、車いすで、社会参加できない。ぐるりんも走らないし、スーパーも近くになく、買物難民と同じです！！だれでも、いつでも、どこにいても参加でき、お世話や利用できる社会に！！「ノーマライゼーション」	65歳～69歳 女性
困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ青年部会みたいなのがあればよいと思います。その後、青年部会＋シニア部会と広げていけばよいと思う！	65歳～69歳 女性
車に乗れなくなった高齢者にタクシー料金の補助やスーパーの近くにぐるりんバスのバス停を設けるなど、高齢者が気軽に外出できる方法があると良い。	65歳～69歳 女性
身体が動きにくく（手足）老人は一人になった時一番不安を感じる、一人幸せに暮らせる様はグループホーム的な施設（生活保護給付金程度で）を設置希望します。	65歳～69歳 男性

回答内容	年齢、性別
<p>通院の際に使用する介護タクシーを病院でも運営で切るようなシクミをもっともっと作ってほしい。個人介護タクシー不足だと考えます（そして料金も高いと思います）。</p>	<p>70歳代 女性</p>
<p>一人暮らしの人に異変があったときの連絡先を区長さんか前後に住む人に知らせておくべきだ。 個人情報がもれるのを嫌がる人も多いから、もし、異常がおきたとき、交番へ行けばその人の子供や知人の連絡先が分るようにすべきだと思います。</p>	<p>80歳以上 女性</p>
<p>プライバシーの保護等個人を尊重する事に配慮しつつ個人の生活状態を確認し支援する事は担当の方々の苦勞が推察できます。しかし、多数の人々が安全、安心の生活を希望しています。行政の仕事は大変なことと思います。 (再掲)</p>	<p>65歳～69歳 男性</p>
<p>高齢者のみの世帯が増え続けるので地域住民が見ていく必要はあると思うが、思うだけで行動に移す方法がわからない。広域の広告媒体ではまったくピンとこないので、回覧等を使って区長の呼びかけがあって、皆が集まって話し合う。そこに行政がからんでくる、これがベストだと思う。でも、今後ささえられる人があつという間に少なくなると、ボランティアでは限界があるので、ビジネスとして成り立たせるように行政が動くべきだと思う。(再掲)</p>	<p>40歳代 男性</p>
<p>これからは高齢者の方が多くなり一人暮らしの方も増すと思い、近所の人達と常に気配りをしてお互いに助け合って連絡をとりあっていけたらと思います。(再掲)</p>	<p>70歳代 女性</p>

## ○災害時に関する記述

回答内容	年齢、性別
災害のとき、要援助者がわからないため明確にしてほしいです。	20歳代 女性
防災などの連絡が伝えられる放送設備を市にめぐらせていくことができればいいと思います。	20歳代 男性
補助が必要でも本人が「必要ない」と拒否したとき（もしくは親族などが拒否したときなど）、どう対処するのがよいのだろう…と思います。昔ながらの地域で、古いお家・空家などもあり、災害時を思うと気になります。	30歳代 女性
吉井町吉井地区に住んでいるのですが、防災無線が全く聞こえません。この前も火災があったのですが情報が分からずに困りました。緊急時の助け合いができるようにするためにも改善をお願いします。	30歳代 男性
市で行った防災の説明を聞いたのですが、災害のメカニズムのお話ばかりで災害時の協力者や避難場所、例えば火災の時はどこ、水害の時はどこ、土砂災害の時はどこという具体的な説明はまったくなく、質問にも答えてもらえなかった。障害者や高齢者は誰がどんな方法で避難させるようなお話が聞きたかった。	60歳～64歳 男性
台風等（単身者）が一番困っております。一時的に近くの病院等で過ごせたらと都度感じています。そんな場所があったらどんなに安心かと思えます。※各身が凌げる小物の毛布等は持参する。場所のみの提供で結構です。	80歳以上 女性
①安全に生活を送れるよう、通学路や不審者の出た場所など見回る活動がもっと必要。 ②災害時や緊急時に手助けが必要な方の情報共有のシステム作りが必要。 ③地域単位での防災訓練や災害時の対応マニュアル作りが必要。（再掲）	30歳代 女性

## ○地域の福祉活動に関する記述

回答内容	年齢、性別
地域ごとで、各家庭の人達が集まって、一緒になってする活動が増えるコトが大切だと思います。例えば、カルタの練習、お囃子の練習etc…今は、近所付き合いが本当に希薄でどうやってかかわりを持てばいいのか…きっかけ作りが1番大切になってくるんじゃないかと！！	20歳代 女性
日常生活で困っていることがある人と、それを快く手伝いたいという人をつなげられる機関が必要。高齢者や父子・母子家庭の子どもが一人きりで生活していかないように、地域のコミュニケーションがとれる場が必要だと思います。	20歳代 女性
近所付き合いが活発になるような活動が必要。	20歳代 女性
地域での福祉活動を活性化させるとともに子供が安心して育てられる社会環境をつくる必要があると考える。	20歳代 男性
地域での福祉活動の推進	20歳代 男性
一般市民と行政機関の方達との距離感をもっと縮めたほうが良い。	20歳代 男性
福祉活動と聞くと難しくてよくわからないのですが、地区の行事など参加しやすくなると自然と世代間交流もできるようになるのではと思います。	30歳代 女性
個人情報・プライバシーを重視する最近…隣人の名前すら知らない現状です。地域の中で、住民どうの交流を調整する役割の人がいるとよいと思います。小さな子どもを育てているので、みなで協力して、地域で子育てもできるとよいです。	30歳代 男性
行政と住民の間のパイプを太く協力的にする必要があると思います。	30歳代 男性
行政が主体となった福祉社会の仕組みづくりが必要。（民生委員などを非常勤で雇用する等。ボランティアや地域住民の方では困り事の相談がしづらい上にプライバシーがなくなる。	30歳代 男性
とても大切な取り組みだと思いますが、啓蒙活動や自由参加の活動だけでは、広がるのは難しいと思います。誰もが係る課題でありながら、日々の忙しさ等でこういった取り組みへは一步ふみだせないものです。本当に必要と思うことに対しては半強制的な参加型で、市民の反応をみながらすすめるのがいいと思います。	40歳代 女性
地域の人達が、他の地域から移住してきた人への受け入れ（転勤族の人達も含め）窓口をもっと広く持って欲しい。その手助けに積極的に行政も関わって民生委員等が活動できれば、お互い思いやれるのではないかなと思う。	40歳代 女性
各地域に民生委員の方がいらっしゃいますが、人数が少なくていろいろなことに対応するには大変なのではないかなと思います。災害の時など地域で支え合わなければならなくなったとき、柱になる人材が必要だと思います。その人材の育成をし、増員することによっていろいろな面で活躍できるようになるのではないのでしょうか？	40歳代 女性

回答内容	年齢、性別
他人に強制されることなく、自分が必要とすることだけに参加できるような体制づくりを確立させる必要があると思います。	40歳代 女性
私は離婚して実家に戻った時、民生委員の担当の方が電話をくれたのですが、どこの誰とも分からない方からいきなりの電話でしたのですごく不愉快な思いをしました。市は良かれと思ったかもしれませんが、少し違う気がしました。	40歳代 女性
現在育成会に入っていますが、母親への負担が大きく、退会者も続出です。ましてや、会長、役員になったら雑用に追われやっていけません。しんどくなります。子供の為、地域の為と頑張っていますが、地域の、時間のある高齢の方など、かるた当番、ラジオ体操当番だけでも助けていただけないでしょうか。運営予算も足りません。転勤してきた身の上でそのような例の無いことをとても区長さんなどには頼めません。役所の方からフォロー願います。キーワードポイントは「育成会」	40歳代 女性
誰でも気軽に参加できる仕組みづくり。	40歳代 男性
やって欲しい人、放っておいて欲しい人それぞれなのでむずかしいことだと思いますが、地域で統一してある事だったら受け入れてもらいやすいと思います。自分も助けて頂く事があるのでお互い思い合っていると良いかと…	40歳代 男性
ボランティア活動でお年寄りのお宅を訪問するなど良いと思いますが、行政の方々もそういった活動に参加されるのが良いと思います。また、「その人らしく安心して暮らせる」とは一体どういう事でしょうか？ちょっと意味が分かりません。その人らしく暮らしては、地域の助け合いなどできないのではないのでしょうか？	40歳代 男性
私が住んでいる地域はほとんど話し合いの場に出て来ません。班長の会議の時でさえ、一人や多くても三人でした。もっと各自が自分達の地域の事を考えて欲しいと思います。区長や役員の方がもっと努力して地域の人に勉強会などしてもっと自覚して欲しいと思います。	50歳代 女性
地域の力が以前と比べて低下している現在、机上の空論で“地域”と言っても実際子供会（育成会）等ひと昔と比べ成り立っていない現状を知るべき。行政で教育や学習をした専門家を育て、活動してもらう。民生委員が名誉職に感じるし活動が見えない。私もあと数年で定年となるがその時に社会に恩返しに福祉の手伝いができる事を希望しているが窓口はあるのか・・・？	50歳代 女性
最近、本当に地域の行事が少なくなっています。行政の力で、半強制的にでも住民が交流できる機会（防災訓練等）を作るのも必要なのでは？	50歳代 女性
地域活動等の人材育成は必要だと思う。（人との関わりは難しいところあるので）	50歳代 女性
地域での福祉活動を活性化することが必要。今の時代、貧困も障害もすべて自己責任という風潮が高まっていると感じています。個人の責任でかかえきれない所へもっと行政が手を差し伸べるべきと考えます。	50歳代 女性
関係行政機関が困った時にいつでも対応してくれる体制が必要。	50歳代 男性
行政（委託でも良い）と住民とのつながりを強化する。現状は区長などが行ってきているが、もっと身近にそのような人がいると良い。	50歳代 男性

回答内容	年齢、性別
長寿会等の福祉活動への協力	50歳代 男性
地域の横のつながりを今以上に強化することが必要。	50歳代 男性
人と人との交流が自然な形でできるのはある程度指導的立場の人が必要と思います。そういう人材の育成が大事だと思います。	60歳～64歳 女性
退職者の中で、まだまだ元気で子育ても終わった人々が世の中は多数います。それぞれ暇をもてあそび趣味等に時間と金をつぎこんでいます。この人々を上手に利用して（言い方悪いですが）地域活動を充実させることをよく考えるべきだと思います。それには行政の力が必要。個人の裁量では限度がありません。	60歳～64歳 女性
地域でのつながりをもっと強くすることが必要。	60歳～64歳 女性
退職者にて対して地域に参加する機会を作るべきである。	60歳～64歳 男性
民生委員も児童委員旧体然とした「町内の役員さん」にすぎない。もっと行政が指導して、本当のボランティア組織、ボランティアリーダーを作らなければダメだ。しっかりした組織なら、参加する人はいくらでもいると思う。年寄りに牛耳られた、町内会の組織ではダメだ。	60歳～64歳 男性
行政が“住民の目に見える活動”を積極的に行うことが必要。加えて、行政がリーダーシップを発揮し、まずは住民をリードすること。	60歳～64歳 男性
相談する人に資格を与える。タダの市民より有資格者のほうがたよりになりそう。	60歳～64歳 男性
行政主導で「福祉活動のキッカケ」を一つずつ計画して活動を広げていくこと。	60歳～64歳 男性
区長、住民と話し合い、できることから始めたい。	60歳～64歳 男性
シルバー人材センターに福祉活動ができる人を多く置き、市との連携のもとに活動する。	60歳～64歳 男性
家庭内の問題が多くなっていると思います。相談したくても家庭内破壊が生じて相談むずかしい状態と思います。通報して上げたくても通報した人にも警察との対応等があったりで大変です。こうなると関わりたくなくなります。その他、近所で若者がバイクでバリバリ！！本当に頭が痛いです。ペットボトルを畑に捨てたりバッテリーを捨てたり頭にきますが通報できません。通報者がわかるのがこわいです。	60歳～64歳 無回答
相談ごとを近所の方に知られたくない人が多々います。地域や福祉のプロにまかせた方が良いと思います。	65歳～69歳 女性
活性化は必要であるが、受けようとする側の心のゆとりも必要であると思う。そのゆとりをいかに広げるか？	65歳～69歳 女性
福祉、福祉の名の元、福祉を必要とする人の努力が低いような気がする（必要とする人の甘えが強い）	65歳～69歳 女性

回答内容	年齢、性別
自分の生活は自分ですることを基本とした上でストレスを生じさせないような1日をもちたいが、困りごとはまず、他者プライバシーをかたく守ってくれるであろう役の人とのつながりを多く持てる自分となる（お高くとまっているのではなく）。	65歳～69歳 女性
支援が必要になった時、支援が受けられる体制作り。いろいろな困りごとの把握と手助けできる仕組みづくりをしていただきたい。〇〇〇委員のみで負担のかからない方法を考えていく必要がある。	65歳～69歳 女性
気軽に相談できる場所が身近にあることは勿論必要だと思うが、相談員がいかにそれに対して親身に対応してくれるかが問題であると思うため、相談員の質も重視して欲しい。 ※ちなみに前回世話になった相談員の方はとても親切でした。	65歳～69歳 男性
要介護者に対する生活支援	65歳～69歳 男性
地区の民生委員、ボランティア、区長での話し合いをし、お互いに協力すること。	65歳～69歳 男性
個人と社会が互いの責任を明確にし、その範囲で人が素直に人間らしく生きられる環境づくりの構築をお願いします。	65歳～69歳 男性
ご近所トラブル（ノラ犬・ノラ猫対策等）について、仲介となって動いてくれる人または組織づくりが必要。	65歳～69歳 男性
地域でこの人に何でも相談したら安心と思える人を選出して頂けたらと思います。とかく、女性の人は他の人に個人の大切な話をもらしたりしたら、大変です。	70歳代 女性
地域での福祉活動を活性化することが必要。生活の中の困りごとは多くの高齢者が持っていると思いますが、ちょっとした事だからと相談できない人が多いと思います。気安く相談にのってくれる人が近くにいてくれるとありがたいと思います。地域での福祉活動を活性化することが、どうしても必要だと思います。	70歳代 女性
地域では福祉活動を活性化することが必要であることが重要であるが、それには市民一人ひとりが福祉に対してどれだけ関心があるかである。まず、根本的に組織作りが必要。市議会・区長会・長寿会・婦人会・子供育成会等々大きな組織に対してどの様に考え、どのように行動して行くのかを意思統一をしてもらうことが必要と思う。	70歳代 女性
相談できる人がいると確かに心強いが、信用して話して良いか心配。口の軽い人だったら困るので。人を見る目も必要だと思う。	70歳代 女性
問24のNo.5の通りだと思いますが小生が住む地域は自己中心型の方々に他の地域でも同様の所もあると聞きます。計画倒れにならないことを祈る。平行して区長中心に人々が協力できる地域も造る必要があるのではないのでしょうか？	70歳代 男性
地域のトラブルを解決出来る人が必要。	70歳代 男性
町内の苦情、困りごと（道路に穴があいた。生垣が道路にはみ出している）等、登校できるポストの設置（区長宅）	70歳代 男性
小中学校の登下校の交通補助	70歳代 男性

回答内容	年齢、性別
地域住民による福祉活動	70歳代 男性
群馬で生まれ東京へ。故郷の高崎に定年で帰り、10年近くになりますが、福祉とは具体的にわからない。 生まれ育った小学校も今は違う。仕組作りと情報の提供が必要。	80歳以上 男性
地域での福祉活動等の細やかな行動の必要をお願いします。	80歳以上 男性
役所内での、上司の職員に対する人間的な教育活動が出来ていないように思います。市ごとの指導と同時に日常的に助け合いの心の教育をお願いしたいと思います。結果、退職後の地域のリーダーとして活躍していただけたらと思います。	80歳以上 男性
公民館の窓口を広げて、吸い上げ、まとめた物を情報公開を頻繁に（回覧板など地域に根づいたもので）発信していければいいと思う。（公民館→各町内→個人）現在は情報公開が足りないと思っている。民生委員などがどんな活動するものなのか、etc.	50歳代 女性
学童がない世帯で、新規に地域転入してきた者にとって地域社会への参入のきっかけはほとんど無い。町内会費を納めても何に使われるのか分からない始末。正直、どう関わるかが問題。	40歳代 男性
学童がない世帯で、新規に地域転入してきた者にとって地域社会への参入のきっかけはほとんど無い。町内会費を納めても何に使われるのか分からない始末。正直、どう関わるかが問題。	40歳代 男性
公民館の窓口を広げて、吸い上げ、まとめた物を情報公開を頻繁に（回覧板など地域に根づいたもので）発信していければいいと思う。（公民館→各町内→個人）現在は情報公開が足りないと思っている。民生委員などがどんな活動するものなのか、etc.	50歳代 女性
地域の人々が交流を持ち、助け合える環境をつくるのが大事だと思う。	30歳代 女性
それぞれの方々の個別なニーズは何なのか、行政が音頭をとって地区の代表者に話して、その事について地域住民で話し合う機会を作るのはどうか？そこから具体案が出てくるのではないのでしょうか。（再掲）	40歳代 男性
地域交流を深める取り組みが必要。（再掲）	30歳代 女性
今は社会全体が人との交流を避ける傾向にあるように思います。他人を信用できないと思う人も多いかもしれません。深入りしたくないという思いや、放っておいてほしいと思う人も多いと思います。やはり、自分の地域で、人の輪を広げていくことから始めるしかないと思います。（再掲）	40歳代 女性
個人情報保護などもあり、お互いがある一線以上入り込まないような付き合いをしているのが現状である。町内会の行事などを通して、気軽にあいさつや声かけができる関係性を築き、いざという時に助け合えるような仕組みが必要。（再掲）	50歳代 女性

回答内容	年齢、性別
<p>20年以上住んでいますが、地域の役員さんがどのように決まっているのかさえわかりません。新しい年度になって、回覧でわかります。こんな中で、生活に困り事ができても相談するところを作ったとしても行く気にはなれません。もう少し開かれた地域活動が必要かと思います。いつまでたってもよそ者扱いですので。ちょっと質問の答えにはなっていないようでごめんなさい。（再掲）</p>	<p>50歳代 女性</p>
<p>ちょっとした手伝い、外出に声を掛け合う、途中（一人では）仲間入りは出来ない。近くに歩いていける場所！地域での福祉活動を活性化させることが必要と思う。（再掲）</p>	<p>50歳代 男性</p>
<p>認知症になられた方が地域で過ごすには、ご近所の方々の協力がとても大切だと思います。地域で福祉を支えるというお互いの一致した考えも必要であり、家族の方々の協力も大事だと思います。（再掲）</p>	<p>60歳～64歳 女性</p>
<p>困りごとは心の許せる近所の方にお手伝いをして頂くことが安心感があるが、第三者機関に対応して頂くことも大切。いつの世も善意あるおせっかいが有効です。（再掲）</p>	<p>70歳代 女性</p>
<p>町内の住民のふれあいが必要だと思う。（再掲）</p>	<p>70歳代 男性</p>
<p>地域での福祉活動を活性化することが必要。私は前橋から区画整理のためこちらのシルバーマンションに越してきました。いろいろの事情があって取り敢えず知っている人を頼ってきましたが、地域の方とのふれあいもなく、ほんとうに淋しく過ごしております。85才の老婆です。（再掲）</p>	<p>80歳以上 女性</p>
<p>近所の住民などによる福祉活動の組織かも必要だが、それ以上に行政がしっかりと地域福祉活動に対応していくことが大事だと思う。（孤独死などの問題に対してなど）（再掲）</p>	<p>20歳代 男性</p>
<p>地域での福祉活動を活性化することが必要。</p>	<p>同回答27名</p>

## ○民生委員の活動に関する記述

回答内容	年齢、性別
民生委員・児童委員が誰なのか知らない。子育てしている家庭では知っていても良いと思うのですが…。地域に根づいた活動をしている地区が多いようだが、転入者は入りづらかったり、わかりにくいことがあります。	20歳代 女性
民生委員・児童委員の活動が不透明。“地域の頼れる人”の存在が欲しい。	30歳代 女性
前のページにも書きましたが、街灯が少なく、部活帰りの中高生が危ないので街灯を設置して欲しい。民生委員・児童委員の役割、重要性がわからない。自分が住んでいる地域の各委員がどなたなのかも分かりません。	30歳代 女性
市役所が個人情報保有するのは当然だと思います。ただ、町内会や民生委員さんがそれを保有するのは信頼性が低いです。よく見かける方、知っている方ならいいのですが、なかなか難しいと思います。	30歳代 男性
民生・児童委員があった事、活動している事すら知りませんでした。もう少し、このような活動をしてこのように貢献していますと、活動内容をはっきりした方が良いと思います。色々な方が相談出来、安心して暮らせる社会を創り出すための取り組みの一步にもなるのではないのでしょうか？	30歳代 男性
世代世帯別に相談を受ける人が必要。子育て中世帯・高齢者世帯それぞれに合った人材が対応する必要がある。民生委員も形だけでなく福祉等の講習をうけるべき。	40歳代 女性
現在、重度心身障がい児を10年以上在宅で介護していますが、民生委員・児童委員の方にお会いしたことは一度もなく、どなたかも存じません。「地域で安心して…」という事でしたら、その辺りを少し明確にしておくのと緊急時等にはお世話になりやすいのかもしれない。	40歳代 女性
この地区では民生委員は活動していない。	50歳代 男性
自分が生活に困って民生委員に相談したいが近所の方にバレる事が怖い。	60歳～64歳 女性
自分が民生委員をしていたときに相談を受けた後に、人に何か言われるのでは、警戒している人もいました。家族内のことなので、その後はあまり声を掛けないように気を使いました。いかに相談する人が気楽に話をする事ができる場所、人があればと思います。	60歳～64歳 女性
地域の民生委員・児童委員が名誉職として与えられるのではなく、実践的な経験を積み、備えた人に委嘱。年に数回は地区等でどのような取り組みしているのか説明をしていただきたい（個人情報保持）会議、研修会、文化祭等の場に出席する女性は80～90%なのに来賓席にいるのは男性のみ、もっと社会で実践を積んでこられた人達を登用すべきでは？	60歳～64歳 女性
民生委員にもっと高度の知識を学習してもっと支援の方法、福祉の行政とのつなぎ役としてさらなる活動を期待するところです。	60歳～64歳 女性
当人・家族親族・民生委員・市担当者の連携が必要。	60歳～64歳 男性
民生委員さんが良い人なので困り事の相談をしているので今のところは住み良いと思います。	65歳～69歳 女性

回答内容	年齢、性別
<p>民生委員が本当に活動しているのかわからない。地域の民生委員の活動を回覧板などで何をしたら報告できる様にすれば地域全員が孤立している人がわかるのでは？</p>	<p>65歳～69歳 女性</p>
<p>女性の民生委員の方も紹介していただきたい。名前、年齢、住所、電話など分かりやすく教えて欲しい。活動の内容なども詳しく知らせて欲しいと思います。</p>	<p>65歳～69歳 女性</p>
<p>行政が本来行うべき活動を民生委員に押しつける事がないよう、人事配置を考えるべきと思う。</p>	<p>65歳～69歳 男性</p>
<p>民生委員・児童委員の人達にはご苦労ですが絶大なるご活躍を頼みます。</p>	<p>70歳代 女性</p>
<p>各地域の民生委員が中心となって福祉活動を行う組織作りが必要だと思います。</p>	<p>70歳代 女性</p>
<p>今現在、町内会で誰が民生委員となっているか、区長さんからの紹介が欲しいです。</p>	<p>70歳代 女性</p>
<p>この地域の民生委員の必要性が今後とも一層強く必要な時が来ると思います。</p>	<p>70歳代 男性</p>
<p>一番困った時の相談相手になっていただけるのは身近な民生委員さんと思われれます。その為には、いつでもどこでも気軽に相談のできる信頼関係の結べる積極的な人への、民生委員としての研修、教育をしっかりとお願い致します。</p>	<p>80歳以上 女性</p>
<p>民生委員さんが誰かも知りません。もう少し積極的に活動してもらいたい。</p>	<p>80歳以上 女性</p>
<p>個々の悩みは多種多様なので身近な民生委員の方やケアマネージャーの方々の知識がたよりですが、自分自身で趣味などで身近な方々との横のつながりを大事に明るい希望を持って残りの人生を送りたいと思っています。</p>	<p>80歳以上 女性</p>
<p>民生委員・児童委員の方は他人の家庭のかなまで入り種々と悩みや心配ごとの相談に応じており本当に大変だと思いますが、もう少し、きめ細かく積極的に家庭訪問等に取り組んで欲しいと思います。プライバシー等のこともあって非常にむづかしい面もあると思いますが…</p>	<p>80歳以上 男性</p>
<p>私は、幸い近くに子供達の世帯がありますが、それぞれ仕事を持っていて、急な出来事の時対応できないのではという不安があります。その時のため、両隣、前後のお宅にお世話になるかもと思います。顔を合わせれば言葉を交わしている付き合いですが、「何かありましたらよろしく」の一言が出ません。又、相手の方も「近くに娘さんがいるのだから」余分なおせっかいはと思っているのかもしれませんが。そこで、民生委員の方からお願いしていただくのはどうでしょう。（再掲）</p>	<p>80歳以上 女性</p>

## ○福祉サービスの利用に関する記述

回答内容	年齢、性別
高齢者、新住民者は福祉情報が膨大にあり複雑すぎて、どこに、どのように連絡して情報収集してよいかわからない。福祉で困ったことがあったら、“まず”一ヶ所に連絡してそこから詳しく情報を提供できる様にして欲しい。情報収集をするのにもっと簡単、簡潔にわかりやすくしてください。	20歳代 女性
在宅福祉サービス・訪問介護サービスの充実が必要だと思います。福祉サービスを利用しようとしても、どの機関に頼んだら良いのか、どの窓口に行ったら良いのか分からない人が多いと思うので、もっと広報活動を進めてほしいと思います。	20歳代 男性
どんなサービスをどんな人に向けて行っているのか、わかりやすく説明し、誰でも簡単に利用できる環境	30歳代 女性
デイサービスなどの送迎の車をよく見かけますが自宅から離れた場所ではなく、自宅近くで家族などがすぐ行ける場所にあるといいと思う。病院等の経営だと思いますが、市営のものをたくさん作っては？長寿センターのような感じで。	30歳代 女性
高齢者の方で、自立、要支援の方がもっと相談しやすい場所や身寄りがない方などの相談の場所の情報がわかりにくいこともあるため、もっと情報をわかりやすくするべきだと思います。	30歳代 女性
困っている人（障がい児／者や高齢者）への具体的な支援方法を冊子などにまとめたものを配る。	30歳代 女性
相談機関の情報提供（リーフレット・パンフレット等）、家庭に一冊置いておけるもの。	30歳代 女性
障害者サービスや高齢者に対するサービスを案内の一冊にまとめてネットの掲示をしていただけると助かります。	40歳代 女性
障害者に対する支援をかくじゅうしてほしい！	40歳代 男性
住民とサービス提供者をつなぐ人。	40歳代 男性
利用できるサービスが、こちらから聞かなければ知らずに過ぎることが結構多いので、誰もがカンタンにわかり易いよう、市はもっと工夫するべきだと思う。	50歳代 女性
地域に福祉の情報をわかりやすく、届けてくれる人を増やす。	50歳代 女性
困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要⇒こういう困りごとは「ここへ」と表にして各家庭に配布してはどうでしょうか！	50歳代 女性
福祉活動への参加の為に広報活動をもっと活発にしてもらいたい。	50歳代 男性
行政機関及び民間によるサービスや情報、例をあげてこのような相談はこの機関へなどまとめた、冊子を配布。	60歳～64歳 女性

回答内容	年齢、性別
福祉活動に関する情報を詳細に提供したり、助け合い活動を小さい子どもの頃から教育をする必要があるのでは…?と思います。あまりボランティア活動・福祉活動といっても、すぐピンときません。それが現状です。	60歳～64歳 女性
区域ごとに相談できる場所やボランティアの仕組みが必要。近所どうし集まれる（高齢者）場所を開放することもして欲しい。	60歳～64歳 女性
情報ネットワークの構築	60歳～64歳 男性
外に出にくい高齢者の人のため、広報等でこまめに知らせる。	80歳以上 女性
公民館活動など参加したいが、マンションなので外部の事が分からない。地域で活動している案内などいただきたい。（再掲）	80歳以上 女性
群馬で生まれ東京へ。故郷の高崎に定年で帰り、10年近くになりますが、福祉とは具体的にわからない。 生まれ育った小学校も今は違う。仕組み作りと情報の提供が必要。（再掲）	80歳以上 男性
支援が必要になった時、支援が受けられる体制作り。いろいろな困りごとの把握と手助けできる仕組みづくりをしていただきたい。〇〇〇委員のみで負担のかからない方法を考えていく必要がある。（再掲）	65歳～69歳 女性
困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。	同回答41名

○総合的な支援体制に関する記述

回答内容	年齢、性別
<p>私は、母子家庭なので、その事に関して意見を述べさせていただきます。社会的に男女平等と言われてはいますが、実際は女性が負担することが多く、表に出せずにいる方々も沢山います。少子化問題についても行政・国がもっと深刻に考え、まず真っ先に解決する必要があると思います。事件などが起ってから動くというシステムをどうにかして欲しいです。</p> <p>例えば、所得制限について（これは私事でもありますが、私事だけで申しているわけではないので、お聞き頂けたらと思います）これから二人で生活するに当たりやはり制限があると援助額が少なく、一人で朝から夜まで仕事をするということは、子供との関わりがなくなります。結局、沢山働くしか方法がなく、この先の生活が不安定となります。それから、父子・母子・女性に対する就職の手助けが必要です。この件に関して正社員になれない母子家族の意見を多く聞きます。</p> <p>社会に対して、高齢者への就職の手助けもしている中、父子・母子に対する手助けも考えて頂きたいと思います。会社が父子・母子家庭の方を採用したら国から援助金が出るなど、社会貢献として考え助けて欲しいです。</p>	20歳代女性
<p>「地域住民間での助け合い」といった、地域差、個人差の大きく不安定な要素の大きい活動に頼ることのない、行政による福祉制度の整備。地域での人間関係がどこでも良好という想定はあまりに非現実的。助けるばかりの住民が出る、金銭を要求されるなど、「ボランティア」ならではの問題が噴出することは明白。金銭・契約を介さないことは危険。「地域での助け合い」は時代錯誤。愚策。</p>	20歳代女性
<p>いつ、どこで、どんな地域活動が行われているかの情報。誰でも参加できる活動。活動に参加する為の交通手段、駐車場の確保など。</p>	20歳代女性
<p>土日、祝日、夜でも役所、公共施設が利用できること。結局、行事（平日勤務）していると、役所、銀行etc…行けません。地域での福祉関係、気軽に相談できる施設が必要。</p>	20歳代女性
<p>学校に、相談の場としての機能を。地域に作ったとしても使う人がいるかわからないが、がっこうにそういったものがあれば、活用する人がいるのでは。学校でなくても、学校に“近い”場所に・・・</p>	20歳代男性
<p>核家族への援助→子育ての協力</p>	30歳代女性
<p>困りごとを抱える住民が相談できる電話窓口を1つにする事で多少相談しやすくなりそう…?! 総合相談窓口（子育てに関する事、障害に関する事、福祉に関する事、住民トラブル、etc…）⇒悩みを聞いて、専門窓口へ内線をまわす。何かあってもいちいち番号を調べてまで相談するのも面倒な為。</p>	30歳代女性
<p>困りごと、悩み事があったら気軽に相談できる人や施設、地域づくり、雰囲気作り。</p>	30歳代女性
<p>何か手伝いたいと思っても、何を誰にどうすればよいかなどがわからない。また、自分が困った時の相談を聞いてくれる人が近くにいることが大事だと思う。</p>	30歳代女性
<p>困りごとをどこへ相談すれば良いのか明確にすること。</p>	30歳代女性

回答内容	年齢、性別
困ったことがあったとき、相談できる窓口の紹介をたくさんして欲しい。誰もが知っているくらい呼びかけて欲しい。	30歳代 女性
行政は心から相談にのってくれる職員の教育を一番に力を入れて欲しい。	30歳代 女性
子育てママの悩みを聞いてくれる場所が欲しいです。	30歳代 女性
気軽に何でも相談できる場所に、地域外の相談員がいるといいと思う。田舎過ぎて相談事がもれることを嫌う人が多いと思う。	30歳代 女性
地域や社会で相談できる場所を作ることが必要。	30歳代 女性
気軽に電話が出来るサービス確立。	30歳代 男性
学校に相談員を配置すること。	30歳代 男性
防犯対策がしっかりしている。困ったところを相談できる環境づくり。地域内での雇用対策。若者が都心部に行かないような魅力ある地域づくり。	30歳代 男性
「生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要」→例えばこういう相談場所が多くあったらいいですね。あと、こうしてアンケートをしてきて私が思ったのは、個人の意識の事です。小さなことでも少しずつ変わると、そういう習慣が出来ていると思います。少しずつでもいい方向に国も県も市も変わっていければいいですね。アンケートなどもこれからは頑張っていて、市民・県民・国民の為に意見を反映させてください。がんばれ。がんばってください。	30歳代 男性
各種相談の窓口がどこなのか明確に示す。	40歳代 女性
何でも、どんな事でも相談できる場所がある事。	40歳代 女性
ペットの飼い方について（特にネコ、犬）指導できる人がいて欲しい。困りごとを相談できる場所が欲しい（町内単位ではなく、小学校もしくは中学校）。冠婚葬祭、特に「葬」について、負担を少なくして欲しい（班ごとに差がある。納骨、一周忌まで呼ばれる。新盆も）せめて、お葬式の手伝いだけにして欲しい。町内運動会（小学校区）は必要ないと思う。本当にやめてほしい。（班長が大変。ケガをして仕事に支障があっても泣き寝入りだった）。	40歳代 女性
自分ではどうにもならない困った事など相談できる場所・人が必要	40歳代 女性
高崎に引っ越してきたり、小さい頃から育ってない人にとって、知らないルールや、窓口、建物、病院…など、わからないことはたくさんあります。気軽にたずねる事ができるところがあったらいいなあと思います。	40歳代 女性
以前民生委員に相談をしたら、担当外の相談だと言われて、もう少し気楽に相談できる場所が必要だと思っています。あとは心配ごとがあっても何処に相談すればいいのかわからないのでもう少し分かりやすく説明して欲しい。	40歳代 女性

回答内容	年齢、性別
市において、経済的に負担のかからない内容の福祉の充実が必要。	40歳代 女性
生活の困りごとなどは匿名性が高いので同じ町内に住んでいる人には相談しにくい場合があるのではないかと配慮して人選もしてもらいたい。	40歳代 女性
気軽に相談できる場所を小学校区などに設置すること。	40歳代 女性
困りごとを抱える住民とサービス提供者や連絡先などが必要。気軽に相談できる場所があると良いと思います。	40歳代 女性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要⇒ホットライン	40歳代 女性
小さな子どもたちが病気をしたり、発熱など小児科に診察するほどの重病ではない時の相談。子どもが成長するまでのお祝いなど、どんな事をするのか相談できる人がいればよい。高崎の、どこの辺でどんな病気が流行しているのかの情報サービス。	40歳代 女性
困っていても声を出せない人が多くいると思います。どんなことでも相談できる、たらい回しにしないホットラインが必要だと思います。	40歳代 女性
生活の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。公民館（小学校学童とか区民センター）等に誰かが常にいるとありがたい。そこに行きやすいともっと良い。	50歳代 女性
困りごとにあったネットワークの確立	50歳代 女性
市役所に電話すれば地域のことをすぐ教えてもらえる課が欲しい。市役所と地域の福祉担当が密着していることが大切だと思う。	50歳代 女性
子どものいじめ問題や育児の悩み、親の介護施設やケアマネージャーの紹介など、初めての相談を気軽に相談できる施設が身近にあるととても安心できます。	50歳代 女性
一年半前に退職し、実家の両親（父90才、母77才）と、両親と同居中の障害者の兄（53才）の不自由な所を援助中。母も両脚に障害有り、先が不安だがいざという時にどこへ相談したらよいか・・・市役所は遠く感じます。	50歳代 女性
やはり、生活の中の困りごとを気軽に相談できる“場所”（ある程度大きな建物）だと思います。	50歳代 女性
困りごとなど相談できる所があれば良いと思いますが、どこに相談して良いか分からないと思います。ボランティアなどで手助けをしていただけたら本当に助かると思います。	50歳代 女性
困った事がある時に、相談できる人に連絡が取れる連絡網的な物がわかりやすくするようにお願いしたい。	50歳代 女性
困りごとがあってもどこに相談していいかわからない人が多いと思う。気軽に相談できる機関（役場の職員は不対応で不愉快になる事が多い）にしっかりした専門家をおいてほしい。又、福祉に関する情報提供を密にしてもらえればと思う。	50歳代 女性

回答内容	年齢、性別
あらゆる問題の相談が出来る「かけこみ寺」のような施設が身近にあれば助かるのでは。	50歳代 男性
行政に対し気軽に支援相談できる様な組織構築（真に困り事がある方に）	50歳代 男性
困りごとなど気軽に相談できる窓口の設置。	50歳代 男性
気軽に相談できる（秘密を守る、人にわからない）仕組みも必要ではないかと思えます。	50歳代 男性
困ったとき電話などで対応し、それでも足りない場合マンツーマンで対応・アドバイスをしてくれるサービスをしてくれる行政側の職員の配置（いままであまり相談をしたことがないので実態はわかりませんが）	50歳代 男性
ちょっとした手伝いができる町内住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。小学校区くらいの範囲のところに誰もが気軽に困ったことを相談にのってもらえ、話を聞いてもらえたり、日常のたわいもないおしゃべり等がしあえるような（コミュニティのような）場ができればよいと思う。	60歳～64歳 女性
一番の問題の根底は、生活困難者の老人（一人暮らし）がふえているということ。少ない年金に多い税金。国か市町村がかかえている問題は、一人の人間がかかえている問題と同じ。経済が悪すぎるのが全ての問題。	60歳～64歳 女性
役場で気軽に困りごとの相談が出来ることから住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。	60歳～64歳 女性
相談できる場所を小学校区単位に置き、身近に感じられる所としたら良いと思う。	60歳～64歳 女性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。家の中の事はなかなか他人に話す事はきらいが多く、気持ちをかまえずに知恵を“借りる”という様な“ふれあいの場”的な場所があったらと思います。	60歳～64歳 女性
これから年をとっていくと心配なことがあると思います。子どもたちや知人では解決できないこともあると思います。気軽に相談できる場所があればいいと思います。今一人で生活していますが、健康なときはいいですが、足腰が弱くなったときのことを考えるととても不安です。	60歳～64歳 女性
何でも相談できる窓口を区単位に設置することが必要。	60歳～64歳 男性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。	65歳～69歳 女性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。⇒小学校区ではなく町内会区といったもっと身近な場所に設置することが必要。	65歳～69歳 女性
ちょっとした手伝いが出来る住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐことが必要。地域での福祉活動を活性化することが必要。	65歳～69歳 男性

回答内容	年齢、性別
相談できる場所は学校区から離すべき。周囲の地域住民をみてプライバシー保護や公共心がとても強いとは思えない。	65歳～69歳 男性
個人というものは弱いもの、警察や消防などがもっと気軽に、例えば市の窓口を通して協力三位一体とでもいうか、そんな窓口を市役所につくってもらいたい。（家の屋根に電線が引っかかったとき、公務員は何もしてくれないのでそんな感じをした。）	65歳～69歳 男性
ふれあいいいききサロンなどで高齢者や小さな子供達と一緒にあそびなどができる。場所がが少ないと思う。	70歳代 女性
自分の悩みや家庭事情は人に知られたくない人もいます。他人がどこまで介入できるかという問題も生じてきますので、福祉に関しても個人差があることも事実です。きめ細かく行政が手を差しのべることはとても大切だと思います。	70歳代 女性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を近くにある公民館などに設置する。	70歳代 女性
高齢者（一人住まい）の方が相談できる場所を設置する必要。	70歳代 女性
すべての人が最低限度の生活ができる社会保障制度が必要（ユリカゴから墓場まで）。安易に生活保護を出すシクミを制限する必要。	70歳代 男性
日常生活が自分で出来なくなった時に相談できる仕組みづくり。	70歳代 男性
生活保護受給者へ早期に独立できる様指導する。（なまけもの多し。自己責任であることを理解させる）	70歳代 男性
親子、兄弟等でまず面倒を見ること。一人暮らしの人は民生委員さん、近所の人と日頃からいろいろとお願いしておくこと（自分勝手なことはしないこと）	70歳代 男性
市民より要請があった事案について速やかに対処できる様に整備かするべきと思うが？	70歳代 男性
「生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。困りごとをかかえる住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。」これらの扱いを現在は各区区長から吉井の場合は支所へとつないでくれますが、区長は多忙につきどうしても中途半端となり住民にとっては満足する解決に至らないことがあるので区長の下に補佐する方がいてくれたらと思う。生活道路における後退線のことで、私有地である事によって自主管理地として通行（車輛）を拒否されている。これは正当なのか、このような土地は市道として市で買い上げる事はできないのか？	70歳代 男性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置してもよいのではないだろうか。	70歳代 男性
姑と嫁との揉め事を聞いてくれる人はほしいです。信用できる方がいらっしゃったらうれしいです。	80歳以上 女性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。	80歳以上 男性
色々な問題に答えてくれる人や場所をそれぞれに地域ごとにもうけて、何時でも対応してくれる。出来れば、24時間対応して欲しい。	80歳以上 男性

回答内容	年齢、性別
①日常生活の悩みや心配ごとの相談対応 ②困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ必要 ③地域での福祉活動を活性化することが必要。	80歳以上 男性
高齢者の方で、自立、要支援の方がもっと相談しやすい場所や身寄りがない方などの相談の場所の情報がわかりにくいこともあるため、もっと情報をわかりやすくするべきだと思います。(再掲)	30歳代 女性
世代世帯別に相談を受ける人が必要。子育て中世帯・高齢者世帯それぞれに合った人材が対応する必要がある。民生委員も形だけでなく福祉等の講習をうけるべき。(再掲)	40歳代 女性
地域住民がどのような困り事があるのか。相談できる人と相談された人が悩み事を解決できる行政。うまく連携できるような取り組み。(再掲)	40歳代 女性
声を聞いてくださる地域の窓口がはっきりしている事。見回りの回数を増やす事(一人暮らし、高齢者、障害者)(再掲)	50歳代 女性
地域に福祉の情報をわかりやすく、届けてくれる人を増やす。(再掲)	50歳代 女性
関係行政機関が困った時にいつでも対応してくれる体制が必要。(再掲)	50歳代 男性
困りごとを相談できる場所。地域での、福祉・防災・防犯活動。(再掲)	50歳代 男性
困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。安心して暮らしていくためには食事と健康と趣味、プライバシーに配慮された生活の中で心穏やかに楽しい人生を過ごすには何が必要か。一人暮らしの高齢者になったら1日1回以上の食事サービス(有料)月1~2回の往診(歯、内科、薬…)ネットでの情報交換、いろいろな趣味の紹介(再掲)	60歳~64歳 女性
自分が生活に困って民生委員に相談したいが近所の方にバレル事が怖い。(再掲)	60歳~64歳 女性
自分が民生委員をしていたときに相談を受けた後に、人に何か言われるのでは、携帯している人もいました。家族内のことなので、その後はあまり声を掛けないように気を使いました。いかに相談する人が気楽に話をする事ができる場所、人があればと思います。(再掲)	60歳~64歳 女性
気軽に相談できる場所が身近にあることは勿論必要だと思うが、相談員がいかにそれに対して親身に対応してくれるかが問題であると思うため、相談員の質も重視して欲しい。※ちなみに前回世話になった相談員の方はとても親切でした。(再掲)	65歳~69歳 男性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。	同回答30名

○ボランティア活動・市民活動等に関する記述

回答内容	年齢、性別
地区にボランティア施設の設置。誰もが安心して行ける所。	20歳代 女性
地域の人が協力してでき、交流もできるようなボランティアの機会を増やし、気軽に申し込めるような環境が整ったら地域にとってプラスになると思う。	20歳代 女性
ボランティアの具体的な内容などを広報や市のホームページなどへくわしく書き込み、市民にもっと知ってもらおう。	20歳代 女性
高崎市をより良い街にしたい。ボランティア活動したいのですが、どこから参加すればいいのかわかりません。	20歳代 女性
ボランティアに気軽に参加できる仕組みづくりが必要。地域の人がいつでも集まれる場所を設置することが必要。安心して情報を共有できるシステムが必要。	20歳代 男性
弱い人達への差別をなくす事。本当の意味での人助けができるようにボランティアについて勉強した方が良いと思う。学生が、自分のポイントを上げる為に仕方なくボランティアをしていると聞いたことがある。	20歳代 男性
たぶんヒマな人は結構いると思う。そんな人たちに「手伝いごと」があることを知っておいてもらう。チャンスが勝手に回ってくるようにする。ちょっと強引だけど、当番みたいなものつくってみたり…。	20歳代 男性
若者に時間を。働いても貧しく、周りを助ける余裕が無い。時間もお金もない。お金と時間があるのは高齢者だけ。若者の就業時間の中に一定のボランティア時間を設ける事を義務付けてください。	20歳代 男性
参加し易い申し込み方法が必要	30歳代 女性
「ちょっとした手伝いが出来る住民によるボランティアの仕組みづくりが必要」この例はいいと思います。実際、人を助けたり、何かやりたいと思いますが、どうしていいか何をしたいかがわからない人が多いのだと思います。なのでこのアンケート！！なのだと思うのですが・・・反面、自分がまだ家族以外の手助けを必要としていない場面、ましてやアパートに住んでいると、近所付き合いなど特に重要視されず、「楽」で・・・そのまま特に何をする事もなく生活してしまっているのかなと・・・。まだ意見は言えませんがこのアンケートをきっかけに考えていきたいと思っています。表紙のキャッチフレーズのようになれたらすばらしいなと思います。私も考えますので・・・ありがとうございました。よろしくお願いします。	30歳代 女性
仕事をしててもボランティアができるようにしてほしい。	30歳代 女性
誰もがボランティアに多くの時間をかけることは出来ないと思うが、それぞれ地域の為になりたいと思っています。無理せずに参加できることはどんなことなのか知りたいと思いました。	30歳代 女性
災害時の避難する場所は決まっているが、そこから地域ぐるみで一体となり積極的に復旧作業やボランティアに参加する。	30歳代 女性

回答内容	年齢、性別
地域の交流の活性化。誰もが行くような、大型のショッピングモール等でのボランティア募集の掲示。親子で福祉に関われるような場づくり。	30歳代 女性
定年退職した方や、子どもが学校へ行き始めた専業主婦などを対象に、少しの間でお手伝いできるようなボランティアの情報をもっと市民に提供してはどうでしょうか。関心のある方は意外に多いと思います。	30歳代 女性
地域の中で、どのようなボランティアのニーズがあるのか、知る機会を作ることが必要だと思います。	30歳代 男性
どこまで手を出したら良いのか、具体的な事が全くわからないし、出すぎた事になっても困るので、助けるにはどうしたら良いか、わかりやすい社会になって欲しいですね。	40歳代 女性
ボランティアの仕組みとくっってしまう事が、今更です。困っていたら、声をかける。できそうな事があったらする。東京では当たり前なのに、高崎はできていない気がします。ボランティア福祉という言葉が特別なものになっている気がします。問24の①“患われた人が困っている人”の表現はいかがなものでしょう。何があれば患われているのでしょうか。困る事は万人がそれぞれ持っていると思うのですが？	40歳代 女性
役職など、できる人とできない人がいる。できる人には責任が重くのしかかり、もはやボランティアを域を超えて、大きな負担に。できない人には誰も負荷をかけず、何も役しないで何年も過ぎていく人も多くいる。できる人は、ボランティアを長い間続けてくれて、仕事も慣れ人望も厚く、皆に親しまれる。反面、ねたむ人がいるのも事実。そういう体質を根本から正さないと、ボランティアをしている人がかわいそう。そのうちしてくれなくなる。年配の方の強い重圧が、若者の良い所をつぶし、もみ消す。	40歳代 女性
“ボランティア”とかじゃなく、普通に一緒に活動できる機会が何かあれば…子供達が、育成会の行事に楽しみに行くみたいに、そんな感じで参加できるようなシステムがあればいいですね。	40歳代 女性
活動状況を紹介し、ボランティアに課する情報を発信して欲しい。	40歳代 女性
ボランティアをすることをもっと身近なものにする。(誰でも気軽にボランティアに参加できるように募集を幅広く行ったり、子供には必ずボランティアに参加させたりする)	40歳代 女性
高齢者や障害のある人のいる家庭をお手伝いするボランティアの仕組みづくり。	40歳代 女性
「ボランティア」という言葉が何か、重い感じがします。もっと、気楽に手伝うと言う感じなら、誰でもやってみたいと思うのですが。	40歳代 女性
ボランティア等決まりごとが増えると守る為に自分の生活時間に変更が増えるのが嫌。できないと言うと近所から苦情を言われるのが嫌。介護等、誰も手伝ってくれないくせに文句ばかり言われるのは嫌。	40歳代 女性
何かしたいと思ってもどうしたらいいかわからないのが現状で、もっと行政が色々提案すれば手伝おうとする人も増えるのでは!?	40歳代 女性

回答内容	年齢、性別
<p>私の場合、どんなボランティアがあるのかわからない。自分が何が出来て何がしたいのかわからないので、“こんなボランティアがある”という情報を得たいと思っています。東日本大震災後、新聞紙面に「〇〇で△△が必要」というのを見て、毛布や下着など必要とされている物資を送りました。新聞など日常目にする機会が多い媒体に情報を載せて欲しいです。ボランティアが当たり前になるように小さいうちから教育の中に組み込む工夫が必要だと感じます。</p>	40歳代 女性
<p>税金が高すぎて、自分の生活以外ボランティアの余裕が無い。</p>	40歳代 女性
<p>一人ひとりのボランティアへの理解が必要。</p>	40歳代 女性
<p>助けを求める人の届先と、その助けを公開して援助できる人を募る手段。 (物などは新聞で「ゆずります」「求めます」コーナーがあるように)</p>	40歳代 女性
<p>地域では人間同士で支えあう必要があると思うが、どこまでボランティアとして積極的に出来るかは誰でも出来ることではないと思う。出来る人を育てるのか、行政がそういう人材を地域窓口として設置するのが課題である。一所懸命やっているボランティアも時に迷惑になる危険性があり、難しい社会になっていると痛感させられます。本当に地域の為に頑張っている人達を行政も大切にバックアップしてもらえたらと思う。そうすれば支援の輪は自然に広がると思います。</p>	40歳代 男性
<p>ボランティアをする人もされる人も、どこまでやっていいか、どこまでやってもらっていいかわからないのでは？何か問題がおこると大変だと、“行政も含めて”「問題をおこさないように」と遠巻きに見ているから良い解決法が見つからないのでは？まずは行政側が今までの枠組みで考えている間にいくら新しい組織を作ってもかわりばえしません。</p>	40歳代 男性
<p>町内会でのボランティア活動の仕組みづくりや行政との連携強化が必要。</p>	40歳代 男性
<p>気軽に参加できる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。</p>	40歳代 男性
<p>ボランティアをしたい人を登録して、リピーター的に都合の良い日時に活動できる仕組みづくりが必要だと思う(活動内容別に！)</p>	40歳代 男性
<p>ボランティア・地域活動の勉強会を強制出席させてもいいのでは。</p>	40歳代 男性
<p>気軽に参加できるよう、敷居を低くして欲しい。</p>	40歳代 男性
<p>私もそうですが、日々の仕事や用事に追われ、ボランティア活動への参加に気持ちは合っても継続して行える自信がなかったりと、なかなか行動に踏み切れない方が多いと思います。福祉に関わる情報やボランティアの内容等、広く住民にアピールしていただくことが必要かと思います。</p>	40歳代 男性
<p>いろいろな立場の人が活動できる、開かれた場所をつくる。</p>	40歳代 男性
<p>ボランティアと言ってもよくわからないのもっと詳しくわかるように回覧板にでも回すといいと思う。</p>	40歳代 男性

回答内容	年齢、性別
一般の人では知らない情報が沢山あるこの世の中では、それに対する情報の提供する場や教えていただく場を地域ごとに設けてもらいたいです。	40歳代 男性
一人一人が、福祉についての意識が必要だと思いましたが、個人的な問題なので、どこまで介入してよいのかも考えることだと思います。私自身もけっして人ごとと思わずいつかはボランティアの方々にお世話になることが来ると思います。やってもらうのがあたりまえと思わず、自分自身も前向きに生活できるようにしていくことが大切だと思います。	50歳代 女性
ボランティアとしてお手伝いの出来る人の事前登録制度づくりが必要	50歳代 女性
公民館とかに出て来てくれる人には特に相談相手がいるので、さほど心配はないと思います。一人で家にいる人をいかに参加につなげてくのがむずかしいと思います。出かけるときの車だし（来てといっても自分からは歩いて行けないとか理由でことわるから迎えに行く）	50歳代 女性
地域でのかかわりあいを密にする。	50歳代 女性
福祉活動、ボランティアに協力したいと思いますが、今のところ、自分の事で精一杯で、出来ないのが現状です。	50歳代 女性
ちょっとした手伝いが出来るボランティアは良いと思う。	50歳代 女性
手伝いの内容がわからない、自分にどんな事が出来るのか、具体的にわかれば出来るかもしれない？資格、技術がなくても出来ることがあれば協力したい。	50歳代 女性
地域の民生委員・児童委員は誰か知らないので、わかるように回覧板や広報高崎にのせてほしい。	50歳代 女性
ボランティアであること目印・証明みたいなものがあつた方が活動しやすいのではないのでしょうか。	50歳代 女性
核家族化で老後一人で生活する人が増えてくるので住民同士のコミュニケーション向上させる事が必要だと思います。プラス、ボランティアとの連携が必要。	50歳代 女性
最近は他人に気を使いすぎて住みにくく、付き合いにくい近所づきあいになってしまっている気がします。回覧板くらいは本来手渡ししたいものですが…現実にはポストに入ってます。残念に思います。	50歳代 女性
ちょっとした手伝い（買物、人の移動、テーブルなど家具の移動）が町内でのボランティアの仕組みづくりが必要。	50歳代 女性
ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。負担が大きくなると参加するのが嫌になってくるので長くやっていける活動にして欲しい。	50歳代 女性

回答内容	年齢、性別
<p>私は、施設（デイサービス）に勤めています。先日、たまたま新聞で「ぐうちょきパスポートシニアパスポート」がある事を知りました。利用者に話したところ、誰も知っている人がいませんでした。子育て世代の人は、情報を得ることができ、自分で手続きする人が多いですが、高齢者はなかなか情報が届かず、せっかくあるサービスを利用できずにいます。平等にサービスが受けられるように、高齢者宅へは各地域の民生委員の方が知らせていろいろなサービスを十分に使えるように配慮すればいいと思います。</p>	50歳代女性
<p>ちょっとしたお手伝いができる、そんなボランティアを。自由に参加できるような仕組みにしてほしいです。</p>	50歳代女性
<p>回覧板が回る範囲3つぐらいの大きさで年に一度は集まりを持って住んでいる人の情報共有をしていけたら良いと思う。</p>	50歳代女性
<p>「市民活動」「ボランティア」というとハードルが高く思われるのでもっと手軽に1日でも半日でも参加できる、手軽なお手伝いとしての位置づけのものがあったら良いと思う。</p>	50歳代女性
<p>ボランティアというものの自体不確かで社会的位置づけが明確でない。助け合いという名のもと無償で行うことでしょうか、この生活苦がひどくなった時代にそんな時間をとることが可能でしょうか。たとえば、賃金が安くとも時間給という形をとって責任を持つことが大切なのでは？民生委員や児童委員は多少なりとも手当てをもらっているとのこと。選出方法にも疑問あり。正しい形を作りたい。給与をもらっている人が「ボランティア」を美化し利用し楽しすぎではないのですか。生活する為皆必死で働いて食べているのですから。</p>	50歳代女性
<p>退職後の時間の余裕のある人が増えているはずなので、その人材を経験や知識を含め活用できるシステムの構築。参加しやすい活動にするための人と人の横のつながりを生かす。</p>	50歳代女性
<p>ボランティアが必要な事を広報などで知らせる。</p>	50歳代女性
<p>困って、（出来る範囲の）助けを要請されたら、登録してあるボランティアの中のそれに答えられる人が実際に連絡を受けて行うという、流れのシミュレーションを地域で作っておく。</p>	50歳代女性
<p>ボランティア活動を通して、人と人が関わっていく事が大切だと思います。</p>	50歳代女性
<p>具体的な活動の詳細を知らせたり、内容を明確にすることでこれなら自分にも出来るという判断ができれば参加しやすいのではないのでしょうか。</p>	50歳代女性
<p>行政の責任において、困りごとを抱える住民の相談にすぐ市の職員が対応することが大切だと思う。サービスやボランティアなど、人材や援助がすぐ受けられるよう機動力のある福祉が必要だと思う。</p>	50歳代女性
<p>広報で、いろいろな趣味の活動の中心となる方を募集し、気軽に参加できるような機会を提供できる街作りが出来たら良いと思います。</p>	50歳代男性
<p>公民館に集合しての地域の悩み、困り事の共有化そして解決に向けてのボランティア活動</p>	50歳代男性
<p>ボランティア連絡協議会の活性化が必須。ボランティアコーディネーターによる仕組みづくりを強化して欲しい。</p>	50歳代男性

回答内容	年齢、性別
ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。ボランティアへのきっかけがあれば入りやすくなる。	50歳代 男性
近所との日頃からの交流が今まで以上に必要。	50歳代 男性
地域、近所での気軽に困ったことを話せたり支援できるような町ぐるみ活動。	50歳代 男性
地域住民の、普段からコミュニケーションがとれるような仕組みづくり。	50歳代 男性
できるボランティアに参加したい。	50歳代 男性
ボランティアに頼りすぎないことが大切と考えます。負う責任が大きすぎると、長く役につくこともできず、心のやり場に困ることもあります。	60歳～64歳 女性
サービスの受け手が、そのサービスに対してポイントを、した人に渡す仕組みを提案します。施設の利用者の意見の反映がなされないという事を耳にします。(新設、改修等)このアンケートが実施された事が、これからの意義のある事につながるようお願いします。	60歳～64歳 女性
福祉、ボランティア等の活動、内容に対する情報が少ない。	60歳～64歳 女性
ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。地域での福祉活動を活性化することが必要。	60歳～64歳 男性
ボランティア活動の明確化と組織作り&仕組み作りを行い、住民にもっとPRする。	60歳～64歳 男性
持ち出し0円のボランティアにできないか。ガソリン代と弁当代は要援護者or行政が持ち、手間代はボランティア持ちとする。生きがい、やりがいにつながり元気な高齢者増える。	60歳～64歳 男性
高崎に生まれ育ち62年、そろそろ社会や地域に何か恩返しもしなければと考えている所です。ボランティアや福祉活動は、組織・会社や他の人から強制されて行える事ではなく、個々人が人とのふれあいから自発的に発生・行動になると思います。まずは、気軽に参加できるシステムがあれば良い、又欲しいと思います。6000人の一人に選ばれ光栄幸運と存じます。	60歳～64歳 男性
「何かをやりたい」という気持ちの理解、モチベーションを高める工夫、活動を具体的な行動を通して進める。趣味の例：切り絵、ちぎり絵、スケッチ、絵手紙、竹工作など。行動を起こせるよう(活動企画・情報の周知)を推進。 ※指導者の登録実施	60歳～64歳 男性
どんなボランティアができるかわからなくて内容などを書きだしてもらいたい。草刈とか自分に出来るものかわかるように	60歳～64歳 男性
ちょっとした手伝い出来る住民によるボランティアのしくみ作りが必要→この気持ち、他人にやさしい思いやりある社会生活の中で作り上げて欲しい、むずかしい。	60歳～64歳 男性

回答内容	年齢、性別
ちょっぴり手伝いができるシステムがあるといいですね。情報→FAX等での連絡→手伝い	60歳～64歳 男性
どの人が、どの時間や日がボランティア活動ができるのか地域でとりまとめしておく必要がある。	60歳～64歳 男性
ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みが必要だと思います。もしも困ったことがあったら気軽に相談できる事業等、住民とサービス提供者をつなぐ人が必要です。	60歳～64歳 男性
ちょっとした手伝いが出る住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。地域に気軽に集る所がない（お茶のみ、話をする）乗附町第3。	65歳～69歳 女性
ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みが必要。団体に出来れば私も参加したいと思います。	65歳～69歳 女性
各地域内で必要とされている状況を皆共有し、必要なボランティア活動が立ち上げられる様なサポート、福祉関係者（民生委員も含む地区の役員でなく）が居ること。問題は情報の共有である。身近なだけに相談しにくいと思う。（例：知らないうちに歳で老人会の会員となって件もあり。なぜ？私の生年月日知ってるのと不思議です。情報漏れ？プンプンです。参加はしておりません。不愉快です。）⇒こんな思いのない、心からのボランティア参加がしたいと思います。失礼いたしました。	65歳～69歳 女性
庭の草取り出来ない人私にできる事でしたらお手伝いしようと思います。遠方はこまります。	65歳～69歳 女性
ボランティアも良いのですが高齢者が何か地域の為になれるようにそれが目に見えてわかるように（例：道端の雑草をとったり公民館の周りへ花植え、清掃、広い道路を歩道の間の雑草とりなど）自分も少しは役に立てることがあると思えば生きがいにつながっていくしその場を通じて交流できるし、簡単な飲食（お弁当）など今まで業者に支払うお金を地域におろしていくようなシステム。	65歳～69歳 女性
きがるに地域のボランティアに出られるように。人目を気にしてしまい、なかなかボランティアにいけない。	65歳～69歳 女性
私も例にある“ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要”なのではないかと思います。	65歳～69歳 女性
町内ごとにボランティアグループを作り支援することがベストのように思います。仲間意識を持ち、校区で行動するよりは町内の公民館を利用し行事を行うことがお互い受けるほうと支援するほうも気楽にお手伝いできる様に思います。まとまりのない文章で失礼いたします。	65歳～69歳 女性
民生委員だけでは限界がある。ボランティアの存在は欠かせないと思う。大勢のボランティアが必要。ボランティアの育成が大事。ボランティアを活用する仕組みをしっかりとつくる。大げさな事でなく誰でもできる、気楽に参加できるように間口を広くする。地域での福祉活動を活性化することが必要。	65歳～69歳 女性
ボランティア活動をすることでポイントのようなものを交付し、それが市のお店で使えるようになれば、活動者が増えるように思います。団塊の世代など暇をもてあましている人（私を含め）はこれから多くなり、その力も活用できます。	65歳～69歳 女性

回答内容	年齢、性別
各、色々なサークルを通し話し合いボランティアに参加する。点と線を輪にする。	65歳～69歳 男性
ボランティア活動について完全理解している人による担い手が必要と思う。	65歳～69歳 男性
高齢化社会となり、民生委員等地域福祉の担い手は大変ご苦労していることから、これらを支援・手助けするボランティアの仕組みづくりが必要と思う。	65歳～69歳 男性
住民によるボランティアの積極的参加。	65歳～69歳 男性
市長以下全職を月1時間お客さんではなくボランティア活動を義務的であっても2年間続ければ一般人の活動も盛んになる。福祉！福祉という前に実践である。福祉も人、人、人の動きの輪から成長する。	65歳～69歳 男性
誰もが気軽に出来るボランティアの仕組みづくりを考える。多くの人に参加し易いこと大切と思う。	70歳代 女性
退職後、切れ目なく体力・気力のある高齢者にボランティアをしてもらい、本人も生き生きとした老後。体・気力の衰えた高齢者・その家族には専門家の支援がまず必要なので行政の働きかけが大切。	70歳代 女性
若者にも関心を持たせる仕組みを作る。	70歳代 女性
ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。気軽に相談できる先がほしい。（市役所以外でも！！）弱者が何でも言えない状況のような気がする今現在！！	70歳代 女性
市民の前に市職員のボランティアに携わってから、体験から市民に伝えてはどうか？	70歳代 女性
災害予防など具体的に学習し、区長民生委員を中心に協力できる組織を作る（男女とも）更生保護とか日赤の役員と各サロンの役員、ボランティア等地域で福祉を考える。先日、社協で行われた災害ボランティア講座が良かった。区長さんの参加は余りなかったように見えてましたが、地域毎に行われると特に良いと思います。	70歳代 女性
足腰が弱いと「ぐるりん」に乗るのも大変になる。あちこちの文化会館、博物館、郊外の大型店、医療機関へ出かける時などボランティア（有料）で連れて行ってくれる人がいると助かる。又、簡単に依頼できると便利（知人に頼むのはお礼等の面で気を遣う）今後行動範囲が狭くなるので心配です。	70歳代 女性
困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。若い（40、50代）リーダーがいればと思います。	70歳代 女性
年をとっているけど何かお手伝いできる事があれば沢山したいと思っています。どんな小さなことでも・・・	70歳代 女性
高齢者が一人暮らしになった時、ちょっとした手伝いが（話を聞いてもらえる等）できるボランティアの仕組みがあると心強いと思います。（町内会単位）	70歳代 男性

回答内容	年齢、性別
ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。生活のなかの困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。私は54年生まれ戦中学徒動員にも参加して育ちました。平等に苦楽を共にしました。今は貧富の差が多くなりつつあります。離婚しても子供は母親…母子家庭が多くて子供共々苦労しています。物質的も勿論、精神面で淋しい思いをしています。	80歳以上 女性
ちょっとした手伝いが出来る住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。地域での福祉活動を活性化することが必要。	80歳以上 女性
ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。地域での福祉活動を活性化することが必要。	80歳以上 男性
ちょっとした手伝いが出来る住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。地域での福祉活動を活性化することが必要。	80歳以上 男性
福祉活動、ボランティアの活動を通して高齢者・子どもたちの声掛けや地域住民同土活動を知ることが大切。	80歳以上 男性
ちょっとした手伝いが出来る住民によるボランティアの仕組みがあったらよいと思います。又、困りごとを気軽に相談できる場所も必要だと思います。	無回答 無回答
高齢買物難民が増える傾向にありボランティアの必要性を強く感じる。また、老人ホーム等の入居に関する情報が希薄であり身近に（町内会等に）豊富な情報を持った人がいたらありがたい。（再掲）	20歳代 男性
もっと気軽にお手伝いができるような仕組みづくりとそれを広くみんなに知らせるような取り組みが必要。（再掲）	30歳代 女性
なにか手伝いたいと思っても、どのような流れで行えばいいのかわからないと思うので、相談所を作るなどしたらよい。（再掲）	30歳代 女性
何か手伝いたいと思っても、何を誰にどうすればよいかなどがわからない。また、自分が困った時の相談を聞いてくれる人が近くにいることが大事だと思う。（再掲）	30歳代 女性
他人に強制されることなく、自分が必要とすることだけに参加できるような体制づくりを確立させる必要があると思います。（再掲）	40歳代 女性
誰でも気軽に参加できる仕組みづくり。（再掲）	40歳代 男性
ボランティア活動でお年寄りのお宅を訪問するなど良いと思いますが、行政の方々もそういった活動に参加されるのが良いと思います。また、「その人らしく安心して暮らせる」とは一体どういう事でしょうか？ちょっと意味が分かりません。その人らしく暮らしては、地域の助け合いなどできないのではないのでしょうか？（再掲）	40歳代 男性
学童がいない世帯で、新規に地域転入してきた者にとって地域社会への参入のきっかけはほとんど無い。町内会費を納めても何に使われるのか分からない始末。正直、どう関わるかが問題。（再掲）	40歳代 男性

回答内容	年齢、性別
<p>公民館の窓口を広げて、吸い上げ、まとめた物を情報公開を頻繁に（回覧板など地域に根づいたもので）発信していければいいと思う。（公民館→各町内→個人）現在は情報公開が足りないと思っている。民生委員などがどんな活動するものなのか、etc.（再掲）</p>	<p>50歳代 女性</p>
<p>困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要⇒コーディネーターが必要だと思う。早急な場合は何と言っても近所の人だが、あまり近所の人に迷惑をかけたくないと思う人は多いと思うので、行政の人とをつなぐコーディネーターの人がいてくれたら安心して暮らせると思います。（再掲）</p>	<p>50歳代 女性</p>
<p>民生委員が一人で訪問するのは限度があるので、曜日を決め、数人（例：隣保班の人達）が交代で訪問し、様子を伺う。あち、以前TVで見たのですが、無料で何かしてあげるのではなく、回数券を1枚300～500円でお手伝いをすればお互いに気兼ねなくて頼みやすいのでは。買物とか電球の交換とかなど。（再掲）</p>	<p>50歳代 女性</p>
<p>困りごとなど相談できる所があれば良いと思いますが、どこに相談して良いか分からないと思います。ボランティアなどで手助けをしていただけたら本当に助かると思います。（再掲）</p>	<p>50歳代 女性</p>
<p>ちょっとした手伝いができる町内住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。小学校区くらいの範囲のところに誰もが気軽に困ったことを相談にのってもらえ、話を聞いてもらえたり、日常のたわいもないおしゃべり等がしあえるような（コミュニティのような）場ができればよいと思う。（再掲）</p>	<p>60歳～64歳 女性</p>
<p>ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。 →一人暮らしになると毎日でちょっとした事で困ることが多くなります。そんな時、誰かにお願いできる人がいれば心強いと思う。（再掲）</p>	<p>60歳～64歳 女性</p>
<p>ボランティア難しく考えなくても良いとは思いますが個人でするのはなかなか出来ないと思いますので広報やらで募集の告知をどんどんしたら良いと思います。（再掲）</p>	<p>60歳～64歳 女性</p>
<p>民生委員も児童委員旧体然とした「町内の役員さん」にすぎない。もっと行政が指導して、本当のボランティア組織、ボランティアリーダーを作らなければダメだ。しっかりした組織なら、参加する人はいくらでもいると思う。年寄りに牛耳られた、町内会の組織ではダメだ。（再掲）</p>	<p>60歳～64歳 男性</p>
<p>情報ネットワークの構築（再掲）</p>	<p>60歳～64歳 男性</p>
<p>まずはご近所とのコミュニケーションを心掛けていくことから、プライバシーを気にして遠慮がちになっているところを見直すなど。ボランティア活動は奉仕活動、慈善的なものと考えられがちですが、そうではなく、携わらせていただくもの、自分にとっても共に高めていける大切なものと思っています。「してあげている～」という気持ちでは長続きできないと思っています。学ぶことが多いです。（再掲）</p>	<p>65歳～69歳 女性</p>
<p>ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。近所の人達と常に声を掛け合う様なシステム、それが町内会や市の方より住民に働きかけるシステム、仕組みを作る必要がある。特に一人で暮らしている高齢者などは必要です。市の方より電話で毎日お元気ですかコールを！！一日5分の会話でも良いのです。藤岡市では毎日電話しておりました。高崎も実行したらどうですか？（再掲）</p>	<p>65歳～69歳 男性</p>

回答内容	年齢、性別
<p>ちょっとした手伝いが出来る住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐことが必要。地域での福祉活動を活性化することが必要。（再掲）</p>	<p>65歳～69歳 男性</p>
<p>ちょっとした手伝いが出来る住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。</p>	<p>同回答47名</p>

## ○モラル・マナーの向上に関する記述

回答内容	年齢、性別
住民一人ひとりのモラルの向上が大切だと思います。ペットのしつけ（トイレ）、ゴミの出し方など、身近なことから始めるべきではないでしょうか？	40歳代 女性
個々の公共マナー意識の向上。防犯パトロール。	40歳代 男性
いつ自分がお世話になるかわからないので、気持ちの良いあいさつで（おはよう！ありがとう！ごめんなさい。等）家庭、学校、職場、地域等で良い関係を保つことだと思います。何かをしてもらうことが当たり前ではなく、自然に手助けしてもらえらる関係が大切だと思います。	60歳～64歳 女性
誰とでも交わせる「あいさつ」をできる様に。運動化	60歳～64歳 男性
挨拶励行と安価な行政支援スーパー銭湯施設の開設。	60歳～64歳 男性
子どもはあいさつするが大人はあいさつできない人が多い（朝のあいさつは特に大切だと思う、一日のスタートだから）	60歳～64歳 男性
隣近所の方でも日常生活面で無責任な方がいる。	60歳～64歳 男性
何と言っても「あいさつ」が第一だと思います。家庭で学校で「笑顔であいさつする」と言うことの大切さを教えること、そこから発展していくのではないのでしょうか。誰もが住みなれた地域でその人らしく安心して暮らしていきたいと切に思っています。あいさつから繋がりが始まります。	70歳代 女性
地域住民がマナーをもって気軽にあいさつ、おしゃべりができるようになったらよい。	70歳代 男性
高齢者の一人暮らしが多くなりまわりの住民との交流がとても必要になっていると思います。まずは、あいさつからでもいいので近所の交流をつなぐ必要があると思います。 ※何かきっかけになる事を必要	80歳以上 男性

○地域における社会教育力の向上に関する記述

回答内容	年齢、性別
各地域ごとに、個人個人で共有できる（楽しめる）様なサークル活動やグループワーク等がたくさんあると、共通の趣味等で仲間が増え、交流が広がると思います。	20歳代 女性
①地域で最も信頼している、小・中・高校で偏った教育を行っていることが一番の問題だと思います。行き過ぎた平等意識を子どもたちに与えた結果、男子が女子を「さん」付けで呼び、男子は女子から呼び捨てにされている現状です。又、そんな教師の中には、卒業式を前に、日の丸・君が代を否定し、子どもの純粋な感性を自分の思想に誘導しようと思われる人がいます。安心して暮らせる社会の代表であるべき学校に、一番危険を感じています。 ②国民の祝日には、国旗を掲げる習慣を復活させることを高崎市として取り組んで欲しいと思います。国家を誇りに思う心と、右翼思想とは別物です。	20歳代 女性
家族と言う1番小さい単位が、明るく楽しさを感じられる様にしなければ、他人の手助けなどは無理だと思います。	30歳代 女性
問16 その他について。一定の年齢になったらすべての若者が消防団へ入団する。一定期間が過ぎ、興味がある人は継続入団する。消防団に限らず、小学校など、小さい頃から助け合いなど福祉を学ぶ。	30歳代 男性
福祉とは何か？ボランティアとは何か？をまずは知る為に専門家の講義や障害のある人の意見を生で聞ける機会が必要。	40歳代 女性
とても大切なことなのに、自分が必要としない事に対する関心がとても薄いことに気づいた。地域住民の福祉に対する関心をもっと高める必要があるのではないのでしょうか。	40歳代 女性
人に手助けしたりするのを恥ずかしく思ったり、あまり立ち入ってはいけなかなと思ったりする気持ちがどこかにあるので、親切にすることが当たり前でできる、社会づくりが必要だと思う。	40歳代 女性
福祉だけ頼らず、自立していこうという意識を持てるように“個人の意識改革”が必要。	40歳代 男性
心に余裕を持って駆動できる人の育成（学校、地域等にて対応）	40歳代 男性
生涯学習や公民館活動の中で、残された人生をよりよく過ごす為に学習したい。	60歳～64歳 男性
家庭中でよく介護福祉のことを話し合うとよいと思います。	65歳～69歳 女性
子供と共に話し合う時間を設ける	65歳～69歳 男性
お互いに思いやりの気持ちを持ち、地域の絆を深めていくこと。	70歳代 男性
「心身の自立」促す活動	70歳代 無回答
この地域に集会所ができました。ボランティアの話をしてくださる人を選んで話を聞かせたらよいと思います。	80歳以上 女性

回答内容	年齢、性別
<p>住民一人ひとりのモラルの向上が大切だと思います。ペットのしつけ（トイレ）、ゴミの出し方など、身近なことから始めるべきではないでしょうか？ （再掲）</p>	<p>40歳代 女性</p>
<p>「何かをやりたい」という気持ちの理解、モチベーションを高める工夫、活動を具体的な行動を通して進める。趣味の例：切り絵、ちぎり絵、スケッチ、絵手紙、竹工作など。行動を起こせるよう〔活動企画・情報の周知〕を推進。 ※指導者の登録実施（再掲）</p>	<p>60歳～64歳 男性</p>

○世代間交流・世代間の助けあいと支えあいの活動に関する記述

回答内容	年齢、性別
<p>小学校の低学年頃から、お年寄りとのふれあいを作り（老人会などの活動）で、遊ぶなどハードルの低いところからはじめ、障害を持ったお年寄りなどとの交流を、段階をふんで行っていく。核家族化などで、お年寄りのいない子供がいる為。</p>	<p>20歳代 女性</p>
<p>若者がもっと高齢者の事情を知るべき</p>	<p>20歳代 男性</p>
<p>小学生、中学生が積極的に福祉活動、防災活動に取り組める仕組みづくりが必要。学習の機会、高齢者宅訪問等。</p>	<p>20歳代 男性</p>
<p>小学校などで福祉への意識を高め、ボランティア活動に取り組む機会を設けるなどの、幼い時からの意識改革が必要。</p>	<p>20歳代 男性</p>
<p>高齢者を子どもを結びつける活動が必要。</p>	<p>20歳代 男性</p>
<p>高齢者と若い世代が情報交換ができる場を設けて欲しい。（高齢孤独者の予防と、子育て世代の悩み事の解消の場）</p>	<p>20歳代 男性</p>
<p>困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。多くの問題の根底にあるものは少子高齢化だと思っています。国の政策は安定しませんが、高崎市も独自に少子化対策をいろいろ後回しにせずに行けるといいと思います。独居老人が増えるのも仕方ないことかと思いますが、お互いに支えあえるといいと思います。具体策が思いつかず、申し訳ありません。</p>	<p>30歳代 女性</p>
<p>群馬は子育てしやすいところだと思います。ぐんまちゃん3位に便乗してもっと群馬の良さを全国の人に知ってもらいたい！福祉のことは正直わからないけど、私の地域では、朝子どもが学校へ行く時間にお年寄りの方が外へ出て「おはよう！」と声をかけてくださったり、旗振りの時は「ご苦労様」と声をかけてくれます。子どもも安心だし、お年寄りの方も子どもとふれあえて嬉しそう、外へ出られる方は役割を与えて、例えば、学校に行って子供たちと給食を食べるとか、昔の遊びを教えるとか、子どもも、おじいちゃんおばあちゃんと接する機会の少ない子が多いので、喜ぶと思うし、子どもと高齢者が一番守られなきゃいけないと思うので、つながりをもつことによってどこに子どもがいて、どこに高齢者がいると把握しやすいと思う。子育てしやすい、福祉のしやすい高崎をもっとアピールしたら。</p>	<p>30歳代 女性</p>
<p>少子高齢化で3人に1人が年寄りになる。障害者には手を差し伸べるべきだが、ただ生きているだけの人に、若者が手を差し伸べるのは負担がありすぎる。「子供が親を見ろ」という老人には特にそう思う。世間をわかっている人にはそうしたいが、わからない老人がたくさんいる今、もっと考えて、行動すべきではないか？</p>	<p>30歳代 男性</p>
<p>日々の生活に追われ、なかなか時間の余裕が無い現状ですが、高齢の実母と同居しており、昼間一人になる時間がある時は心配です。年に1、2回地域の方との交流の場を市で設営していただけたら良いかなと思います。</p>	<p>40歳代 女性</p>

回答内容	年齢、性別
<p>公民館の有効活用（①各公民館に運動できる小体育館や調理教室などを設置②年4回、各公民館で行われる公民館活動（体操教室・料理教室・コーラス・習字・お茶・英会話など）の募集を記入した用紙を各家庭に配布③高崎市内の公民館ならどこでも参加できる。参加費用は10回で¥000 ④高齢者で、要支援・要介護を受けていない方の介護予防にも公民館は活用できます）。中心部の活性化も大事ですが、各地域でも気軽に参加し、利用できる公民館は、地域の重要な社交の場になると思います。以前住んでいたつくば市でよく利用していました。</p>	40歳代 女性
<p>世代によって生活のパターンが多様化している今、みんなで一緒に何かをやる事が大変になってきているのではと思います。それぞれの世代別で、今出来ることについて話し合う機会や場所を作っていただけると参加しやすいのではないかと思います。</p>	50歳代 女性
<p>母子に対する支援活動を行う場合、公的機関の場所をもっと活用したい。区の公民館など。</p>	50歳代 女性
<p>私は囲碁と書道が趣味ですが、どこも60歳以上でないと利用できない施設ばかりです。週に一度だけでも長寿センターなどを60歳以下にも解放し、地域の高齢者を若い人が接する場を設けた方が良くと思います。</p>	50歳代 男性
<p>もっと人間らしさを取り戻す教育やふれあいの原点に立ち戻る必要があると考えます。組織を作ったり活動を活性化するだけでは効果は上がらないと思います。</p>	50歳代 男性
<p>子ども達が外で遊んでいる地域（高学年から7幼児まで）を作る。老人と子どもが一緒になってすごせる地域を作るため</p>	50歳代 男性
<p>今子供達の生活が核家族の為高齢者のあつかいかわからないのでいろいろの場面で付き合うきかいをつくったらよいと思う。</p>	60歳～64歳 女性
<p>地域での知り合いのお年寄りの人などに行き合った場合などは出来る限り話しかけてみると色々な話題が出ますね。聞き上手になってみると色々なことを話してくれますね。あんなふうに、こんなふうに考えていたのか勉強になることが多いです。今は核家族社会ですからね。</p>	60歳～64歳 女性
<p>地域の子供たちの様子、又、遊び等含めてみつめていく事。一人暮らしの人見守る。福祉について考えたい！</p>	60歳～64歳 女性
<p>公民館をもっと自由に利用する必要があると思います。その為に市からの補助をお願いしたい（充実した場所とする為）</p>	60歳～64歳 女性
<p>子孫が親の面倒を見ることの家庭教育の必要性。</p>	60歳～64歳 男性
<p>私の知っている集合所、公民館はガラガラな所が多い。そこで老人会、子供達が自由に集まってお楽しみ会（お笑い等）、同好会、園芸、簡単な料理（おかし作り等）すこしずつ人数がふえるといいですね。ここで何か相談や悩みが話せるようになるのもいいですね。学童の交通安全の手伝いで子供の交流もいい、でも大変かな？と勝手に思っています。</p>	65歳～69歳 女性
<p>今の家族から、昔ながらの大家族に行政指導を行うことにより、困ったときの対応方法や人への思いやりが今より芽生えてくると思います。</p>	65歳～69歳 男性
<p>各地域の福祉活動の情報&amp;事業報告をしてほしい。</p>	65歳～69歳 男性

回答内容	年齢、性別
<p>当地区は公民館活動が活発。館長を中心にスタッフが地域に密着しております。この活動の輪を活用したらと思います。（スタッフ、組織を充実する必要があります。予算等も。公民館の前を通ると、数多くの活動団体の人たちが楽しそうに出入りしている。又、子どもたちが元気に公民館で遊んでいるので元気をもらう。</p>	<p>65歳～69歳 男性</p>
<p>家族仲良くをもっと一にしている。趣味の会6人～7人位ですが自分の主張や意見が言えてストレス解消にもなっています。自分の家の事出来る限り掃除洗濯等していますが家族も喜んでくれているので毎日楽しくやっています。</p>	<p>70歳代 女性</p>
<p>町単位で子どもから年寄りが参加する催し物（運動会、餅つき、盆踊り）を行う。中居町4丁目が非常にうまくやっている。</p>	<p>70歳代 女性</p>
<p>自分が子どもの頃、お隣に回覧板を持っていくとお菓子をもらったりしました。「地域」を考える時、こういった子どもたちが世代を超えた交流を助けてくれると思うので、子どもを含めた活動が有効と思います。（再掲）</p>	<p>30歳代 女性</p>
<p>小学校区で高齢者と子どものいこいの場やイベント。誰だかわかるような近所の付き合い方。安心して通学できるようにして欲しい。（再掲）</p>	<p>30歳代 男性</p>

○学び合い、認め合い、わかり合う活動に関する記述

回答内容	年齢、性別
障害者への偏見をなくすための取り組みがもう少し欲しい。	20歳代 女性
今後その地域を支えるであろう子供達が地域の連帯を意識できる行事	20歳代 男性
核家族化が進んでいる中で、行政が福祉などに手を出しすぎる必要は無いと思う。それよりもまず核家族を減らし、自分の親は自分で面倒を見るように教育していく必要がある。その後に、ボランティアや行政が手を貸す必要性があると感じる。	20歳代 男性
子供達に福祉についての勉強の時間をもうけるべき。	30歳代 女性
地域単位で祭り事を行い、老若男女（世代間）が交流できる場を増やすことが必要。	30歳代 男性
福祉の地域化が叫ばれているが、社会ではまだまだの差別の目が多い。やはり行政がリーダーシップを取り、長い目で教育改革を行い、ノーマライゼーションを進めねばならない。地域にはこういう人がいて当たり前だと社会が知らなければ、住みやすくなるはならないだろう。まず、“知る社会”が必要であり、興味のある人だけが参加・知ることができる仕組みではかわらない…。	30歳代 男性
お祭りへの参加等がかんたんにできるよう、地域の古い人間の意識をかえるべき。古い人間は自分から若い人を遠ざけている。	30歳代 男性
自分の病気がどのようなものなのか正しく理解するのも必要です。それによってまわりの援助の仕方も変わります。よって、検査に特化した病院の設立を市内にお願いします。（例：母は市の病院検査でうつ病と診断されましたが、どうも援助の仕方が悪く、群大で検査したところ前頭葉認知症が正解で、そこから介護もうまくいきました。	30歳代 男性
子供達をきちんとした大人に育てるため、してはいけない事をきちんと教えられる場所、家庭内のルールとは別ということへ導ける指導。	40歳代 女性
若い人のゴミの分別のマナーが悪い。（特に中国人系の学生）	40歳代 女性
いきなり人のために、社会のためにボランティアをしようと思って無理が出る。小学校教育を充実させた方が良いのではないかと。頭の柔らかい子どもの頃から道徳教育をしたり福祉を教えたり、優しく思いやりのある人間作りが大切では。みせかけだけのうすっぺらい福祉はうまく行かないと思います。	40歳代 女性
このご時世、とてもむずかしい問題です。小さい頃からの教育が必要です。支え合って、手助けし合って、尊重しあって「あたりまえ」だとたたきこむ事だと思う。家庭だけでは無理だから（色々な考え方があるだろうし…）教育現場でもっともっと、もっと「あたりまえ」をたたきこむべし！！	40歳代 女性
お年寄りや障害者に対し、やさしく、親切になること。	40歳代 男性
障害者へ偏見の目で見ないで、手伝いが出来る地域にする事が必要。	40歳代 男性

回答内容	年齢、性別
子どもの頃からの活動が大切。燃えないゴミの日の様子を子どもに子どもに手伝いさせた時ひどいね…を連発してた。現実を見せた結果…進んでかたづけられるようになった。中学の頃、老人施設を見学…今現在社会福祉士として老人施設で働いています。役に立てる。「ありがとう」のお年寄りの言葉がうれしかったそうです。	50歳代 女性
老人、障害者などに対する思いやりを、学校及び一般社会で常識として普通に学ぶ環境づくりが必要。	50歳代 男性
職場や学校で、福祉活動の状況を聞ける機会を作り、職場、学校の単位で取り組みができる状況を作ることが必要。	50歳代 男性
地域住民が差別や偏見をなくし、気軽に福祉活動ができる仕組みづくり。	50歳代 男性
学校区内の見回り、安全のボランティアさんの活動もとても助かっていると思いますが、冬期の“火の用心”で月1回位の見回りはどうでしょう子ども（6年生）も含めて一緒に拍子木を打って（昔者の考えかもしれませんが）子ども達に自分達の地域を守るというか安全を守るという意識も芽生えるのではないのでしょうか。	65歳～69歳 女性
困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。 近所だけの付き合いや取り組みは普段から利害関係等があり、うまく出来ない事が多いので学習活動などを通して気持ちの合う人を探していくほうが良い。	70歳代 女性
学校での教育が必要である。	70歳代 男性
往診などしてくれる家庭医がいてくれるといいと思います。デイサービスなどの通所施設で、老人同士の交流や健康づくりい取り組む。この問題は老人問題に目を向けられがちだが、児童の健全育成にももう少し目を向けて欲しい。	80歳以上 男性
小学生、中学生が積極的に福祉活動、防災活動に取り組める仕組みづくりが必要。学習の機会、高齢者宅訪問等。（再掲）	20歳代 男性
人に手助けしたりするのを恥ずかしく思ったり、あまり立ち入ってはいけな いかなと思ったりする気持ちがどこかにあるので、親切にすることが当たり前 にできる、社会づくりが必要だと思う。（再掲）	40歳代 女性
福祉活動に関する情報を詳細に提供したり、助け合い活動を小さい子どもの 頃から教育をする必要があるのでは…？と思います。あまりボランティア活 動・福祉活動といっても、すぐピンときません。それが現状です。（再掲）	60歳～64歳 女性
年寄りが若い人達の間はどこまで近寄って言ったらいかが迷います。あまり 出すぎてもよくないですし、まして新しい住宅の間には若い人ばかりなので近 所には年寄りが少ない。（再掲）	65歳～69歳 女性

○住民相互の交流活動に関する記述

回答内容	年齢、性別
人と人とのつながりを深める為、住民が気軽に参加できるイベントやボランティア活動を実施し、会話をする場所ができればいい。	30歳代 女性
まずは近所でのコミュニケーションが必要だと思う。そして、地域活動いきいきサロンなどを通して、人と人とのつながりを大切にしていくことが、地域の福祉活動につながっていくと思う。	40歳代 女性
これから進行する高齢化社会において、各人への十分な支援を行政のみに期待することはかなり難しいことだと思います。単身、または夫婦のみの高齢者は今後ますます増える為、行政のみでなく、いろんな角度から多くの人々による見守りがあれば心強いです。元々少ない若い世代が、インターネット等の普及により実際に地域の高齢者と顔を合わせること等ほとんどないように思われ、まずそういった交流の場を持つ事が第一歩なのではないでしょうか。	40歳代 女性
コンパクトなまちづくりということをきくことがあります、限界集落のような状況を改善し、「人が集まって暮らす」ことが可能な状況にしていくことを目指すべきではないでしょうか。 ※生まれ育った場所からはなれたくないという人がいてなかなか難しい問題だと思いますが…	40歳代 男性
幼児から高齢者まで気軽に立ち寄れる場所の設置。	50歳代 女性
健康づくりや介護予防の為の町づくりが必要。	50歳代 女性
公民館だけでなく、もっとサークル活動などの種類と場所を増やして欲しいです。	50歳代 女性
高齢者がとかく家に引きこもりがちになるのを防ぐため、地域で色々なことを考え、趣味を共有し合える場を設け日々を充実した生活を送らせたい。	60歳～64歳 男性
趣味のサークルを充実し、人が集まりやすい環境を整える。元気なうちに知り合っていれば、高齢になっても付き合い易い。「広報高崎」を見ても、趣味のサークルについては申し訳程度しか載っておらず、その拡充が急務だと思う。突発的な緊急事態に対し、病院等に連絡の方法がわからない。	60歳～64歳 男性
各地域に公民館も含めてのサロンの様に気軽に住民が集まれる場所があれば良いと思う。	60歳～64歳 男性
お年寄りが気軽にお茶を飲んだり世間話したりできる場所作りがまずは先決なのは？	60歳～64歳 男性
井戸端会議ができる人々の増加、環境（道端にも座る場所⇒居場所がある）造り。	65歳～69歳 女性
問11で答えた介護予防の場作りについて、「公園が生きていない」いつも思うことです。鉄棒やブランコが隅にあるだけ、高齢者が運動できる簡単な器具を設置したらいかがでしょう。医療費抑制、高齢者の交流の場にもなります。ゲートボールもいいですが、少しずつ毎日出来る運動の場として。	65歳～69歳 女性

回答内容	年齢、性別
<p>現在、公民館で歌声の広場をやっています。多くの方に喜ばれ人数も増えていますが、地域によってはすでに公民館の活動がいっぱいですからと受け入れてくれません。月1回でもよいから地域の皆さんの楽しみの場は必要だと思えます。場所が確保できない事が残念です。</p>	<p>65歳～69歳 女性</p>
<p>高齢の世帯が増えているので悩み、心配ごとを近所々地域で話し合いを持てる場所（公民館、公園）日頃からあいさつを交わす、約束事決まりごとは守ること。</p>	<p>65歳～69歳 男性</p>
<p>区長、民生委員、長寿会の人達と住民との話し合いが必要と思う。今は個人情報にさげばれている時、なかなか個人的に家庭に訪問出来ない為、町内単位で集会場などに参集して意見を出し合うことが良いと考えます。</p>	<p>70歳代 女性</p>
<p>地域でそれぞれの人が集いお話の出来る場所が必要。なかなか民生委員などと話すこともないので、気軽にあつまれる所がほしい。 園中で必要のことが出てくればそれを取り上げて皆で考えていく。そんな場所がほしい。</p>	<p>80歳以上 女性</p>
<p>高崎は（私の住んでいる場所）気軽に出かけられる公園が少ないので近所の人と会話をするのも道路で話すので車を気にしながらなので、交流の最初の段階すら進めず、情報のやり取りが意識しないと出来ない。かしこまらず出かけられる場所があると良いと思う。（再掲）</p>	<p>40歳代 女性</p>
<p>区域ごとに相談できる場所やボランティアの仕組みが必要。近所どうし集まれる（高齢者）場所を開放することもして欲しい。（再掲）</p>	<p>60歳～64歳 女性</p>

〇ふれあい・いきいきサロンに関する記述

回答内容	年齢、性別
新しい人の多い自治体は学校とも協力し、同じ世代の横のつながりをつくれるようお互いが話したり顔を合わせる場をつくる声かけをしていったらよいと思う。	30歳代 女性
高崎も前橋の元気21のように、子どもが遊びまわれる屋内の場所があれば良いと思う。ママも安心していただける、リラックスできる条件や環境が増えれば良いと思う。気軽に育児相談できる窓口（カフェが併設など）があればと思う。	30歳代 女性
住民が気軽に集まり、交流できる場をつくる。	30歳代 男性
育児中の人と高齢者が同じ場所に集い交流を持つ。核家族の家庭がほとんどだと思うので、子供達にお年寄りとおふれあい思いやりの気持ちを育てて欲しいし、お年寄りも楽しい時間が過ごせて良いと思う。	40歳代 女性
私の家族は核家族です。身内以外の高齢者と関わることはほぼありません。うちの子供たちは身内以外の高齢者に、少なからず抵抗があるようです。うちの子たちだけでなく、そんな子たちは増えているのでは？と思います。もう少し親密に付き合えるような場が増えたら…と思います。	40歳代 女性
会話を楽しめる場所を作って生きがいをみつけてもらう。	40歳代 女性
高齢者が自分で行ける近い場所に仲間と楽しみを共有できるセンターなど必要。	40歳代 女性
自分にあった同じ境遇の人と話がしたい。	40歳代 女性
住民同士の付き合い・関係がキハクになってきているので、何気なく会話ができるような「場所」を増やして欲しい。昔の家の縁側のような場が今ない。道端に、ベンチがあるだけ程度の空き地のようなものがあるといいと思う。公園だと大袈裟すぎるので、もう少し何気ない場があちこちにあるといいと思う。	40歳代 男性
優しさと思いやりを持って行動する事。迷惑をかけない努力をする。世の中、悪い人ばかりだから、よい人になる。世の中をよくしてください。どうかよろしくお願い致します。	50歳代 男性
60才以上の方は家族あるなしに関係なく将来の不安を持っています。特に老後。子供が結婚せずつれ合いとの死別等。地域に気軽に何時でも割合おしゃべり、食事をしたりするところが欲しいと願っている。例えば公民館の利用。	65歳～69歳 女性
地域の子供たちとのふれあい。公共の施設、町内会の行事等に積極的に参加する。	65歳～69歳 女性
高齢者が多いので施設を作って欲しい。	70歳代 女性
各小学校区の地域づくり関係で、歴史の浅い新興住宅地に対して住民の交流強化の上、各種相談等の設置。	70歳代 女性

回答内容	年齢、性別
町内に気軽に参加できる場所があればと思います。老人会でも一部の人の参加で終わってます。	70歳代 女性
近所で気楽に集まれる場所が必要。若い母親とお年寄りが集まり自由に話したり相談したりするお茶のみ友達風の場所が必要。(再掲)	40歳代 女性
まずは近所でのコミュニケーションが必要だと思う。そして、地域活動いきいきサロンなどを通して、人と人とのつながりを大切にしていくことが、地域の福祉活動につながっていくと思う。(再掲)	40歳代 女性
これから進行する高齢化社会において、各人への十分な支援を行政のみに期待することはかなり難しいことだと思います。単身、または夫婦のみの高齢者は今後ますます増える為、行政のみでなく、いろんな角度から多くの人々による見守りがあれば心強いです。元々少ない若い世代が、インターネット等の普及により実際に地域の高齢者と顔を合わせる事等ほとんどないように思われ、まずそういった交流の場を持つ事が第一歩なのではないでしょうか。(再掲)	40歳代 女性
まずは地域住民同士の交流の場(機会)が必要。近所付き合いも無く活動はできないのでは?(再掲)	40歳代 男性
幼児から高齢者まで気軽に立ち寄れる場所の設置。(再掲)	50歳代 女性
健康づくりや介護予防の為の町づくりが必要。(再掲)	50歳代 女性
公民館だけでなく、もっとサークル活動などの種類と場所を増やして欲しいです。(再掲)	50歳代 女性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。家の中の事はなかなか他人に話す事はきらいが多く、気持ちをかまえずに知恵を“借りる”という様な“ふれあいの場”的な場所があったらと思います。(再掲)	60歳～64歳 女性
高齢者がとかく家に引きこもりがちになるのを防ぐため、地域で色々なことを考え、趣味を共有し合える場を設け日々を充実した生活を送らせたい。(再掲)	60歳～64歳 男性
趣味のサークルを充実し、人が集まりやすい環境を整える。元気うちに知り合っていれば、高齢になっても付き合い易い。「広報高崎」を見ても、趣味のサークルについては申し訳程度しか載っておらず、その拡充が急務だと思う。突発的な緊急事態に対し、病院等に連絡の方法がわからない。(再掲)	60歳～64歳 男性
各地域に公民館も含めてのサロンの様に気軽に住民が集まれる場所があれば良いと思う。(再掲)	60歳～64歳 男性
お年寄りが気軽にお茶を飲んだり世間話したりできる場所作りがまずは先決なのは?(再掲)	60歳～64歳 男性
井戸端会議ができる人々の増加、環境(道端にも座る場所⇒居場所がある)作り。(再掲)	65歳～69歳 女性
団地が出来て40数年が経過し、当初は住民が若かったので団地内での行事が多く、団地内の交流も出来、まとまっていたが現在は高齢化で団地としての行事も無くなり、人との交流がほとんどないので個々の世代も変わり若い人の状況もつかめないし孤立化している現状です。(再掲)	70歳代 女性

回答内容	年齢、性別
<p>地域でそれぞれの人が集いお話の出来る場所が必要。なかなか民生委員などと話すこともないので、気軽にあつまれる所がほしい。 園中で必要のことが出てくればそれを取り上げて皆で考えていく。そんな場所がほしい。(再掲)</p>	<p>80歳以上 女性</p>
<p>区域ごとに相談できる場所やボランティアの仕組みが必要。近所どうし集まれる(高齢者)場所を開放することもして欲しい。(再掲)</p>	<p>60歳~64歳 女性</p>

## 〇ふれあいのある福祉の仕組みに関する記述

回答内容	年齢、性別
町内会ごとやマンション住人たちで、月1回など決め、交流を深めるために清掃活動やバザーなど催しをし、交流を持つことが必要。	30歳代 女性
地域内で顔と名前が一致できるように交流の場を設けること。	30歳代 男性
何らかの役についていないとなかなか参加して行動に出るのはむずかしい。自分には出来ないと思ってしまうのでよくわからない。	50歳代 女性
自宅に養父が同居しているが、言う事を聞かずデイサービスを受けるのを耻だと思っているみたいだ。いくら健康でも、寝てばかりいたら認知症やロコモシンドロームの原因になると思うがしっかりしている間にお年寄りの勉強会を定期的にして欲しい。	50歳代 女性
誰も、生活に困窮したとき行政に頼りたいとは思わないでしょう。特に、現代の高齢者は戦後頑張りぬき、他人や行政に世話になることを潔く思わない方々でありましょう。そんな方が、福祉課に相談に行き、さらにつらい思いを味わうことのないよう、どうか優しい心で接してあげてください。それが福祉の第一歩です。障がいのある方にも、ね。	50歳代 女性
公民館を福祉活動の拠点にする必要があると思います。	50歳代 男性
地域や公的施設を利用し、人と人とのコミュニケーションを多く取り入れることを願っています。（つながりが大切です）	50歳代 男性
障害者でも老人でも努力をして自分らしい自立した生き方をして欲しい。手助けを待つのではなくて手伝いたくなるような人に引かれます。みんなでがんばりましょう。	60歳～64歳 女性
地域で活動されている方を見ていますが、本当にご苦労様です。また、いきいきサロンなどで生き生きとしているお年寄りを見てると自分もこの先が楽しみです。しかし、そういった活動をされている人も参加されている人も限られた方のように思います。多くの人々がお手伝い、参加することができるようにするのは本当に難しいです。良い方向へ導いてください。	60歳～64歳 女性
地域住民が気軽に立ち寄り交流できる場所があれば、自然な形でそこからボランティア活動が生まれたりするのではないのでしょうか？	60歳～64歳 女性
上から目線ではなく、それぞれ個人の価値観に合った、共通の話題、趣味の共有等のつながりが必要。	65歳～69歳 男性
老後の安心と安定確定を図る為、家族や近郊住民との交流を密にする様、相互努力を勧めたい！	65歳～69歳 男性
家にいる人が多いと思います。地域の公民館等へ行って多くの人と話し合う事も必要だと思います。	70歳代 女性
町内会の人達との交流も少なく話し合う機会もあまりないので公民館など利用して楽しみたいと思います。	70歳代 女性
町内会の行事でもいつも同じような方が参加しているので、近所の方がもう少し外に目を向けたらと思っています。	70歳代 女性

回答内容	年齢、性別
公民館活動の強化。地域住民の絆が大切です。	70歳代 男性
地域の人達と親しく交流して困りごとや団体の旅行等に気軽に参加できる様に人間関係をつくるのが良いと思います。	70歳代 男性
マンション等、集合住宅に在住している者同士の交流が全くない為、災害等のいざと云う時全く困ると思う。「その建物のオーナー」が声をかけて普段から交流を持つよう努力させる義務を持たせる。	80歳以上 男性
町内会ごとやマンション住人たちで、月1回など決め、交流を深めるために清掃活動やバザーなど催しをし、交流を持つことが必要。	30歳代 女性
地域内で顔と名前が一致できるように交流の場を設けること。	30歳代 男性
何らかの役についていないとなかなか参加して行動に出るのはむずかしい。自分には出来ないと思ってしまうのでよくわからない。	50歳代 女性
自宅に養父が同居しているが、言う事を聞かずデイサービスを受けるのを恥だと思っているみたいだ。いくら健康でも、寝てばかりいたら認知症やロコモシンドロームの原因になると思うがしっかりしている間にお年寄りの勉強会を定期的にして欲しい。	50歳代 女性
誰も、生活に困窮したとき行政に頼りたいとは思わないでしょう。特に、現代の高齢者は戦後頑張りぬき、他人や行政に世話になることを潔く思わない方々でありましょう。そんな方が、福祉課に相談に行き、さらにつらい思いを味わうことのないよう、どうか優しい心で接してあげてください。それが福祉の第一歩です。障がいのある方にも、ね。	50歳代 女性
公民館を福祉活動の拠点にする必要があると思います。	50歳代 男性
地域や公的施設を利用し、人と人とのコミュニケーションを多く取り入れることを願っています。（つながりが大切です）	50歳代 男性
障害者でも老人でも努力をして自分らしい自立した生き方をして欲しい。手助けを待つのではなくて手伝いたくなるような人に引かれます。みんなでがんばりましょう。	60歳～64歳 女性
地域で活動されている方を見ているのですが、本当にご苦労様です。また、いきいきサロンなどで生き生きとしているお年寄りを見ていると自分もこの先が楽しみです。しかし、そういった活動をされている人も参加されている人も限られた方のように思います。多くの人々がお手伝い、参加することができるようにするのは本当に難しいです。良い方向へ導いてください。	60歳～64歳 女性
地域住民が気軽に立ち寄り交流できる場所があれば、自然な形でそこからボランティア活動が生まれたりするのではないのでしょうか？	60歳～64歳 女性
上から目線ではなく、それぞれ個人の価値観に合った、共通の話題、趣味の共有等のつながりが必要。	65歳～69歳 男性
老後の安心と安定確定を図る為、家族や近郊住民との交流を密にする様、相互努力を勧めたい！	65歳～69歳 男性
家にいる人が多いと思います。地域の公民館等へ行って多くの人と話し合う事も必要だと思います。	70歳代 女性

回答内容	年齢、性別
町内会の人達との交流も少なく話し合う機会もあまりないので公民館など利用して楽しみたいと思います。	70歳代 女性
町内会の行事でもいつも同じような方が参加しているので、近所の方がもう少し外に目を向けたいと思っています。	70歳代 女性
公民館活動の強化。地域住民の絆が大切です。	70歳代 男性
自分自身が積極的にいろんな行事に参加すること	70歳代 男性
地域の人達と親しく交流して困りごとや団体の旅行等に気軽に参加できる様に人間関係をつくるのが良いと思います。	70歳代 男性
マンション等、集合住宅に在住している者同士の交流が全くない為、災害等のいざと云う時全く困ると思う。「その建物のオーナー」が声をかけて普段から交流を持つよう努力させる義務を持たせる。	80歳以上 男性
高齢者が自分で行ける近い場所に仲間と楽しみを共有できるセンターなど必要。(再掲)	40歳代 女性
住民同士の付き合い・関係がキハクになってきているので、何気なく会話ができるような「場所」を増やして欲しい。昔の家の縁側のような場が今ない。道端に、ベンチがあるだけ程度の空き地のようなものがあるといいと思う。公園だと大袈裟すぎるので、もう少し何気ない場があちこちにあるといいと思う。(再掲)	40歳代 男性
あまり広くない地域(班など)の人々と普段から気軽に自分のことを話したりして自分を知ってもらっておく。時々(年に数回)班の方との寄り合いが必要(お茶会など)(再掲)	50歳代 女性
60才以上の方は家族あるなしに関係なく将来の不安を持っています。特に老後。子供が結婚せずつれ合いとの死別等。地域に気軽に何時でも割合おしゃべり、食事をしたりするところが欲しいと願っている。例えば公民館の利用。(再掲)	65歳~69歳 女性
まずは地域住民同士の交流の場(機会)が必要。近所付き合いも無く活動はできないのでは?(再掲)	40歳代 男性
公民館活動など参加したいが、マンションなので外部の事が分からない。地域で活動している案内などいただきたい。(再掲)	80歳以上 女性

〇顔の見える安心して暮らせる地域づくりに関する記述

回答内容	年齢、性別
今は特に、地域でのつながりが薄れている時代だと感じる。少しでも地域間での交流が増えるように、例えば町民運動会のような企画を増やしていくべきなのでは？住民の自主性に任せるだけではなく、行政側からのアプローチをより強く行っていただくことを望む。	20歳代 男性
地域主催のイベント参加を強要するのではなく、広報たかさきを利用するなどして交流などを深められたらいいと思います。地域には古くからの習慣などがあり、なかなか体勢（体質）が変われないと思うので、地域から、地域で、の取り組みも良いとは思いますが、市から型や取り組みの提案（指導）がもっとあっても良いと思います。	40歳代 女性
地域の行事等に地元の人参加するが、マンションやアパートに住んでいる人の参加が少ない。地元の人との交流も大事だと思うが残念。今後も参加を呼びかけていきたい。	50歳代 女性
地域により生活のスタイルが違ふと思いますので、小学校区や町内会などで参加できる催しをする機会を作れると良いと思います。特に市街地には昔からの風習がなくなっていますから…。	50歳代 女性
地域の美化運動促進のために年に春、秋位地域を歩き（ゴミ拾いも兼ねて）発見し少しでも美しい環境を創れる課題探し等は～。	70歳代 女性
地域での福祉活動を活性化することが必要→これに関連して、相互のつながりを目的とした町内活動限定（例：盆踊り）の補助金を行政が出す。	70歳代 男性
町内会での福祉活動が必要です。	80歳以上 男性
新たに地域に引っ越してきた人などは自分の町内会すらわからないと思う。例えば小学校のように、わかりやすい拠点を中心に地域コミュニティを形成し、様々な問題解決に向けた活動や交流（地域運動会など）を広げていくべきだと思う。（再掲）	20歳代 女性
誰もが安心して暮らせるよう防犯の強化（再掲）	20歳代 女性
生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を身近に設置してもらいたい。（再掲）	20歳代 女性
地域ごとで、各家庭の人達が集まって、一緒になってする活動が増えるコトが大切だと思います。例えば、カルタの練習、お雛子の練習etc…今は、近所付き合いが本当に希薄でどうやってかわりを持てばいいのか…きっかけ作りが1番大切になってくるんじゃないかと！！（再掲）	20歳代 女性
日常生活で困っていることがある人と、それを快く手伝いたいという人をつなげられる機関が必要。高齢者や父子・母子家庭の子どもが一人きりで生活していかないように、地域のコミュニケーションがとれる場が必要だと思います。（再掲）	20歳代 女性
近所付き合いが活発になるような活動が必要。（再掲）	20歳代 女性

回答内容	年齢、性別
<p>福祉活動と聞くと難しくてよくわからないのですが、地区の行事など参加しやすくなると自然と世代間交流もできるようになるのではと思います。 (再掲)</p>	<p>30歳代 女性</p>
<p>町単位で子どもから年寄りが参加する催し物（運動会、餅つき、盆踊り）を行う。中居町4丁目が非常にうまくやっている。(再掲)</p>	<p>70歳代 女性</p>

○その他の記述

回答内容	年齢、性別
取り組みについての意見ではないかもしれませんが、もっと現実にある問題、具体的な課題を解決していくほうが先だと思ってしまいました。	20歳代 女性
広報にはたくさんの必要な情報が載っているので、マンション居住者にも配布して欲しい。HPで見るといのは高齢の方には不親切であると思う。	20歳代 女性
高崎市に住んで1年未満なので、地域のことがよくわかりませんが、車いすや身体障がい者の方でも行きやすいバリアフリー施設を増やしてもらえると良いです。	20歳代 女性
安心して暮らせる社会になるようなくみを行政が考え、市民がそれに参加、賛同したくなるものにする。よろしくおねがいします。	20歳代 女性
役所、役場の雰囲気、利用しやすくする（用事がないと行きにくい）。「こんなことしてます」活動のチラシ等もっと見てみたい。	20歳代 女性
問の意味が分からない。むしろ特定の意図を感じてしまう。「住み慣れた」の意味も「その人らしく」の意味もわからない。「結論ありき」の意図を感じて悲しくなってきます。	20歳代 女性
「その人らしく」というのは案外難しかったりしますよね。	20歳代 女性
市役所がもっと働くべき！！暇そうな人が（市役所職員）福祉に力を入れるべき。	20歳代 男性
住民の自由を奪わない。	20歳代 男性
高齢者の生活しやすい場を作ることが必要。（バリアフリーなど）	20歳代 男性
高崎地域の保育園は希望通り入りにくいのでさらに定員を増やす工夫や、こども園の充実を期待しています。	30歳代 女性
福祉という言葉自体があいまいで、何について問題としているのか見えてきません。「誰もが住み慣れた…」というの具体的な内容が記されておらず、どんな社会を創りたいのか分かりません。焦点をしぼり、内容を明確化してアンケートした方が効果的なのではないでしょうか？	30歳代 女性
回覧板で、行事があっても、なかなか行きづらい。子供がいるので、子育てサークルも写真付で紹介して欲しい。	30歳代 女性
役所の人達が、もっと市民に近づく努力をしたほうがいいと思う。役所で、市民のための行動を起こしてから、アンケートしたりして改善すべき。税金使ってアンケート紙作るなら、一人暮らしの高齢者のためにお金を使って欲しい。	30歳代 女性
小さい子どもは保育園に入れてないとなかなか預けにくい。お金がないと公的な所は預かってもらえないので、困ることがあった。	30歳代 女性

回答内容	年齢、性別
お年よりも若い人も色々な人がいるので、あいさつ程度が一番良い。地域の人によるボランティアと言っても難しいです。出来れば、行政でしてほしいのが本音です。何かあっても（自分）近くの人に知られたくないし。お年寄り一人世帯には、押せば誰か呼べるスイッチをつけるとか…。集まりとかあっても、年寄りは楽しそうだけど、若い人達はしらけていて（あるいは来ない）次回は行きづらいから嫌です。	30歳代 女性
深夜の防犯活動の強化。徹底した地域巡回の仕組みをつくる。	30歳代 女性
立派な建物を作るより、福祉や子ども（子どもをもつ親）にお金を使い、市民にとって住みやすい町にしていきたいと思う。	30歳代 女性
保育士の賃金を上げて、住んでいる町の子どもの育児相談にも気軽にできる環境を作る。	30歳代 女性
市役所の職員の上から物を言う態度を直せばいい。	30歳代 女性
誰かが“いい人”を辞めて頑張るときに、市、国がその人をバックアップできたら今よりはマシになると思う。	30歳代 男性
今だ理解がない人も多くみられると自分自身感じることもある。	30歳代 男性
個人情報について見直す必要があります。	30歳代 男性
高崎の事が、仕事以外の事ではよくわからない。	30歳代 男性
高崎に住み始めてまだ3ヵ月なのでよくわからない。	40歳代 女性
税金で働いている以上、ムダな事はしないで欲しいです。	40歳代 女性
中核市になったのだから、もっと障害者・障害児を受け入れられ、短時間でも安心して預けられる、医療的行為の出来る場所をつくってほしい。医療側と連携している場所。重心の方々を受け入れる施設が少なすぎる。少人数での施設を作ってほしい。重心の人は移動も大変です。近くにあると助かります。	40歳代 女性
自治会単位での祭りなど、必要ないと思う。市での祭りだけでいいと思う。（お金がもったいない。その分寄付すればいい！）自治会単位での祭りなど、必要かどうか多数決をとる様な投票をとってもらいたい。	40歳代 女性

回答内容	年齢、性別
<p>行政の取り組みや働きが表立って全くみえてこない！！私たちの求めていること（希望）は、大きくはなく、とても小さなものであるが、そんなわずかな小さいことも成されていないのが現状ではないか？例えば、選挙の際、公民館では下足を脱がせるが（不特定多数の人とスリッパ共有、不衛生！！）足に障害のある父親が玄関で靴を脱ぐのは困難である。その配慮がなされていない行政・政治に関わる気がせず、それ以降父親を連れての投票は足が向かない。役場に電話したが態度が悪いので期待できない。公務員の働きがそんなに悪いと思っている。民生委員は少ない報酬で仕事をしている。市職員がもっともっと働くべきである！！介護保険料を支払うだけで要介護認定を受けられず要支援の者は最も困っていると思う（車イス、杖、ベッドの利用についてなど）</p>	40歳代女性
<p>大型商店を中心とした町づくりが地域愛や近隣の人達への関心を奪ってしまった。「町づくりの失敗」が問題の原因なのにも関わらず、住人に「助け合いや思いやりの心を求め、ボランティア協力をお願いするのは間違っていると思う。大型店舗を持った大企業から、商圈の福祉の負担金を徴収して、民生委員として働ける人をもっと増やすべき。日本中、どこへ行っても同じ大型店で、同じ町づくり。これでは地位の特色を活かしたイベントもせいぜいB級グルメとマスコットだよりで終わってしまう。地域を思う心を育てなければ「大商店法」を元へ改正させなければならない。</p>	40歳代女性
<p>フルタイムで仕事をしている者にとってはむずかしい問題です。重要なことだとは思いますが、手を出す、目を通す時間がとれないのが現状です。</p>	40歳代女性
<p>市役所単位でなく、町役場単位で予算を組んで細かくサービスを行ったほうが良いのでは。又、ひとつの課だけで対応でなく自由に事務所職員が対応できる様にしたほうが良いと思う。手の空いてる方は沢山いるのではないのでしょうか。一般企業ではなかなか有給がとれず、サービス残業、給料も安いなか有給が簡単に取れるのであればすすんで無料でボランティアをしてみたらどうでしょうか。</p>	40歳代女性
<p>今から10年程度前に、母が認知症を発症し、市の相談窓口等で話しを聞いてもらったが、当時、若年性認知症というものがあまり知られていなかったため、アドバイス等もらえず、自力で病院を探し回りとても孤独を感じた。自分にも言えることだが、まずは多方面の様々な分野の勉強を沢山しなくては、人・地域の手助けは出来ないと思った。</p>	40歳代女性
<p>働くお母さんを支持するファミリーサポートを更に利用しやすく、時間の拡大・料金引き下げ等をお願いしたい。</p>	40歳代女性
<p>福祉に携わる仕事の給料は安すぎる。高給がとれるようにすれば志望者も増え、内容の充実も図れる。今のままでは半分ボランティアと変わらない。</p>	40歳代男性
<p>駅を中心に様々なサービスが充実しているコンパクトシティー（財政の面からも広域でサービスを提供するより効率的）</p>	40歳代男性
<p>住みやすい環境づくり！！</p>	40歳代男性
<p>世代的に子育てと自分の親の老後の心配で地域福祉にまで手が回らない。災害時は別として、このご時世、ボランティア活動する余裕のある人は少ないのではないか？行政が中心となって行って欲しい。又は、協力金を支払い、仕事としてやってもらう方がいいと思う。</p>	40歳代男性

回答内容	年齢、性別
ベーシックインカム。	40歳代 男性
行政が少し手を差し伸べる事により、大きく変わる可能性があると思う。	40歳代 男性
車イスに乗っている高齢者が歯科へ通えるよう、どの病院にも手助けが出来る人がいてくれたらと感じた事がありました。	50歳代 女性
ノーマライゼーションの考えを地域住民の中でもっていくことが必要。建造物や公共の物に、ユニバーサルデザインを取り入れていくことが必要。	50歳代 女性
うわさが取り沙汰されない地域に	50歳代 女性
高齢者が居る家にこんなアンケートをかたん書ける様に出す所。福祉の内容をもっと広報などで知らせないと。	50歳代 女性
「誰も」というのは無理でしょう。求めている人と与えることのできる人とを性格にマッチングさせることを考えることが大切なのではないでしょうか。	50歳代 女性
アンケートに参加して、改めて高齢化社会に向けて地域福祉を真剣に考える時期に来たことを実感しました。前向きに在りたいと思います。	50歳代 女性
現在、県・市で集客施設を計画していますが、福祉、教育を考えるならまずそのような施設は中止するべきだと思います。市民を集める場所ではなく市民が出かけたくなる町づくりをしてほしいです。もっと美しい町づくりをして欲しい。美しい町になれば心も豊かになると思います。これ以上、景観を壊してほしくありません。	50歳代 女性
私の母は20年ほど前、藤岡市の民生委員をしていました。その時、母は「市役所の福祉課の人が困っている人に横柄な態度をとる」と嘆いていた事を思い出しました。人を見下げ、無礼な職員がなくなるよう教育して欲しいと思います。	50歳代 女性
地域的に無理。よそ者は10年居住していてもよそ者。福祉に従事している身ですが、偏見な目で見られ、あいさつしても返してもらえない状態。相談事も、町内に知れ渡る状態なので、地区全体から見直す必要あり。例も綺麗事すぎます。	50歳代 女性
福祉活動そのものがどういったものなのか分からない。支援センター、協議会、事業所等どれも活動内容がわからないし、どういう人達が関わっているのかもわからない。学習会というけれど、誰もがかたんに参加して学べるものではないと思う（日時が合わない等…）。私みたいな住民の為に福祉に関する冊子を作成して各戸に配布すべきだと思う（活動内容、連絡際等、どういったときに利用できるのか）	50歳代 女性
ボランティアや民生児童委員ばかりに頼るのではなく、市の職員もボランティアとして地域に出て、現状を知る必要がある。その上で改善策等改めていく。高崎市では福祉活動の場は沢山あるが、個々でなく横のつながりをもつことも大切。そのつなぎ役を、市・社協にやってもらいたい。	50歳代 女性
個人情報といってわからない事が多く、どこまでお手伝いなどしていいのかわからない事があつたりします。	50歳代 女性

回答内容	年齢、性別
個人情報保護法の問題もありますし、まず自分自身が人から信頼される人間になること。そして、少しでも地域の為に役立てる努力をし、恩返ししたいと考えています。	50歳代 女性
バスを利用してるのですが本数が少ないのでもうすこしふやしてほしい。	50歳代 男性
この欄は、自由にお書きくださいと文字を添えていますので、自由に書かせて頂きます。「良薬口に苦し、忠言耳に逆らう」とよくいいますが、担当部署の職員の方々等が、どんな考えだろうとどんな意見であろうと受け入れることが出来れば（その意見の内容を実行に移すには協議が必要かと思いますが）その幅広い中から高崎市に合った、適切な内容が出てくると思います。しかし上記のことわざのように、問23の中の方々と同じような行動をとるならば、高崎市には発展はないと考えます。他の市にあるような強制的な改革が今後ないとは限りません。今の富岡市長の時代に慈しみの気持ちを持って、全国の市町村の手本となるような市になって頂きたいと思います。宜しくお願い致します。	50歳代 男性
市で組織を作り各町村に派遣することが必要 雇用促進につなげてほしい。	50歳代 男性
無駄な支出を減らすべく、費用の「仕分け」を敢行し、福祉に回す。	50歳代 男性
障害者です。目が不自由で家族が本人に質問しました。このアンケートは意味ないように思われました。こんな時間があったら福祉のほうにもっと良くしてください。	50歳代 男性
遠すぎず近すぎずの距離感の関係を築く。	50歳代 男性
近年では、低所得（年150万円以下）での高齢者が増えています。自分も去年の収入は180万（総収入額）で、税金の滞納の督促に追われ、納税課に相談すると現日、月約5万円を支払う納入書を渡されました。あと3回ですが、なぜ、もっと実態を考慮してもらえないのでしょうか。収税額をのばす、上げることのみ考えている気がします。しかも高圧的で無認識、住んでる世界が違うんですね。ですから、借入（ローン）して納税しているおかしな現状となっています。市には低所得者への配慮を望みます。私たちにはボーナスも昇給も一切ありません（今年は年140万程度になりそうです）	50歳代 男性
経済的支援が第一番目に必要。次に、障害者の方や、高齢者の方が本当に望んでいることを個人一人ひとりを大切にして把握して、行政や社協が対応してもらいたい。その根本を抜きにして、地域地域というのは賛成しかねる。	50歳代 男性
地域での啓発活動が少なく、行政の働きかけによる情報発信が重要だと思う。	50歳代 男性
高福祉にするため高負担とするべきだ。	50歳代 男性

回答内容	年齢、性別
豊かな人は困っている方に、金銭的に物的に（リサイクルできる品物など）を人的な心のケアも含めて地域の支援センター等にあずけ、“本当に”困っている方に確実に実現できるような、高崎市の行政システムを作って欲しいです。また、生活保護などを受けていて、働けるのに働けなかつたりしている方も聞いています。みんなが線活のマナーを守って、「自分の出来る福祉の仕事をして」楽しく生活ができると良いと思います。何よりも貧富の差がないといいなあとと思います。むずかしい問題ですね。	60歳～64歳 女性
家庭内の事をするのに、頑張っているので地域の事に余裕がないです。	60歳～64歳 女性
私が80才になったら障害者がいるため心配です。昭和38年のむすこがいるので。	60歳～64歳 女性
市の職員もやさしくしてほしい。	60歳～64歳 女性
少しの間ヘルパーの仕事をしていました。仕事をしていて思ったことですが、若い人達が一生懸命頑張って働いていましたが家庭を持った段階で生活（給与、時間）できない為やめていく人が多いです。もう少し待遇面で国や市で支えることができればと思います。せっかく志を持って従事しているのに残念です。私は、きっかけがあればちょっとした手伝いができればと思っています。	60歳～64歳 女性
身近な場所に（近くに）簡易的な手続きのできる場所があれば手軽と思います。	60歳～64歳 女性
行政が福祉にお金を出して、ヨーロッパなみのサービスをすること。（ムリだな）	60歳～64歳 男性
親子の関係を抜きに近所、行政に求めるのはどうなのか。親子間で我慢ができれば何事も解決できないことを再認識すべき。	60歳～64歳 男性
※一番気になるのが、交番が少ないこと。一番近くて歩いて45分車で約10分以上かかる。なにかおきたら対応がおそくなる。出来れば交番がちかくにあればよいと思います。	60歳～64歳 男性
アンケートを作成した本人はどういう意見を持っているのか。机の前にいるのではなく、町の中、家のなかに意見を求め、自分で出来ることをしたらどうか。	60歳～64歳 男性
核家族化しない。親子3代まで一緒に住める家族をつくる。二世帯住宅はよくない。	60歳～64歳 男性
日本国は近々大震災による原発事故で滅亡すると思っています。国を守るとは何かを忘れた政府の下での高崎市の福祉行政にむなしさも感じますが、それでも市民の一人として「一隅を照らす」日々を生き抜こうと思っています。	60歳～64歳 男性
自分の老後の不安。	60歳～64歳 男性
金銭的に困った時の相談ができるところ。今まで市役所福祉にも相談したけどダメだったので、闇金に借金するようになる。	60歳～64歳 男性
子どもがいる地域が街全体が明るく感じる。	60歳～64歳 男性

回答内容	年齢、性別
<p>障害者などが家族と一緒にいける旅館、車椅子で入れるお風呂。お風呂に入るのを手伝ってくれるプロがいる旅館とかを市で把握して紹介してくれると思う。</p> <p>まだまだ障害者にやさしい高崎市とは言えない（日本中もだが）群馬には温泉が沢山あるがあまり調べても全くないのが現実。</p>	65歳～69歳 女性
<p>個人情報保護という法律がネックになっていて、相談できない、したくない、そんな世の中になっていませんか。</p>	65歳～69歳 女性
<p>私自身は現在仕事をしています、娘が病気の為働かなければならないので、いつまで会社が働かせてくれるかの事が心配で、自分の事はとても気持ちはあっても余裕がありません。安心して暮らせるその事が不安なんです。</p>	65歳～69歳 女性
<p>私も何かお手伝いが出来れば良いのですが何しろ体調不良の為、何も出来ませんので残念です。</p>	65歳～69歳 女性
<p>わが町内でも、高齢者が大半を占めており、老人介護の家庭も多くみられます。ヘルパー介護士さんの派遣等行政の支援を期待しているので、介護認定の簡素化や認定基準の（介護度）UP等を緩やかにして欲しい。現状は介護度の認定UPが大変厳しいと思われるので…。（中々、介護度が上がらないように見受けられる！！財政難の為か！？）</p>	65歳～69歳 女性
<p>地域も活動することは大切ですが主となる市役所の方、何事においても実情をよくみてください。健康その他、アンケートばかりでは現場がわかりません。もう少し、現場を歩いてください。机上ばかりでは何も変わりません。用紙代がもったいないですよ。</p>	65歳～69歳 女性
<p>軽作業（内職）でも構わないから働いて、孫に何かを買ってあげる。ごく普通の生活が出来ることではないかと！！</p>	65歳～69歳 女性
<p>安い値段で入居でき、お互いが助け合って生活していけるような老人ホームがあったら良いと思います。近くに畑があり、野菜等作ることができたら良いと思います。</p>	65歳～69歳 女性
<p>近所に60代の男性一人暮らしで酒乱、夜中にタイコ叩いて町内歩いたり大声で叫び、一日多い時3回パトカーが来たり、本人が家にいるとき近所の方は戸を閉め切って目線が合わないよう気をつけている毎日です。私の云うことだけはきちんと聞いてくれますのでいろいろ世話をしていたのですが、色目を使っていると近所の奥様に言われがっかり、人の世話をすることは大変なことですね。</p>	65歳～69歳 女性
<p>ケアハウスに入所するときの手続きがすごくたいへんでした。ケアマネジャーの訪問が少ないように思います。</p>	65歳～69歳 女性
<p>個人情報の保護を徹底して、安心して暮らしていけるように取り組んでいただきたい。</p>	65歳～69歳 女性
<p>生活保護について、本当に困っている人がもらえず中には余り困っていない人が受給しているらしい話を耳にするが、もっとしっかり調査し不平等の無いようにお願いしたい。</p>	65歳～69歳 女性
<p>市長殿 もっと簡素化して誰もがわかり自由に申し込み、利用出来る福祉を実現して行きたい。役所のタテ割行政にはうんざり。印証明確認等々手間が多すぎる。行政はもっと住民の身近にあるべきである。今は高飛車すぎます。</p>	65歳～69歳 男性

回答内容	年齢、性別
基本は安全・安心です。	65歳～69歳 男性
境界線より出ている枝の剪定（緊急時の道中の確保）	65歳～69歳 男性
防犯にみんなで目を向ける。おたがいに気にかける。	65歳～69歳 男性
高崎の福祉とは何か、まったくわからない。幸い、数少ないご近所で質問にあるようなことがない・・・。これから何かあっても各々が対処することになるのだろう。無収入者なのに介護保険料がとても高いのは何故？	65歳～69歳 男性
自助努力をする。	65歳～69歳 男性
消費税を上げて行政が対応するべきです。	65歳～69歳 男性
「その人らしく安心して暮らせる社会」と言うなら、希望する人にはいつでも死ぬときを選べる「安楽死」を早急に導入することです。今後、社会福祉費が年に1兆円ずつ増えていくとも言われ、こんな状態のままでいけばいずれ子育て世代と対立するだけであろう。地域福祉も結構だが、子育て世代にもっと金を使うべきと思う。また、問題となっている「孤独死」なども、安楽死を導入すれば解決する問題です。20年以上も前にオランダでできたことがなぜ日本ではできないのか。ボランティアにしても、日本では人口の世代分布の点や時間的余裕の点から期待は出来ないと思う。	65歳～69歳 男性
私の住んでいるところは高崎駅東口から徒歩15分です。東三条通りですが市営バス停が全然ありません。今はまだ歩けますが、東三条通りを通るバスは何かないですか。郵便ポストもないです。最近コンビニができて、年寄りの人は喜んでます。	70歳代 女性
福祉関係の仕事はとても大変のわりに給料が安いのでなり手が少なく、対応に時間がかかるので国で給料を上げて人員を増やして欲しい。介護・福祉など必要な人たちはプライドがとても高く職員が訪問しても近所の目を気にし嫌うので本当に難しい。	70歳代 女性
どこに相談してよいのかわからない。	70歳代 女性
雨が降らない限り、毎日の様に3～4km歩く。途中、神社の掃除。少し行って東電の変電所の草取り（春とか夏）、1時間少しかけ帰宅。これが、健康の元かもね。出来る内は華。	70歳代 女性
アンケートそのものが無意味に思います。それにより数多くの人々が必要な費用がかかるもの市町村役場で市民のことは全部分かっていると思います。むだづかいことやめてもらいたい。自分の事は自分で出来ない人だけ助けを。とにかくアンケートなどむだ。	70歳代 女性
特に問20に関して、できない障害者がいることも前提に項目を作成していたけると幸いです。	70歳代 女性

回答内容	年齢、性別
福祉活動やボランティア活動をするとしたら、と問われても十分なお答えができなくて心苦しく思います。アンケート調査に対してお受けしましたが、十分なお答えができず申し訳ないと思います。今住んでいる所も町内の皆様（役員）がどこまで活躍しているかつかみ切れないうところがありまして、期待に添えなくて申し訳ありません。	70歳代 女性
個人情報壁が厚く困っている。	70歳代 女性
このアンケートに対してどう答えていいかわからない質問がいくつかあり困りました。どうしてか？というと私自身が障害があるからです。お手伝いしたい気持ちがあっても皆さんのように何にでも参加できるわけではないからです。ですからこれからなるべく迷惑をかけないように出来ることは自分でするようにしています。本当に困ったときはお願いしたいと思っています。	70歳代 女性
人間はロボットとは違い各人の生活環境・性格が違う為どこまで踏み込めるか壁に突き当たります。	70歳代 女性
政権が変わり年金が減ってインフレになっては高齢者は生きていけません。市役所を中心に、病院、医療センター、老人施設等作っていただいておりますが1つの建物ですべて間に合う様に高齢者にも収入の得られる総合建設を町づくりの会を作って考えております。高崎駅も東京駅のようにして上にすべての施設というのもよいですね。	70歳代 女性
住民に対し区長が悪口を言っているそうですので注意して欲しいです。	70歳代 女性
市役所や警察、それに教員等公共に係る方にはその職分を自覚して十分に機能していただくこと。	70歳代 男性
大変な調査ですが、もっと地区で出来る事で適当なことを考えるべき…	70歳代 男性
個々に付かず離れずの度合いが必要	70歳代 男性
インフルエンザなどの予防注射は高崎外でも（特に東京勤務の人など）受けられるように工夫すべき。もっと広域で健診も受けられるようにすべき。	70歳代 男性
自分に対し福祉活動が必要と考えることを他人に対して自主的に考えて与へる。	70歳代 男性
福祉活動にたより過ぎの人が多すぎる。（ちょっとした事は自分たちで出来るようする事が必要と思われる。	70歳代 男性
コミュニケーションが必要。	70歳代 男性
福祉という言葉が先行しており実態が見えてこない。	70歳代 男性
問24の⑤としたが、自分では積極的でないのに矛盾を感じるが、理解だけしているつもりで選んだ。	70歳代 男性

回答内容	年齢、性別
高齢のため、世話をしてくれて頂いて、申し訳なく思っております。お世話になっています。ありがとうございます。	80歳以上 女性
高齢者が安心して暮らせる様にして下さい。	80歳以上 女性
戦前、戦中、戦後を生き抜いて80年、よく生きて来られたと思う。B29の弾窓が開いて、機中の電気の明かりが下から見える恐怖の空襲下、新宿が駅が町が燃える中を逃げ回ったあの経験、良い時代になったなあとしみじみありがたさを感じる今日此の頃。生きている事が有り難い感謝の気持ち、小さい男の子や女の子の姿を見ると、すすすす育てよ、しっかり食べて、お母さんお父さんのいう事をよく聞いて早く大きくなれよと祈るばかりです。	80歳以上 女性
区長が時々町内をまわり気を配ってくれます。昔からしっかり、町内活動ができていて、安心して生活しています。ただ、新しい住民がかげで動いてくださる。町内の役員等の努力がわからない人に、理解してもらうか、今後の課題です。福祉とは、受けたい人は“素直に声をあげる”ことから始まりである。	80歳以上 女性
私は今年80才なかばになりますが、簡単な縫いごとでしたら今でもミシンで縫ってあげています。	80歳以上 女性
無責任に他人の批判などをしないことが必要。	80歳以上 女性
介護が必要になった時、安心して利用できる施設（ホーム）を増やしていただきたいです。	80歳以上 女性
市の広報等でPRをすべきだと思います。	80歳以上 女性
私は89才妻88才 妻要介護2で私が自宅でみております。公的な軽費で入れる施設入所希望しておりますが200人待ちとかで望み薄。私的な施設は高額で駄目、非常に困っております。私的な施設に週2日デイサービスに行っておりますが何とかしてください但し夫婦2人で入れるところを。	80歳以上 男性
福祉を必要としている人…お世話になります。ありがとう。協力できる人…大丈夫ですか。何か出来ることがあったら言ってください。こんな会話が出来たらいい地域になりますね。	80歳以上 男性
もっと積極的な行動が必要。	80歳以上 男性
風呂の数増やす（福祉センターの風呂）	80歳以上 男性
今のところ他人に世話にならずに生活していますが、困ったことがあったら市の福祉課に相談に行きます。非常に頼りにしています。よろしくお願い致します。	80歳以上 男性
福祉に取り組む職員の皆さん、第2次計画がんばって作成願います。	80歳以上 男性
目ぬき道路、商店街道路は整備されるが、私道（共有複数戸）の道路の整備は何十年経っても行われない。	無回答 無回答

回答内容	年齢、性別
安心して暮らせる社会	無回答 無回答
防災時どのように行動すればよいのかを示すガイドラインが必要。困ったとき、近所に相談できる身近なコーディネーターが欲しい。(再掲)	30歳代 女性
地域の人々が交流を持ち、助け合える環境をつくることが大事だと思う。(再掲)	30歳代 女性



## 『高崎市民福祉意識アンケート調査』のお願い

たすけあい かかわりあって ささえあう  
きずなでつくる しあわせのまち



～ 高崎市地域福祉計画・高崎市地域福祉活動計画 キャッチフレーズ～

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

市と市社会福祉協議会は、「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせる社会」をめざして、平成21年度から25年度を計画期間とした「高崎市地域福祉計画・高崎市地域福祉活動計画」を策定しました。現在は、平成26年度から30年度を計画期間とする第2次高崎市地域福祉計画・高崎市地域福祉活動計画（第2次計画）の策定に取り組んでいるところです。

今回のアンケート調査は、市民の方一人一人の率直なお考えを伺い、第2次計画に反映させることを目的としています。調査は、市内に在住の20歳以上の方から無作為に抽出した6,000人を対象に行います。

ご記入いただいた内容は、全て統計的に処理をいたしますので、皆さんの調査票が、この調査の目的以外に使用されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、計画策定とアンケート調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年2月

高 崎 市 長 富 岡 賢 治  
社会福祉 高崎市社会福祉協議会長 松 橋 亮  
法 人

### ◆ ご記入にあたって ◆

- 回答は無記名です。できるかぎりご本人に記入をお願いしますが、ご家族や一緒にお住まいの方にご協力いただいても構いません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、3月1日（金）までにご返送ください。（切手は不要です）
- 返信用封筒に記載されているバーコードは、市が取り扱う郵便物であることを示すもので、個人を識別するものではありません。
- 本調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

高崎市 福祉部 社会福祉課 地域福祉担当  
電 話：027-321-1243（直通）  
FAX：027-326-8876

## 1 地域福祉とは

地域福祉とは、誰もが直面する可能性のある生活上のさまざまな困りごとを、地域のつながりや公的サービスなどを適切に組み合わせることによって解決し、「住み慣れた地域で、その人らしく、安心して暮らせる社会」を創り出す取り組みのことをいいます。

核家族化、少子高齢化などを背景として生まれてきた

**家族や地域による助け合い機能の弱体化**



孤立死、高齢者・障害者の見守り、子育ての孤立化など

**多種多様な生活課題の増加**



行政とともに、地域住民、ボランティア、NPO、社会福祉関係者などが主体的に関わり合って、地域の生活課題を解決できるような仕組みづくりが必要

## 2 地域福祉計画・地域福祉活動計画とは

地域福祉計画・地域福祉活動計画とは、「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせる社会」を創り出すことを目指し、地域福祉の推進に関する事項を一体的に定める計画です。

高崎市と高崎市社会福祉協議会は、平成26年3月までに第2次計画を策定します。

## 3 第2次計画策定のスケジュール

平成25年	2月	高崎市民福祉意識アンケート調査の実施
	3月	高崎市社会福祉審議会地域福祉専門分科会の設置
	4月	高崎市地域福祉市民会議の設置
平成26年	3月	第2次計画の策定



## あなた自身のことについてうかがいます

問1 あなたの性別は？○をつけてください。

- |      |      |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問2 あなたの年齢は？○をつけてください。

- |           |           |         |          |
|-----------|-----------|---------|----------|
| 1. 20歳代   | 2. 30歳代   | 3. 40歳代 | 4. 50歳代  |
| 5. 60～64歳 | 6. 65～69歳 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

問3 あなたの住んでいる地域は？○をつけてください。

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 高崎地域 | 2. 倉渕地域 | 3. 箕郷地域 | 4. 群馬地域 |
| 5. 新町地域 | 6. 榛名地域 | 7. 吉井地域 |         |

問4 あなたの職業は？○をつけてください。

- |              |                                |            |
|--------------|--------------------------------|------------|
| 1. 勤めている（常勤） | 2. 勤めている（パート等）                 | 3. 自営（商工業） |
| 4. 自営（農林水産業） | 5. 主婦・主夫                       | 6. 学生      |
| 7. 無職        | 8. その他（                      ） |            |

問5 あなたのお住まいは？○をつけてください。

- |         |                       |                                |
|---------|-----------------------|--------------------------------|
| 1. 一戸建て | 2. 集合住宅（アパート・マンションなど） | 3. その他（                      ） |
|---------|-----------------------|--------------------------------|

問6 あなたの家族構成は？○をつけてください。

- |                             |                         |            |
|-----------------------------|-------------------------|------------|
| 1. ひとり暮らし世帯                 | 2. 夫婦のみの世帯              | 3. 夫婦と子の世帯 |
| 4. ひとり親と子の世帯                | 5. 3世代世帯（例：祖父母・両親・子が同居） |            |
| 6. 4世代以上世帯（例：祖父母・両親・子・孫が同居） |                         |            |
| 7. その他（兄弟姉妹同居、親族以外の同居など）    |                         |            |

問7 あなたは、高崎市（旧町村含む）に何年住んでいますか。○をつけてください。

- |            |          |          |
|------------|----------|----------|
| 1. 1年未満    | 2. 1年～5年 | 3. 6～10年 |
| 4. 11年～20年 | 5. 21年以上 |          |

## ご近所との付き合い・関わりについてうかがいます

問8 あなたは、ご近所とどの程度の付き合いをしていますか。1つだけに○をつけてください。

- |                             |                |
|-----------------------------|----------------|
| 1. なにか困ったときに助け合えるような親しい人がいる |                |
| 2. お互いに訪問し合う人がいる            | 3. 立ち話のできる人がいる |
| 4. あいさつを交わす程度の人がある          | 5. ほとんど付き合いがない |
| 6. 近所にどんな人が住んでいるかわからない      | 7. わからない       |

問9 あなたは、ご近所との付き合い・関わりを広げたいと思いますか。

1つだけに○をつけてください。

- |            |            |             |
|------------|------------|-------------|
| 1. もっと広げたい | 2. 今のままでよい | 3. もっと狭くしたい |
|------------|------------|-------------|

問10 あなたは、ご近所で高齢者や障害のある人、子育てなどで手助けが必要な人がいたら、どうしたいですか。1つだけに○をつけてください。

- |                           |
|---------------------------|
| 1. 自分でできることを探して手助けしたい     |
| 2. 近所の人と一緒にあって手助けしたい      |
| 3. 行政機関などから協力を頼まれれば手助けしたい |
| 4. 本人から求められれば手助けしたい       |
| 5. 手助けしたいがなかなかできない        |
| 6. 手助けしたいが、どうしたらよいかわからない  |
| 7. わからない                  |
| 8. 関わりたくないので、手助けしない       |
| 9. 他人が手を出す必要はない           |

問11 あなたは、ご近所との付き合いで、これからどんなことが大切になると思いますか。

あなたの気持ちに最も近いもの3つ以内に○をつけてください。

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 日常のあいさつなどによる、人と人とのふれあい       |                    |
| 2. 自分の考えを发表或し、話し合うことのできる場づくり    |                    |
| 3. 子育てやしつけなど、子どもの問題を一緒に考える仲間づくり |                    |
| 4. 高齢者の見守りや生きがいづくりなどの支援         |                    |
| 5. 健康づくりや介護予防の場づくり              | 6. 日常生活で困ったときの助け合い |
| 7. 町内会活動など、自分たちの町を大切にする取り組み     |                    |
| 8. 防災活動や災害のときの助け合い              | 9. 病気・けがなど緊急時の助け合い |
| 10. その他 ( )                     |                    |
| 11. 大切なことは特になし                  |                    |





問21 問20で、「1. したい」を選んだ人はお答えください。

活動をしていない(できない)理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 参加方法がわからない     | 2. 仕事などで忙しい        |
| 3. 一緒に参加する人がいない   | 4. 興味のある活動がない      |
| 5. 家族の協力がいない      | 6. 子育てや介護の必要な家族がいる |
| 7. 金銭的な余裕がない      | 8. 資格や技術がない        |
| 9. やってみたいがきっかけがない | 10. 体調が良くない        |
| 11. 時間がない         | 12. 活動先と自分の時間が合わない |
| 13. 車などの移動手段がない   | 14. 活動先に関する情報が少ない  |
| 15. その他 ( )       |                    |

問22 あなたは、ボランティア・市民活動の情報をどこから得たいと思いますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |               |             |                |          |
|---------------|-------------|----------------|----------|
| 1. 広報高崎       | 2. 社協たかさき   | 3. 回覧板         | 4. 知人や友人 |
| 5. テレビ・ラジオ・新聞 | 6. インターネット  | 7. ボランティア相談窓口  |          |
| 8. 公共施設などの掲示板 | 9. 研修・講習会など | 10. メールによる情報配信 |          |
| 11. その他 ( )   |             | 12. 興味がない      |          |

問23 あなたがボランティア・市民活動をするとしたら、どのようなことがしたいですか。

ご自由にお書きください。

( )

### 福祉についてうかがいます

問24 あなたの福祉に対する考え方はどれに近いですか。1つだけに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 福祉とは、患われた人が困っている人に対して慈善的に手を差し伸べることだと思う  |
| 2. 福祉を必要とする人は、自分でもっと努力すべきであり、援助の必要はないと思う   |
| 3. 福祉は行政の責任で行うべきであると思う                     |
| 4. 福祉を必要とする人は、家族や親類縁者が面倒を見ればよいと思う          |
| 5. 福祉に関する課題は、行政と地域住民がともに協力し合って取り組むべきものだと思う |
| 6. わからない                                   |

問25 福祉への理解を深めたり、助け合いや思いやりの心を育んだりするための福祉教育の方法として、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子どもに対して、福祉に関する学習の機会を増やすこと
2. 職場や学校で、福祉活動やボランティア活動に取り組む機会を設けること
3. 生涯学習や公民館活動などの中で、福祉に関する学習を行うこと
4. 子どもが高齢者や障害のある人などと交流できる機会を増やすこと
5. 差別や偏見をなくし、みんなで共に生活していけるよう啓発すること
6. 地域の中にある福祉の課題について、みんなで話し合う機会を設けること
7. 家庭内で福祉について話し合うこと
8. その他 ( )
9. わからない
10. 特にない

問26 民生委員・児童委員は、地域福祉の担い手として、住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行うなど、さまざまな活動を行っています。

民生委員・児童委員が行う活動として、ご存じの内容はどれですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談対応
2. 福祉に関する情報の提供
3. 高齢者など支援が必要な人の家庭訪問等
4. 関係行政機関の依頼による調査や証明事務
5. 地域包括支援センターや小中学校など関係機関との連携
6. ふれあい・いきいきサロンなど地域福祉活動への協力
7. その他 ( )
8. どれも知らない

問27 「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせる社会」を創り出すための取り組みについて、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

(例)

- ・ちょっとした手伝いができる住民によるボランティアの仕組みづくりが必要。
  - ・生活の中の困りごとを気軽に相談できる場所を小学校区などに設置することが必要。
  - ・困りごとを抱える住民とサービス提供者をつなぐ人が必要。
  - ・地域での福祉活動を活性化することが必要。
- など



設問は以上です。ご協力ありがとうございました。



